

沖縄振興特別推進市町村交付金事業計画（変更）

平成25年3月14日

01 那覇市	1	22 嘉手納町	121
02 宜野湾市	19	23 北谷町	123
03 石垣市	26	24 北中城村	126
04 浦添市	34	25 中城村	132
05 名護市	42	26 西原町	135
06 糸満市	47	27 与那原町	138
07 沖縄市	56	28 南風原町	142
08 豊見城市	63	29 渡嘉敷村	148
09 うるま市	68	30 座間味村	150
10 宮古島市	77	31 粟国村	153
11 南城市	84	32 渡名喜村	155
12 国頭村	91	33 南大東村	156
13 大宜味村	97	34 北大東村	159
14 東村	99	35 伊平屋村	161
15 今帰仁村	101	36 伊是名村	165
16 本部町	105	37 久米島町	168
17 恩納村	109	38 八重瀬町	173
18 宜野座村	112	39 多良間村	177
19 金武町	114	40 竹富町	178
20 伊江村	116	41 与那国町	182
21 読谷村	117		

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	那覇市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	5,266,000	5,266,000	-1,104	5,264,896

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始	事業終了	総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					年	月				A	B	C	負担額			G	章		節	項			
													交付金交付額		D						E	F	
													沖縄県										市町村
									6,695,915	6,581,186	5,264,896		1,316,290	114,729									
1	歴史ある那覇のまち、観光客誘客促進・受入基盤強化事業	<p>沖縄の空と海の玄関口である那覇市は、首里城をはじめとした歴史と文化あふれる観光地を市内各地に有している。</p> <p>本事業は、那覇が保有する文化財や伝統芸能などの観光資源を活用、開拓整備するとともに、様々な誘客イベントを開催するなどして、観光交流都市・那覇の実現に向けた取り組みを展開するものである。具体的には、以下の施策に取り組む。</p> <p>①観光地として多数の観光客が訪れる市域や観光施設となっている市の施設等の整備拡充を実施して、観光地としてのグレードアップを図る。(受入体制・施設整備)</p> <p>②観光都市としての景観づくり、美観形成に重点を置いた公園、道路、小広場等の整備と緑化等に取り組む。(受入体制・街整備、民間支援、景観・美化)</p> <p>③那覇ハーリーや那覇大綱挽、琉球王朝祭りなどをはじめとする歴史と伝統に根ざしたイベントの拡充と支援強化に加え、スポーツコンベンション等と関連する新たな観光誘客イベントを展開する。(イベント)</p> <p>④観光客の誘客拡大を目指して、観光情報の発信のための設備整備を行うとともに、ホームページなどのデジタル情報、ガイドブック等によるアナログ情報の双方での観光情報の発信力の拡充強化を行う。(情報発信)</p> <p>⑤観光地としてのグレードアップをはかるための実証実験、調査研究と計画づくりを行う。(実証実験、調査研究、計画)</p>	イ	10	24	6	34	3	2,702,251	2,637,587	2,110,056		527,531	64,664	3	3	(2)						
①	観光プラザ整備事業	観光都市としての国内・国外観光客の受入機能の充実を図るため、「てんぶす那覇」に観光案内所を整備する。	イ	2	24	10	26	3	238,420	238,420	190,736		47,684		3	3	(2)	ウ					
②	那覇港観光客利便性向上施設整備事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、クルーズ船から旅客船ターミナルへ観光客を迎え受けるボーディングブリッジの整備を行う。	イ	2	24	8	26	3	18,000	18,000	14,400		3,600		3	3	(2)	ウ					
③	奥武山野球場人工芝整備等イベント対応機能強化事業	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、奥武山野球場と屋内運動場及び関連する周辺施設整備等の機能強化を行う。	イ	1	24	7	25	3	101,275	101,275	81,020		20,255		3	2	(1)	イ					

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考				
					年	月	年	月	A	B	C	負担額					G			
					交付対象事業費		交付金交付額	沖縄県 D				負担額 市町村 E	その他 F							
					G									章 節 項 目						
④	市民体育館イベント誘致機能強化事業	スポーツコンベンションの観光地としてのグレードアップを図るため、市民体育館をプロバスケット等の公式戦及びイベント会場として使用できるよう音響設備及び空調設備を整備し、機能強化を図る。	イ	1	24	7	25	3	242,466	242,466	193,972			48,494			3	2	(1)	イ
⑤	那覇市伝統工芸ブランド確立事業	伝統的工芸品を国内外にアピールして那覇発世界ブランドとして確立させ、その伝統工芸品の唯一の販売店及び体験工房である那覇市伝統工芸館を観光施設として整備し機能強化を図る。	ニ	1	25	1	25	3	30,142	30,142	24,113			6,029			3	1	(5)	ウ
⑥	常設展音声ガイドシステム事業	壺屋焼物博物館を観光施設としてグレードアップするため、常設展示コーナーの案内を外国人観光客に対応した多言語音声システムを整備する。	イ	1	24	6	25	3	3,780	3,780	3,024			756			3	1	(4)	ウ
⑦	公設市場環境整備事業	観光地としての魅力を高めるため、観光資源であるマチグラーの良さを活かしつつ、中心地である公設市場の環境整備を行う。	イ	1	24	9	25	3	25,885	25,885	20,708			5,177			3	3	(8)	イ
⑧	「那覇の祭り」模型制作設置事業	観光都市としての魅力の発信力を高め、集客の目玉とするため、那覇市を代表する祭り（那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭）のジオラマ模型を製作する。	イ	1	25	1	25	3	70,000	70,000	56,000			14,000			3	3	(2)	ウ
⑨	ブランタリウム番組開発事業	観光施設として、牧志駅前ほしぞら公民館のブランタリウムをグレードアップするため、番組制作システムを導入し、集客力のある番組を委託制作する。	イ	5	24	6	29	3	31,398	31,398	25,118			6,280			3	1	(5)	ウ
⑩	壺屋地区シンボルシーサー整備事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、壺屋焼巨大シーサーをやちむん通りの入り口となる牧志壺屋線の広幅員の歩道部（シンボル広場）に設置し、併せて多言語の観光案内施設を整備する。	イ	1	24	10	24	12	16,191	16,191	12,952			3,239			3	3	(2)	ウ
⑪	那覇市旧跡・歴史的地名標示事業	観光地としてグレードアップを図るため、琉球王国時代から昭和戦前期にかけて存在した那覇市内の旧跡地等に標示板を設置する。	イ	2	24	6	26	3	27,468	27,468	21,974			5,494			3	1	(4)	ア
⑫	首里地区回遊促進案内板等設置事業	観光都市としての景観・美観形成のため、特に観光客が多く、本市伝統文化の香りが残る首里城を中心とした首里地区に、地区内回遊促進のための案内板等を設置するための事業計画を策定する。	イ	1	24	8	25	3	6,027	6,027	4,821			1,206			3	3	(2)	ウ
⑬	バス停上屋整備事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、観光客等が沖縄の強烈な日差しや風雨を避け快適に公共交通機関を利用してもらえるよう、バス停上屋を整備する。	イ	3	24	10	27	3	57,000	57,000	45,600			11,400			3	1	(7)	ウ
⑭	交流オアシス整備事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、公有地及び道路残地等を活用した小広場、オープンスペース（交流スペース）の整備を行い、観光客と市民との交流・憩いの場を創出する。	イ	4	24	11	28	3	6,000	6,000	4,800			1,200			3	3	(2)	ウ
⑮	亜熱帯庭園都市の歩行者専用道路整備事業	観光地としてのグレードアップを図るため、那覇新都心シビックコア地区計画に基づき、官庁施設や商業施設をつなぐ亜熱帯庭園都市にふさわしい歩行者専用道路を整備する。	イ	1	24	9	25	2	12,600	12,600	10,080			2,520			3	3	(2)	ウ
⑯	市内観光地観光客安全対策事業	観光都市としてのグレードアップと、観光客等の安心安全確保のため、市内観光地に防犯カメラを設置する。	イ	1	24	7	25	3	16,164	14,548	11,638			2,910	1,616		3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考		
					年	月	年	月	A	B	C	負担額					G	
					交付対象事業費		交付金交付額	沖縄県				市町村	その他					
					交付対象外経費													
17	歴史散歩道整備事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、①やちむん通り②赤平当蔵線③しんかのちやーまーい等の道路の公共空間において、路面改良、道路緑化・美化を行う。	イ	4	24	9	28	3	158,600	158,600	126,880				3	3	(2)	ウ
18	那覇・福州友好都市交流シンボルづくり事業	観光都市としての景観づくりと、中国福州市との友好姉妹都市のシンボルとなるよう、巨大龍を作成し、那覇ふ頭旅客バスからの観光客迎え入れゲートの位置にある松山公園へ設置する。	イ	1	25	1	25	3	123,493	123,493	98,794				3	3	(2)	ウ
19	亜熱帯庭園都市の道路美化事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、幹線市道や観光地周辺市道の街路樹の緑化や美化を推進する。	イ	10	24	9	34	3	126,750	126,750	101,400				3	3	(2)	ウ
20	那覇の観光イメージアップ事業	観光都市としての景観・美観の確保のため、国際通り等の観光地の歩道路面に点在し景観悪化を招いている付着物の除去作業を行う。	イ	1	25	1	25	3	23,888	23,888	19,110				3	2	(1)	イ
21	亜熱帯庭園都市の公園美化事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地周辺公園の緑化と美化、遊具・トイレ等の整備を行う。	イ	10	24	8	34	3	43,856	43,856	35,084				3	3	(2)	ウ
22	中心市街地における公園再生事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、観光地である中心市街地周辺の公園の課題を整理して、基本計画やパスを作成する。	イ	1	24	11	25	3	8,000	8,000	6,400				3	3	(2)	ウ
23	亜熱帯庭園都市の公園施設強化事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、波の上宮やビーチがある旭ヶ丘公園の施設強化を図り、琉球石灰岩のり面の保護整備及び回遊路を整備する。	イ	1	24	9	25	3	10,000	10,000	8,000				3	3	(2)	ウ
24	市花木等普及推進事業（公共空間への植樹）	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、市花木ホウオウボク、市木フクギ、市花ブーゲンビレアにより、公園パーゴラや久茂地川沿いのモノレール支柱等の公共空間の緑化に取り組む。	イ	10	24	10	34	3	20,000	20,000	16,000				3	1	(6)	イ
25	ベランダ緑化推進事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、ベランダ緑化推進事業としてのブーゲンビレアの苗等の配布を行う。	イ	10	24	9	34	3	1,500	1,500	1,200				3	1	(6)	イ
26	花いっぱい運動推進事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、自治会、幼保小中学校、ボランティア団体等へ、市域を花でいっぱいにするための種子、草花苗の配布を実施する。	イ	10	24	6	34	3	2,900	2,900	2,320				3	1	(6)	イ
27	緑の診断・生育事業（公共空間）	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、公共空間の樹木の専門家診断に基づく適切な手当や保全生育を図る。また、必要に応じて樹種の入替え等を行う。	イ	10	24	10	34	3	5,000	5,000	4,000				3	1	(6)	イ
28	桜の名所づくり事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、首里、真和志、小禄地域に桜の名所となる公園などの候補地を選定する、桜の育成環境調査を行う。	イ	4	24	10	28	3	5,000	5,000	4,000				3	1	(6)	イ
29	デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、県花であるデイゴや琉球松を守るための害虫駆除及び予防対策を行う。	イ	2	24	11	26	3	5,675	5,675	4,540				3	1	(6)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所				備考
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G					
					交付金交付額			負担額										
					C	D	E	F										
30	那覇龍船競漕振興事業	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇ハーリー」で、「龍船競漕」を実施している那覇龍船競漕振興会に対して事業支援を行う。	イ	10	24	8	34	3	203,626	183,267	146,613		36,654	20,359	3	1	(4)	エ
31	那覇大綱挽振興事業	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「那覇大綱挽まつり」で、「那覇大綱挽」を実施している那覇大綱挽保存会に対して事業支援を行う。	イ	10	24	8	34	3	32,096	12,779	10,223		2,556	19,317	3	1	(4)	エ
32	琉球王朝祭り首里振興事業	伝統に根ざしたイベントの支援強化と観光イベントとしての事業充実を図るため、「琉球王朝祭り首里」を開催している首里振興会に対して事業支援を行う。	イ	10	24	7	34	3	13,030	6,036	4,828		1,208	6,994	3	1	(4)	エ
33	プロ野球キャンプ等支援事業	スポーツコンベンションとして観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプの受入体制強化を図るとともに、公式戦の誘致活動を行う。	イ	10	24	7	34	3	46,142	46,142	36,913		9,229		3	2	(1)	イ
34	NAHAマラソンランナーリピーター促進事業	観光関連イベントの支援強化を図るため、NAHAマラソンのイメージアップを図り、県外参加者のリピーターを増やすための交流イベントを開催する。	イ	1	24	10	25	3	4,736	4,736	3,788		948		5	3	(3)	イ
35	プロ野球キャンプにぎわい創出事業	スポーツコンベンションとしての観光地の魅力アップを図るため、読売巨人軍春季キャンプ会場周辺に、出店、ステージイベント等を拡充して設置する。	イ	10	24	10	34	3	21,450	21,450	17,160		4,290		3	2	(1)	イ
36	国際通りとマチグワァーのにぎわい事業	ひやみかちマチグワァー館を観光施設として充実を図るため、当該施設を拠点としたイベントを開催する。	イ	10	24	7	34	3	77,127	77,127	61,701		15,426		3	3	(8)	イ
37	パフォーマンス等による国際通り活性化推進事業	観光誘客のため、国際通りトランジットモールでのイベント・パフォーマンス等を行うことにより、国際通りの活性化を推進する。	イ	10	24	11	34	3	10,098	9,184	7,347		1,837	914	3	3	(8)	イ
38	国際通りトランジットモール推進事業	本市産業の振興発展を図るため、国際通りで実施しているトランジットモールの実施主体である国際通り商店街振興組合連合会に対して事業支援を行う。	イ	10	24	7	34	3	2,660	1,520	1,216		304	1,140	3	3	(8)	イ
39	ストリートダンスバトルin国際通り観光誘客事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、国際通りでのトランジットモールを活用した定期的なダンスイベントを実施し新たな観光資源とする。	イ	1	25	1	25	3	9,150	7,550	6,040		1,510	1,600	5	3	(3)	イ
40	中心商店街活性化支援事業	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、国際通り等中心商店街の振興組合等が行う活性化のための研修事業や先進地視察、イベント等の支援を行う。	イ	10	24	8	34	3	3,340	2,500	2,000		500	840	3	3	(8)	イ
41	マチグワァー屋台村構想事業	観光誘客と観光地としてのグレードアップを図るため、国際通り及びさいおんスクエア周辺など中心市街地に屋台村を設置する。	イ	1	24	8	25	3	21,014	21,014	16,811		4,203		3	3	(8)	イ
42	一万人エイサー踊り隊推進事業	伝統と文化に根ざした観光誘客イベントとして、国際通りにて開催される「一万人エイサー踊り隊」事業を推進する。	イ	1	24	8	25	3	8,354	1,320	1,056		264	7,034	3	1	(4)	ウ

- 注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所				備考		
					年	月	年	月	A	B	C	負担額							G	
					交付対象事業費			交付金交付額				沖縄県D	市町村E	その他F	交付対象外経費					
43	那覇まちまーい推進事業	観光地としての魅力アップを図るため、那覇市観光協会が着地型観光メニューとして実施している「那覇まちまーい」事業を推進する。	イ	10	24	8	34	3	32,436	27,586	22,068		5,518		4,850	3	1	(4)	エ	
44	「なはの日」ウチナーグチ再発見イベント	観光地らしさとウチナーグチの普及啓発による観光都市としての魅力を高めるため、「なはの日」に合わせてイベントを展開する。	イ	1	24	6	24	7	2,000	2,000	1,600		400			3	1	(4)	フ	
45	「JAZZ Night in 那覇」事業	観光都市として来客者の満足度を高めるため、沖縄独特の「沖縄ジャズ」の魅力に満ちた「JAZZ Night in 那覇」イベントを実施する。	イ	1	24	9	25	3	7,173	7,173	5,738		1,435			3	1	(5)	フ	
46	歴史博物館企画展事業	那覇市歴史博物館を観光施設としてグレードアップさせるとともに、観光集客につなげられるよう歴史文化に関する企画展を開催する。	イ	10	24	6	34	3	3,109	3,109	2,487		622			3	1	(4)	エ	
47	観光イベント安全確保事業	伝統に根ざしたイベントの支援強化と、観光客の安全確保等を行うため、「那覇大綱挽まつり」「琉球王朝祭り首里」「NAHAマラソン」における雑踏警備を専門会社に委託する。	イ	10	24	9	34	3	2,000	2,000	1,600		400			3	3	(2)	ウ	
48	国際通りを中心とした那覇市ICT利活用モデル事業「Wifi化計画」	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通り等に無料公衆無線LAN環境を構築し、まち歩き観光等の情報発信を促進するモデル事業を実施する。	イ	10	24	11	34	3	232,840	232,840	186,272		46,568			3	3	(2)	ウ	
49	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業	国際観光都市としてグレードアップを図るため、国際通りを中心とした観光客がよく訪れる地域に、大型ビジョンを設置して、地域情報や地域イベント等の映像・音声情報を発信する。	イ	10	24	11	34	3	203,000	203,000	162,400		40,600			3	3	(2)	ウ	
50	県外メディア誘致観光プロモーション	観光情報の発信力を強化するため、県外テレビ番組のバラエティ・観光番組・ワイドショー等で那覇市の観光地、イベント、物産等をPRする。	イ	1	24	9	25	3	9,024	9,024	7,219		1,805			3	3	(2)	イ	
51	観光宣伝誘致強化事業	観光情報の発信力を強化するため、観光ガイドブック、マップ等を作成するとともに、宿泊客アンケートを実施して、観光地としての改善点等を点検する。	イ	1	24	10	25	3	13,704	13,704	10,963		2,741			3	3	(2)	イ	
52	移動式車載大型ビジョン	イベント等における観光情報の発信力を高めるため、移動式車載大型ビジョンを整備して、那覇マラソンや那覇大綱引きなどの観光イベント、クルーズ船寄港時の歓迎セレモニーなどで映像放映を行う。	イ	1	24	12	25	3	150,000	150,000	120,000		30,000			5	3	(3)	イ	
53	観光資源データベース登録事業	観光情報の発信力を強化するため、ホームページ上に本市文化財等の観光資源紹介を作成・掲載する。	イ	1	24	10	25	3	20,000	20,000	16,000		4,000			3	3	(2)	ウ	
54	那覇市内観光周遊バス実証実験事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、市内観光地やホテル等を回るバスの運行についての実証実験を行う。	イ	3	25	1	27	3	41,634	41,634	33,307		8,327			3	2	(1)	イ	
55	安心・安全なマチグラー地区実証実験事業	本市産業の振興発展と観光拠点としての発展を図るため、中心商店街で二輪駐輪場の実証実験を行い、観光拠点としてのマチグラーの魅力向上と商店街の活性化に取り組む。	イ	1	24	11	25	3	19,100	19,100	15,280		3,820			3	3	(8)	イ	

- 注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所		備考		
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外経費							
					A			B	C	負担額			G						
								D	E	F	G								
56	人・地球にやさしいミスト事業	観光地としてのグレードアップ及び誘客効果と環境負荷低減等のため、ミスト発生器をイベント時や公共施設等において実証実験を行う。	イ	1	24	7	24	12	4,640	4,640	3,712		928			3	3	(2)	ウ
57	那覇三大祭りを中心とした観光振興調査研究事業	観光都市としての魅力の発信力を高め、集客の目玉として活用するため、市を代表する祭り（那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭）を活かす事業展開について調査研究を行う。	イ	1	25	1	25	3	9,975	9,975	7,980		1,995			3	3	(2)	ウ
58	那覇市みどり実施計画事業	観光都市としての景観・美観の創出・継承のため、本市の緑化推進のための具体的方策となる実施計画を策定する。	イ	1	24	11	25	2	8,000	8,000	6,400		1,600			3	1	(6)	イ
59	びんがた体験型観光施設基本構想調査事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、伝統工芸品である琉球びんがたを活かした体験型観光施設の整備に向けた基本構想を策定する。	イ	1	24	10	25	3	4,401	4,401	3,520		881			3	1	(4)	ウ
60	壺屋地区まちづくり総合計画推進事業	観光都市としての景観・美観の創出のため、「やちむんの里」壺屋において、陶器関連産業再生のための調査と沖縄らしい美しい街並みの再生・創出に向けた総合的なまちづくり調査を実施する。	イ	1	24	9	25	3	6,423	6,423	5,138		1,285			3	1	(5)	ア
61	景観まちづくり推進事業	観光都市としての景観・美観の再生・創出・継承のため、①景観向上行動計画策定②景観重要公共施設調査等③新重点地区指定基礎調査④景観資源保全業務⑤屋外広告物実態調査などを実施する。	イ	3	24	10	27	3	39,761	39,761	31,808		7,953			3	1	(6)	ア
62	新垣家住宅登録保存活用計画策定事業	観光都市としてのグレードアップを図るため、本市伝統工芸の郷・壺屋地区の新垣家住宅登録をシンボルとして保存活用するための計画を策定する。	イ	1	24	7	25	3	2,730	2,730	2,184		546			3	1	(5)	ア
2	那覇市の水産・農業振興活性化推進事業	本事業では、我が沖縄県の風土や自然の生み出した農業、水産業について、観光や流通、そして個性ある特産品を活かした事業展開によって、振興発展に取り組むものである。具体的には、以下の施策に取り組む。 ①マグロを中心とする近海漁業の振興のための施設整備、観光との連携（水産） ②カガンジデークニなどの伝統野菜やハーブ等亜熱帯気候を活かした特産品づくりと生産・消費拡大による振興発展（農業）	ハ	10	24	7	34	3	158,789	145,233	116,185		29,048		13,556	3	3	(12)	
①	市魚マグロ等水産物流通支援事業	マグロを中心とする近海漁業の振興のため、市魚であるマグロの解体ショーなど、水産物の流通と観光的観点を絡めたイベント等の開催や流通設備の整備を行う。	ハ	10	24	10	34	3	74,282	64,806	51,844		12,962		9,476	3	3	(7)	イ
②	中層浮漁礁設置強化事業	本市の漁業振興を図るため、沖縄独特のマグロ漁法である浮漁礁設置に対して補助を行う。船舶の航行に支障がなく耐久性に優れた中層浮漁礁を設置し、市魚マグロを中心とする水産業の振興を行う。	ハ	1	24	7	25	3	30,776	30,000	24,000		6,000		776	3	3	(7)	カ
③	那覇市沿岸漁協施設整備事業	本市産業の振興発展を図るため、那覇市沿岸漁協施設の整備に対して補助を行い、水産業の振興を行う。	ハ	1	24	9	25	3	2,993	2,395	1,916		479		598	3	3	(7)	カ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項目
														D	E	F					
④	泊セリ市場環境整備事業	本市産業の振興発展を図るため、泊セリ市場の改修に対する補助を行い、水産業の振興と合わせて観光拠点化についても考慮した取り組みを行う。	ハ	1	24	9	25	3	11,031	8,825	7,060		1,765		2,206	3	3	(7)	カ		
⑤	漁船近代化機械設置推進補助	本市産業の振興発展を図るため、本市漁船の近代化装備に対する支援を行い、水産業の振興を行う。	ハ	10	24	10	34	3	8,000	8,000	6,400		1,600			3	3	(7)	カ		
⑥	那覇市農業振興事業	本市産業の振興発展を図るため、農機具及びビニールハウス、簡易井戸の設置・購入にかかる経費に対する支援を行い、農業振興を行う。	ハ	10	24	9	34	3	22,500	22,500	18,000		4,500			3	3	(7)	エ		
⑦	地産地消推進事業	本市産業の振興発展を図るため、伝統野菜の生産拡大、地元野菜の利用推進に向けた取り組みを行い、本市農業の振興を行う。	ハ	3	24	9	27	3	5,669	5,669	4,535		1,134			3	3	(7)	イ		
⑧	農産物直売支援事業	本市産業の振興発展を図るため、地元野菜を使用した加工商品製造機械導入への補助と、第6次産業につながる活動の推進及び商品認知度向上への支援を行う。	ハ	1	24	9	25	3	1,240	1,200	960		240		40	3	3	(7)	イ		
⑨	亜熱帯農作物加工支援事業	本市産業の振興発展を図るため、ハーブの一種であるバジルを原料としたバジルソースの生産加工機材整備に対する支援を行い、本市農業の振興を行う。	ハ	1	24	10	25	3	2,298	1,838	1,470		368		460	3	3	(7)	イ		
3	沖縄の伝統工芸、地元産業の振興推進事業	本事業では、沖縄の伝統や立地条件等を活かした産業や商業の振興と企業誘致、そして観光と連携した産業の振興発展に取り組む。具体的には、以下に取り組む。 ①壺屋焼などの伝統産業の振興 ②加工食品を含む特産品の県外・海外に向けた販路拡大、マチグワの観光面も含めた調査研究、県外企業誘致活動	ニ	10	24	7	34	3	82,311	62,311	49,848		12,463		20,000	3	3	(8)			
②	農連市場相対売り継承調査事業	本市産業の振興発展を図るため、マチグワの象徴である「相対売り」等の歴史的・文化的特徴を生かした商業形態継承するための調査事業へ補助を行う。	ニ	2	24	8	26	2	12,000	6,000	4,800		1,200		6,000	3	3	(8)	イ		
③	中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業	本市産業の振興発展を図るため、市内の中小企業事業者が新規開発した商品・サービスを県外・海外への販路拡大する取り組みに対して助成などの支援を行う。	ニ	10	24	8	34	3	44,929	30,929	24,743		6,186		14,000	3	3	(8)	ア		
④	企業誘致促進優良オフィス認定事業	本市への企業誘致を推進するため、企業の向けの優良賃貸事務所等の情報を掲載するWebを作成する。	ニ	1	24	10	25	3	13,982	13,982	11,185		2,797			3	3	(3)	ア		
⑤	企業誘致活動サポート事業	本市への企業誘致を推進するため、企業誘致専門家による調査分析並びに誘致方針の検討と各種誘致活動の展開を行う。	ニ	1	24	9	25	3	10,000	10,000	8,000		2,000			3	3	(3)	ア		
⑥	那覇の物産展推進事業	本市産業の振興発展を図るため、那覇の物産展を開催する。本市の特産品の需要拡大と販路の開拓を促進するためPRして、産業の振興を行う。	ニ	10	24	9	34	3	1,400	1,400	1,120		280			3	3	(9)	イ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
										B	C	負担額							
												D				E	F		
交付金交付額			負担額																
4	海外と日本各地を結ぶアジアの国際物流拠点、港湾施設整備事業	本事業は、海外と日本各地を結ぶ国際物流拠点として整備発展が期待される那覇港の機能拡充に努めることにより、沖縄・那覇市の振興と発展に取り組むものである。	ニ	2	24	7	26	3	262,504	262,504	210,002		52,502			3	3	(4)	7
①	ガントリークレーン整備事業	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、免震機能付ガントリークレーンを整備する。	ニ	2	24	7	26	3	120,000	120,000	96,000		24,000			3	3	(4)	7
②	リーファー電源整備事業	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、年々需要が増大しているリーファーコンテナ（低温輸送が必要な冷凍コンテナ等）に対応するリーファー電源を増設する。	ニ	1	24	7	25	3	36,000	36,000	28,800		7,200			3	3	(4)	7
③	那覇港生活物資安定供給対策事業（浦添ふ頭防風対策事業）	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、浦添ふ頭へ防風柵を設置し、新港埠頭の混雑解消と物流サービスの向上を図る。	ニ	1	24	8	25	3	78,000	78,000	62,400		15,600			3	3	(1)	7
④	那覇港物流ビジネスモデル導入事業	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充に資するため、「那覇港ビジネスモデル」の提案及び「空コンテナ」対策など那覇港物流ビジネスモデル導入に向けた取り組みを行う。	ニ	1	24	7	25	3	11,867	11,867	9,493		2,374			3	3	(4)	7
⑤	那覇港総合物流センター可能性調査事業	国際物流拠点としての那覇港の機能拡充を図るため、総合物流センター設置に向けた可能性調査を調査する。	ニ	1	24	8	25	3	16,637	16,637	13,309		3,328			3	3	(4)	7
5	活き活き人材育成・雇用促進事業	本事業は、沖縄の厳しい雇用状況（高い失業率）に鑑みて、市民の就業支援と本県でニーズの多い業界、分野等で求められている人材育成を支援するための取り組みを多角的に行い、雇用面から沖縄の振興に取り組むものである。 具体的には、以下の施策に取り組む。 ① I T 関連業界、コールセンター業界のニーズに応えられるスキル等を持った人材育成と就職支援（人材育成） ② 就職に向けた学生、生徒の意識啓発、モチベーション向上の取り組み（学生人材育成） ③ 就職に向けた相談体制の拡充（雇用促進）	ハ	10	24	7	34	3	99,275	99,275	79,417		19,858			3	3	(10)	
①	（就労者向け） I T フォローアップ人材養成事業	市民の就業支援と本県でニーズの多い I T 業界で求められている人材育成を支援するため、 I T 業界に勤める方を対象としたスキル習得研修を開催する。	ハ	1	24	11	25	3	55,464	55,464	44,371		11,093			3	3	(3)	ウ
②	コールセンター人材育成及びマッチング支援事業	市民の就業支援と本県でニーズの多いコールセンター業界で求められている人材育成を支援するため、アンケート調査を実施する。	ハ	10	24	9	34	3	2,000	2,000	1,600		400			3	3	(3)	ウ
③	I T 業界を知る講座（高校・大学生向け）	市民の就業支援を行うため、高校生や大学生向けに、 I T 業界の職種や職場環境を理解する講座を開催し、将来の就職につなげる。	ハ	1	24	10	25	3	1,906	1,906	1,524		382			3	3	(3)	ウ
④	中学生のための仕事と社会について考える講座事業	市民の就業支援を行うため、中学生を対象に将来の進路選択についての体験・参加型講座、講演会等を開催する。	ハ	1	24	11	25	3	5,013	5,013	4,010		1,003			3	5	(3)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考				
					事業 初期	事業 終期		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目			
											沖縄県	市町村								その他		
																					D	E
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月													
⑤	訪問介護員（ホームヘルパー）養成事業	市民の就業支援と本県でニーズの多い訪問介護のための人材育成を支援するため、生活保護受給者や失業者等を対象に、訪問介護員2級資格を取得するための講座を実施する。	へ	10	24	9	34	3	20,981	20,981	16,784				4,197			3	3	(10)	7	
⑥	なはし就職なんでも相談センター事業	市民の就業支援を行うため、民間人材サービス会社のノウハウを最大限に活用した就職相談の実施、各種就職支援セミナーの開催、求人情報の提供等を行う。	ホ	10	24	7	34	3	8,119	8,119	6,495				1,624			3	3	(10)	7	
⑦	人材育成施設整備基本構想策定事業	将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設整備のため、公民館、図書館、教育研究所等の施設整備についての基本計画を策定する。	ホ	1	24	9	25	3	5,792	5,792	4,633				1,159			3	5	(2)	1	
6	なはが好き！子どもの笑顔が輝く教育のまち推進事業	本事業では、低迷する学力や低所得、離島県としての過大負担などの課題へ対応しつつ、自然を愛し伝統文化を大切にすることを育て、将来の沖縄の振興発展に資する、希望と夢にあふれる人材を育むため、以下の施策に取り組む。 ①将来の沖縄振興に資する人材育成をめざして、学力の向上に取り組む。（学力向上） ②将来の沖縄振興を念頭に、語学力や国際感覚の涵養等に取り組む。（外国語力） ③教育の振興のため、特別な支援が必要な子どもたちに対する支援策の拡充に取り組む。（特別支援） ④将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、相談や支援策の拡充に取り組む。（健全育成） ⑤将来の沖縄を代表する人材育成のため、スポーツや文化活動に対する施策の拡充と展開に取り組む。（スポーツ・文化） ⑥沖縄の様々な特殊事情により対応できなかった施設の整備、改修等に取り組む。（施設整備）	チ	10	24	6	34	3	1,117,228	1,110,834	888,653				222,181			6,394	3	5	(3)	
①	基礎学力向上のための学習支援事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内小学校に退職教員等を活用したチーム・ティーチング形式での小3算数を中心とした学力向上支援を行う。	チ	10	24	8	34	3	9,448	9,448	7,558				1,890				3	5	(3)	7
②	電子黒板整備事業（小学校）	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、小学校に電子黒板を整備し、児童の興味関心を引き出し集中力を高める、分かりやすい授業環境を整える。	チ	1	25	1	25	3	50,927	50,927	40,741				10,186				3	5	(4)	7
③	電子黒板整備事業（中学校）	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、全中学校に電子黒板を整備し、生徒の興味関心を引き出し集中力を高める、分かりやすい授業環境を整える。	チ	1	25	1	25	3	201,541	201,541	161,232				40,309				3	5	(4)	7
④	小学校英語指導員配置事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、英語指導員を各校に配置し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	チ	10	24	8	34	3	54,024	54,024	43,219				10,805				3	5	(4)	7
⑤	中学校英語指導員配置事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内中学校に英語指導員を派遣し、長期的な英語指導を通したコミュニケーション能力の育成と国際感覚の涵養を図る。	チ	10	24	8	34	3	17,037	17,037	13,629				3,408				3	5	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
										B	交付金交付額			C	負担額				
											沖縄県	市町村			その他		D	E	F
⑥	特別支援教育充実事業(小・中学校)	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各学校へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	チ	10	24	12	34	3	30,187	30,187	24,149		6,038			3	5	(3)	ウ
⑦	特別支援教育充実事業(幼稚園)	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、特別支援員を各幼稚園へ派遣し、臨床心理士や認定就学巡回指導員と連携した支援体制の充実を図る。	チ	10	24	12	34	3	12,837	12,837	10,269		2,568			3	5	(3)	イ
⑧	特別支援教育充実事業(幼稚園預かり保育)	教育の振興を図るため、特別に支援を要する児童生徒に対し、教育課程に係る時間の終了後に行う午後の教育時間に対応した特別支援員を各幼稚園へ派遣する。	チ	10	24	12	34	3	4,907	4,907	3,925		982			3	5	(3)	イ
⑨	学習支援事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、不登校等や巡回指導時に支援が必要と判断した児童生徒を対象に、臨時教諭による学習支援を行い、高校進学率の向上に取り組む。	チ	10	24	8	34	3	4,248	4,248	3,398		850			3	5	(3)	ア
⑩	学習ボランティア支援事業	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、退職教員等を活用した学習ボランティアによる学習支援の取り組みを行う。	チ	10	24	8	34	3	1,530	1,530	1,224		306			3	5	(3)	ア
⑪	学校サポートチーム支援員活用事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、自立支援教室を設置し、学校の中では対応の難しい児童生徒に対する体験学習等を通じた登校復帰を促す取り組みを行う。	チ	10	24	8	34	3	7,466	7,466	5,972		1,494			3	5	(1)	ア
⑫	教育相談支援事業	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、教育相談支援員を小中学校に配置し、不登校や保護者の相談、支援に取り組む。	チ	10	24	8	34	3	23,328	23,328	18,662		4,666			3	5	(3)	イ
⑬	メンタルヘルスカウンセリング事業	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、児童生徒や保護者及び教師に対して、カウンセラーによるメンタル相談及び支援を行う。	チ	10	24	8	34	3	16,606	16,606	13,284		3,322			3	5	(3)	イ
⑭	青少年旗頭事業	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成のため、那覇の伝統文化である旗頭を活用した文化活動を立ち上げ、青少年の居場所づくりや地域との絆づくり、そして文化の継承・発展に取り組む。	チ	10	24	6	34	3	8,240	8,240	6,592		1,648			3	5	(1)	ア
⑮	那覇市児童生徒県外交流事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、他県との交流が少ない離島県である本市の児童生徒を県外へ派遣し、派遣先との交流を行う。	チ	10	24	9	34	3	4,620	4,620	3,696		924			3	5	(2)	ア
⑯	街頭指導事業	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、指導員による日中及び夜間の巡回指導活動を行い、青少年の非行防止に取り組む。	チ	10	24	8	34	3	12,233	12,233	9,786		2,447			3	5	(1)	ア
⑰	生徒サポーター派遣事業	将来の沖縄振興に資する人材の健全育成と教育の振興・学力向上のため、学校内教育支援室を設置して、非行傾向の生徒の居場所を作り、自立支援、学級復帰に取り組む。	チ	10	24	8	34	3	10,431	10,431	8,344		2,087			3	5	(3)	イ
⑱	スポーツ広場整備事業	スポーツコンベンションとしての本市の機能拡充と、将来の沖縄振興に資する人材の育成に有益な施設としてスポーツ広場を整備する。	チ	2	24	5	26	3	38,549	38,549	30,839		7,710			3	2	(1)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考			
					年	月	年	月	A	B	C	負担額					G		
					交付対象事業費		交付対象外経費					沖縄県 D	市町村 E	その他 F					
					交付金交付額		交付対象外経費												
19	児童のスポーツ県外派遣補助金	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童及び少年チームのスポーツ活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	チ	10	24	9	34	3	4,868	2,434	1,947		487		2,434	3	5	(4)	イ
20	児童・生徒の県外派遣旅費補助金（大会派遣）	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市・県を代表する児童・生徒の文化活動を含む部活動に対して、県外大会派遣費用の助成を行う。	チ	10	24	9	34	3	7,920	3,960	3,168		792		3,960	3	5	(4)	イ
21	離島等自然体験学習事業 自然教室	将来の沖縄振興に資する人材育成のため、市内全小学校5年生を対象に、自然体験活動を行う。	チ	10	24	6	34	3	9,710	9,710	7,768		1,942			3	5	(3)	イ
22	幼稚園冷房機設置事業	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、幼稚園舎に冷房機を設置する。	チ	3	24	8	27	3	27,605	27,605	22,084		5,521			3	2	(2)	イ
23	小学校施設環境整備事業（冷房設置）	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、小学校施設に冷房機を設置する。	チ	5	24	7	25	3	76,236	76,236	60,988		15,248			3	5	(3)	ウ
24	中学校施設環境整備事業（冷房設置）	気温の高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、中学校施設に冷房機を設置する。	チ	5	24	7	25	3	17,971	17,971	14,376		3,595			3	5	(3)	ウ
25	幼稚園施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、園舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	チ	3	24	9	27	3	32,005	32,005	25,604		6,401			3	2	(2)	イ
26	小学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、小学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	チ	10	24	7	34	3	102,412	102,412	81,929		20,483			3	5	(3)	ウ
27	中学校施設老朽化抑制事業（塩害防止・長寿命化）	塩害による学校校舎等の劣化問題に対応するため、中学校校舎外壁面の塩害防止・長寿命化のための塗装対応を行う。	チ	10	24	7	34	3	50,000	50,000	40,000		10,000			3	5	(3)	ウ
28	園舎剥離補修業務事業	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化園舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	チ	1	24	8	25	3	6,778	6,778	5,422		1,356			3	2	(2)	イ
29	校舎等剥離補修業務事業（小学校）	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化小学校校舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	チ	2	24	6	26	3	67,747	67,747	54,197		13,550			3	5	(3)	ウ
30	校舎等剥離補修業務事業（中学校）	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、塩分規制以前の老朽化中学校校舎の剥落防止、腐食防止並びに断面欠損部の修復を含めた剥離補修を行う。	チ	2	24	6	26	3	53,562	53,562	42,849		10,713			3	5	(3)	ウ
31	学校施設劣化調査業務事業（小学校）	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、小学校校舎の劣化状況の調査を行う。	チ	1	24	7	25	3	40,839	40,839	32,671		8,168			3	5	(3)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考			
					年	月	年	月	A	B	C	負担額					G		
					交付対象事業費		交付金交付額					沖縄県 D	市町村 E	その他 F					
32	学校施設劣化調査業務事業（中学校）	塩害による学校校舎等の劣化に基因する剥離に対応するため、中学校校舎の劣化状況の調査を行う。	チ	1	24	7	25	3	20,410	20,410	16,328		4,082			3	5	(3)	ウ
33	幼稚園等施設遮熱・紫外線対策強化事業	亜熱帯気候等に対応した子育て施策の拡充を行うため、亜熱帯気候下での保育環境を確保できるよう、幼稚園施設等の窓ガラスに防災面での配慮も兼ねた紫外線対策フィルム等を整備する。	チ	1	24	10	25	3	54,063	54,063	43,249		10,814			3	2	(2)	イ
34	老朽化校舎解体工事事業（若狭小学校）	塩分規制以前の海砂使用による学校校舎等の劣化に対応するため、若狭小学校の老朽化校舎を解体撤去し、児童の安心・安全の確保を図る。	チ	1	24	7	25	3	36,943	36,943	29,554		7,389			3	5	(3)	ウ
7	伝統文化と新たな文化創造の発信都市へ！文化のまち推進事業	本事業では、沖縄の伝統文化の継承発展とそこから生まれる新たな文化発信の息吹を沖縄の振興発展に繋げていくため、以下の施策に取り組む。 ①沖縄振興に資する伝統文化の継承発展、市民文化の発信のため、イベントや公演事業を行う。（文化発信・イベント） ②沖縄振興に資する伝統文化継承のため、啓発活動等を行う。（伝統文化継承） ③歴史的にも史料価値が高い郷土資料の整備を行う。（施設整備） ④沖縄振興に資する文化発信拠点となる施設の整備と機能強化を行う。（史跡整備） ⑤沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、貴重な文化財等の保存整備を行う。	リ	10	24	6	34	3	364,129	364,089	291,266		72,823		40	3	1	(4)	
①	伝統芸能公演事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊等の本県伝統芸能の公演会を行う。	リ	10	24	7	34	3	4,872	4,872	3,897		975			3	1	(4)	エ
②	市民文化発信事業	沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇等を通じた市民文化活動の発表と発信に取り組む。	リ	10	24	6	34	3	3,184	3,184	2,547		637			3	1	(4)	エ
③	ハイサイ啓発推進事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチによる案内人を庁舎内に配置し、ウチナーグチの啓発活動を行う。	リ	1	24	9	25	3	2,700	2,700	2,160		540			3	1	(4)	フ
④	島クトゥバ継承・普及小冊子製作事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、島クトゥバ小冊子を製作し、小中学校の児童・生徒に配布して、学校及び家庭での積極的な活用を推進する。	リ	1	24	12	25	3	9,860	9,860	7,888		1,972			3	1	(4)	フ
⑤	琉球伝統芸能継承発展事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、伝統芸能楽器を青少年健全育成関係団体等へ貸出し、子ども達が伝統芸能に触れる機会を広く提供する。	リ	1	24	7	25	3	3,117	3,117	2,493		624			3	5	(1)	フ
⑥	伝統芸能・文化の継承発展補助事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存・継承に関わる活動に対して補助を行う。	リ	10	24	6	34	3	2,000	2,000	1,600		400			3	1	(4)	エ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
										B	C			D	負担額				
											E	F			市町村		その他		
⑦	那覇市舞台芸術体験事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。	リ	10	24	7	34	3	5,415	5,415			4,332			1,083			
⑧	伝統文化継承種まき事業	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣して伝統文化の継承に取り組む。	リ	10	24	9	34	3	1,631	1,631	1,304		327			3	2	(2)	ウ
⑨	子どもが輝くまちづくり事業	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。	リ	10	24	8	34	3	753	713	570		143	40		3	5	(4)	イ
⑩	郷土資料整備事業	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、郷土資料の充実と、「琉米文化会館」資料として引き継いだ映像資料のDVD化を行い利活用の促進を図る。	リ	10	24	6	34	3	73,300	73,300	58,640		14,660			3	1	(4)	エ
⑪	壺屋の歴史・文化発信事業	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、県外に流出した沖縄固有の貴重な文化財である厨子甕を購入し、壺屋焼物博物館にて展示公開する。	リ	1	24	7	25	3	18,518	18,518	14,814		3,704			3	1	(4)	エ
⑫	琉球国王「王冠」複製事業	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、歴史博物館で保存している国宝指定の尚家資料の象徴である王冠の複製品を作成し、常設展示する。	リ	1	24	6	25	3	19,467	19,467	15,573		3,894			3	1	(4)	ア
⑬	文化芸術発信拠点施設整備事業(壺屋焼物博物館)	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、壺屋焼物博物館の空調設備を改修し、観光施設としての機能強化を図る。	リ	1	24	7	25	3	49,439	49,439	39,551		9,888			3	1	(4)	ウ
⑭	文化芸術発信拠点施設整備事業(パレット)	沖縄振興に資する文化発信拠点としてパレット市民劇場、パレット市民ギャラリーの改修を行い、文化発信拠点として機能強化を図る。	リ	2	24	7	26	3	112,058	112,058	89,646		22,412			3	1	(4)	ウ
⑮	文化芸術発信拠点施設整備事業(市民会館)	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の文化芸術発信拠点施設である市民会館の備品整備と充実を図り、機能強化を行う。	リ	2	24	9	26	3	46,139	46,139	36,911		9,228			3	1	(4)	ウ
⑯	新文化芸術発信拠点施設整備事業	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本構想の策定を行う。	リ	7	24	7	31	3	8,289	8,289	6,631		1,658			3	1	(4)	ウ
⑰	崎山御嶽修復事業	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(史跡)「崎山御嶽」を整備し、観光資源としても活用できるようにする。	リ	1	24	6	25	3	1,014	1,014	811		203			3	1	(5)	ア
⑱	崎山樋川修復事業	沖縄振興に資する伝統文化を継承するため、市指定文化財(史跡)「崎山樋川」の整備を行い、観光資源としても活用を図る。	リ	2	24	6	26	3	2,373	2,373	1,898		475			3	1	(5)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
										B	交付金交付額			C					
											沖縄県	負担額 市町村			その他		D	E	F
8	ちゅい助き助き沖繩のチムグクル福祉のまちづくり事業	本事業は、沖縄振興に資する、沖縄らしい人にやさしい社会の構築と、米軍統治下で整備が遅れた保育環境や、低所得県故の共働き世帯の多さ、亜熱帯気候等に対応した子育て施策の拡充を行うため、認可外保育施設及び児童クラブへの支援と環境整備を行うものである。	ヌ	10	24	8	34	3	73,053	66,414	53,130		13,284		6,639	3	2	(2)	
①	認可外保育施設の環境整備事業	米軍統治下で整備が遅れた保育環境に対応した子育て施策の拡充を行うため、県の補助対象外となっている市内認可外保育施設の改修費に対して補助を行う。	ヌ	10	24	10	34	3	52,999	50,499	40,399		10,100		2,500	3	2	(2)	イ
②	児童クラブ賃借料補助金	低所得県故の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、民間施設等を賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う。	ヌ	10	24	8	34	3	15,680	11,541	9,232		2,309		4,139	3	2	(2)	イ
③	放課後児童クラブ支援事業	低所得県故の共働き世帯の多さ等に対応した子育て施策の拡充を行うため、アンケート調査によるニーズ調査・研究を行うとともに、発足まもない児童クラブの指導員にかかる人件費の補助を行う。	ヌ	10	24	8	34	3	4,374	4,374	3,499		875			3	2	(2)	イ
9	万国津梁、世界に広がるウチナンチュネットワークの拡充事業	本事業は、琉球王朝時代から中国など海外交易で栄えてきた本市の歴史的経緯と文化的繋がり、あるいは戦前戦後の海外移民の歴史を踏まえて、本市と関連が深い国や地域との交流関係を広げて、沖縄の振興と発展を海外とのネットワーク強化により行うものである。また、海外から訪れる外国人や本市・本県出身者2世等に対する本市情報発信のための施策展開を行うものである。	カ	10	24	11	34	3	4,922	4,922	3,937		985			3	4	(1)	
①	那覇市・福州市児童生徒交流祭シンポジウム事業	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、当該事業の児童生徒OB・OGとの意見交換会や、人材育成を目的としたシンポジウムを開催する。	カ	1	24	11	25	3	1,969	1,969	1,575		394			3	4	(1)	イ
②	海外移住那覇市出身者研修受入事業	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世・3世らを研修生として受け入れる。	カ	10	25	1	34	3	1,153	1,153	922		231			3	4	(1)	イ
③	外国人向け情報多言語化事業	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、外国人向けに本市HPを多言語化して情報発信を行う。	カ	1	24	12	25	3	1,800	1,800	1,440		360			3	4	(1)	イ
10	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業	本事業は、市内に残された米軍基地問題の解決のため、取り組む事業である。那覇軍港の跡地利用計画策定に向けた取り組みを推進することで、将来的な軍用地の返還に向けた動きを積極的に推し進め、再開発を通じた跡地利用を本市のまちづくりの観点から総合的に推進するためのものである。	ヨ	10	24	10	34	3	5,000	5,000	4,000		1,000			3	3	(13)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					開始	終了	交付対象事業費			交付対象外経費										
					年	月	年	月	A		B	C	負担額							
													D			E	F	G		
11	離島があつて那覇がある、連携共存共栄事業	本事業は、県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして、離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜の4つの離島へ市民観光客を誘客、あるいは本市児童生徒を交流促進のため派遣するとともに、市町村共同利用型ポータルサイトのコンテンツとして、4離島の紹介動画コンテンツ等を制作実装して、情報発信を行うものである。本市は、その反響効果による市内観光振興等が期待され、これにより、離島との共存共栄による沖縄全体の振興発展を推進する。	タ	10	24	7	34	3	79,692	78,492	62,793			15,699		1,200	3	3	(12)	
①	離島連携事業	県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜の4つの離島と連携事業を行い、4村との交流強化に取り組む。	タ	3	24	7	27	3	46,097	44,897	35,917			8,980		1,200	3	3	(12)	オ
②	「Okinavita(オキナヴィータ)」動画コンテンツ制作及び配信システム構築事業	県都・那覇の持つ情報発信力等を活用し離島の振興発展を支援するため、市町村共同利用型ポータルサイトに、本市と船舶航路で結ばれている離島4島の観光・自然体験をテーマとした紹介用動画を制作実装する。	タ	1	24	11	25	3	23,745	23,745	18,996			4,749			3	3	(12)	ア
③	離島体験学習支援事業	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内中学生を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。	タ	10	24	7	34	3	9,850	9,850	7,880			1,970			3	3	(12)	オ
12	環境共生都市の構築推進事業	本事業は、沖縄の振興と発展に資するため、沖縄の豊かな自然環境保全や環境負荷の低減、資源循環型社会実現等による環境共生都市の実現を目指すためのものである。 具体的には、以下の事業である。 ①環境負荷の低減に向けた意識啓発活動。(意識啓発) ②沖縄の豊かな自然環境保全のため、緑のカーテン、屋上壁面緑化等を推進する事業。(都市緑化) ③環境共生都市の実現のため、環境負荷低減につながるEV車をPR効果の高いごみ処理関係で導入する事業。(機材整備) ④沖縄の豊かな環境保全に取り組むため、計画づくり、水環境整備他に取り組む。(その他)	レ	10	24	7	34	3	305,504	303,268	242,612			60,656		2,236	3	1	(3)	
①	環境フェアの開催事業	沖縄の豊かな自然環境保全や環境負荷の低減、資源循環型社会実現等による環境共生都市の実現を目指すため、環境全分野にまたがる市民意識啓発事業として環境フェアを開催する。	レ	1	24	8	25	2	6,381	6,381	5,104			1,277			3	1	(1)	オ
②	リユース食器活用促進事業	資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。	レ	1	24	11	25	3	1,712	1,712	1,369			343			3	1	(2)	ア
③	モノレール沿線ベランダ緑化促進事業	沖縄の豊かな自然環境保全のため、緑のカーテンや屋上緑化のためのプランター等をモノレール沿線地域に無料配布し、亜熱帯をイメージさせる都市景観の形成に取り組む。	レ	2	24	8	25	10	65,184	65,184	52,147			13,037			3	1	(6)	イ
④	EV、PHV、ハイブリッド・電動ごみ収集車等導入事業	環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、環境意識啓発のラッピングを行ったEV、PHV、ハイブリッド・電動ごみ収集車等を導入する。	レ	1	24	9	25	3	203,715	203,715	162,972			40,743			3	1	(3)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所				備考		
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G								
										B	C	負担額									
												沖縄県D		市町村E	その他F						
													章 節 項 目								
⑤	資源化車輛購入事業	環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、負荷低減のPRとなる電動式フォークリフトを導入する。	レ	1	24	8	24	12	6,437	6,437	5,149			1,288				3	1	(2)	7
⑥	観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域環境保全・創造事業	沖縄の豊かな自然環境保全のため、亜熱帯・島嶼地域の豊かで独自の自然環境を活かした環境基本計画を策定する。	レ	2	24	8	26	3	3,280	3,280	2,624			656				3	1	(3)	7
⑦	市内井戸・湧水等調査事業	沖縄の豊かな自然環境保全のため、市内の井泉・湧水・井戸の現況調査を実施して、今後の水資源有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料とする。	レ	2	24	8	26	3	15,519	15,519	12,415			3,104				3	1	(2)	7
⑧	水資源有効利用推進事業	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。	レ	10	24	7	34	3	3,276	1,040	832			208		2,236		3	1	(2)	7
13	安心安全な防災都市の構築推進事業	本事業は、地震や津波などの自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進する事業である。 具体的には、以下の事業に取り組む。 ①那覇空港、那覇港を有する市としての消防力強化のための資機材導入整備に取り組む。(空港・港湾施設対応) ②海拔表示板の整備など、災害に備えるための意識啓発、広報活動の拡充に取り組む。(広報・意識啓発) ③災害に備えた迅速な情報伝達施設の整備に取り組む。(情報施設整備) ④災害等、市民の安全安心確保と救命のための機材整備に取り組む。(機材整備) ⑤災害等、市民の安全安心確保と救命のための施設整備に取り組む。(施設整備) ⑥大規模災害時に備えて、必要となる備蓄品の整備拡充に取り組む。(備蓄)	レ	10	24	7	34	3	932,776	932,776	746,214			186,562				3	2	(4)	
①	化学消防ポンプ車整備事業	自然災害や米軍基地が集中することに伴う人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、航空機燃料の貯蔵取扱所等がある那覇空港での火災への対応を想定した化学消防ポンプ車を導入する。	レ	1	24	8	25	3	161,844	161,844	129,475			32,369				3	2	(4)	イ
②	多言語避難所標識設置事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、避難所案内の多言語標識を市内の観光地を中心に設置する。	レ	1	24	10	25	3	12,000	12,000	9,600			2,400				3	2	(4)	イ
③	海拔表示看板設置事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波発生時に備えた海拔表示看板を市内各地に設置する。	レ	1	24	8	25	3	840	840	672			168				3	2	(4)	イ
④	救命講座普及啓発推進事業	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。	レ	10	24	8	34	3	5,386	5,386	4,308			1,078				3	3	(2)	ウ
⑤	中学校区防災安心安全マップ作成事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波などの大規模災害への対応と、地域の危険箇所を確認できるよう、中学校区ごとに防災安心安全マップを作成して配布する。	レ	1	24	6	25	3	9,372	9,372	7,497			1,875				3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所				備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G									
										B	C			D	負担額							
											交付金交付額	沖繩県			市町村	その他	E	F				
⑥	防災行政無線整備事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市内全域をカバーする防災行政無線を小中学校に設置する。	レ	1	24	9	25	3	265,690	265,690	212,552			53,138					3	2	(4)	イ
⑦	小学校安心安全防災システム導入事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時に避難誘導等が円滑に行えるよう小学校全校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。	レ	1	24	11	25	3	91,907	91,907	73,525			18,382					3	2	(4)	イ
⑧	中学校安心安全防災システム導入事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時に避難誘導等が円滑に行えるよう中学校全校へ緊急地震速報端末及び無線機を整備する。	レ	1	24	11	25	3	36,086	36,086	28,868			7,218					3	2	(4)	イ
⑨	特殊災害対応資機材整備事業	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、特殊災害・大規模テロ災害が発生した場合を想定した必要資機材を整備する。	レ	1	24	12	25	3	47,759	47,759	38,207			9,552					3	2	(4)	イ
⑩	那覇市コンビニAEDステーション設置事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。	レ	1	24	11	25	3	39,841	39,841	31,872			7,969					3	3	(2)	ウ
⑪	災害対策機器整備事業	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進するため、災害時に医療救援活動を行うために必要となる備品を整備する	レ	1	24	11	25	3	17,298	17,298	13,838			3,460					3	2	(4)	イ
⑫	災害ボランティア中央センター等整備事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターに配置する備品の整備を行う。	レ	1	24	11	25	3	3,043	3,043	2,434			609					3	2	(4)	イ
⑬	応急給水用簡易貯水槽の購入事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時における応急給水時の給水拠点となる簡易式の貯水槽を整備する。	レ	1	24	11	25	3	4,274	4,274	3,419			855					3	2	(4)	イ
⑭	津波避難ビル建設事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、市の海拔が低い地域に避難困難者のための津波避難ビルを建設する。	レ	3	24	8	27	3	24,327	24,327	19,461			4,866					3	2	(4)	イ
⑮	大災害時における電力供給及び避難拠点の整備事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害時に備えて、環境施設組合の運営する施設を電力供給拠点及び一時避難場所として活用できるように整備する。	レ	1	24	12	25	3	108,787	108,787	87,029			21,758					3	2	(4)	イ
⑯	小学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の小中学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	レ	3	24	7	27	3	30,115	30,115	24,092			6,023					3	2	(4)	イ
⑰	中学校防災避難施設整備事業（校舎屋上）	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、低地帯の中学校校舎の屋上に手摺を設置して緊急避難施設となるよう整備する。	レ	3	24	7	27	3	15,000	15,000	12,000			3,000					3	2	(4)	イ
⑱	災害備蓄品整備事業	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害に備えた非常食糧等の備蓄品を購入し整備する。	レ	10	24	7	34	3	59,207	59,207	47,365			11,842					3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考						
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外経費										
					A			B			C			D	E		F	G				
					交付金交付額			負担額														
14	いい暮らしより楽しい暮らし、更なる沖縄の飛躍促進事業	本事業は、沖縄の抱える様々な特殊事情からもたらされる課題に対応することにより、安心・安全なまちづくりと、沖縄の振興に資する、住みよいまちづくりを推進するものである。 具体的には、以下の施策に取り組む。 ①大戦により地下に埋もれたままとされている不発弾処理や地下壕対策、沖縄戦の遺跡の保存事業、戦争により失われた戸籍の問題等の戦後処理にかかる事業、（平和の発信） ②長く続いた米軍統治下で生じた墓地問題、軍用地接収により生じたまちづくりや地域コミュニティの課題、鉄軌道等整備の遅れの問題へ対応するための事業、（戦後処理）	ソ	10	24	8	34	3	433,485	433,485	346,787					3	2					
①	戦争遺跡保存事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（沖縄戦）に対応するため、沖縄戦の弾痕が残る石壁を戦跡として保存整備し、平和学習等に活用する。	ソ	1	24	11	25	3	1,484	1,484	1,187				297				3	2	(5)	イ
②	『なぐやけ』整備事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（沖縄戦）に対応するため、戦後50周年事業の一環として建立された恒久平和モニュメント『なぐやけ』を再整備し、恒久平和の願いを発信する平和都市の記念碑とする。	ソ	1	24	11	25	3	4,935	4,935	3,948				987				3	4	(2)	ウ
③	ライナープレート整備事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（不発弾処理）に対応するため、処理までの保管と処理時の防護壁となるライナープレートを整備する。	ソ	1	24	11	25	3	2,360	2,360	1,888				472				3	2	(5)	イ
④	地下壕対策事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（地下壕）に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻を行う。	ソ	10	24	10	34	3	5,000	5,000	4,000				1,000				3	2	(4)	イ
⑤	戦略的交差点まちづくり推進事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（鉄軌道等整備の遅れ）に対応するため、カーフリー等の公共交通機関利用についての意識啓発イベント、自転車利用環境改善基礎調査等の市内公共交通環境再構築に向けた事業を行う。	ソ	10	24	8	34	3	41,629	41,629	33,303				8,326				3	1	(7)	ウ
⑥	亜熱帯庭園都市形成推進調査	沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収により生じたまちづくりの課題）に対応するため、道路、密集市街地、まちなか居住、下水道など環境改善の方針を定めるための基礎調査を行う。	ソ	10	24	8	34	3	30,440	30,440	24,352				6,088				3	2	(4)	イ
⑦	まちづくり拠点施設・ITインキュベーター施設整備事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（軍用地接収により生じた地域コミュニティの課題）に対応するため、まちづくりのための団体等の育成拠点と、産業振興と雇用拡大に資するITインキュベーター施設を整備する。	ソ	2	24	9	26	3	17,494	17,494	13,995				3,499				3	2	(7)	ア
⑧	良好な市街地形成に向けた共同墓（納骨壇及び合葬室）整備事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（墓地問題）に対応し、良好な市街地形成を図るため、識名霊園内北納骨堂の整備及び拡充を実施する。	ソ	2	24	11	25	12	330,143	330,143	264,114				66,029				3	1	(6)	ア
15	戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業	沖縄の抱える様々な特殊事情（戦争により失われた戸籍等の問題）に対応するため、戦災により滅失し、複製等された沖縄関係戸籍を電子データ化する。	ソ	2	24	8	26	3	74,996	74,996	59,996				15,000				3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位：千円)

地方公共団体名	宜野湾市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,590,000	1,590,000	-16,142	1,573,858

(単位：千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期 年 月	事業終期 年 月	総事業費					振興計画 該当箇所 章 節 項 目	備考		
							A	B	C	交付対象事業費				G	
										交付金交付額	負担額				
											沖縄県 D				市町村 E
合 計							2,030,553	2,022,225	1,573,858		448,367	8,328			
1	ねたての都市（まち）PR事業	観光地としての機能向上を図り観光誘客を推進するため、プロ野球キャンプ地である市立野球場やコンベンションセンターを中心に環境整備や防災対策、イベントの開催等を行う。	イ	10	24 6	34 3	216,748	216,748	160,034		56,714		3 3 (2)		
①	道路景観整備事業	プロ野球キャンプを活用した観光振興を図るため、横浜DeNAベイスターズがキャンプを行う市立野球場及び海浜公園から国道58号線までの市道を整備する。	イ	1	24 7	25 3	32,865	32,865	26,292		6,573		3 3 (2) ヲ		
②	はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業	市民意識の高揚と親睦を図りつつ、地域活性化及び商工・観光振興の観点から「はごろも祭りカチャーシー大会」を支援する。	イ	10	24 6	34 3	17,053	17,053	13,642		3,411		3 3 (2) 7		
③	海拔表示板設置事業	安心・安全な観光地として、海岸近くのコンベンションエリアを訪れる観光客や地域住民に津波に関する情報を提供するため、消火栓、電柱、信号機に海拔表示板を設置する。	イ	1	24 7	25 3	2,325	2,325	1,500		825		3 3 (2) ヲ		
④	風景づくり推進事業	観光振興の観点から、自然と都市が調和した環境整備を図るため、景観計画を策定する。	イ	1	24 7	25 3	6,583	6,583	5,000		1,583		3 1 (6) 7		
⑤	企画展開催事業	市民や観光客に宜野湾市への理解を深めてもらうため、普天間飛行場をとりまく歴史を中心に企画展を開催する。	イ	10	24 6	34 3	3,624	3,624	2,400		1,224		3 3 (2) 7		
⑥	宜野湾市産業まつり	市の特産品のPR及び産業振興を図るため、宜野湾市産業まつりの開催を支援する。	イ	10	24 6	34 3	4,000	4,000	3,200		800		3 3 (9) イ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所			備考			
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費						G		
					交付金交付額			負担額												
								沖縄県	市町村	その他	D	E	F							
⑦	文化財説明板・標識設置事業	観光振興及び文化教育に資するため、市登録・指定文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板（ふるさと案内板）」を設置する。	イ	1	24	6	25	3	1,474	1,474	1,000			474			3	3	(2)	ウ
⑧	救助艇（ボート）等購入事業	市民や観光客の安心・安全を確保するため、年間32万人が利用するトロピカルビーチの最寄にある消防署に救助艇を設置し防災力の強化充実を図る。	イ	1	24	6	25	3	7,191	7,191	5,000			2,191			3	2	(4)	イ
⑨	プロ野球キャンプ野球場施設整備事業	観光振興の観点から、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である市立野球場の外野芝の張替え等整備を行い、施設の機能向上を図る。	イ	1	24	6	25	3	95,435	95,435	70,000			25,435			3	3	(2)	ウ
⑩	防災行政無線整備事業	災害情報の伝達手段を確保し、住民や観光客の迅速な避難行動に繋げるため、観光施設が集中する西海岸地域における防災行政無線子局、戸別無線機等の整備を行う。	イ	1	24	7	25	3	46,198	46,198	32,000			14,198			3	2	(4)	イ
2	地域社会とともに学ぶ育・む人材育成事業	心身ともに健全な児童生徒を育成するため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、巡回指導員、学習支援員等を配置する。また、不登校児童の適応を促進するため各種事業を実施する。	チ	10	24	7	34	3	35,841	32,028	21,090			10,938		3,813	3	5	(3)	
①	スクールカウンセラー活用事業	不登校やいじめ等の教育問題について、学級担任、児童生徒、保護者等が連携して取り組めるよう相談業務を充実させるため、市内4小学校に定期的にスクールカウンセラーを派遣する。	チ	10	24	7	34	3	1,782	1,782	1,176			606			3	5	(3)	イ
②	スクールソーシャルワーカー活用事業	不登校児童生徒の復学を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。	チ	10	24	7	34	3	3,039	3,039	2,131			908			3	5	(3)	イ
③	適応指導教室事業	不登校児童生徒の学校適応を促進するため、児童生徒の居場所づくりとして宿泊学習、自然体験学習及び他校との交流体験活動を実施するほか、不登校児童生徒の適応指導に関わる調査研究や教育相談等を実施する。	チ	10	24	7	34	3	2,570	2,570	1,813			757			3	5	(3)	イ
④	児童生徒相談事業	教育問題の解決に向けて相談業務の充実を図るため、教育相談指導員、自立支援指導員を配置する。	チ	10	24	7	34	3	7,091	7,091	4,963			2,128			3	5	(3)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内している。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所				備考		
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費							G	
					交付金交付額			負担額												
								沖縄県	市町村	その他										
			D	E	F															
⑤	非行防止等巡回活動事業	児童・生徒の健全育成を図る観点から、関係機関や地域と連携して少年少女の問題行動に対して必要な注意・助言・指導を行うため、夜間街頭指導員を配置する。	チ	10	24	7	34	3	1,443	1,443	1,010				433		3	5	(3)	イ
⑥	小学校学習支援員活用事業	学習に遅れをとっている児童が自ら学ぶ意欲を高め、基本的な学習内容を理解するため、授業内容をきめ細かにサポートする学習支援員を配置する。	チ	10	24	7	34	3	9,730	9,730	6,811				2,919		3	5	(3)	イ
⑦	派遣費補助金交付事業	児童生徒の文化活動及びスポーツを奨励するため、学校教育の一環として県外に派遣される場合に要する旅費等を補助する。	チ	10	24	9	34	3	10,186	6,373	3,186				3,187		3	5	(4)	イ
3	文化財等保護・活用推進事業	沖縄独自の歴史が育んできた文化の保全を図るため、文化財の保存整備及び公文書の整理活用事業を行う。	リ	10	24	6	34	3	8,573	8,573	6,000				2,573		3	1	(4)	
①	文化財保存整備事業	宜野湾市では、市が指定する文化財の保存及び活用が課題である。平成24年度は、市指定有形民俗文化財「我如古ヒージャーガー」の安全対策工事に係る地質調査及び安全対策工事実施設計委託業務を実施する。	リ	10	24	6	34	3	5,646	5,646	4,000				1,646		3	1	(4)	イ
②	歴史公文書等整理・活用事業	歴史的価値を有する宜野湾市(村)の公文書等を整理し市民サービスに資するため、保存・公開に関する基準づくりや検索システムの構築等を行う。	リ	10	24	7	34	3	2,927	2,927	2,000				927		3	1	(4)	イ
4	地域で安心子育て支援事業	働きながらも安心して地域で子どもを産み、ゆとりを持って育てることができるよう、保育サービスの充実や児童館の利用促進、家庭相談などの支援を行う。	ヌ	10	24	7	34	3	3,682	3,682	2,000				1,682		3	2	(2)	
①	預かり保育事業	地域の実態及び保護者の要請に応じて、公立幼稚園において、通常の保育時間の終了後や長期休業期間中等に預かり保育を実施する。	ヌ	10	24	7	34	3	3,682	3,682	2,000				1,682		3	2	(2)	イ
5	はごろも人材育成事業	沖縄振興及び宜野湾市の振興に資する市民の育成を図るため、友好都市を提携している中国福建省廈門市への留学生派遣及び平和学習への児童派遣に取り組むとともに、英語活動指導員及びITサポート支援員を各学校に配置する。	ヘ	10	24	6	34	3	43,155	43,155	27,342				15,813		3	5	(4)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考					
					事業 始期	事業 終期	A	B	C	交付対象事業費				G				
										交付金交付額	負担額							
											沖繩県				市町村	その他		
年	月	年	月	D	E	F												
①	中国厦門理工学院留 学生派遣事業	中国に対する理解を深め、国際的視野を持った人材育成を図るため、友好合作都市である中国福建省厦門市の市立大学に1年間研修留学生を派遣する。	ハ	10	24	7	34	3	795	795	636		159		3	5	(4)	7
②	平和市民啓発事業	全国の青少年と交流し、命の尊さや平和意識について学ぶため、8/9に長崎で開催される「平和祈念式典」及び「青少年ピースフォーラム」に市内児童8名を派遣する。	ハ	10	24	6	34	3	883	883	706		177		3	5	(4)	7
③	小学校英語教育課程 特例校事業	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、日本人の英語教師を小学校に派遣する。	ハ	10	24	7	34	3	31,036	31,036	20,000		11,036		3	5	(4)	7
④	外国人教師招致事業	本市は、平成15年度に国の英語教育特区の認定を受け、平成16年度以降、小学校に「英語科」を新設、小中一貫した英語教育を行っている。効果的・継続的な指導のもと、児童生徒の国際化時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むため、外国人英語指導助手を小学校に派遣する。	ハ	10	24	7	34	3	6,873	6,873	4,000		2,873		3	5	(4)	7
⑤	学校ICT活用指導 支援事業	児童生徒の情報活用能力向上を図るため、ITサポート支援員を派遣し、教育用PC、電子黒板及びプロジェクターなどを活用した情報教育授業を実施する。	ハ	10	24	7	34	3	3,568	3,568	2,000		1,568		3	5	(4)	7
6	地域職業相談室（ミ ニハローワーク）推 進事業	失業率の高い本県において雇用促進を図るため、宜野湾市役所敷地内に「地域職業相談室」（通称：宜野湾市ふるさとハローワーク）を設置し、求人情報の提供や職業相談等就職支援を行う。	ホ	10	24	7	34	3	1,356	1,356	1,084		272		3	3	(10)	7
7	防災安全基盤強化事 業	災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、避難者用食料等の備蓄及び自主防災組織の防災活動に対する支援を行うとともに、地域と連携した津波避難訓練を通じて津波や各種災害時の防災活動基盤を構築し、迅速な災害情報の伝達手段を確保する。	レ	10	24	6	34	3	4,700	4,700	3,759		941		3	2	(4)	
①	宜野湾市総合防災訓 練実施事業	災害に強いまちづくりに向けて市民の防災知識の普及啓発を図るため、西海岸地域において地域住民や観光客も想定した実践的な避難訓練を実施する。	レ	10	24	6	34	3	1,700	1,700	1,360		340		3	2	(4)	イ
②	災害時備蓄食料購入 事業	地震・津波による大規模災害発生時の避難生活等への対応のため、物資が搬送再開されるまでと想定される3日分の食料備蓄を行う。	レ	10	24	6	34	3	441	441	352		89		3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内している。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画 該当箇所				備考
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費						
					交付金交付額			負担額										
								沖繩県	市町村	その他								
				D	E	F												
③	自主防災組織育成事業	本県の自主防災組織率は、全国平均の74.4%に比較して6.6%と極端に低い。市内各自治会単位を基本にして組織率を上げるため、講演会の開催、啓発用備蓄食料配布などを行い、住民の防災意識の高揚を図る。	レ	10	24	7	34	3	359	359	287				3	2	(4)	イ
④	コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）	地域の防災力の向上を図り住民の安心・安全を確保するため、市が認定した自主防災組織に対して、災害の被害防止活動及び軽減活動に必要な資機材整備を行う。	レ	10	24	7	34	3	2,000	2,000	1,600				3	2	(4)	イ
⑤	災害時要援護者支援ネットワーク事業	要援護者の安心・安全を確保するため、災害時に自力で避難することが困難な人に対して支援を行う「災害時要援護者避難支援対策協議会」との連携を図る。	レ	10	24	7	34	3	200	200	160				3	2	(4)	イ
8	宜野湾市基地返還跡地転用推進基金事業	普天間飛行場およびキャンプ瑞慶覧（宜野湾市部分）は本市の面積の約3割を占める広大な米軍基地である。特に、普天間飛行場は市のほぼ中心部に位置し、住みよいまちづくりをする上で最大の阻害要因となってきた。また、飛行場建設をする際に、土地を住民から強制接収した経緯があるため、飛行場内の土地の約9割以上が民有地となっており、公共用地が極端に少ない状況である。跡地利用を行う上で、道路や公園等の公共施設は必要不可欠であり、地権者の負担を減らすためにも、公共用地の先行取得を進める必要がある。また、接収から67年が経過し、相続や土地売買等により地権者数が増加しており、地権者の合意形成が困難になることが予想されることから、できる限り早急に公共用地を確保する必要がある。	ソ	10	24	12	34	3	382,500	382,500	306,000				3	3	(13)	7
9	はごろも小学校関連事業	米軍普天間飛行場周辺は、スプロール状に住宅が密集しており、大山小学校の過密解消が、市教育行政における20年来の課題となっている。同校の過密解消を図り、良好な学習環境を確保するため、分離新設校の建設用地を確保する。	ソ	1	24	6	25	3	1,019,737	1,019,737	815,789				3	2	(5)	7
10	消防安全基盤強化事業	当市は普天間基地の周辺に住宅地が密集しており、狭隘な道路が多く、ポンプ車の進入が難しい地域が多い。また、火災、事故現場に出勤するためには、市の中央に位置する米軍普天間飛行場を迂回しなければならない。こうした課題を解決し、市民等の安全安心を確保するため、小型消防ポンプ車両を導入し、消防能力の強化を図る。	ソ	1	24	7	25	3	73,755	73,578	50,000			177	3	2	(4)	イ
11	沖繩関係仮戸籍等電子化事業	市民の公証資料を適正に管理保存するため、戦禍で焼失し、沖繩戸籍法により再製された仮戸籍、臨時戸籍、福岡戸籍等を電子化する。	ソ	1	24	6	25	3	45,282	45,282	36,225				3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考								
					事業	開始		事業	終了	A	B	C			負担額			G				
															年	月	年		月	D	E	F
年	月	年	月								章	節	項	目								
12	大規模駐留軍用地跡地等利用推進事業	平成8年の「沖縄に関する特別行動員会（SAC O）」によって返還合意された普天間飛行場及びキャンプ瑞慶覧（宜野湾市部分）の跡地利用を円滑に進めるため、関係地権者や市民とともに今後のまちづくりについて検討を行う。また、基地内外の自然的特性や文化財について調査し市民等に情報提供する。	ソ	10	24	6	34	3	107,391	107,391	85,911		21,480			3	3	(13)	イ			
①	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（地権者意向調査）	普天間飛行場の跡地利用推進のため、関係地権者や市民の合意形成に向け、情報提供や意向把握等の調査を行う。また、市民によって構成される「NBMミーティング」や若手地権者等によって構成される「若手の会」の活動を助成し、合意形成についての取り組みを行う。	ソ	10	24	6	34	3	25,431	25,431	20,344		5,087		3	2	(4)	イ				
②	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（共同事業）	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。	ソ	10	24	6	34	3	19,148	19,148	15,318		3,830		3	2	(4)	イ				
③	普天間飛行場跡地利用計画策定事業（自然環境調査）	基地周辺の地形や動植物の生息状況、湧水や鍾乳洞等の宜野湾市の自然的特性に関する調査を行い、跡地利用計画の推進を図る。	ソ	10	24	7	34	3	22,165	22,165	17,732		4,433		3	2	(4)	イ				
④	キャンプ瑞慶覧跡地利用計画策定事業	キャンプ瑞慶覧のうち、返還が合意されている宜野湾市部分について、返還後の跡地利用計画を円滑に促進するために跡地利用計画の策定及び地権者の合意形成活動を行い、地権者全体でまちづくりを推進する体制を実現することを目的に、地権者の跡地利用に対する意識高揚を図る。	ソ	10	24	7	34	3	12,100	12,100	9,680		2,420		3	2	(4)	イ				
⑤	埋蔵文化財発掘調査支援検討調査事業	埋蔵文化財調査の情報と進捗する試掘・確認調査の関連情報が、地権者等に広く提供・公開できる「仕組み」を整備する。併せて平成23年度に作成した普天間飛行場の「重要遺跡保存整備基本構想」を基に、『遺跡（埋蔵文化財）以外の文化財』と「基地外の文化財」も統一的に見据えた「重要文化財保存整備基本構想[案]」を作成する。	ソ	10	24	7	34	3	19,934	19,934	15,947		3,987		3	2	(4)	イ				
⑥	瑞慶覧地区文化財保護マスタープラン策定調査事業	返還が予定されているキャンプ瑞慶覧地区の跡地利用の促進及び円滑化等に向けて、文化財等の活用・管理運営・まちづくりなどに興味・関心の高い人を地権者や関係地域、市民等から一般公募や推薦により集め、「運営主体作り準備懇話会（仮称）」を発足し、運営主体づくりに向けて意見交換を行う場とし、事例視察や周知、啓発活動等を実施する。	ソ	10	24	7	34	3	8,613	8,613	6,890		1,723		3	2	(4)	イ				

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考		
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費					G	
												交付金交付額						
												沖縄県	市町村	その他				
								D	E	F	章 節 項 目							
13	墓地基本計画事業	沖縄には独自の埋葬文化があり、個人墓地在住宅地と混在し造られている。墓地による市街地環境の悪化を防ぐため、墓地の集約化を検討し、地域の住環境を保全する必要がある。市民の需要を考慮し、安心して求めることができる多様な墓地の供給方策を示すため、墓地基本計画を策定する。	ソ	1	24	7	25	3	5,775	5,775	4,620		1,155		3	1	(6)	7
14	市民会館施設整備事業	宜野湾市民会館は文化活動の拠点として、市民の発表の場や芸術の鑑賞の場として活用されているが、建設から30年経過し老朽化が進んでいる。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の設備等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。	ソ	5	24	6	29	3	71,696	71,696	50,000		21,696		3	1	(4)	ウ
15	中央公民館整備事業	宜野湾市中央公民館は社会教育施設の拠点として、講座、教室、講演会等の場に活用されているが、建設後30年経過し老朽化が進んでいる。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の研修室等を改修し、市民がより利用しやすい施設として機能向上を図る。	ソ	5	24	6	29	3	7,691	5,393	3,500		1,893		3	5	(2)	イ
16	市民図書館施設整備事業	宜野湾市民図書館は、生涯学習の施設の拠点として市民に活用されているが、開館から20年経過し、図書館の施設整備及び備品拡充を図る必要がある。しかし、普天間飛行場の移設、跡地利用に目途がつかない状況下では、建替計画の策定が難しいため、現在の施設を整備し市民サービスの向上を図る。	ソ	5	24	6	29	3	2,671	631	504		127		3	5	(2)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内している。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	石垣市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,040,000	1,040,000		1,040,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考			
					事業初期	事業中期	事業後期	事業終了		A	B	C	負担額				G		
													交付金交付額	負担額					
														D				E	F
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月				
合 計									1,371,152	1,300,031	1,040,000	260,031	71,121						
1	観光振興「いしがき」プロジェクト	本市の観光振興を図るため、国内において観光誘客のプロモーションや各種広告を活用したPR等の実施、市民及び観光客を対象としたイベントを開催、多言語等に対応した文化財マップの作成、プロアマチュア等のキャンプ受入基盤強化等を実施する。また、新たな観光振興につなげるため、地域の観光資源となる構成要素を改めて調査検証するとともに、島の歴史写真をデジタル化し発信、水上スポーツのキャンプ地の可能性調査等を実施する。	イ	10	24	7	34	3	88,975	88,975	71,175		17,800			3	3	(2)	
①	観光誘客プロモーション事業	本市の新規観光客の獲得につなげるため、県外主要都市において、観光誘客プロモーションを展開し、新石垣空港の開港をPRをする。	イ	10	24	7	34	3	5,946	5,946	4,756		1,190			3	3	(2)	イ
②	スポーツ！ウエルカム！石垣島！事業	スポーツツーリズムを促進し離島振興につなげるため、国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等を誘致するための営業活動を実施する。また、合宿等の受入体制整備を行うため、スポーツ機器等の整備を行う。	イ	10	24	8	34	3	7,751	7,751	6,200		1,551			3	2	(1)	イ
③	石垣島観光物産PR事業	新石垣空港開港PR及び特産品の販路拡大を図るため、都市圏における電車で吊り広告や空港等でのポスター等の広告を活用し、大々的なCMを行う。また、観光宣伝用のパンフレット等を作成し、観光キャラバン等の誘致対策を実施する。	イ	10	24	8	34	3	25,047	25,047	20,037		5,010			3	3	(2)	イ
④	美ら島情報発信事業	コンベンションの誘致を図っていくため、本市の先進地事例となる事業や行政情報など石垣市らしさの特徴を網羅したパンフレットを作成し、能動的、積極的に全国の自治体へ向けて発信する。また、石垣市の豊富な情報をカテゴリ別に動画ページを作成し、さらに石垣島らしさを伝えるツールとして既存のホームページを強化する。	イ	5	24	8	29	3	1,806	1,806	1,444		362			3	3	(2)	イ
⑤	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	博物館資料の保存・活用等を図るため、博物館資料のうち、虫食いや焼け等により状態の良いくない、古文書・掛軸類等紙資料の修復、現在所蔵している資料の整理及び台帳のデータベース化を行う。	イ	10	24	7	34	3	8,337	8,337	6,669		1,668			3	1	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業				総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業開始年	事業開始月	事業終了年	事業終了月	A	交付対象事業費			G							
										B	C	負担額								
												D				E	F			
交付金交付額		交付対象外経費			章		節		項		目									
⑥	石垣島シネマフェスティバル事業	近年、映画のロケ地として多くの撮影が行われていることから、国内外に映画のロケ地として広くPRするため、本市でロケを行った映画等を上映するシネマフェスティバルを開催する。	イ	10	24	7	34	3	9,208	9,208	7,366		1,842		3	3	(12)	7		
⑦	文化財ガイドマップ作成事業	国内外から訪れる観光客等に市所在の指定文化財を分かりやすく周知させるためのガイドマップを日本語、多言語（英語・中国語等）でそれぞれ作成する。	イ	1	24	8	25	3	1,980	1,980	1,584		396		3	1	(4)	7		
⑧	友好・親善観光交流推進事業	友好親善関係にある国内5自治体の市民で構成される文化芸能団を石垣市へ招聘し、文化芸能の披露を通じた交流を行う。	イ	1	24	10	24	12	3,000	3,000	2,400		600		3	3	(2)	イ		
⑨	スポーツ文化交流事業	夏休み期間中を利用し、高校の強豪サッカーチームや野球指導者を招待しスポーツイベントを開催する。	イ	1	24	8	25	3	2,200	2,200	1,760		440		3	2	(1)	イ		
⑩	プロ野球キャンプ受入基盤強化事業	観光客や選手等の安全性と快適性を図るため、キャンプ期間中における見学者導線の誘導員及び飛球対策に係る警備員の配置を行う。また、総合案内所を設置し、観光客等へキャンプ開催とタイアップした取り組みを行う事業者や生産者のPRを行う。	イ	7	24	12	31	3	5,034	5,034	4,027		1,007		3	2	(1)	イ		
⑪	サッカーパークあかんま施設整備事業	同施設は防球ネットの劣化が激しくボールが道路に飛び出すなど危険な状況であることから、防球ネットの更新整備を行い、サッカーのキャンプ地として受入基盤を整備する。	イ	1	24	10	24	12	3,780	3,780	3,024		756		3	2	(1)	イ		
⑫	観光地域検証調査事業	観光ニーズの多様化に対応するため、地域の構成要素を改めて検証し、観光都市いしがきの強みと課題の部分を浮き彫りにし、地域の力をより強化していく。	イ	1	24	11	24	12	2,500	2,500	2,000		500		3	3	(12)	7		
⑬	農業用ダム湖面利用調査事業	農業用ダム湖面を活用した、各種水上スポーツのキャンプ地誘致の可能性を調査する。	イ	1	24	11	25	3	5,078	5,078	4,062		1,016		3	3	(2)	ウ		
⑭	いしがきの原風景写真等デジタル化事業	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行う。	イ	5	24	11	29	3	7,308	7,308	5,846		1,462		3	1	(5)	7		
2	訪れて良かった「いしがき」観光地プロジェクト	本市を訪れる観光客が快適に観光地を訪れることができるよう、国立天文台を活用した施設の整備、道路等の補修、植栽、水族館建設の調査、クルーズ船寄港支援等を行い魅力ある観光地の基盤整備を進め、離島振興を図る。また、観光地としての石垣島を土地利用等の観点から、土地保全・利活用計画の策定、墓地基本計画の策定を行う。来春開港する新石垣空港に、八重山の海を再現した水槽の設置、石垣島出身の有名人に関係したモニュメントの整備を行い魅力的な観光地の形成を図る。	イ	10	24	7	34	3	349,346	335,806	268,641		67,165		13,540		3	3	(2)	
①	美崎町再開発推進事業	美崎町地区を観光地にふさわしい都市基盤の整備をするため、市街地の再開発事業の導入調査をする。	イ	1	24	8	25	3	4,971	4,971	3,976		995		3	3	(2)	ウ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項	目
														D	E	F						
②	水族館建設推進事業	天候に左右されることなく全ての観光客が石垣の海を満喫できる観光資源を創出するため水族館建設の調査を実施する。	イ	5	24	9	29	3	9,975	9,975	7,980			1,995				3	3	(2)	ウ	
③	星空学びの部屋事業	石垣島・八重山諸島の星空を売り物にした観光客の呼び込みを強化するため、日本に4基しかない電子望遠鏡を設置した石垣島天文台と連携し、観光客への広報普及するレクチャールームを設置するとともに、地域の学校教育、生涯教育にも活用する。	イ	1	24	8	25	3	60,000	60,000	48,000			12,000				3	3	(2)	ウ	
④	クルーズ船寄港誘致支援事業	大型クルーズ船の寄港誘致のため、大型タグボートの経費の一部支援を行う。また、多言語パフレット(英語、中国語、日本語版)を作成しクルーズ船誘致を図る。	イ	10	24	7	34	3	24,730	14,230	11,384			2,846		10,500		3	3	(2)	イ	
⑤	観光客の安全・安心事業	離島ターミナルにおいて、観光客の盗難被害があることから、防犯カメラを設置する。	イ	1	24	9	25	3	5,000	5,000	4,000			1,000				3	3	(2)	ウ	
⑥	フラワーロード整備事業	観光客が訪れて良かったと感じられるような街づくりを推進するため、市道の植樹帯へ花や樹木の植栽を実施する。また、沿道にプランターを置き、花いっぱいによる街づくりを展開する。	イ	5	24	7	29	3	73,087	73,087	58,469			14,618				3	3	(2)	ウ	
⑦	石垣空港跡地利用事業化調査事業	観光地形成のまちづくりを図るため、空港跡地利用の事業化に向けた調査を実施する。	イ	1	24	9	25	3	7,949	7,949	6,359			1,590				3	3	(2)	ウ	
⑧	石垣市墓地基本計画事業	観光地形成のまちづくりを図るため、土地利用の規制誘導がスムーズに進展するよう、「石垣市墓地基本計画」の策定をする。	イ	3	24	9	27	3	12,422	12,422	9,937			2,485				3	3	(2)	ウ	
⑨	美ら島ファミリーサポート整備事業	ファミリーで訪れる観光客に癒しのスポットを提供するために、石垣島らしさを演出する遊具等の設置を行い、子どもたちの遊び場を確保する。	イ	5	24	11	29	3	2,520	2,520	2,016			504				3	3	(2)	ウ	
⑩	石垣市土地保全・活用計画策定事業	土地利用について、農業的土地利用と都市的土地利用等の観点から、保全・利活用の基準ならびに方針等を検討し、本市全体の土地の有効活用を図る指針となる計画を策定する。	イ	1	24	11	25	3	6,962	6,962	5,569			1,393				3	3	(2)	ウ	
⑪	スポーツイベントによる地域活性化事業	世界で通用するスポーツのトップレベル選手の育成につなげるため、本県で競技人口の多い野球、サッカー、バスケット等のプロやアマチュアスポーツの公式戦を開催する。また、各チームのファン層をターゲットとした観光誘客を展開する。	イ	1	24	11	25	3	8,040	5,000	4,000			1,000		3,040		3	2	(1)	イ	
⑫	観光施設及びキャンプ場訪客整備事業	経年劣化が激しい伊野田キャンプ場等の観光施設の受け入れ態勢を整備するため、改修整備を実施する。	イ	10	24	11	34	3	3,200	3,200	2,560			640				3	3	(2)	ウ	
⑬	美ら島アクアマリン整備事業	八重山の空の玄関口となる新石垣空港において、「南国らしさ」を直観的に感じてもらうため、八重山の海を再現した水槽を設置する。	イ	1	25	1	25	3	21,772	21,772	17,417			4,355				3	3	(12)	ア	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項	目
														D	E	F						
⑭	美ら島モニュメント整備事業	本市の観光大使を務め、市民栄誉賞を受賞している具志堅用高やBEGIN、夏川りみなどの石垣島出身の有名名人に関係したモニュメントを島内の観光地に整備することにより、新たな観光スポットとしての活用を図る。	イ	1	25	1	25	3	32,959	32,959	26,367						3	3	(12)	ア		
⑮	バス停上屋整備事業	新空港の開港を控え、より快適な観光地としてのまちづくりを進めるため、石垣市の猛烈な日差しや雨天時においてもそれらを受け、快適にバスを利用してもらうためにバス停留所上屋を整備する。	イ	3	25	1	27	3	20,000	20,000	16,000						3	3	(2)	ウ		
⑯	まちなか親水広場整備事業	現存する井戸を復旧させ、まちなかの観光スポットとしての利用や市民の憩いの場及び災害時における水の再利用を目的に親水広場を整備する。	イ	1	25	1	25	3	10,000	10,000	8,000						3	3	(2)	ウ		
⑰	観光地・観光施設への集客力強化事業	外国人を含む観光客向けに観光情報の受発信を容易にするため、無料の広域Wi-Fi無線を整備する。	イ	3	25	1	27	3	39,959	39,959	31,967						3	3	(2)	ウ		
⑱	観光地アクセス道路安全安心推進事業	本市の観光スポットである、「エメラルドの海をみる展望台」へアクセスする道路は、山岳を走る路線で崩落等の危険性があるため、道路を整備し、観光地としての安全・安心を確保する。	イ	2	25	1	26	3	5,800	5,800	4,640						3	3	(2)	ウ		
3	青と緑が輝く「いしがき」プロジェクト	本市の自然環境の保全、再生を図るため、サンゴの再生、花木の再生、オニヒトデの駆除、赤土流出の防止等の事業を行う。また、循環型社会の構築、環境負荷への軽減を図るため、防犯灯、防災灯、街路灯のLED化、エコカーの導入、自然エネルギーを利用した発電施設等の可能性を調査し、低炭素社会の実現及び自然環境の保全等に取り組む。	レ	10	24	7	34	3	213,782	196,782	157,422						3	1	(1)			
①	青と緑の再生プロジェクト事業	国指定の名勝に選ばれている川平湾をモデル地区として観光地にふさわしいエコタウンとしての展開を図るため、EV船の導入補助及び充電設備設置の補助を行う。	レ	5	24	11	29	3	24,100	7,100	5,680						3	1	(3)	イ		
②	サンゴ再生事業	近年、温暖化やオニヒトデ等の影響でサンゴが減少していることから、貴重なサンゴの再生を図るための事業を実施する。	レ	10	24	11	34	3	25,000	25,000	20,000						3	1	(1)	ア		
③	花木再生プロジェクト事業	デイゴヒメコバチの防除のため、防除樹幹注入を実施する。	レ	5	24	8	29	3	16,991	16,991	13,592						3	1	(1)	イ		
④	ダイビング船係留設置事業	ダイビングスポットにおいて船のアンカー等でサンゴ礁が破壊されていることから、サンゴ礁保全のために、ダイビング船係留の施設を整備する。	レ	1	24	8	25	3	9,407	9,407	7,525						3	1	(1)	ア		
⑤	沖縄らしい風景づくり推進事業	景観法に基づく効果的な景観形成を促進するための景観向上行動計画を策定する。	レ	1	24	9	25	3	10,395	10,395	8,316						3	1	(6)	ア		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項	目
														D	E	F						
⑥	石垣市エコアイランド事業	平成19年に「石垣市自然環境保全条例」を制定したことを受け、自然環境に関する構想策定に向けた調査を実施する。また、自然環境に関する取り組みとして、農村集落内及び市所有の防犯灯や街路等をLED化し省電力化を図る。	レ	6	24	9	30	3	59,162	59,162	47,329				11,833				3	1	(3)	
⑦	自然エネルギー促進事業	水道施設の高低差を利用した小水力発電施設、水道施設用地を活用した太陽光発電施設整備の導入可能性実験を行う。	レ	3	24	9	27	3	5,996	5,996	4,796				1,200				3	1	(3)	イ
⑧	オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業	ここ数年大量に発生しているオニヒトデの駆除を行い、サンゴの保全に努める。	レ	10	24	9	34	3	38,120	38,120	30,496				7,624				3	1	(1)	ア
⑨	ラムサール条約湿地登録「名蔵アンパルガイド」冊子作成事業	ラムサール条約に登録された「名蔵アンパル」の豊かな自然を紹介するため、子どもから大人まで手軽に読める小冊子を作成する。	レ	2	24	7	26	3	4,979	4,979	3,983				996				3	1	(1)	オ
⑩	南の島の猫アイランド事業	新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、獣医師会の協力を得ながら、猫の捕獲・保護及び避妊、去勢等を実施する。	レ	4	24	8	28	3	1,380	1,380	1,104				276				3	2	(3)	オ
⑪	赤土等流出防止対策事業	農地から赤土流出防止を図るため、グリーンベルトの設置、緑肥の提供、沈砂池や排水路等の浚渫、堆肥をまく小型すじまき機械を購入し、貸与する。	レ	5	24	11	29	3	15,492	15,492	12,393				3,099				3	1	(1)	イ
⑫	エコカー公用車導入事業	石垣島全体をエコ化するための先導的な取組みとして、公用車としての電気自動車の導入と電気充電設備を整備する。	レ	6	25	1	30	3	2,760	2,760	2,208				552				3	1	(3)	ア
4	“島人の宝”ものづくり「いしがき」プロジェクト	本市の製造加工品の出荷増加を図るため、物産展等に出店する事業者へ助成を行う。共同加工施設建設のため先進地視察や調査を行う。地場産業である工芸技術の人材育成に取り組み新たな雇用を創出する。また本市には職業訓練校がないことから、職業訓練を実施し就業支援を行うなど、ものづくり産業の振興を図る。	ホ	3	24	8	27	3	60,248	54,807	43,844				10,963				3	3	(9)	
①	ものづくり、マーケティング総合支援事業	製造加工品等の販路拡大のため、国内各都市において物産展等を行い、出展者に対し助成をする。共同加工施設建設のため、先進地視察や調査を行う。また、「八重山そば」の消費拡大を図るため、イベントを実施する。	ホ	3	24	8	27	3	15,118	9,677	7,741				1,936				3	3	(9)	イ
②	就業支援マッチング事業・人材育成事業	市民ニーズをふまえ、各分野における既存ストックを活用した職業訓練を実施し、就業支援マッチングを図り、雇用の創出につなげる。また、工芸技術者の育成及び農水産業の6次産業化に向けた人材育成等を実施する。	ホ	3	24	11	27	3	41,076	41,076	32,860				8,216				3	3	(10)	ウ
③	商店街・中心市街地活性化ならびに商業振興事業	中心市街地活性化基本計画を策定するため、中心市街地活性化の専門家の協力を得て、関係者や市民が参加するワークショップを実施し、計画策定へ向けた機運づくりとともに、問題点の抽出や課題の掘り起し、基本方針素案づくり等を行う。	ホ	3	25	1	27	3	4,054	4,054	3,243				811				3	3	(8)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					年	月	年	月	交付対象事業費					交付対象外経費					
									A	B	C				負担額				
															D	E	F	G	
5	美味しさいっぱい「いしがき」プロジェクト	本市の農林水産業の振興を図るため、基幹産業であるさとうきびの防除体系を確立するとともに、新たな農産物の事業化を推進する。パパイヤ等の熱帯果樹の栽培研究を行う。また、優良繁殖牛更新の支援を行い、家畜伝染病の未然防止に努めることで畜産業の振興を図る。水産業においては、安定した漁獲が保てるよう、大型定置網設置に関する調査、漁場悪化を防止する措置、アカジンの養殖実証試験等を行い水産業の振興を図る。	ハ	10	24	7	34	3	172,256	137,116	109,691		27,425		35,140	3	3	(7)	
①	熱帯果樹栽培研究事業	熱帯果樹産業の振興を図るため、石垣市パパイヤ研究所のノウハウを活用し、パパイヤを使った食材の研究、商品化やパパイヤ以外の熱帯果樹の栽培研究を行う。	ハ	5	24	8	29	3	6,323	6,323	5,058		1,265			3	3	(7)	ア
②	さとうきび振興事業	さとうきびの安定生産を図ることを目的に、新たな機能を有する農薬を用いて、病害の生理的特性を利用した新防除技術を導入するため、生産農家を対象に農薬購入に対する購入補助を行う。また、さとうきび収穫後の裸地に蕎麦を植え付け耕土流出を防止するため、蕎麦栽培を実施する。	ハ	5	24	7	29	3	83,512	64,152	51,321		12,831		19,360	3	3	(7)	ア
③	“石垣産の牛”生産推進事業	肉用牛繁殖農家に対して優良繁殖雌牛の導入費用の一部を助成する。また、口蹄疫の家畜伝染病を未然に防止するため、空港、港湾等の消毒を徹底し水際対策を強化する。	ハ	10	24	7	34	3	29,336	15,336	12,268		3,068		14,000	3	3	(7)	ア
④	水産振興事業	八重山漁協の老朽化した漁船燃料タンクの危険性を除去するため、改修に係る費用を補助する。また、大型定置網設置箇所に関する調査事業を実施するとともに、オニヒトゲやサメ等の有害生物による漁場悪化を防止する。	ハ	10	24	12	34	3	50,085	48,305	38,644		9,661		1,780	3	3	(7)	カ
⑤	アカジン（スジアラ）養殖実証試験事業	沖縄県の三大高級魚であるアカジンを、新たな養殖魚種として確立するための、実証試験を行う。	ハ	2	25	1	26	3	3,000	3,000	2,400		600			3	3	(7)	ア
6	① 児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合型施設整備事業	児童・高齢者・障がい者等の社会的な「居場所づくり」と災害時における「福祉避難所」を兼ねた複合型施設整備に取り組む。	ヌ	3	24	9	27	3	4,830	4,830	3,864		966			3	3	(11)	イ
7	防災に強い「いしがき」プロジェクト	災害に強い島「いしがき」づくりを図るため、防災無線の整備や自主防災組織体制の整備、適切に市民を安全な場所へ避難誘導するための標識等の設置、低地にある集落の安全確保の整備、港湾においても災害に強い港湾整備のための調査を行う。	レ	10	24	7	34	3	209,283	209,283	167,424		41,859			3	2	(4)	イ
①	地域防災力強化育成事業	各地域、または公民館ごとに地震・津波・火災対応型の救急救助資機材収納倉庫を設置し、災害時に、消防団及び自主防災組織に消火活動や救助活動等に活用してもらう。	レ	5	24	8	29	3	43,526	43,526	34,820		8,706			3	2	(4)	イ
②	防災避難道路整備事業	予想される大地震時における安全な農村集落の環境整備をするため、津波避難道路を整備する。	レ	3	24	8	27	3	18,000	18,000	14,400		3,600			3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画 該当箇所	備考				
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			交付対象外 経費	G						
										B	C	負担額								
												D					E	F		
交付金交付額			沖縄県	市町村	その他	章	節	項	目											
③	防災体制整備事業	緊急時一斉放送システム（防災無線）の拡声子局を市内の未整備地区に配備するとともに、小型受信機を市内公共施設などに配備する。また、石垣市地域防災計画における指定避難場所に誘導標識等の整備及び防災拠点等に備蓄倉庫の整備を行う。	レ	10	24	10	34	3	112,849	112,849	90,279			22,570			3	2	(4)	イ
④	災害に強い港湾整備事業	大規模地震や津波などの災害時にも港湾機能を維持することができる施設の整備に向けた調査を実施する。	レ	3	24	11	27	3	19,971	19,971	15,976			3,995			3	2	(4)	イ
⑤	水難事故対応強化事業	本市にはマリンレジャーを目的に訪れる観光客が年々増加しており、発生した水難事故に迅速に対応し、観光客や市民の安全・安心を確保するため、水難救助用水上バイクと牽引車等を整備する。	レ	1	24	9	25	3	14,937	14,937	11,949			2,988			3	2	(4)	イ
8	いきいき学び「いしがき」プロジェクト	次代を担う児童・生徒たちを災害から守り、安心・安全に学べるようにするため、海岸に近い学校に対して、災害に備えた環境を整備する。また、社会教育の向上を図るため、現在の新聞検索システムの充実強化を図るとともに、老朽化した八重山博物館の改修を行う。	チ	1	24	10	25	3	25,877	25,877	20,700			5,177			3	5	(2)	
①	災害に備えた学校環境整備事業	災害に備え、沿岸部に近接している小学校、幼稚園の児童、園児用のライフジャケット等を購入する。	チ	1	24	11	25	3	14,541	14,541	11,632			2,909			3	5	(3)	ウ
②	地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システムの構築・導入事業	石垣市立図書館の新聞の検索システムは、文字情報のみの検索内容なので、過去のより詳しい情報が提供できるように新聞紙面を画像で閲覧できる最新の新聞検索システムを導入する。加えて、郷土資料(郷土関係図書、古文書、民話など音声資料、写真等)を含めた総合的な検索システムの構築を図り、市民へ提供する。	チ	1	24	10	25	3	9,225	9,225	7,380			1,845			3	5	(2)	イ
③	石垣市立八重山博物館外壁改修事業	石垣市立八重山博物館は築40年経過しており、外壁剥離等の老朽化が見られるため外壁改修工事を実施する。	チ	1	24	11	25	3	2,111	2,111	1,688			423			3	5	(2)	イ
9	のびのび育つ「いしがき」プロジェクト	児童生徒の基礎学力の向上、教育環境の整備、離島であるという特殊性の克服のため、情報機器等を活用した教育の導入を行う。国際理解教育と外国語活動の取り組みを強化するために外国語指導助手の配置等を行う。児童生徒の派遣費の補助を行う。青少年健全育成の観点から不登校児等の困難を有する子どもたちの支援体制を整備する。また、市立幼稚園で預かり保育の拡充のため保育士の配置を行う。	チ	10	24	8	34	3	206,512	206,512	165,207			41,305			3	3	(11)	イ
①	情報教育充実事業	各教室に電子黒板を配備するほかデジタルテレビとパソコンを活用する機器を導入し、ICT教育環境の充実を図る。	チ	1	24	10	25	3	172,755	172,755	138,204			34,551			3	5	(4)	ア
②	ICT教育強化事業	本県の喫緊の課題である基礎学力向上を図るため、教育用ソフトを購入し、ICT教育の強化充実を図る。	チ	10	24	10	34	3	5,351	5,351	4,280			1,071			3	5	(4)	ア
③	外国語学習支援事業	小学校5年生、6年生による外国語活動が必修科目になったことに伴い市立小中学校へ外国語指導助手の配置等の活動支援を実施する。	チ	10	24	8	34	3	3,959	3,959	3,167			792			3	5	(4)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考						
					事業開始	事業終了		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目					
											年	月								年	月	D	E	F
④	児童・生徒派遣費助成事業	児童・生徒がスポーツ・文化活動に参加する際の派遣費を補助する。	チ	10	24	9	34	3	9,660	9,660	7,728			1,932			3	5	(2)	ア				
⑤	「ユースアドバイザー」事業	子どもたちの環境整備のため、不登校児等の児童・生徒への支援体制の整備を図る。	チ	10	24	8	34	3	6,416	6,416	5,132			1,284			3	5	(1)	ア				
⑥	すこやか子育て支援事業	幼稚園の教育時間終了後、同園において希望する園児を対象に預かり保育を実施するため、保育士の配置及び施設整備を行う。	チ	10	25	1	34	3	8,371	8,371	6,696			1,675			3	5	(3)	イ				
10	国際交流「Ishigaki」プロジェクト	石垣市は、隣国台湾と約240キロと、国境の都市である。この地理的特性を活かし、国際化に向けた取り組みを推進するため、国際定期便の誘致を行う。本市は東アジアとの結節点として国際交流拠点都市の形成に向け、港湾の整備を進めるとともに、海洋基本計画を基に行政上の指針となる計画を策定する。	カ	4	24	7	28	3	34,736	34,736	27,787			6,949			3	3	(12)	オ				
①	国際定期便誘致事業	新石垣空港への海外路線誘致のため、東アジアの各航空会社へ路線開設に向けた要請等を実施する。また、本市を起点とした東アジアへの観光交流についてシンポジウムを開催する。	カ	4	24	7	28	3	15,016	15,016	12,012			3,004			3	4	(1)	ウ				
②	石垣港国際交流拠点形成事業	大型旅客船ターミナルビルの必要規模の検討とともに、ビルへのDFS、レストラン等の導入など、国際交流拠点の形成に向けた施策の検討を行う。	カ	3	24	11	27	3	9,986	9,986	7,988			1,998			3	4	(1)	ウ				
③	海洋基本計画策定事業	平成19年7月20日に制定された海洋基本計画を基に、本市として石垣島を中心とした八重山地域における、海域、河川域及び陸地の利活用及び東アジアとの結節点として国際交流拠点都市の形成に向け、国境離島である利点を活用した行政上の指針となる計画を策定する。	カ	1	24	7	25	3	9,734	9,734	7,787			1,947			3	4	(1)	ウ				
11	① 平和宣言活用事業	『石垣市非核平和宣言都市』及び『石垣市核廃絶平和宣言』の具現化を図るため、小中高校生対象の平和を考える作品募集や平和学習（平和大使派遣）、宣言文の碑作成設置及び石垣市核廃絶平和宣言記念事業計画委員会を設置し、平和行政推進のための事業を市民と行政が一体となって取り組む。	ソ	10	24	7	34	3	5,307	5,307	4,245			1,062			3	4	(2)	ウ				

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	浦添市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,890,000	1,890,000	-3,024	1,886,976

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月	年	月		A	B	C		負担額				G	章	節	項目
														D	E	F					
合 計									2,379,737	2,358,737	1,886,976		471,761		21,000						
1	浦添市「あまくま歩っちゃん」推進事業	歩き(歩っちゃん)をテーマに観光振興を図るため、観光資源の創出、交通や都市、文化財等の環境整備、イベントの開催等を実施する。	イ	10	24	6	34	3	35,941	29,941	23,952		5,989		6,000	3	3	(2)			
	① (浦添市来ワ来ワ推進事業)	市の観光資源を創出するため、調査を委託し、課題抽出及びケーススタディ等を実施する。	イ	2	24	9	26	3	8,028	8,028	6,422		1,606			3	3	(2)	ア		
	② (浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業)	観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行う。	イ	5	24	8	29	3	5,000	5,000	4,000		1,000			3	3	(2)	ウ		
	③ (美ら道推進事業)	観光地としての価値向上に資するための道路整備に努め、道路の安全性・快適性の確保を図る。	イ	10	24	11	34	3	3,780	3,780	3,024		756			3	3	(2)	ウ		
	④ (てだこの都市・浦添「あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」)	全国のウォーカーと友好を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史・文化、地域特性を活かした交流の輪を広げるため、来年2月に「うらそえツアーマーチ・あまくま歩っちゃん浪漫ウォーク」を開催する。	イ	10	24	6	34	3	16,000	10,000	8,000		2,000	6,000	3	2	(1)	イ			
	⑤ (ありんくりんクリーン事業)	浦添市の文化財を観光資源として活用するため、浦添城跡、玉城朝薫や浦添御殿の墓等の清掃や除草を行う。	イ	10	24	10	34	3	3,133	3,133	2,506		627			3	3	(2)	ウ		
2	沖縄らしい風景づくり推進事業	世界遺産の追加登録を目指す浦添グスク周辺エリアにおいて、景観法に基づく景観地区指定を行うとともに、文化財の復元整備やまちなみの美化事業等を実施する。	リ	10	24	8	34	3	148,758	148,758	119,005		29,753			3	1	(6)	ア		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業				総事業費					振興計画該当箇所				備考					
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費	負担額			章	節	項	目						
							年	月	年		年	月	年						月	年	月	年	月
①	(てだこ市民によるウラボイ風景づくり推進事業)	沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、浦添グスク周辺エリアと西海岸周辺エリアにおいて景観法・都市計画法に基づく「景観地区」・「地区計画」の地区指定を行う。また、「景観向上行動計画」を策定する。	リ	10	24	8	34	3	14,958	14,958	11,966					3	1	(6)	ア				
②	(浦添グスク周辺緑化推進事業)	沖縄らしい景観を形成するため、市民と協同で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。	リ	2	24	9	26	3	13,682	13,682	10,945					3	1	(6)	ア				
③	(地域資源復元推進事業)	・歴史的景観の再生を図るため、地域に古くから存在する「樋川」を復元整備する。平成24年度は発掘調査を実施する。 ・沖縄らしい風景づくりと観光振興のため、近年劣化が著しい市指定文化財「クバサヌ御嶽」を復元整備する。平成24年度は復元整備に必要な用地購入を行う。	リ	5	24	10	29	3	72,118	72,118	57,694					3	1	(6)	ア				
④	(前田トンネル周辺修景事業)	沖縄らしい風景や景観を守るため、前田トンネル両側のコンクリート壁のレリーフや壁面緑化等一体的な修景保存を行う。	リ	2	24	11	26	2	5,000	5,000	4,000					3	1	(6)	ア				
⑤	(浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史・文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施す。	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史・文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施す。	リ	2	24	8	26	3	35,000	35,000	28,000					3	1	(6)	ア				
⑥	(風景街なみ形成に資する建築技術提案事業)	沖縄らしい風景やまちなみづくりに資するため、民間企業に委託し、建築素材や技術の提案を受ける。(提案は①ウラボイ風景づくり推進事業に反映させる予定。)	リ	1	24	9	25	3	8,000	8,000	6,400					3	1	(6)	ア				
3	歴史・文化とスポーツの十字路口活性化推進事業	文化資源を活用しスポーツと連動した観光振興を推進するため、浦添美術館、国立劇場おきなわを拠点としたイベント開催や浦添運動公園の機能強化等を図る。	イ	5	24	7	29	3	429,502	429,502	343,601					3	3	(2)					
①	(悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業)	琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介し観光振興に資するため、浦添美術館で琉球漆器に関連した企画展の開催及び常設展の充実を図る。	イ	5	24	7	29	3	31,559	31,559	25,247					3	3	(2)	ア				
②	(9月3日踊り観光・文化振興事業)	観光振興及び文化振興を図るため、国立劇場おきなわを拠点に世界文化遺産である「組踊」の鑑賞機会を設けるとともに関連イベントを開催する。	イ	5	24	7	29	3	29,568	29,568	23,654					3	3	(2)	ア				

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業				総事業費					振興計画該当箇所				備考				
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画該当箇所											
							年	月	年		月	A	B	C	負担額				章	節	項	目
															沖縄県	市町村	その他					
D	E	F	G																			
③	(浦添スポーツの発信拠点運動公園内体育施設の機能強化事業)	観光振興の観点からスポーツイベントの誘致を推進するため、体育施設の機能強化を図る。	イ	1	24	8	25	3	368,375	368,375	294,700			73,675		3	3	(2)	ウ			
4	浦添へ観光客誘致と特産品の販売拡大プロジェクト	市の観光振興及び特産品の販路拡大を図るため、プロ野球キャンプを活用したイベントのほか、着地型観光商品の開発、情報発信、観光基盤の整備等を実施する。	ニ	5	24	7	29	3	104,760	104,760	83,806			20,954		3	3	(9)	イ			
①	(浦添の物産と観光展事業)	産業振興及び観光振興に資するため、地場産品の展示販売や観光展を開催し、県民及び観光客等へ広くPRする。24年度は展示会等へのマスコミを誘致し来場者数の増加を図る。	ニ	5	24	7	29	3	4,000	4,000	3,200			800		3	3	(9)	イ			
②	(着地型観光商品「うらおそいでこ回廊」開発事業)	着地型観光商品を開発するため、コンサルタントに業務委託し、調査研究やワークショップの開発等を実施する。	イ	5	24	7	29	3	24,084	24,084	19,267			4,817		3	3	(2)	ア			
③	(来て・見て・楽しい"まるごと浦添"観光情報発信事業)	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル・ソフトの開発等を行う。	イ	5	24	8	29	3	30,037	30,037	24,029			6,008		3	3	(2)	イ			
④	(ヤクルトファン浦添にめんそーれ事業)	ヤクルト春季キャンプを活用した観光振興を推進するため、キャンプ期間中は、会場の総合運動公園を中心に観光情報を発信し、市内の飲食店や特産品販売店等への誘客を図る。 また、シーズン中は神宮球場で開催される公式戦1試合を「浦添観光キャンペーンデー」として位置づけ、観光誘客イベントを実施し、沖縄県及び浦添市の特産品等の紹介及び販売等を行う。	イ	5	24	7	29	3	5,005	5,005	4,004			1,001		3	3	(2)	イ			
⑤	(ここにおいて浦添タウン事業)	市内への観光誘客を図るため、各商店街や通り会でのイベント開催、観光ルートの美化・緑化等に取り組む。	イ	5	24	7	29	3	4,000	4,000	3,200			800		3	3	(2)	イ			
⑥	(浦添うまれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業)	「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。	ニ	5	24	7	29	3	6,069	6,069	4,855			1,214		3	3	(9)	イ			
⑦	(浦添特産品の県外・国外への販路拡大事業)	生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。	ニ	5	24	7	29	3	12,818	12,818	10,254			2,564		3	3	(9)	イ			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業				総事業費					振興計画該当箇所	備考			
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費								
							年	月	年		月	A	B			C	負担額	
					沖縄県	市町村				その他							D	E
⑧	(島桑オジー&オパーで観光・産業・街おこしプロジェクト)	特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ(正式和名)」を活用し、養蚕業(繭の生産)のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。浦添市シルバー人材センターの高齢者を活用することで、コスト圧縮と事業者への安定的供給を図る。	ニ	5	24	7	29	3	17,387	17,387	13,909				3	3	(9)	イ
⑨	(浦添市農業フェスタ支援事業)	観光振興及び特産品の品質向上に資するため、「農協まつり」の競作会や表彰、展示販売等を支援する。	ニ	5	24	7	29	3	1,360	1,360	1,088				3	3	(9)	イ
5	浦添市産業支援機能強化事業	市の産業の振興及び地域経済の活性化に資するため、起業家の育成事業、経営等に関する相談又は助言の事業、産業振興のための人材の育成事業、施設の貸出等に関する事業を行う。	ハ	5	24	7	29	3	15,605	15,605	12,484				3	5	(5)	
②	(経済人材育成事業)	沖縄の産業振興に資する人材を育成するため、講習会、研修会、セミナー等を開催する。	ハ	5	24	7	29	3	4,305	4,305	3,444				3	5	(5)	イ
③	(IT人材研修事業)	実社会でのニーズに対応できる人材を育成するため、ソフトウェアやコールセンター関連の研修を開催する。	ハ	5	24	7	29	3	6,300	6,300	5,040				3	5	(5)	ア
④	(スーパー・コミュニケーション・スクール事業)	国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関としてスーパーコミュニケーションスクールを設置する。	ハ	5	24	7	29	3	5,000	5,000	4,000				3	5	(5)	ウ
6	那覇港物流機能等強化事業	旅客の安心・安全な施設利用と貨物の増加に伴う安定した対応及び施設使用料の低廉化と輸送コストの低減を図るために、浦添市は、那覇港管理組合が実施する施設整備事業費等の負担金を支出する。	ニ	2	24	6	26	3	114,092	114,092	91,272				3	3	(4)	ア
①	(ガントリークレーン整備事業)	輸出貨物の積み残しが生じていることから、港湾機能強化を図るため、現在2基のガントリークレーンを1基増設する。	ニ	2	24	7	26	3	40,000	40,000	32,000				3	3	(4)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期				総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					事業始期		事業終期		A	交付対象事業費			G						
					年	月	年	月		B	C	負担額							
												沖縄県				市町村	その他		
年	月	年	月	年	月	D	E	F											
②	(那覇港物流ビジネスモデル導入事業)	那覇港を活用することによる新たな付加価値を生み出すため、「那覇港物流ビジネスモデル」の提案及び「社会実験」の実証をするための費用を補助する。	ニ	1	24	6	25	3	3,955	3,955	3,164		791			3	3	(4)	ア
③	(リーファー電源整備事業)	年々需要が増大しているリーファーコンテナをさらに獲得するため、リーファー電源整備を40口増設する。	ニ	1	24	7	25	3	12,000	12,000	9,600		2,400			3	3	(4)	ア
④	(生活物資安定供給対策事業)	物流機能の強化を図るため、浦添ふ頭の岸壁背後地に防風柵を設置し、船舶のシフトの円滑化を図る。	ニ	1	24	6	25	3	26,000	26,000	20,800		5,200			3	3	(4)	ア
⑤	(観光客利便性向上施設整備事業)	観光旅客が安全で快適に移動できるなどの利便性向上を実現するため、ボーディングブリッジを整備するための費用を補助する。	ニ	2	24	6	26	3	6,000	6,000	4,800		1,200			3	3	(4)	ア
⑥	(総合物流センター可能性調査事業)	物流機能の強化及び物流関連企業の誘致等を促進するため、国際・国内貨物を取り扱う那覇港総合物流センター整備の可能性調査を実施する。	ニ	1	24	6	25	3	5,546	5,546	4,436		1,110			3	3	(4)	ア
⑦	(浦添市西海岸開発基本方針検討事業)	那覇港管理組合が10年毎に策定する港湾計画が平成25年度に改定される。この改定に市のビジョンを盛り込むため、国際観光交流拠点を拡大する土地利用の検討、立地環境特性を考慮した地型の検討等を行い、地先自治体として、浦添ふ頭地区の地元基本計画を作成する。	ニ	1	24	9	25	2	10,059	10,059	8,047		2,012			3	3	(4)	ア
⑧	(那覇港浦添ふ頭地区港湾関連用地活用調査)	浦添ふ頭国際物流地区(港湾関連用地)を拡張した場合の企業の動向等を把握するため、需要動向調査(ヒアリング及びアンケート)及び先進地事例調査を実施し、土地利用基本方針案の根拠資料等に供する。	ニ	1	24	9	25	2	10,532	10,532	8,425		2,107			3	3	(4)	ア
7	未来へ翔たく太陽っこ育成事業	スポーツ・文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を負担する。	ハ	10	24	9	34	3	25,000	10,000	8,000		2,000		15,000	3	5	(2)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所		備考				
					年	月	年	月	A	B	C	負担額					G			
					交付金交付額			D				E	F							
									沖縄県	市町村	その他									
8	一人ひとりが輝くティーンの子	沖縄県では高い失業率や全国学力テストでの最下位が続いている。確かな学力、豊かな心、健やかな体などの生きる力を育み、一人ひとりの個性を伸ばし、将来の浦添（沖縄）を担う人材の育成に取り組む。	へ	10	24	8	34	3	55,712	55,712	44,569			11,143			3	5	(3)	
①	(エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業)	社会性・協調性を養い、エコアイランド浦添に向けた人材育成を図るため、小学生を対象とした自然、農業、漁業の体験学習を行う。	へ	10	24	9	34	3	12,670	12,670	10,136			2,534			3	5	(3)	イ
②	(学力等底上げ推進支援事業)	児童生徒の学力の底上げを図り沖縄振興を支える人材を育成するため、学校教育支援員、日本語教育支援員、教育相談員を各学校へ配置する。	へ	10	24	8	34	3	43,042	43,042	34,433			8,609			3	5	(3)	ア
9	がんじゅうちびっ子育成事業	高温多湿気候の沖縄県で、夏場においても園児の健康を確保するため、市立幼稚園に業務用冷蔵庫を整備するなど衛生環境の改善を図る。	チ	1	24	10	24	11	5,660	5,660	4,527			1,133			3	5	(3)	イ
10	歴史と文化の薫るまち浦添	琉球王国発祥の地といわれている浦添市において、誇りと愛着の持てる市民文化の創造と歴史と文化の薫り高いまちづくりを推進するため、文化財等の保存・整備、歴史・文化の調査研究、文化活動の機会拡充等を行う。	リ	7	24	9	31	3	15,851	15,851	12,680			3,171			3	1	(4)	
①	(浦添の歴史文化整備保存事業)	歴史文化資料を市民共有の財産として後世に引き継ぐために、音声資料の翻刻およびデジタル化、写真資料のデジタル化を行い、保存等を行う。 また、これまで蓄積した収集資料をもとに、「浦添市移民史」および「浦添の民話」を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として記録・保存する。	リ	7	24	9	31	3	7,623	7,623	6,098			1,525			3	1	(4)	エ
②	(歴史にふれる館整備事業)	港川調理場移転に伴う空き施設を文化財の保存と展示施設として再利用するための改修設計を行う。 本事業は、浦添城跡をはじめとする市内に所在する遺跡の発掘調査で得られた土器・石器・陶磁器等の遺物、市民から寄贈された多くの民具、近世の浦添の一端を表出する近世墓と厨子甕等を展示活用することで、浦添市の歴史と文化への理解を深めるとともに文化財保護の意識高揚を図る。	リ	3	24	9	27	3	7,348	7,348	5,878			1,470			3	1	(4)	ア
③	(琉球空手のルーツを探る事業)	文化と観光の振興に資するため、琉球固有の武術「手（ティー）」と中国武術の関連性について調査するとともに、相互の武術交流を実施する。	リ	3	24	9	27	3	880	880	704			176			3	1	(4)	エ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					事業始期		事業終期		A	交付対象事業費			G						
					年	月	年	月		B	C	負担額							
					年	月	年	月				D				E	F		
11	学校給食衛生管理機能拡充事業	高温多湿気候の沖縄県において、学校給食の更なる安全・安心を確保するため、老朽化が著しい市内小中学校の保冷庫を整備するなど衛生環境の向上を図る。	チ	1	24	9	25	3	18,371	18,371	14,696		3,675			3	5	(3)	ウ
12	～「子供が主役に」のまちづくり～子育て支援充実プロジェクト	働きながら子育てのできる環境を整備するため、待機児童の解消や放課後の居場所づくりに資する事業を行う。	ヌ	10	24	9	34	3	25,441	25,441	20,352		5,089			3	2	(2)	イ
①	(幼稚園で一だつ子のびのび事業)	全国と比較して保育所の待機児童数が多い本市において子育て支援を推進するため、小学校と連携した公立幼稚園において2年保育と預かり保育の充実を図る。	ヌ	10	24	9	34	3	21,800	21,800	17,440		4,360			3	2	(2)	イ
②	(浦添市学童つ子応援プロジェクト)	保護者の負担軽減を図り子育て環境を整備するため、公的施設に入居していない放課後児童クラブに対し、公的施設移行までの間、家賃補助を行う。	ヌ	10	24	9	34	3	3,641	3,641	2,912		729			3	2	(2)	イ
13	「備えて安心安全」推進事業	離島県である沖縄県においては、本土に比べて、災害時の救済等に時間がかかることが懸念される。大規模災害に備え住民の安全を確保するため、備蓄食糧の確保と、それを保管する倉庫等の設置等を行う。	レ	5	24	10	29	3	7,811	7,811	6,248		1,563			3	2	(4)	イ
①	(災害時備蓄食糧購入強化促進事業)	災害に備え、防災計画に基づき、市の人口の1/20の食料3日分を備蓄する。	レ	5	24	11	29	3	1,959	1,959	1,567		392			3	2	(4)	イ
②	(災害時備蓄食糧保管倉庫等整備事業)	備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の設置や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行う。	レ	5	24	10	29	3	3,668	3,668	2,934		734			3	2	(4)	イ
③	(減災まちづくり事業)	地震や津波など、災害が発生した場合に、住民が自主的かつ迅速に避難するために必要な情報(避難場所や避難路、海拔、危険地域等)を地図上に示した「防災マップ」を作成し、地域住民や観光施設等の事業所に配布する。	レ	1	24	10	25	3	2,184	2,184	1,747		437			3	2	(4)	イ
14	ひと・まち・未来が輝く「てだこのまち」平和推進プロジェクト	戦後処理問題の解決を図るため、沖縄戸籍のシステム化や里道・水路の境界問題の解決、つぶれ地の買い上げ補償等に取り組む。 普天間飛行場に隣接する本市において、航空機騒音の現状を把握し基礎資料を作成するため、市内に騒音測定器を設置する。また、牧港補給地区の返還後、すみやかに事業実施ができるよう跡地利用計画等を策定する。	ソ	10	24	6	34	3	1,377,233	1,377,233	1,101,784		275,449			3	2	(5)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期				総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業始期	事業終期	交付対象事業費					交付対象外経費								
							年	月	年	月	A		B			C	負担額			
																	沖縄県	市町村	その他	D
①	(航空機騒音基礎調査事業)	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。	ソ	1	24	7	25	3	23,544	23,544	18,835			4,709			3	2	(5)	イ
②	(戦災滅失戸籍等沖縄戸籍関係書類システム化事業)	戦禍により滅失し、戦後再生された沖縄戸籍は、現在、紙原本で約86,000枚の書類として保管されている。紙原本劣化による散逸の危険性を除去するため、電子化して保存する。	ソ	1	24	7	25	3	46,305	46,305	37,044			9,261			3	2	(5)	イ
③	(里道及び水路の境界確定復元事業)	戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元・確定を行う。	ソ	1	24	11	25	3	60,000	60,000	48,000			12,000			3	2	(5)	イ
④	(牧港補給地区跡地利用計画基本計画策定事業)	平成18年に在日米軍再編協議において全面返還が合意された牧港補給地区において、返還後、速やかな事業着手が行えるよう跡地利用基本計画を策定及び効果分析を行う。	ソ	10	24	6	34	3	16,007	16,007	12,805			3,202			3	3	(13)	イ
⑤	(牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業)	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。	ソ	10	24	7	34	3	2,279	2,279	1,823			456			3	3	(13)	オ
⑥	(牧港補給地区情報システム事業)	牧港補給地区に関する情報を適正に管理するため、土地及び地権者情報をデータベースによるシステム化を図る。	ソ	10	24	7	34	3	13,167	13,167	10,533			2,634			3	3	(13)	イ
⑦	(学校施設騒音測定事業)	普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生していることから、児童生徒の学習環境づくりに資するため、騒音測定器を市内16の小中学校に設置し、教室内の航空機騒音の正確な数値を把握する。	ソ	1	24	8	25	3	2,234	2,234	1,787			447			3	2	(5)	ア
⑧	(浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業)	戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。	ソ	3	24	12	27	3	1,213,697	1,213,697	970,957			242,740			3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	名護市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,207,000	1,207,000		1,207,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考			
					年	月	年	月		A	B	C	負担額				G		
													交付金交付額						
													沖縄県	市町村				その他	
合計									1,707,780	1,685,054	1,207,000	478,054	22,726						
1	名護市特色ある教育環境整備事業	小・中学校における教育環境や教育教材を充実させ、児童生徒の基礎学力等の向上に向けたきめ細かな取り組みを行う。また、学習指導支援者、生徒指導支援者、英語支援員を小中学校に配置するとともに適応指導教室に支援員を配置することで、教育体制を支援、強化するほか、ハブ防護フェンスの設置により、安全な学校生活が送れる環境を整備する。 さらに、中学生海外短期留学派遣補助や遠隔地における運動競技会又は文化関係大会参加への補助により、国際感覚豊かな人材育成及び文化・スポーツ活動をとoshした心と体の健やかな育成を図っていく。	チ	10	24	6	34	3	63,931	61,251	48,998		12,253		2,680	3	5	(3)	
①	学習指導支援者配置事業	児童生徒の学力向上のために、学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図る。	チ	10	24	10	34	3	4,697	4,697	3,757		940			3	5	(3)	7
②	生徒指導支援者配置事業	個別の指導や相談を必要とする不登校児童生徒に対応するため、教職員を補佐し、継続的な支援活動や様々な体験活動を通じた個別指導を行う生徒指導支援者を小・中学校へ配置し、児童生徒の自己存在感を育み、自立するための支援体制を構築することで教育環境を充実させ、基礎学力等の向上を図る。	チ	10	24	10	34	3	4,704	4,704	3,763		941			3	5	(3)	4
③	小中学校英語支援員配置事業	小・中学校の英語を中心とした外国語活動の授業における指導補助、教材作成や英語スピーチコンテスト等の指導補助として、各小・中学校に小中学校英語支援員を配置することで教育環境の充実を図り、児童生徒の国際理解やコミュニケーション能力、基礎学力等の向上に繋げる。	チ	10	24	10	34	3	11,987	11,987	9,589		2,398			3	5	(4)	7
④	教育用ソフト購入事業	市内の小・中学校へ主要教科（国語・算数/数学・理科・社会）のデジタル教科書・教材などを購入・配布し、教科書の拡大提示や映像資料によるリアリティを持たせる授業をとoshし、驚きや感動を与え、児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図っていく。	チ	1	25	2	25	3	21,891	21,891	17,512		4,379			3	5	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費 A	交付対象事業費					振興計画 該当箇所	備考			
					年	月	年	月		B	C	負担額					G		
												D	E	F					
																		交付金交付額	
交付対象外経費																			
			章			節			項			目							
⑤	中学生海外短期留学派遣事業	小さな世界都市をめざす本市の中学生を英語圏に短期間派遣し、英語を学ぶことへの関心・意欲を高め、視野を広げるとともに国際感覚豊かな人材育成を目指す。	チ	10	24	6	34	3	10,003	8,903	7,122		1,781		1,100	3	5	(4)	ア
⑥	適応指導教室支援員配置事業	適応指導教室に支援員を配置し、不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援活動を行うとともに、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、学校復帰を支援する。	チ	10	24	10	34	3	4,704	4,704	3,763		941			3	5	(3)	イ
⑦	名護市児童生徒等の県外派遣等に関する補助金交付事業	小・中学校の児童生徒等や県立高等学校及び高等専門学校等の生徒が、県外で開催される運動競技会又は文化関係大会に参加する際の派遣費用を補助する。	チ	10	24	9	34	3	2,290	710	568		142		1,580	3	5	(4)	イ
⑧	稲田小学校ハブ除けフェンス設置事業	毎年4・5匹のハブが校内で捕獲されている稲田小学校周辺にハブ防護フェンスを設置し、児童生徒が安全な学園生活が送れるよう環境整備を行う。	チ	1	24	12	25	3	3,655	3,655	2,924		731			3	5	(3)	ウ
2	名護市沖縄関係戸籍の電算化事業	本市の沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。今後も安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	ソ	1	24	8	25	3	34,650	34,650	27,720				6,930	3	2	(5)	イ
3	名護市スポーツ・文化環境整備事業	県レベルの大会やスポーツコンベンションの開催、さらにはトップアスリートによる合宿利用等にも対応できるよう、市内競技施設の改修や運動公園の拡張整備等を実施し、スポーツ環境の充実を図る。	イ	2	24	10	26	3	160,859	160,859	128,687				32,172	3	2	(1)	イ
①	陸上競技場改修事業	住民の健康づくりやトップアスリート等による利活用を促進するため、名護市陸上競技場の改修整備によりスポーツ環境の強化を図る。	イ	1	24	10	25	3	157,620	157,620	126,096				31,524	3	2	(1)	イ
②	真喜屋運動広場整備事業	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、多目的広場としての利用環境を改善する。	イ	2	24	10	26	3	3,239	3,239	2,591				648	3	2	(1)	イ
4	名護市地場産業の活性化及び6次産業推進事業	名護市の基盤産業である第1次産業の活性化に向け、地域農産物の安定供給に資する青果等市場を整備する。また、農産物の高付加価値化、販路の拡大による農業所得の向上を図るため、6次産業化支援施設を整備するとともに、農畜産業、水産業の活性化を図るための直売加工施設を整備する。	ハ	3	24	8	27	3	898,546	898,546	718,836				179,710	3	3	(7)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所		備考		
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費						G	
					交付金交付額			負担額											
					D			E				F							
①	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。	ハ	3	24	8	27	3	692,054	692,054	553,643					3	3	(7)	キ
②	(仮称)名護市青果等市場整備事業	地域農産物の販路の確保、地産地消の推進による農家の所得の安定・向上及び地域農業の振興を目的に、市外・県外への安定した農産物の供給体制を確立するための青果等市場を整備する。	ハ	1	24	8	25	3	182,340	182,340	145,872					3	3	(7)	イ
③	羽地地域直売加工施設整備事業	羽地地域に農産物、畜産物、水産物等の直売加工施設を整備し、生産者の所得向上及び生産意欲向上による担い手の確保や新規雇用効果により、同地域の経済・産業の活性化を促進する。	ハ	2	24	12	26	3	24,152	24,152	19,321					3	3	(7)	イ
5	名護市地域資源と地域特性を生かした観光基盤整備事業	名護市は、年間を通じて多くの観光客が訪れるが、通過型の観光となっていることから滞在型、体験型の観光への転換を図るため、地域に密着したプロ野球キャンプの受け入れ、地域資源を活用した観光基盤の整備、景観ルールの策定、観光ルートの緑化等を行う。	イ	10	24	7	34	3	153,266	133,220	89,395			20,046		5	3	(1)	イ
①	ファイターズ・キャンプ支援事業	北海道日本ハムファイターズのキャンプ期間中における、駐車場の確保、球場までのシャトルバスの運行、球場周辺等に警備員・誘導員を配置し、見学者並びに車両を安全スムーズに誘導する。	イ	10	24	12	34	3	6,560	6,560	5,248					5	3	(1)	イ
②	二見以北4小学校跡地等利用事業	閉校となった二見以北4小学校を体験・交流施設等として活用するため、危険性の高い施設を除去し、跡利用の推進に必要な環境整備を行うとともに、学校跡地周辺の地域資源を活用した地元主体の観光基盤整備及び地域づくりに必要な備品等を購入する。	イ	1	24	8	25	3	45,415	25,369	20,295			20,046		3	2	(7)	イ
③	大浦マングローブ林体験学習施設基本計画策定事業	体験型観光への転換による地域の振興を図るため、市指定天然記念物である大浦湾のマングローブ林という天然資源を活用した、自然体験学習施設整備を検討するための基本計画を策定する。	イ	1	24	10	25	3	11,015	11,015	8,812					5	3	(1)	イ
④	轟の滝周辺整備事業	貴重な文化財である轟の滝の豊かな自然環境を保全・活用し、やすらぎと潤いある自然空間の実現に向けた整備を行い、魅力ある観光スポットとして、まちの活性化、観光振興に繋げる。	イ	4	24	10	28	3	19,600	19,600	15,680					5	3	(1)	イ
⑤	沖縄らしい風景づくり推進事業	地域景観資源を保全・再生し、観光振興に活用するため、景観形成方策及び景観形成基準に関する検討を行い、名護市の景観計画を策定する。	イ	1	24	7	25	3	4,935	4,935	3,948					3	1	(6)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画 該当箇所				備考					
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費								G				
					交付金交付額			負担額																
								沖縄県				市町村	その他	D	E	F								
⑥	名護さくらのまち推進事業	名護さくら祭り会場となる名護城（ナングスク）及びその近隣の緑道、並びに観光資源となっている勝山（安和岳、嘉津宇岳、八重岳）へのアクセス道路に桜を植樹し、桜であふれる景観づくりを行い観光資源として活用する。	イ	2	24	12	26	3	28,637	28,637	22,909				5,728					5	3	(1)	イ	
⑦	21世紀の森公園等機能強化事業	多くの市民・観光客が利用する21世紀の森公園施設の機能強化による利便性・安全性の向上を図るとともに公園の美化・緑化を推進し、本市の観光振興を図る。	イ	1	25	1	25	3	37,104	37,104	12,503				24,601					5	3	(1)	イ	
6	名護市安全・安心のまちづくり事業	名護市は、沖縄本島の北部に位置し、東西が海に接しているほか、沖縄本島では比較的高い山である八重岳、嘉津宇岳、安和岳、多野岳、名護岳、久志岳などが連なる環境である。山間地域では、土砂災害、トンネル災害の対策、海岸地域では津波、高潮、風害などの災害の対策が急務な状況である。 このため、本市において想定される災害に対する市民等の意識を向上するため、ハザードマップを作成するとともに、災害時の安全で迅速な救助活動に対応するための資機材を整備する。	レ	3	24	11	27	3	11,829	11,829	9,462				2,367					3	2	(4)	イ	
①	行政区単位版ハザードマップ作成事業	暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり等の各種災害から市民等の被害を軽減するため行政区単位版ハザードマップを作成する。	レ	3	24	11	27	3	2,646	2,646	2,116				530					3	2	(4)	イ	
②	トンネル災害及びテロ災害等対応資機材整備事業	平成23年4月に二見バイパス1号及び2号トンネルが開通し、平成24年4月には県内で最長となる名護東トンネルが供用開始されるなど、本市の山間地域には複数のトンネルがある。こうしたトンネル内で発生する車両事故や特殊なトンネル災害に対応するための資機材を整備し、迅速な救助活動を実現する。	レ	1	24	11	25	3	9,183	9,183	7,346				1,837					3	2	(4)	イ	
7	名護市コミュニティ活性化推進事業	地域内交流や来街者との交流による地域の活性化及び観光振興を図るため、スポーツや伝統文化など地域の社会教育活動を通じた世代間交流の促進やリゾートで訪れる観光客等との交流・体験活動の場となる拠点施設を整備する。	イ	1	25	1	25	3	314,820	314,820	128,000				186,820					3	2	(7)	イ	
①	喜瀬交流プラザ整備事業	喜瀬地区においては、スポーツや豊年祭をはじめとする伝統文化・芸能などの地域活動を通じて観光客との交流・体験活動を計画しており、本事業によりこれら交流拠点の整備を行う。	イ	1	25	1	25	3	189,000	189,000	64,000				125,000					3	2	(7)	イ	
②	地域力発信交流拠点施設整備事業（大北）	近年盛んな沖縄観光の目玉である「芸能」や「食」の発信・交流の拠点になるとともに、エイサー等の練習や特産品開発など、地域の産業・文化・生活を活性化・再生する拠点となる施設を整備する。	イ	1	25	1	25	3	125,820	125,820	64,000				61,820					3	2	(7)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費							振興計画該当箇所				備考	
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			B	C	負担額						G
										交付金交付額	負担額										
											D	E			F						
												交付対象外経費									
																章 節 項 目					
8	名護市自転車まちづくり推進事業	温室効果ガスの排出削減による低炭素社会の構築を目指し、良好な「環境」の創出に寄与する「自転車まちづくり」を推進するため、自転車のモデルレーン（自転車指導レーン）整備を実施する。	レ	4	24	10	28	3	40,000	40,000	32,000			8,000				3	1	(3)	ウ
9	名護市金融・情報特区推進事業	金融・情報通信関連企業の立地による雇用創出や定住人口増加の基盤となるまちづくりや人材育成・就労支援等を効果的に推進するため、金融・情報通信国際都市形成計画を策定するとともに、企業招聘セミナーなどの広報イベント・誘致活動及び通信環境の高度化のための整備を実施し、金融・情報関連企業の誘致を促進する。	ロ	1	24	7	25	3	29,879	29,879	23,902			5,977			5	3	(1)	イ	
①	金融・情報通信国際都市形成計画策定事業	平成19年度事業で取りまとめた金融・情報通信国際都市形成計画を踏まえ、これまで進められてきた諸事業の進捗及び成果を検証し、再整理するとともに、検証及び再整理に基づく平成30年度までのロードマップの構築を行う。	ロ	1	24	9	25	3	19,610	19,610	15,688			3,922			5	3	(1)	イ	
②	企業招聘セミナー等広報イベント事業	金融・情報通信関連企業の集積を図るため、県外企業の経営者又は担当者に本市を訪問してもらい、本市の取組み、立地環境、進出企業との意見交換等の情報提供の機会を設け、「名護市」の魅力をPRし、企業進出の契機とする。	ロ	1	24	7	25	3	5,677	5,677	4,541			1,136			5	3	(1)	イ	
③	豊原地区光ファイバ設備整備事業	金融・情報通信関連企業の集積を図るため、みらい3号館からみらい4号館までの区間に光ファイバによる通信回線の冗長化（二重化）のための整備を実施する。	ロ	1	24	12	25	3	4,592	4,592	3,673			919			5	3	(1)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	糸満市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,070,000	1,070,000		1,070,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					事業	事業		A	B	C	負担額			G	章		節	項	目		
					始期	終期					沖縄県		市町村							その他	
					年 月	年 月															D
合 計								1,337,516	1,337,516	1,070,000		267,516									
1	糸満市まるごと博物館事業	糸満市は、ひめゆりの塔、健児の塔をはじめとする慰霊塔への参拝団が数多く訪れ、沖縄観光の初期の形をつくっていた。 本事業は、市全体を屋根の無い博物館に見立て、地域内の城跡や公園機能、サンゴ礁造成等の魅力づくりに取り組み「誰もが訪れたいまち」としての諸条件を整え、観光振興と併せて、市民の生活環境向上を図ることを目的とする。	イ	5	24	7	29	3	149,976	149,976	119,976			30,000				3	3	(2)	
①	具志川城跡整備事業	国指定史跡具志川城跡を展示・解説する教養等施設を建設し、観光客の誘客などを推進する。当該年度は施設建設に向けた用地測量及び用地購入(400平方メートル)を実施する。	イ	1	24	7	25	3	7,092	7,092	5,672			1,420				3	1	(6)	7
②	サンゴ礁造成事業	本市の漁業の発達は、地先の礁池内における沿岸漁業が源であった。復帰後は陸域起因物質等による海の汚れでサンゴの生息が脅かされてきた。豊かで美しい海を育むサンゴの減少は、水産業振興を後退させる要因である。また、沖縄観光に訪れる観光客にとって美しい海の存在は不可欠である。本市においては「全国豊かな海づくり大会」が開催されることもあり、これを契機として礁池内へのサンゴ礁移植を実施する。	イ	1	24	7	25	3	5,970	5,970	4,776			1,194				3	1	(1)	7
③	海のふるさと公園機能強化事業	海のふるさと公園を漁業と海洋性レクリエーションの拠点とし、機能の強化をはかり体験学習の場としての活用をはかる。	イ	1	24	7	25	3	47,850	47,850	38,280			9,570				3	3	(2)	ウ
④	ハーリー・ハーレー船造船事業	市内の漁村地域では、爬虫船競漕が盛んでとりわけ糸満ハーレーは沖縄の夏を告げる行事として、さらに沖縄独特の旧暦文化を体感できる観光資源として名高い。漁村の地域行事を一層魅力ある観光資源とするため、木製のサバニを年次的に整備する。	イ	1	24	7	25	3	10,206	10,206	8,164			2,042				5	3	(3)	イ
⑤	沖縄らしい風景づくり事業	本市は、農村と漁村の風景が残る他に類を見ない地域である。この魅力的な地域の風景を活かした観光地づくり等を進める為風景づくり計画の策定を実施する。	イ	1	24	7	25	3	5,001	5,001	4,000			1,001				3	1	(6)	7

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考							
					開始	終了		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目						
											年	月								年	月	年	月	年	月
⑥	昔ながらの原風景写真デジタル保存事業	市史編集事業等により役所内に保存されている写真やフィルムは、沖縄県の高湿多湿な環境により劣化が著しい。地域の歴史を記録する貴重な写真は、地域（博物館）を案内する語り部の重要な資料となることから同情報を市ホームページ等で公開し、新たな観光資源として活用できるようにする為、同情報のデジタル化を実施する。	イ	5	24	7	29	3	16,125	16,125	12,900					3	3	(2)	オ						
⑦	新しい公共交通検討事業	観光客が地域内（小さなムラ）を散策する姿が増加傾向にあるが、散策型観光を支える小さなムラへの交通手段が途絶える危機に直面している。市内に点在する小さなムラ（市まるごと博物館の観光資源）をつなぐ公共交通手段の確保に向け、公共交通の調査検討事業を導入する。	イ	1	24	7	25	3	13,091	13,091	10,472					3	3	(2)	ウ						
⑧	戦火を逃れた文化遺産の保護事業	沖縄県本島南部は大戦の激戦地で多くの歴史文化遺産が焼失した。本市には奇跡的に残った砂岩質の石橋があり、さらに原位置に存在することは稀である。橋の役割やいかにして戦火を超えてきたかなど説明・保存する為、石橋の購入及び案内表示板の設置等を実施する。	イ	1	24	7	25	3	3,449	3,449	2,759					3	1	(4)	7						
⑨	生活感幸（観光）環境づくり事業	市内集落の拝所やカー（井泉）、旧跡等地域住民の生活基盤資源を観光資源に拡充するため調査を実施し、地図情報等に落とし込む。また、同情報を紙媒体及び市ホームページ等で公開し、新たな観光資源を散策できる情報を提供する。	イ	1	24	7	25	3	1,477	1,477	1,181					3	3	(2)	ウ						
⑩	地域散策道路整備事業	観光客が地域内を散策する姿が増加傾向にあるが、域内散策をする道路の利便性や安全性が脆弱であること、さらに、市で取り組んでいる地域の観光資源化事業（村まるごと生活博物館）を進めるうえで地域内の道路整備が求められることから、農村地域の散策道路等を整備する。	イ	1	24	7	25	3	29,715	29,715	23,772					3	3	(2)	ウ						
⑪	東シナ海と太平洋が交わるロケーション周辺保全事業	沖縄本島の南部に位置する糸満市は、東シナ海と太平洋が交差する風光明媚なロケーションを有している。それらの観光客の訪れる観光ポイントの環境美化を実施する。	イ	1	24	12	25	3	5,000	5,000	4,000					3	3	(2)	ウ						
⑫	冬場のエコスポーツ拡大事業	沖縄の温暖な気候を求めてスポーツ観光が拡大傾向にあり、本市にあつては他自治体と競合しない新たな観光資源の掘り起こしを行っている。また、本市では本土では冬場コースが凍結し、開催が困難なマウンテンバイクの大会を開催している。外国人を含めたプロ選手等が参加する大会へ拡大するため、大会拡大に対応できる環境整備等を行う。	イ	1	24	12	25	3	5,000	5,000	4,000					3	3	(2)	7						
2	糸満市まるごとスマート化事業	本市は地域の魅力づくりの取組として、再生可能エネルギーの活用や環境負荷低減を図る事業を導入し、沖縄県内に2件しかないエネルギーパークに認定されるまでに至った。本事業は市全体のスマート化を図る諸事業に取り組み、本市の魅力向上させ、誰もが訪れたいくなるまちづくりことを目的に実施する。	レ	1	24	7	25	3	134,217	134,217	107,372					3	1	(3)							

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画 該当箇所				備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			B	C						負担額		
					交付金交付額			D		E	F											
①	スマート化基本計画策定事業	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、糸満市庁舎のエネルギー利用をより効率化するための調査計画を行う。	イ	1	24	7	25	3	4,060	4,060	3,248			812				3	1	(3)	7	
②	太陽光エネルギー利用設備合理化事業	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、糸満市庁舎の太陽光発電設備の合理化により効率化をはかるとともに施設内容を解説する説明板を整備する。	イ	1	24	7	25	3	16,300	16,300	13,040			3,260				3	1	(3)	7	
③	省エネ設備化推進事業	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、庁舎の照明及び市管理防犯灯をLED化し省エネ化を推進する。	イ	1	24	7	25	3	56,979	56,979	45,583			11,396				3	1	(3)	7	
④	風力エネルギー利用推進事業	本市の先進的な環境への取組を更に推進すべく、糸満観光農園に設置されている風力発電施設を地元電力会社に充電が出来るよう、地域の電力系統に整合出来るように施設の整備を行う。	イ	1	24	7	25	3	6,731	6,731	5,384			1,347				3	1	(3)	イ	
⑤	エコカー導入事業	本市の先進的な環境への取組の一環としてクリーンエネルギーの普及啓発を推進すべく、公用車にエコカーを導入するとともに電気自動車用充電器を設置する。	イ	1	24	7	25	3	32,848	32,848	26,278			6,570				3	1	(3)	7	
⑥	電気式塵芥収集車導入事業	本市の先進的な環境への取組の一環としてクリーンエネルギーの普及啓発を推進すべく、塵芥収集車に電気自動車を導入する。	イ	1	24	7	25	3	13,000	13,000	10,400			2,600				3	3	(2)	7	
⑦	燃料ごみ処理モデル事業	本市の先進的な環境への取組を推進すべく、現在、4地区のみで取り組んでいる可燃ごみの固形燃料化を市全域に広めていくよう「燃料ごみ処理モデル事業」を実施する。	イ	1	24	7	25	3	4,299	4,299	3,439			860				3	1	(3)	ウ	
3	アマチュアスポーツのメッカ事業	県内では多くの自治体がプロ野球やプロサッカーのキャンプ地として環境整備に取り組んでいるため、アマチュアスポーツの長期合宿に制限が生じている。本市は、地域をアマチュアスポーツのメッカとして情報発信や受け入れ態勢を整えることで、他自治体と差別化を図り観光振興を図る目的に実施する。	イ	1	24	7	25	3	253,382	253,382	202,705			50,677				3	3	(2)		
①	運動公園・体育施設機能強化事業	アマチュアスポーツの受入体制の強化を図り、それに伴って、市民スポーツと地域の振興を推進する為、西崎運動公園・体育館等の機能強化を実施する。	イ	1	24	7	25	3	185,600	185,600	148,480			37,120				3	2	(1)	イ	
②	スポーツ観光分野開拓事業	本市への県内大会、九州・全国大会の誘致を促進する取組として、県内で活躍する団体等の試合やトップアスリートの講話・実技指導等を実施する。	イ	1	24	8	25	3	3,780	3,780	3,024			756				3	2	(1)	イ	

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画 該当箇所				備考	
					年	月	年	月	A	交付対象事業費				G						
										B	C	負担額								
												D	E		F					
交付金交付額		負担額																		
									章 節 項 目											
③	地域スポーツ施設の拡充事業	本市では県内大会、九州・全国大会の誘致を促進しているところであるが、未だ十分な受入れ体制ではないことから、多くの選手団を受け入れ円滑な大会運営を確保するため、地域に散在するスポーツ施設を年次的に機能強化等を実施する。	イ	1	24	7	25	3	64,002	64,002	51,201					3	2	(1)	イ	
4	観光客が安心して訪れるまち事業	観光振興は、本市並びに沖縄県経済発展の核となるものである。観光戦略を展開するうえで安心安全対策は必須であり、水難事故等の不測の事態への対応や避難施設の整備等観光客が安心して訪れるまち事業に取り組む。	イ	1	24	7	25	3	48,416	48,416	38,732				9,684	3	3	(2)		
①	海拔表示委託事業	本市は、多くの観光地を有し観光客の訪問地は海に近いところが多く存在する。観光客が安心して訪れることが出来るまちづくりを推進する為、観光地をはじめ市内要所に海拔表示板を設置する。	イ	1	24	7	25	3	3,675	3,675	2,940				735	3	3	(2)	ウ	
②	海洋レジャー客等安心確保事業	近年、海上イベント等が拡大傾向にあり、既存施設以外の海上利用もあるなど、水難事故等不測の事態への対応範囲が拡大している。そこで救助活動等海洋レジャーの不測の事態に対応し、観光客等の安心を確保すべく、ジェットボードの購入及びスロープの設置工事等を実施する。	イ	1	24	7	25	3	7,436	7,436	5,948				1,488	3	3	(2)	ウ	
③	観光地危機管理対策事業	災害時において、自治会或いは自主防災会は、いち早い避難誘導や救助、避難者の受入等を担っている。各公民館を防災拠点として位置づけ、地理的情報に乏しい観光客の避難所、情報提供所として開放し、被災者の救助活動等が安全・迅速かつ円滑に行えるよう資器材を整備する。	イ	1	24	8	25	3	25,815	25,815	20,652				5,163	3	3	(2)	ウ	
④	減災マップ作成事業	安全・安心できる観光地づくりを推進する為には、事前に避難場所等を明確にすること等によって、不測の事態に対応できる環境整備を推進する必要がある。そこで、災害時非難に必要な標高、避難場所情報等が掲載された地図を作成し、市民や観光施設等事業所等へ配布を実施する。	イ	1	24	7	25	3	8,190	8,190	6,552				1,638	3	3	(2)	ウ	
⑤	学校校舎緊急避難施設整備事業	スポーツ観光施設（野球場、体育館、陸上施設等）が立地する西崎地域はスポーツ観光施設利用者や近隣住民等の緊急避難箇所がきわめて少ない現状となっている。そこで、学校施設内にスロープの設置や車いす等で利用できるトイレへの機能拡充を行い、突発的に発生する災害時の緊急避難施設として整備する。	イ	1	24	12	25	3	3,300	3,300	2,640				660	3	3	(2)	ウ	
5	宣伝・受入体制整備事業	近年増加傾向にある外国人旅行者への対応として多言語観光案内マップ作成や接客のスキルアップ、スマートホンに対応できる情報発信や民泊受け入れ体制強化等、観光振興に連動する宣伝・受け入れ体制整備に取り組み、観光産業の振興を図る。	イ	1	24	7	25	3	180,341	180,341	144,272				36,069	3	3	(2)		

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画 該当箇所				備考
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
					交付金交付額			負担額											
					C			D	E	F									
①	多言語観光案内マップ作成事業	近年、糸満市にも中国、台湾、韓国など外国からの観光客の訪問が増加しており、観光客の利便性向上・観光客の周遊促進を図る為、多言語表示の観光マップを作成する。	イ	1	24	7	25	3	5,000	5,000	4,000					3	3	(2)	ウ
②	糸満ふるさと祭推進事業	糸満市の各字に残る民俗行事などを披露し、市民の融和と伝統行事を継承することによって、文化の振興を推進する。また観光客も対象とすることにより、本市の地域行事が観光振興に資することから、まつり実行委員会の支援を実施する。	イ	1	24	7	25	3	5,000	5,000	4,000					3	3	(2)	フ
③	平和の光イベント推進事業	糸満市は、年末年始にかけて平和の光事業（ピースフルイルミネーション）を実施しているが今年度は関連事業として平和の柱事業を加えてより強く恒久平和の発信を行う為、平和の柱事業のソーチライト購入及び、当該事業への補助等を実施する。	イ	1	24	7	25	3	30,000	30,000	24,000					3	3	(2)	フ
④	体験交流促進事業	滞在型観光を推進することを目的として、体験型観光メニューの新規開発や観光ガイド、体験指導員等人材育成事業等の委託を実施する。	イ	1	24	7	25	3	5,486	5,486	4,388					3	3	(2)	フ
⑤	接客スキルアップ事業	本市では中国や台湾などアジア圏からの観光が増加傾向にある。そこでアジア圏の旅行者が安心して立ち寄れるよう、事業所を対象とした語学習得や接客法等スキルアップ事業を委託する。	イ	1	24	7	25	3	2,000	2,000	1,600					3	3	(2)	エ
⑥	伝統行事観光化事業	本市の観光受入れ体制を強化すべく大綱引やハーレー行事等で観光客に配慮した組み立て式の観覧席等を年次的に整備する。また、糸満大綱引きや糸満ハーレー等の伝統行事体験ツアーについて観光客の誘客にどれだけ寄与したか実証実験を委託する。	イ	1	24	7	25	3	14,850	14,850	11,880					3	3	(2)	フ
⑦	緑と花の演出事業	本市の観光受入れ体制を強化すべく、何度も訪れたい美しいまちづくりを推進する為、大型ホテルが位置する西崎周辺や本市が進める花の名所づくり実施地域に南国らしい緑と花の異空間づくりとして既存公園の機能強化や植栽工事等を実施する。	イ	1	24	7	25	3	95,005	95,005	76,004					3	3	(2)	ウ
⑧	観光情報発信事業	近年のスマートフォン等の普及に伴い、インターネットを利用した情報発信の重要性が増している。このため、本市独自の観光情報や平和情報等を積極的に発信するため、マルチメディア及び多言語に対応したWebコンテンツ・マネージメント・システムの導入を委託する。	イ	1	24	7	25	3	20,000	20,000	16,000					3	3	(2)	オ
⑨	民泊受入体制強化事業	自然体験や農業体験等教育旅行の需要が増える中、本市においても民泊が実施されている。本事業は、安心・安全な民泊がなされるよう研修や救急措置法等の講習会を実施し、民泊受け入れ世帯のスキルアップを行う。併せて、受け入れ世帯の拡大に向け、広報周知を行う。	イ	1	24	7	25	3	3,000	3,000	2,400					3	3	(2)	ウ

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考								
					期	間	始	期	交付対象事業費					交付対象外経費							
									年	月	年				月	A	B	C	負担額		
																			D	E	F
章	節	項	目																		
6	海幸振興事業	糸満市は、「漁業のまち」、「海人のまち」として市内外に知られ水産都市として大きく発展してきた。本事業にあっては、水産業振興センター設置やフィッシャリーナ機能強化等水産業振興に寄与する事業に取り組む。	ハ	5	24	7	29	3	214,385	214,385	171,507					3	3	(7)			
①	糸満市水産業振興センター設置事業	新たな水産技術の習得と応用により、養殖・水産加工業等の新たな水産業の確立を旨とする施設として整備する。	ハ	5	24	8	29	3	168,541	168,541	134,832					3	3	(7)	オ		
②	フィッシャリーナ機能強化事業	水産業の観光的側面を強化し、総合産業化を促進するため、フィッシャリーナ施設内の駐車場管理システムを整備する。	イ	1	24	7	25	3	8,394	8,394	6,715					3	3	(2)	ウ		
③	豊かな海づくり大会を通じた広報宣伝事業	平成24年11月糸満市において開催される第32回全国豊かな海づくり大会は多くの参加者が糸満市を訪問し、また式典の様子は全国にテレビ等で発信され糸満市の特産品や観光紹介に大きく貢献する。この機会に糸満市を広報宣伝することを目的に事業を実施する。また、会場周辺を南国の島らしい演出を施し、県水産拠点を観光地としてイメージアップを図る。	イ	1	24	7	25	3	28,000	28,000	22,400					3	3	(2)	オ		
④	海人沖縄爬龍船大会事業	「大漁」と「航海安全」を祈願するハーレー（ドラゴンボートレース）行事を疑似体験することで水産業振興に寄与し、さらに、誘客性の高いイベントと連動させることで観光的側面を促進するため、沖縄一を決める爬龍船大会（レース）を開催する。	イ	1	24	7	25	3	6,300	6,300	5,040					3	3	(6)	エ		
⑤	海やからのまち推進事業	水産都市として名高い本市は、水産業を総合産業として位置付けその発展可能性を導き出したい。そのため、本市水産業全体の発展の道筋を整理するため水産振興計画を策定する。	ハ	1	24	7	25	3	3,150	3,150	2,520					3	3	(7)	カ		
7	陸幸振興事業	糸満市は、小菊や人参、レタス等多数の拠点産地の認定を受け、さらに国営地下ダムを有するなど県有数の農業地域である。さらなる農業振興を図るため仔牛ブランド拠点産地化や小規模農家支援事業等各種事業に取り組む。	ハ	1	24	7	25	3	155,074	155,074	124,059					3	3	(7)			
①	耕作放棄地対策事業	耕作放棄地の実情を把握した後の流動化を促進し、規模拡大希望農家への農地斡旋を実施する。	ハ	1	24	7	25	3	2,074	2,074	1,659					3	3	(7)	エ		
②	糸満和牛群改良整備事業	地域のブランドとして肉用牛の高い需要があり地域経済をけん引している。糸満市においても県外から優良母牛を導入し、仔牛ブランド拠点産地化に取り組む。	ハ	1	24	8	25	3	12,000	12,000	9,600					5	3	(3)	イ		

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					事業 始期	事業 終期	A	交付対象事業費						G					
								B	C	負担額									
										D	E				F				
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月								
③	小規模農家支援事業	本市の基幹産業の一つである農業分野は、小規模農家が多く圃場が点在している。さらに、個別の小さな畑が隣接し、異なる農作物が混在することにより、農作物ごとに使用制限のある農薬が島しょ地域特有の風により飛散し、地域の問題となっている。改善を図るため簡易パイプハウス、防風ネットの施設整備支援を行う。	ハ	1	24	7	25	3	141,000	141,000	112,800					3	3	(7)	エ
8	海幸・陸幸連携事業	糸満市は、農水産商工業がバランス良く発達したまちであり、これまで各種産業基盤の整備に努めてきた。この事業は、それぞれの産業を振興し連携を推進することにより、新たな商品の開発や糸満ブランドを確立し、6次産業化等を促進すること等により市内各産業の活性化や就労の拡充、観光振興を図ることを目的に取り組む。	ニ	1	24	7	25	3	29,500	29,500	23,600					3	3	(9)	
①	姉妹都市等物産交流事業	姉妹都市の宮崎県都農町、友好都市北海道網走市との相互の特産品の販路拡大を推進するため、物産交流を実施する。	ニ	1	24	7	25	3	16,000	16,000	12,800					3	3	(9)	イ
②	全国豊かな海づくり大会物産フェア実施事業	全国豊かな海づくり大会時にふれあい交流事業を実施する中で物産フェアを開催し、本市の特産品を全国に発信する。	ニ	1	24	7	25	3	10,000	10,000	8,000					3	3	(9)	イ
③	報得川タマン祭・西崎フェスタ事業	糸満は水産のまちとして発展してきた歴史があり、森・川・海の連鎖を常に認識している。本事業は、河川下流にある西崎商業地域が、森（農業）と海（水産業）をつなぎ、森・川・海の連鎖とそれぞれの恩恵を再認識させるイベントを実施し、市内農水商の連携を強化する。	ニ	1	24	7	25	3	2,000	2,000	1,600					3	3	(9)	イ
④	キッズインザキッチン事業	本市の基幹産業の一つである農業において就農者離れが著しい。親子で農業体験と地場産品を活用した料理教室を行うことでレンビの共有につなげ、地産地消と食育を促進する為、菜園整備と厨房を整備する。	ハ	1	24	7	25	3	1,500	1,500	1,200					3	3	(7)	イ
9	固有な歴史的経緯対応事業	沖縄戦終焉の地である本市では、多くの歴史的価値のある建物や生活環境等が焼き尽くされた。また、平和の語り部が高齢化し語り継ぐことが困難の時期となってきた。残された戦争の記憶を後世に伝える取り組みとして滅失戸籍等の電算化や語り部の育成を行う。	ヨ	1	24	7	25	3	54,707	54,707	43,765					3	2	(5)	イ
①	戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	沖縄戦で滅失した戸籍等の公文書は、終戦後再生されたものの、用紙の劣化等により再び公文書の滅失する現状にあり、その対応として沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	ヨ	1	24	7	25	3	49,020	49,020	39,216					3	2	(5)	イ
②	平和の語り部育成事業	市内小・中・高校生の中から、沖縄（糸満市）で繰り上げられた戦争と広島、長崎で起こった戦争の違いを理解し、平和の尊さを伝える平和メッセージャーを育成する。	ハ	1	24	7	25	3	5,687	5,687	4,549					3	4	(2)	ウ

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					開始期	終了期	A	交付対象事業費			G								
					年	月		B	C	負担額									
					年	月				D				E	F				
				交付金交付額															
										章	節	項	目						
10	糸満市人材育成事業	沖縄県は全国学力テスト最下位の状況が続いている。その状況から脱却することを目的とし、既学習の定着、発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒の支援、学校現場において学習支援する支援員の派遣や楽しく学べる英語学習支援員を派遣する。	チ	1	24	8	25	3	70,761	70,761	56,608		14,153			3	5	(3)	
①	確かな学力を育むサポート事業	糸満市においては、学習支援を必要とする児童が小学校で222人(5%)、中学校で107人(5%)いる。また、学校生活への不適応児童生徒が小学校79人(1%)、中学校35人(1%)いる。学校現場へ学習・自立支援員を配置、支援し課題解決をはかる。	チ	1	24	8	25	3	23,575	23,575	18,860		4,715			3	5	(3)	7
②	英語指導事業	小中学校の英語授業における英会話指導、発音指導や学級での質の高い英語指導を実施する為、英語指導助手を配置する。	チ	1	24	8	25	3	21,291	21,291	17,032		4,259			3	5	(4)	7
③	障害児支援ヘルパー派遣事業	発達障害を含む様々な障害を持つ児童生徒に支援ヘルパーを配置するとともにヘルパーの資質向上を目的とした研修会を開催する。	チ	1	24	12	25	3	19,855	19,855	15,884		3,971			3	5	(3)	ウ
④	学習ボランティア推進事業	退職教諭や学生等による「学習ボランティア」の組織をつくり学校現場へ学習ボランティアを派遣する。また、学習指導ボランティアの連絡協議会を年3回開催し運営者指導の充実をはかる。	チ	1	24	8	25	3	600	600	480		120			3	5	(3)	ウ
⑤	学びの体験事業	学力調査で全国一低い沖縄県の状況を改善するため、学力向上で成果を上げている秋田県に直接児童等を派遣し、学習に対する心構えや学校生活・放課後の過ごし方など、先進地の学校における“学び”を体験し、派遣元の生徒や地域に波及させ、学力向上を図る。	チ	1	24	9	25	3	5,440	5,440	4,352		1,088			3	5	(3)	ウ
11	糸満市子育て支援事業	沖縄県は、全国一の出生率を誇る中、全国一の離婚率や大都市並みの待機児童を抱えている。本市においても待機児童の解消を図りつつ、地域における子育て支援策を講ずることは、喫緊の課題である。 特に、復帰前の琉球政府時代の一時期、小学校に入學する前には親の就労形態に関わらず幼稚園へ入園するといった慣習があり、幼稚園への入園率は群を抜いている。一方で、県民所得が低い本県では共稼ぎが多く、幼稚園児の午後の居場所づくりや、子育てに困難を抱える家庭への支援強化など、地域の課題に応じた子育て環境の整備が必要である。そのため子育て支援や子育て環境整備等の事業を行う。	ス	1	24	8	25	3	40,782	40,782	32,624		8,158			3	2	(2)	
①	幼稚園児預かり保育関連整備事業	当該幼稚園の在園する園児で、保護者が「預かり保育」を希望する園児を募集し、教育課程終了後～午後6時までの「預かり保育」を実施する。併せて預かり保育事業を進めるため、食器・コンテナ、冷房設備整備を行う。	ス	1	24	8	25	3	5,711	5,711	4,568		1,143			3	2	(2)	イ

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始期	事業終了期	総事業費							振興計画 該当箇所				備考
					年	月			年	月	A	交付対象事業費			G					
												B	C	負担額						
														D		E	F			
交付金交付額		負担額			交付対象外経費															
					章		節		項		目									
②	地域子育て推進事業	全ての家庭が安心して子育てができる環境を整備することを目的とし、地域における子育て支援ネットワークを構築すべく、子育て支援嘱託員、児童厚生指導員等の配置を実施する。	×	1	24	9	25	3	14,488	14,488	11,590		2,898			3	2	(2)	イ	
③	子育て応援NPO活動支援事業	子育ての困難な親が増加しており、適切な支援を必要とする機会増えている。NPOを活用して親の居場所づくりや子育ての見守り、支援を実施する。	×	1	24	9	25	3	4,583	4,583	3,666		917			3	2	(2)	イ	
④	公立保育所環境整備事業	亜熱帯特有の温度・湿度・直射日光など、夏場においても安全・快適な保育環境を保持する必要があることから保育所建物の断熱塗装、空調設備等を設置する。	×	1	24	9	25	3	16,000	16,000	12,800		3,200			3	2	(2)	イ	
12	障害者就労支援事業	障がい者が地域で自立するためには職の支援が望まれる。本事業は、市内や住んでいる地域でも自らが商品が販売できるよう移動式販売所設置する。	×	5	24	7	29	3	5,975	5,975	4,780		1,195			3	2	(3)	イ	

注 1)事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2)事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3)「総事業費」、「交付対象事業費」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	沖縄市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	2,240,000	2,240,000		2,240,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考					
					事業始期	事業終期		A	B	C				G				
					年	月									年	月		
					交付金交付額										負担額			
			沖縄県	市町村	その他	章:節:項:目												
合計								2,982,649	2,962,250	2,240,000		722,250		20,399				
1	コザ文化を活かした観光振興プロジェクト	伝統文化と異文化の融合により創出した「コザ文化」および貴重な伝統文化や文化財、緑豊かな地域資源等を活用し、魅力ある観光地づくりを目指すため、エイサーの発展や文化交流の拠点づくりに向けた取り組みをはじめ、プロモーション活動や観光情報発信の充実、観光メニューや観光商品の開発、イベントの充実強化、既存施設等の魅力向上などに取り組む。	イ	7	24	7	31	3	440,618	440,618	352,478		88,140		3	3	(2)	
①	観光基盤整備事業	魅力ある観光資源の情報発信および観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本市の観光情報等が入手できるよう、タッチパネル式のデジタル観光インフォメーションの設置に対する支援や観光案内ポータルサイトの作成およびAR基盤アプリケーションなどを整備する。	イ	4	24	9	28	3	167,164	167,164	133,731		33,433		3	3	(2)	ウ
②	kozaフィルムオフィス事業	伝統文化や景観など本市の地域資源を観光情報として発信し、誘客の拡大を図るため、魅力ある地域のロケ地情報の発信や撮影の誘致等を支援する。	イ	4	24	7	28	3	8,397	8,397	6,717		1,680		3	3	(2)	イ
③	音楽資源収集事業	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、関係者への聞き取り調査、概要版映像を作成するなど、音楽資料の常設展示に向け取り組む。	イ	2	24	7	26	3	7,271	7,271	5,816		1,455		5	3	(2)	イ
④	音楽観光誘客事業	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、観光産業や音楽産業との連携により、観光ホテルと中心市街地を結ぶバス周遊等を実施するとともに、観光資源であるライブハウスなどにおける定期イベントを開催する。	イ	4	24	7	28	3	46,289	46,289	37,031		9,258		5	3	(2)	イ
⑤	外国人誘客推進事業	アジア地域からアーティストおよびマスメディアの招聘等により、誘客の拡大を図ることを目的とし、本市発祥のオキナワロックなどを中心とした多彩な音楽イベントを拡充し、それらを実施する団体に支援を行う。	イ	4	24	6	28	3	4,950	4,950	3,960		990		5	3	(2)	イ
⑥	市民小劇場あしびなー改修事業	音楽や文化による観光を推進するため、市民小劇場あしびなーの設備機器の機能強化に取り組む。	イ	7	24	10	31	3	12,660	12,660	10,128		2,532		3	3	(2)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					事業	事業	交付対象事業費			交付対象外経費									
					始期	終期	A	B	C		負担額								
					年 月	年 月					沖縄県			市町村	その他				
年	月	年	月	D	E	F	G	章	節	項	目								
⑦	(仮称)国際交流センター事業	国外の観光客も訪れることから、語学力や異文化理解能力の向上を目的に、多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を設置し、情報発信をはじめ、各種語学講座や異文化理解講座等を行う。	イ	4	24	8	28	3	13,231	13,231	10,584					3	4	(1)	イ
⑧	エイサー文化発信事業	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの拠点となる(仮称)青年エイサー会館の整備に向けた取り組みを推進するとともに、エイサー関連資源のブランド化の支援を行う。 また、「沖縄全島エイサーまつり」におけるシャトルバスの運行やエイサーの担い手の育成、エイサーによる文化交流活動への支援などを行う。	イ	4	24	6	28	3	42,202	42,202	33,748					5	3	(2)	イ
⑨	エイサーサイン整備事業	エイサーを活用した観光振興や地域活性化を図るため、エイサーの絵柄を取り入れた下水道のマンホール蓋等を設置する。	イ	4	24	11	28	3	15,000	15,000	12,000					3	1	(5)	7
⑩	伝統文化観光推進事業	本市の伝統文化や工芸を魅力ある観光資源として活用し、伝統文化の継承発展と観光誘客の拡大を図るため、本市の伝統工芸である知花花織で沖縄こどもの国の動物を着飾ったイベントの開催および伝統行事である「ウマハラセー(美ら競馬)」の復活への支援を行う。	イ	4	24	11	28	3	26,940	26,940	21,552					3	3	(2)	7
⑪	文化財整備等事業	貴重な文化資源の保存・活用による観光を創出するため、経年劣化による破損が著しい「奉安殿」と「忠魂碑」の修復復元を行う。	イ	2	24	8	26	3	4,945	4,945	3,956					3	1	(4)	7
⑫	文化財等公開デジタル化事業	市民および観光客など利用者の利便性向上による誘客を図るため、市が所有している文化価値の高い収蔵品や映像資料、民話データ等のデータ公開システムを構築する。	イ	4	24	8	28	3	5,579	5,579	4,463					3	1	(4)	7
⑬	地域自然環境調査事業	自然と共生する観光を推進するため、嘉手納弾薬庫等により市域が分断され貴重な自然環境資源が現存する「嶽山原」地域および本市北部地域の自然環境実態を把握するため、植生概観と動物概観に関する調査を行う。	イ	4	24	11	28	3	10,520	10,520	8,416					3	1	(1)	7
⑭	戦後文化資料等展示事業(デジタル化)	沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」のさらなる誘客の拡大を図るため、戦後新聞資料のデジタル化を行う。	イ	4	24	7	28	3	75,470	75,470	60,376					3	1	(5)	7
2	スポーツコンベンション推進プロジェクト	スポーツコンベンションを推進し観光の振興を図るため、コザ運動公園内にある沖縄市立総合運動場体育施設等の機能充実を図る。	イ	5	24	8	29	3	314,695	314,695	240,006					3	2	(1)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費									
					年	月	年	月	A		B			C	負担額				
										沖縄県					市町村	その他	G		
①	スポーツ推進整備事業	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、サッカー場の人工芝の整備を実施するとともに、陸上競技場における競技者等のニーズが高い運動器具等の備品を充実する。	イ	5	24	8	29	3	310,810	310,810	236,898		73,912			3	2	(1)	イ
②	コザ運動公園整備事業	スポーツ環境を活かした観光を推進するため、スポーツコンベンションの拠点であるコザ運動公園の車両出入り口の改良に関する調査検討を行う。	イ	2	24	12	26	3	3,885	3,885	3,108		777			3	2	(1)	イ
3	観光都市基盤整備事業	魅力ある観光地の形成をめざし、道路沿線への緑化をはじめ、観光地域周辺における街路樹の整備計画策定や植樹剪定、デザインを施した道路照明の検討や観光地へのアクセス道路の調査などを行う。	イ	10	24	9	34	3	97,467	97,467	77,973		19,494			3	3	(2)	ウ
①	道路緑化推進事業	観光地周辺道路のにぎわいを演出するため、四季おりの草花を植栽する。	イ	10	24	12	34	3	33,600	33,600	26,880		6,720			3	3	(2)	ウ
②	道路景観形成推進事業	観光地周辺の道路の快適性の向上や安全性の確保のため、道路植栽の整備計画をはじめ、道路空間活用計画や道路幅の整備計画の検討、道路照明設置やデザインの検討などを行う。	イ	10	24	10	34	3	37,533	37,533	30,026		7,507			3	3	(2)	ウ
③	観光地周辺道路整備事業	観光施設の利便性向上に向け、アクセス道路における道路施設や歩道および街路樹の整備等の調査業務を行う。	イ	10	24	9	34	3	26,334	26,334	21,067		5,267			3	3	(2)	ウ
4	子ども文化創造事業	こどもは未来を創る大切な財産であることから、本市では、「こどもこそ宝」というまちづくりの理念に基づき、平成20年に「こどものまち」を宣言している。こどものまちを推進するため、こどもたちが優れた文化芸術にふれ、体験・交流できる機会を創出するとともに、世界の優れた舞台芸術の開催や、沖縄県を代表する児童・青少年の人材育成拠点である沖縄こどもの国の充実を図る。	ハ	9	24	5	33	3	791,798	787,404	629,921		157,483			3	5	(1)	
①	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ推進事業	こどもたちが優れた文化芸術にふれ、体験・交流できる機会を創出するため、「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ(キジムナーフェスタ)」やフリンジ(非招待)公演を開催する。また、世界各国から演劇関係者が集う国際児童青少年演劇協会(アシテジ)第1回国際会議を開催する。	ハ	5	24	5	29	3	46,955	42,561	34,048		8,513			3	5	(1)	7
②	沖縄こどもの国施設整備事業	次世代を担うこどもたちの科学への興味や豊かな感性を育てるため、ワンダーミュージアム展示品等整備およびロボット展を開催するとともに、琉球弧の動物展示施設整備を行う。	ハ	9	24	7	33	3	727,682	727,682	582,145		145,537			5	3	(2)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					事業	事業	交付対象事業費			交付対象外経費							
					始期	終期	A	B	C		負担額						
					年 月	年 月					沖縄県			市町村	その他		
年	月	年	月	D	E	F	G	章	節	項	目						
③	こどものまち推進事業	こどもたちが夢に向かって元気にたくましく育つ環境をつくるため、こどものまち推進アクションプログラムの策定や、こども市民会議(仮称)の運営、こども学講座の開講、えほんの国の開設などを行う。	△	5	24	9	29	3	17,161	17,161	13,728		3,433	3	5	(1)	7
5	未来を創る人材育成事業	沖縄県の児童生徒の学力は、全国的にも低いとされる中、本市においても児童生徒の学力向上は重要な課題である。また、在籍児童生徒数に占める不登校の児童生徒数については、比較的高い割合が示されている。児童生徒の総合的な学力の向上および青少年の健全育成等を図ることで、こどもたちの可能性を育み、本市及び沖縄県の未来をつくる人材としての育成に取り組む。	△	5	24	6	29	3	294,260	291,223	177,163		114,060	3	5	(3)	
①	沖縄市こども科学力向上事業	こどもたちが科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、科学実験イベント、体験ワークショップ、出前科学教室を開催する。	△	5	24	6	29	3	23,205	23,205	18,564		4,641	3	5	(4)	イ
②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業	児童生徒のわかる・意欲・学ぶを支援するため、キャリア教育コーディネーターによる職場見学や職場体験の指導・支援、教科コーディネーターによる授業改善の指導・支援、外国人児童生徒への日本語指導、児童生徒への外国語指導、書画カメラ等情報教育機器の整備を行う。	△	5	24	7	29	3	158,187	156,327	94,849		61,478	3	5	(3)	7
③	吹奏楽部支援楽器整備事業	生徒の音楽に対する興味と表現力を育み、音楽をとおしたまちづくりや人材育成を図るため、老朽化した吹奏楽の楽器を整備する。	△	1	24	8	25	3	32,000	32,000	25,600		6,400	3	5	(1)	7
④	気になる子等の学びを支援する事業	小中学校に特別支援教育支援員を配置するとともに、行動や学習に配慮を要する児童生徒(気になる子)についての支援を図る。また、不登校や学力不振の児童生徒への学習支援を行う。	△	5	24	8	29	3	74,467	73,290	34,992		38,298	3	5	(3)	ウ
⑤	幼稚園園舎遮熱対策事業	保育環境の充実のため、幼稚園舎の窓ガラスに日射調整、断熱、台風等による飛散防止を兼ねた遮熱フィルムを施工する。	△	5	24	12	29	3	6,401	6,401	3,158		3,243	3	5	(3)	ウ
6	すこやか子育て推進事業	沖縄県は、合計特殊出生率が全国一であり、本市においても人口に占めるこどもの割合は高い一方、夫婦共働き家庭やひとり親家庭における待機児童数も多いことなどから、子育て支援が強く求められている。このような状況を踏まえ、保育、こどもの居場所づくり、こどもの医療など、こどもたちが元気にたくましく育つ環境づくりへの取り組みを進めていく。	×	5	24	8	29	3	70,617	57,649	43,457		14,192	3	2	(2)	イ
①	こどもいきいき安心事業	こどもたちが安心して過ごすことができる場の確保・充実のため、放課後児童支援センターの設置、児童館整備計画に伴うニーズ調査等を行う。	×	5	24	9	29	3	16,744	16,744	13,395		3,349	3	2	(2)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外経費								
					年	月	年	月	A		B			C	負担額			
															D	E	F	G
②	園児の健やかな成長を支える保育事業	子育て家庭の保育ニーズに対応するため、幼稚園において、教育時間の終了後も引き続き園児を預けることのできる、「預かり保育」を実施する。	ヌ	5	24	8	29	3	31,265	18,297	11,976		6,321	12,968	3	2	(2)	イ
③	認可外保育施設支援事業	保育環境の充実支援を図るため、認可外保育施設指導監督基準を満たす施設に対する施設修繕費、保育士の新規採用に対する補助を行う。	ヌ	5	24	10	29	3	22,608	22,608	18,086		4,522		3	2	(2)	イ
7	沖縄市きめ細かな就労支援事業	雇用の対策を図るため、若年求職者等を対象とした就労支援や各種講座等の充実、情報通信関連施設の設備改修による利用環境の向上、障がい者の雇用の場の確保、中城湾港新港地区における港湾機能の充実、企業誘致や雇用創出を図る調査・検討を行う。	ホ	4	24	9	28	3	240,901	240,901	185,314		55,587		3	3	(10)	
①	若年者就労等支援事業	雇用の創出および失業者対策を図るため、若年求職者及び保護者、企業等を対象に支援員等による就労支援、ワークショップ・サロンの定期開催等を実施する。また、心因性の理由等により就職が困難な若者を対象に、社会的・経済的自立支援を図るため、就労へ向けた支援やインターンシップ、職業訓練等を実施する。	ホ	4	24	10	28	3	11,890	11,890	9,512		2,378		3	3	(10)	イ
②	ITワークプラズタジオ設備改修事業	情報通信関連施設の利用環境を向上し、コンテンツ産業等における雇用の創出を図るため、モーションキャプチャーシステムを改修する。	ホ	1	24	9	25	3	132,952	132,952	106,255		26,697		3	3	(3)	イ
③	空き店舗活用モデル推進事業	地域において障がい者の雇用の場を確保し、地域の一人として社会参加の場づくりを推進するため、空き店舗を活用した植物工場を設置し、葉野菜の計画的栽培や直売および商品開発を実施するとともに、空き店舗活用のモデルを構築する実証実験を行う。	ホ	1	24	9	25	3	12,433	12,433	9,946		2,487		3	3	(8)	イ
④	中城湾港新港地区物流促進支援事業	港湾機能の充実により地元中小企業の振興と雇用の創出を図るため、中城湾港新港地区においてコンテナ等の整備に対する支援や物流輸送にかかる支援の実施および物流促進に関する調査・検討を行う。	ホ	4	24	9	28	3	55,641	55,641	37,213		18,428		3	3	(4)	7
⑤	雇用基盤等環境整備事業	企業誘致の促進および雇用の創出を図るため、都市基盤が脆弱な状況にある準工業地域等において、整備計画や実現方策並びに誘致企業の検討など、雇用および経済効果の可能性を調査する。	ホ	1	24	10	25	3	11,500	11,500	9,200		2,300		3	3	(10)	7
⑥	沖縄市振興計画検討調査事業	企業誘致の促進および雇用の創出を図るため、本市の持つ地域資源や可能性及び優位性等の調査・検討を行う。	ホ	1	24	12	25	3	16,485	16,485	13,188		3,297		3	3	(10)	7
8	地域資源を活かした沖縄市ブランド推進事業	工芸やものづくり産業の振興を図るため、工芸品等の新商品の開発や販路拡大などに対する支援、工芸産業の活動拠点の整備に向けた取組などを実施する。	ニ	4	24	9	28	3	49,880	49,880	17,381		32,499		3	1	(5)	

- 注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外経費									
					年	月	年	月	A		B			C	負担額				
															D	E	F	G	
①	伝統工芸産業支援事業	工芸産業の振興を図るため、本市の伝統工芸、工芸産業振興の中核である知花花織事業協同組合の販路拡大および販売促進に対し支援を行う。	ニ	4	24	11	28	3	20,370	20,370	2,400		17,970			3	1	(5)	イ
②	工芸による街づくり事業	工芸品の販路拡大をはじめ、工芸従事者の生産意欲の高揚および工芸に対する市民の意識啓発など、工芸産業の振興を図るため、沖縄市工芸フェアの開催等を支援するとともに、工芸産業の全般的な振興に寄与することを目的として、(仮称)沖縄市伝統工芸館の創設に向け基本構想の策定等を実施する。	ニ	4	24	9	28	3	13,565	13,565	10,852		2,713			3	1	(5)	イ
③	地域ブランド推進事業	魅力ある沖縄市ブランドの確立によるものづくり産業を振興するため、市内の優れた地域資源(二次加工品等)を沖縄市ブランドとして認定する沖縄市地域ブランド認定制度等を実施し、沖縄市ブランドの広報活動等を行うとともに、新商品の開発または販路開拓等に対し支援する。	ニ	4	24	10	28	3	15,945	15,945	4,129		11,816			3	3	(9)	イ
9	アグリビジネス推進事業	農業生産および農業経営の安定化を図るため、既存農業用水の供給体系を「耕種農業かんがい用水」「畜産団地用水」の需要毎に見直し、農業用水供給施設の実施設計を作成する。また、台風等の自然災害に影響を受けにくい栽培施設の整備に対し支援を行う。	ハ	3	24	7	27	3	51,691	51,691	24,380		27,311			3	3	(7)	カ
10	コミュニティーパーク整備事業	市民の健康づくりや地域コミュニティ等を促進するため、地域住民と協働による公園の基本計画を策定する。	ヌ	4	24	9	28	3	7,794	7,794	3,937		3,857			3	2	(1)	イ
11	災害に強いまちづくり事業	台風や地震、津波等の災害から市民等の安全を確保するため、多様な防災情報の提供を図るとともに、災害用備蓄を確保する。 また、海拔の低い地域からの緊急避難通路の整備に取り組むとともに、防災研修センターの改修をおこない、日常からの災害対策を進める。	レ	10	24	7	34	3	492,350	492,350	393,880		98,470			3	2	(4)	イ
①	地域防災対策強化事業	災害等に備えるため、デジタル防災無線親局や災害用備蓄倉庫(備蓄品含む)の整備、防災マップ(観光情報も掲載)の作成、避難場所標識の設置等を行う。	レ	10	24	7	34	3	264,860	264,860	211,888		52,972			3	2	(4)	イ
②	災害時緊急避難通路整備事業	自然災害などに対する防災力の向上のため、低地における里道を利用した緊急避難通路の整備を行う。	レ	10	24	10	34	3	3,300	3,300	2,640		660			3	2	(4)	イ
③	沖縄市防災研修センター改修事業	防災に関する知識及び技術の向上、ならびに防災意識の高揚を図るため、また、海拔の低い地域における津波に関する防災研修が行えるよう、沖縄市防災研修センターを改修する。	レ	1	24	7	25	3	205,840	205,840	164,672		41,168			3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画 該当箇所			備考					
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外 経費											
					年	月	年	月	A	B	C	負担額			G						
												D	E	F							
④	学校安全対策強化事業	防災に関する意識啓発および安全確保のため、土地の標高や避難場所、危険箇所等の地理情報を校区ごとに作成し、下敷きにして各幼稚園、小中学校に配布する。また、地理情報を拡大パネルにし、学校の見やすい場所に掲示する。	レ	5	24	12	29	3	18,350	18,350	14,680				3	2	(4)	イ			
12	米軍統治期や基地等にかかる課題に対処する事業	嘉手納基地より派生する日常的な航空機騒音が市民生活に大きな支障となっているため、騒音測定機を設置し、騒音レベルを把握することで、国や県などへ実態データとして提示をおこなう。 また、不明確な里道および水路を確定し、適正な土地利用の管理や利用促進のため、位置の確定作業を行う。	ソ	10	24	12	34	3	130,578	130,578	94,110			36,468				3	2	(5)	
①	航空機騒音測定事業	米軍航空機より発生する騒音被害を把握するため、市内に設置されている騒音測定機を新基準に対応するよう更新するとともに、新たな騒音被害が発生している市内東部地域等に機器を設置する。	ソ	1	24	12	25	3	17,655	17,655	14,124			3,531				3	2	(5)	7
②	里道および水路の境界確定復元事業	戦後の米軍統治下の影響による不明確な里道および水路の位置を確定するため、境界の確定測量および復元作業を行う。	ソ	10	24	12	34	3	112,923	112,923	79,986			32,937				3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	豊見城市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,050,000	1,050,000		1,050,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考					
					年	月		年	月	A	B				交付金交付額			G	
															負担額				
					C			D	E	F									
合計							1,511,483	1,456,448	1,050,000		406,448		55,035						
1	地域特性を活かした観光振興事業	本市の自然環境や歴史・文化資源などの既存の観光資源の保全・活用とともに、体験型プログラム等の多彩な観光メニューの提供及び情報発信等を行う他、豊見城址周辺及び本市西海岸一体について、交通アクセス等の地理的特性を活かした土地利用や活性化について検討を行う。	イ	5	24	7	29	3	483,662	482,662	333,450		149,212		1,000	3	3	(2)	
①	瀬長島観光拠点整備事業	観光客など、利用者の利便性や快適性を高めるため、瀬長島の自然環境の保全、活用を図りつつ、歴史・文化的な価値等を踏まえた広場等の拠点施設を整備する。	イ	5	24	7	29	3	174,443	174,443	121,000		53,443			3	3	(2)	ウ
②	文化観光創出事業	史跡や貴重な自然環境を有する豊見城址公園とその周辺について、重要な都市景観を形成し、憩いや安らぎを提供する観光資源等としての活用を図るため、調査等を行い同地域の土地利用計画を策定する。	イ	5	24	7	29	3	9,975	9,975	7,980		1,995			3	1	(5)	ア
③	西海岸活性化構想事業	本市西海岸一体（字与根地区、字瀬長地区、字豊崎地区）における観光拠点の形成と観光機能の充実を図るため、アクセス道路の整備及び企業誘致等について総合的な検討等を行い、同地域の活性化基本構想を策定する。	イ	5	24	7	29	3	14,280	14,280	11,424		2,856			3	3	(2)	ウ
④	西海岸観光地域利用促進事業	質の高いリゾート地を形成し利用促進するため、観光振興地域のビーチ（砂浜）において、マリンスポーツの快適な実施に必要な砂浜の清掃機器及び整備機器を購入するとともに倉庫等の施設整備を行う。	イ	5	24	7	29	3	58,464	58,464	38,917		19,547			3	3	(2)	ウ
⑤	体験事業受入施設及び産業振興施設整備事業	体験事業受入施設及び産業振興施設を設置し、市内事業所が実施する体験事業を本施設に集積することにより、観光客や修学旅行の受入拠点とするとともに観光・産業振興を図る。	イ	5	24	7	29	3	169,902	169,902	109,651		60,251			3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					年	月	年	月	交付対象事業費					交付対象外経費						
									A	B	C				負担額					
															D	E	F	G		
⑥	バス停上屋整備事業	観光客が多く立ち入る地域において快適に公共交通を利用していただくとともに観光地にふさわしい景観を形成するため、沖縄らしい装飾等を付したバス停上屋を整備する。	イ	5	24	10	29	3	35,638	35,638	28,510		7,128			3	3	(2)	ウ	
⑦	観光情報コンテンツ化事業	観光関連団体が行う豊見城市における観光マップ、飲食店特産品マップ、それらに関連するデジタルコンテンツ（WEBサイト向け）及びWEBサイトの多言語化（英語、中国語、韓国語）を行う等、観光情報発信ツールを制作する事業に対して補助を行う。	イ	5	24	10	29	3	5,000	4,000	3,200		800		1,000		3	3	(2)	ウ
⑧	観光案内サイン整備事業	市内に点在する観光施設や名所等、拠点間を有機的に結び付けるため、外国人観光客を含む全ての方々にわかりやすい案内サインを整備し観光地としての利便性を高める。	イ	5	24	10	29	3	15,960	15,960	12,768		3,192				3	3	(2)	ウ
2	持続可能な安全・安心なまちづくり事業	持続可能な安全で安心のまちづくりを図るため、防災無線等の機器及び設備等を整備する他、観光客が多く訪れる西海岸一体及び市内に所在する那覇空港自動車道（豊見城トンネル含む）を含めた全域における迅速な復旧・復興活動を進めるため水難救助車及び資機材等の整備を行う。 また、空の玄関口である那覇空港を離発着する航空機の騒音を測定し、まちづくりに必要な基礎資料とする。	レ	5	24	7	29	3	436,901	436,901	292,823		144,078				3	2	(4)	
①	那覇空港周辺における航空機騒音測定事業	将来の快適な住環境形成を図るため、那覇空港周辺住宅地域の任意の2地点において航空機騒音測定を行い、地区内の騒音レベルを把握し、まちづくりの基礎資料とする。	レ	5	24	7	29	3	1,995	1,995	1,596		399				3	1	(1)	イ
②	防災情報通信設備整備事業	市庁舎と市内沿岸地域、集落地域とを無線又は、有線システムで結び、屋外拡声装置を取り付けた防災無線子局を当該地域に設置する他、防災無線室など本部機能等の関連設備等を整備して防災無線システムを構築する。	レ	5	24	7	29	3	377,380	377,380	245,207		132,173				3	2	(4)	イ
③	トンネル災害対応資機材整備事業	那覇空港から中北部への移動の際に主に利用される那覇空港自動車道豊見城トンネル（県内最長クラス）内における特殊災害、交通事故等による火災等に対応、迅速な救助活動及び消火活動を行うため必要な、高圧コンプレッサー等の資機材を整備する。	レ	5	24	10	29	3	4,113	4,113	3,290		823				3	2	(4)	イ
④	水難救助車整備事業	各種水難救助用の資機材とクレーンや救助ボート等を整備するとともに、車内でウエットスーツに着替えるスペースを確保することで、出動指令で潜水士免許既得者や水難救助訓練を積んだ隊員が迅速に出動できる体制を整備する。	レ	5	24	10	29	3	47,218	47,218	37,774		9,444				3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外 経費									
					年	月	年	月	A		B			C	負担額				
															D	E	F	G	
⑤	海拔表示板設置事業	地域住民を含めた市内潜在者、とりわけ地理に不案内の観光客が、津波発生時に現在位置に関する情報を容易に確認し、迅速に避難・安全確保できるよう、海拔5メートル以下の地域を中心に電柱等に海拔表示看板を設置する。	レ	5	24	10	29	3	6,195	6,195	4,956		1,239			3	2	(4)	イ
3	地域特性を活かした農業活性化事業	地域特性を活かした都市近郊型農業の振興を図るため、農作物の安定生産や販売促進を通して、安心、安全な「とみぐすくブランド」づくりや流通、販売体制の強化を推進する。	ハ	5	24	7	29	3	175,393	134,883	107,905		26,978			3	3	(7)	
①	いきいき野菜生産支援事業	市場や量販店の求める定時・定量・定品質な野菜の安定生産を図るため、JA又は生産者団体が設置する耐候性野菜栽培施設（パイプハウス）の設置費の一部を補助する。	ハ	5	24	7	29	3	170,146	129,636	103,708		25,928			3	3	(7)	7
②	豊見城産マンゴー販売促進事業	県の拠点産地に認定されるなど、評価が高い豊見城産マンゴーの更なる販売促進を図るため、首都圏において試食等を含めた普及事業を実施する。	ハ	5	24	7	29	3	5,247	5,247	4,197		1,050			3	3	(7)	7
4	次世代育成支援事業	増加傾向にある要保育児童対策のため、預かり保育等を実施する他、認可外保育園における保育環境の整備を支援することにより、地域で支えあう子育ての支援を推進し、安心と安らぎのなかで子育てする環境づくりに取り組む。	ヌ	5	24	10	29	3	47,066	33,541	26,832		6,709			3	2	(2)	
①	預かり保育事業	働く保護者等を支援するため、市立幼稚園の教育時間の終了後、幼稚園の管理下において、希望する在園児を対象とし当該施設で預かり保育を行う。	ヌ	5	24	10	29	3	20,066	7,891	6,312		1,579			3	2	(2)	イ
②	認可外保育園環境整備事業	待機児童の受け皿となっている認可外保育園の施設整備に対して補助を行うことにより保育環境を向上させるとともに認可化を促す。	ヌ	5	24	10	29	3	27,000	25,650	20,520		5,130			3	2	(2)	イ
5	生きる力を育む人材育成事業	次代を担う子どもたちを健全に育成していくため、子ども一人一人の個性を最大限に尊重し、発揮できるよう学習支援員等を配置するなど良好な教育環境づくりに取り組むとともに、その基盤となる施設の充実及び機能向上等を図り、多様な能力を発揮し未来を切り開く人材を育成する。	チ	5	24	10	29	3	156,073	156,073	124,856		31,217			3	5	(3)	
①	学力向上サポート事業	児童・生徒の学力向上を図るため、児童学習指導における教員の補助として学力向上対策補助員を配置する。	チ	5	24	10	29	3	13,203	13,203	10,562		2,641			3	5	(3)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					始期	終期	交付対象事業費		A	B	C		負担額				G	章	節	項	目	
					年	月	年	月					D	E	F							
②	キャリア教育コーディネーター配置事業	キャリア教育コーディネーターを配置し、職場見学、職場体験受入事業所バンクの更新等を行い学校と事業所の連携のための支援を行う。	チ	5	24	10	29	3	857	857	685			172				3	5	(3)	ア	
③	情報教育補助員派遣事業	情報化社会に対応する人材を育成するため、ICT教育補助員を各学校に巡回派遣し、パソコンを活用した授業や個別指導などの充実を図る。	チ	5	24	10	29	3	1,910	1,910	1,528			382				3	5	(3)	ア	
④	適応指導教室学習支援員配置事業	適応指導教室に学習支援員を配置し、学習指導や体験活動、相談活動等の支援を充実させ児童生徒個々の状態に合わせた支援を行う。	チ	5	24	10	29	3	2,400	2,400	1,920			480				3	5	(3)	ア	
⑤	幼小中学校長寿命化事業	沖縄特有の潮風による塩害や紫外線、度重なる台風の影響により、劣化した校舎屋根や壁面等を改修することにより、安全・安心を確保し及び校舎の断熱など機能を向上させるとともに長寿命化を図り、学習環境の向上を図る。	チ	5	24	10	29	3	126,558	126,558	101,246			25,312				3	5	(3)	ウ	
⑥	小学校空調設備設置事業	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備するため、空調設備を設置する。	チ	5	24	10	29	3	1,914	1,914	1,531			383				3	5	(3)	ウ	
⑦	中学校空調設備設置事業	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備するため、空調設備を設置する。	チ	5	24	10	29	3	2,730	2,730	2,184			546				3	5	(3)	ウ	
⑧	沿岸地区学校安全整備事業	海抜が低く、津波等の災害の際の影響が予想される沿岸部等に所在する学校において、災害に備えるための物品（ライフジャケット等）を購入し、児童・生徒の安全・安心な学習環境を整備する。	チ	5	24	10	29	3	5,031	5,031	4,024			1,007				3	5	(3)	ウ	
⑨	小学校PCB廃棄物処理事業	学校内に保管された高濃度PCB廃棄物を適切に運搬処理することにより児童・生徒の安全・安心な学習環境を整備する。	チ	5	24	10	29	3	1,470	1,470	1,176			294				3	5	(3)	ウ	
6	文化のまちづくり推進事業	地域に根ざした独自の風土文化を次代に継承するとともに豊見城のアイデンティティとなる新しい文化の掘り起こしを推進するため伝統文化等の拠点施設等を整備する。	リ	5	24	7	29	3	212,388	212,388	164,134			48,254				3	1	(4)		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画 該当箇所			備考			
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外 経費									
					年	月	年	月	A	B	C	負担額			G				
												D	E	F					
①	伝統文化等継承拠点整備事業	伝統文化の継承及び発展を目的にエイサーまつり等に取り組む団体の活動の拠点となる施設を整備し、活動を活性化させ、更なる人材育成及び伝統文化継承を図るとともに新たな観光資源としての活用を目指す。	リ	5	24	10	29	3	6,043	6,043	4,834					3	1	(4)	ウ
②	豊見城市内文化財説明板設置事業	本市に存する文化財の説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	リ	5	24	7	29	3	3,990	3,990	3,192					3	1	(5)	ア
③	組踊継承事業	組踊継承者育成のため豊見城市にゆかりのある組踊「未生の縁」を上演する他、専門的見地から「雪払い」の台本復元を行い、伝統文化の保全及び新たな地域資源として活用を目指す。	リ	5	24	7	29	3	5,826	5,826	4,660					3	1	(4)	エ
④	文化交流拠点整備事業	伝統文化・芸能イベント等においてデジタル化等、新たな技術による高度で効果的な演出を行うため、拠点施設における照明設備等を更新し、様々な文化活動を支援するとともに県民の文化交流活動の促進を促す。	リ	5	24	10	29	3	196,529	196,529	151,448					3	1	(4)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	うるま市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	2,070,000	2,070,000	2,070,000	4,140,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考				
					年	月		年	月	A	B				C	負担額		
																D	E	F
															G			
合 計							2,607,796	2,607,796	2,070,000		537,796							
1	うるま市産業振興プロジェクト	地理的特性や地域資源を活用し、企業集積による産業の活性化及び雇用の場を創出するため、企業誘致の推進や立地環境の整備等を実施する。	ニ	10	24	7	34	3	104,594	104,594	83,674		20,920		3	3	(9)	7
①	企業誘致推進業務委託事業	当市への企業立地を効果的に促進するために、国内外の経済動向分析や企業情報を収集するとともに、本県へ進出を検討している企業に対し企業誘致を働きかけていく。	ニ	10	24	7	34	3	8,567	8,567	6,853		1,714		3	3	(9)	7
②	沖縄IT津梁パーク周辺環境整備事業	沖縄IT津梁パーク周辺における安心安全な企業立地環境を創出するため、州崎幹線5号に道路照明等の防犯灯を整備する。	ニ	1	24	7	25	3	12,600	12,600	10,080		2,520		3	3	(3)	7
③	コンカレントエンジニア人材養成事業	企業立地を促進するためには、技術者などの人材育成が重要であることから、ものづくりに関する人材養成事業（コンカレント人材養成事業など）を実施する。	ニ	4	24	7	28	3	61,748	61,748	49,398		12,350		3	3	(9)	7
④	中城湾港新港地区物流促進支援事業	中城湾港新港地区の国際物流拠点産業集積地域としての基盤構築と定期船就航実現を図るため、新たな物流システムの構築及び貨物集積の仕組みづくりを実施する。	ニ	4	24	8	28	3	21,679	21,679	17,343		4,336		3	3	(4)	7
2	うるま市雇用対策プロジェクト	地理的特性や地域資源を活用し、求職者が就業に繋がるための人材育成や、街角コンタクトセンターを設置しきめ細かな就業支援を行い、就業機会の創出を図る。	ホ	10	24	7	34	3	195,111	195,111	156,087		39,024		3	3	(10)	7
①	うるま市地域雇用人材育成事業	当市の厳しい雇用情勢を踏まえ、市内における雇用及び就業機会を創出するため、未就職卒業者を含む失業者に対して、民間企業との連携による人材育成（OJT等）を実施する。	ホ	10	24	7	34	3	141,764	141,764	113,411		28,353		3	3	(10)	7
②	街角コンタクトセンター設置運営事業	雇用の拡大を図るため、街角コンタクトセンターを設置し、相談員による就業相談、中小企業等の事業主に対する各種支援制度の案内、求人・求職等の情報提供、就業者のスキル向上のための交流事業等を実施するとともに、FM放送局などを活用した求職情報等の発信を実施する。	ホ	10	24	7	34	3	41,136	41,136	32,908		8,228		3	3	(10)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画 該当箇所	備考									
					事業 始期	事業 終期		A	B	C	負担額				G								
											交付金交付額	負担額											
												沖縄県				市町村	その他						
年	月	年	月				D	E	F														
③	うるま市失業対策アクションプラン策定業務	失業率の改善を図るため、失業者の実態や雇用状況等について把握するとともに、実効性の高い雇用対策を調査研究し、失業対策アクションプランを策定する。	ホ	1	24	8	25	3	12,211	12,211	9,768				2,443				3	3	(10)	7	
3	うるま市観光振興プロジェクト	通過型観光から滞在型観光にシフトし、観光産業の基盤構築を図るため、当市の観光資源を生かした魅力ある観光商品の開発、観光誘客に向けた情報発信、当市で生産された1次産品を活用した食の開発や特産品等の販路拡大等を実施する。	イ	10	24	7	34	3	313,207	313,207	234,346								3	3	(2)	7	
①	戦略的観光資源創出事業	当市の地理的特性を生かし観光誘客を促進するため、観光客入城ルート周辺でできる観光施設、レストラン、土産販売所などの情報収集を行うとともに、今後の観光拠点施設整備計画・観光地誘導サイン計画などのパッケージ化に取り組むための基礎調査を実施する。	イ	10	24	7	34	3	13,203	13,203	10,562								3	3	(2)	ウ	
②	観光商品開発流通促進事業	地域特性や地域資源を生かした観光振興・地域活性化を図るため、リゾートウェディングをはじめとする観光商品の企画運営等を行うとともに、「世界遺産勝連城跡」や自然・伝統芸能をはじめとした歴史・文化素材を活用し観光商品を開発する。	イ	10	24	7	34	3	9,704	9,704	7,763								3	3	(2)	イ	
③	新・食の開発等推進支援事業	当市の豊かな農水産物および柑橘類等を活用し、新たな食（ご当地グルメ）と土産品等の開発やセールスプロモーション等を展開し、魅力ある観光資源・コンテンツを開発する。また特産品等を観光商品として開発支援し、販路開拓するために全国物産展や大手百貨店などでの商談会、実演販売などの支援を実施する。	イ	10	24	8	34	3	15,284	15,284	12,227								3	3	(2)	オ	
④	特産品販路拡大支援事業	当市の市産品や特産品等を県外および国外へ販路拡大を図るため、常設販売や物産展等を実施し、プロモーション活動を通じて商品の定番化と販路拡大の促進を図る。	イ	10	24	8	34	3	10,634	10,634	8,507								3	3	(9)	イ	
⑤	金武湾～海中道路における海洋性リゾート空間形成事業	地域資源を再確認し、金武湾から海中道路にかけて地域を魅力ある観光地としての形成できるようリゾート空間形成に向けたニーズ及び可能性調査等を実施する。	イ	3	24	8	27	3	12,044	12,044	9,635								3	3	(2)	ウ	
⑥	うまんちゅ健康文化交流広場整備事業	市民の健康づくりを推進することによって健康長寿地域としてのイメージ発信に繋げるとともに、地域における伝統芸能・文化の継承活動と交流・体験の場として、交流広場の整備を実施する。	イ	1	24	11	25	3	108,436	108,436	86,748								3	3	(2)	ウ	
⑦	メディア活用による戦略的観光誘客促進事業	観光地としての魅力を県外向けにPRし、効果的な観光誘客を図るため、雑誌やテレビなどのメディアを有効活用した観光情報配信等による観光誘客を実施する。	イ	5	24	9	29	3	10,902	10,902	8,721								3	3	(2)	イ	
⑧	海中道路ライトアップ観光景観形成事業	知名度と評価の高い海中道路の大橋をライトアップすることによって、当市における観光の付加価値向上と満足度を高め、観光誘客の促進と観光消費額の拡大を図る。	イ	2	24	8	26	3	120,000	120,000	79,783								3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考								
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目							
											年	月								年	年	月	年	月	年	月
D	E	F																								
⑨	石川イベント公園機能強化調査事業	観光誘客を促進するため、石川イベント公園（通称「石川ドーム」）において、多彩な伝統芸能・文化をはじめ、うるま市ならではの地域資源等を生かした観光イベントを開催するためのビジョンや方策と、施設の活用方法や機能強化のあり方を調査検討するとともに、施設機能を最大限に発揮するための観光イベント（ソフト面）のニーズや開発を合わせて調査検討を実施する。	イ	1	24	12	25	3	13,000	13,000	10,400					3	3	(2)	ウ							
4	うるま市文化観光振興プロジェクト	多彩な伝統芸能・文化の保存・継承を推進するとともに、地域文化を基調とした新たな文化観光を推進することで、西海岸リゾートとは違う文化観光を展開し、沖縄らしい新たな観光の推進を図る。また、勝連城跡周辺などにおいても滞在・体験型、そして人材育成等の拠点となる文化観光拠点の整備を推進するとともに、文化財の保存や伝統文化の継承推進、そしてイベントによる鑑賞機会の創出に取り組む。	イ	10	24	7	34	3	979,392	979,392	783,510					3	1	(5)	ア							
①	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業	世界遺産として登録されている勝連城跡は、毎年多くの観光客が来場するものの、周辺施設の整備が不十分であることから観光消費及び地域活性化につながっていない状況にある。そこで、勝連城跡の世界遺産としての価値を保全しつつ、文化を軸とした観光振興を図るため、体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点の整備を実施する。	イ	8	24	7	32	3	14,150	14,150	11,320					3	3	(2)	ウ							
②	生涯学習・文化振興拠点整備事業	当市には、エイサーをはじめ、闘牛、ウスデーク、獅子舞、豊年祭など多種多様な伝統文化・行事が残されている。それらは、「うるま市ならではの」地域資源であり、文化振興及び生涯学習を振興するための拠点施設を整備し、世界遺産勝連城跡を中心に、文化の薫るまちづくりを推進する。	イ	3	24	8	27	3	474,645	474,645	379,716					3	1	(4)	ウ							
③	市内文化財総合整備調査活用事業	文化の薫り高いまちづくり推進のために、市内の歴史資産の環境整備と総合的な調査を実施する。また、その整備と調査を基に活用事業を実施し、市民に対して歴史遺産への愛着心を醸成し、市民自身が歴史遺産を再評価できる環境の構築に取り組む。	リ	4	24	8	28	3	30,000	30,000	24,000					3	1	(4)	ア							
④	全島獅子舞フェスティバル事業	沖縄に伝わる獅子は旧暦の8月15日を中心に、悪霊を祓い五穀豊穡と地域の繁栄を祈願する伝統文化である。全島獅子舞フェスティバルを開催し、民俗芸能としての獅子舞の保存・継承・発展に寄与するとともに、沖縄らしい新たな文化観光を構築する。	リ	10	24	7	34	3	7,448	7,448	5,958					3	1	(4)	エ							
⑤	ふるさと芸能デー事業	伝統文化を保全・継承し、沖縄文化を軸とした付加価値の高い観光を振興するため、ふるさと芸能デーを開催する。	リ	10	24	7	34	3	1,080	1,080	864					3	1	(4)	ア							
⑥	文化施設機能強化事業	当市の多様な伝統芸能・文化を発信し、優れた芸術文化鑑賞の機会を提供するとともに、「うるま市ならではの文化観光商品」を展開し、本市の文化観光振興を展開するため、うるま市民芸術劇場、きむたかホール、石川会館の設備を整備する。	リ	5	24	11	29	3	235,140	235,140	188,112					3	1	(4)	ウ							

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考								
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目							
											年	月								年	年	月	年	月	年	月
⑦	文化施設環境整備事業	地域芸術文化の振興を図るため、うるま市民芸術劇場の機能強化を図る。	リ	1	25	1	25	3	95,307	95,307	76,245			19,062			3	1	(4)	ウ						
⑧	南風原文書整理翻刻事業	当市の文化振興、人材育成を図るため、「南風原文書」の整理、修復、デジタル化、複製本を作成するとともに翻刻を行い、生涯学習や学校教育の郷土学習教材として提供する。	リ	5	24	9	29	3	17,536	17,536	14,028			3,508			3	1	(4)	ア						
⑨	マーラン船等復元活用事業	当市では、船大工のマーラン船建造技術を指定文化財とし、伝統文化の保存・継承に取り組んできた。その結果マーラン船は映画やドラマ、多くの番組に採用され、当市の広告媒体となっている。その人材を活用し、木造船（マーラン船・琉球伝馬船・サバニ）を復元することで、造船技術の継承と後継者育成を図り、うるま市ならではの郷土教育の実践を推進する。	リ	5	24	10	29	3	40,322	40,322	32,257			8,065			3	1	(4)	ア						
⑩	景観調査活用事業	勝連城跡及びその周辺の自然・民俗文化財、具志川及び照間のい草水田、海中道路とその周辺の干潟に依存する生業・伝統行事・生物等を記録・保存し、郷土教育や観光案内に活用できる資料を発刊・提供することにより、教育及び観光の振興を図る。	リ	5	24	10	29	3	14,982	14,982	11,985			2,997			3	1	(4)	ア						
⑪	芸術文化振興の環境整備事業	地域芸術文化の振興を図るため、各種展示会にて使用する展示パネルの整備を行う。	リ	1	24	12	25	3	10,182	10,182	8,145			2,037			3	1	(4)	ウ						
⑫	新沖縄型エンターテインメント事業	沖縄の結婚式で行なわれる「ニービチ余興」は、ダンスやショートコント、合唱、寸劇、舞踊など様々なジャンルがあり、非常にユニークな取り組みが多い。「ニービチ余興」は沖縄独自のコンテンツであることから、沖縄の観光イベントとして開催・情報発信し、観光誘客に取り組む。	イ	10	24	7	34	3	6,850	6,850	5,480			1,370			3	1	(5)	ウ						
⑬	文化財標柱等設置事業	市内の文化財・旧跡等に標柱等を設置し、市民・観光客が広く活用しやすい環境を作る。	イ	4	24	12	28	3	20,000	20,000	16,000			4,000			3	1	(5)	ア						
⑭	サイタイイイカイムラウツツ草 蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業	「伊計村遊草（イゲムラウツツ草）」と著者である蔡大鼎（サイタイイイ）に関する調査・研究を進め、難解な漢文体の歴史史料を現代の教育文化に活用できるようカラー復刻版や翻刻解説本などを刊行することによって、伝統文化の保全・継承を図る。	リ	4	25	1	28	3	11,750	11,750	9,400			2,350			3	1	(4)	ア						
5	うるま市観光地基盤形成プロジェクト	観光地としての景観形成や海岸保全に取り組むとともに、また観光拠点施設の利便性向上を図るため、駐車場等の整備を実施する。また、安心安全な観光地の形成を図るため、津波対策や事故等への迅速な対応ができる基盤整備を実施する。	イ	10	24	7	34	3	116,423	116,423	93,138			23,285			3	3	(2)	ウ						
①	景観づくり事業	当市の多彩で美しい景観・風景を守り、潤いと癒しのある住みよい住環境の保全・創造を図るため、景観地区の指定、景観に関するイベントの開催等の景観・風景づくり推進に関する事業を実施する。	イ	10	24	7	34	3	5,040	5,040	4,032			1,008			3	1	(6)	ア						
②	伊計海岸周辺環境整備事業	伊計海岸西側付近の砂浜は、当市の貴重な観光財産であるが、台風等の高波による砂浜の侵食が進行しており、砂浜と背後地の保全措置及び、観光地としての景観を保全するため、自然石被覆護岸を整備する。	イ	1	24	10	25	3	28,000	28,000	22,400			5,600			3	3	(2)	ウ						

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考								
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目							
											年	月								年	年	月	年	月	年	月
D	E	F																								
③	海洋観光安全確保体制整備事業	当市は周囲を海に面し、海中道路や伊計ビーチをはじめとする多くのビーチがある。夏場は、海水浴やマリンスポーツなどの海洋レジャーを楽しむ観光客が多く訪れるが、その一方で水難事故等の発生が増加傾向にある。そこで、市民や観光客の安心安全を確保するとともに、水難事故等への迅速な対応を図るため、潜水資機材等を整備する。	イ	1	24	10	25	3	7,939	7,939	6,351					3	3	(2)	ウ							
④	石川イベント公園駐車場整備事業	石川イベント公園（通称：石川ドーム）は、沖縄自動車道の石川IC周辺に立地し、恩納村を中心とする本島西海岸リゾート地域から、アクセスの利便性が高く、多くの来場者があるが、駐車場が不足しており、安全な観光イベント運営に支障を来している。更なる観光誘客と施設の利便性向上を図るため、沖縄自動車道高架下を活用した駐車場を整備する。	イ	1	24	8	25	3	75,444	75,444	60,355					3	3	(2)	ウ							
6	島しょ地域振興プロジェクト	離島の自然文化、基幹産業を生かした活性化を図るため、廃校となった小中学校跡を活用したアート展や島おこしのためのワークショップ等を開催する。	タ	10	24	7	34	3	22,678	22,678	18,142					3	3	(12)	7							
①	島アートプロジェクト事業	島の良さを再発見し、ゆったりとした島の空間を楽しんでもらう新たな観光スタイルの創出と島独自の地域活性化を図るため、若手芸術家や美術家、そして地元住民とのワークショップを開催し、アート（造形物、オブジェ、美術など）による島おこしを実施する。	イ	10	24	7	34	3	12,530	12,530	10,024					3	3	(12)	7							
②	津堅・島おこし支援事業	津堅島において、安心して暮らせる島づくりを推進するために、ワークショップを開催し、地域資源を活用した島民主体の地域おこしに繋げていく仕掛けづくりとサポートを実施する。	タ	3	24	9	27	3	10,148	10,148	8,118					3	3	(12)	7							
7	スポーツコンベンション推進プロジェクト	プロ野球キャンプによる観光客誘客を推進するために、石川野球場及び具志川野球場とその周辺施設の機能強化を図る。	イ	1	24	8	25	3	413,350	413,350	330,679					3	2	(1)	イ							
①	石川野球場及び周辺環境整備事業	韓国プロ野球LGツインズのメインキャンプ場である石川野球場は、両翼が90mとプロ野球の試合をするには狭く、オープン戦等も開催できない状況であるため、両翼の拡張工事、外野芝生の張替、スタンドの改修などを実施する。	イ	1	24	8	25	3	272,039	272,039	217,631					3	2	(1)	イ							
②	具志川野球場及び周辺環境整備事業	韓国プロ野球SKワイバンズのメインキャンプ場である具志川野球場は、オープン戦や交流戦等の開催条件が整備されていない状況であるため、防球ネットや内外野をメンテナンスする機械整備などを実施する。	イ	1	24	8	25	3	141,311	141,311	113,048					3	2	(1)	イ							
8	うるま市元気な農水産業プロジェクト	農水産物の生産拡大と付加価値を高め、販売促進と従事者所得の向上を図るため、地産地消及び6次産業化を推進する拠点施設整備や拠点機能の設備強化を推進するほか、小型漁船用通路の整備、漁獲物の鮮度を保持するための製氷設備の整備を実施する。	ハ	3	24	8	27	3	167,609	167,609	134,086					3	3	(7)	イ							

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費 A	交付対象事業費					交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所			備考						
					事業 始期	事業 終期		B	C 交付金交付額	負担額				D 沖縄県	E 市町村	F その他		H 章	I 節	J 項	K 目		
										G													
										G													
①	桃原地区小型漁船用 通路機能強化事業	当市の宮城島と平安座島に挟まれた通路（水路）は、照間・浜・比嘉・桃原・池味の各漁港、伊計・平安座南港から良好な漁場である金武湾での操業に向かうために活用されているが、干潮時には水深が浅くなり小型漁船による海上事故が発生するなど、安全な漁業活動に支障を生じている状況であるため、当該通路を一部浚渫し機能強化を図る。	ハ	1	24	8	25	3	40,005	40,005	32,004				8,001				3	3	(12)	イ	
②	農水産業振興戦略構 築及び拠点施設整備 事業	当市は第1次産業が盛んな地域である。地域特性を發揮し、農水産業の6次産業化を推進するため、マーケットや複合施設の運営等に精通している民間事業者等と連携し、農水産業の戦略的展開を構築するとともに、豊かな農水産物の加工・流通施設、直売所及びレストラン等を併せ持つ複合施設を整備する。	ハ	3	24	9	27	3	19,017	19,017	15,213				3,804				3	3	(7)	イ	
③	水産業拠点施設機能 強化事業	石川漁協具志川支所において、当市が所有する水産物鮮度保持施設（製氷施設）の機能強化を実施し、水産業の振興に努める。	ハ	1	24	8	25	3	50,004	50,004	40,003				10,001				3	3	(7)	カ	
④	グァバ産地拠点機能 強化事業	グァバの葉は茶葉として加工され、「グァバ茶」として愛飲されている。当市はグァバが特用作物として唯一拠点産地として認定を受けており、茶葉生産に係る機械設備の機能強化を実施することにより、拠点産地としての生産強化を図る。	ハ	1	24	12	25	3	14,695	14,695	11,756				2,939				3	3	(7)	カ	
⑤	い草産地拠点機能強 化事業	当市照間地区は沖縄県唯一のい草生産地であり、「照間のい草」はブランドとして広く認知され、希少価値が高く、その品質が評価されている。その一方、高齢化による生産農家の減少や後継者不足等が課題となっており、加工機械設備の整備により、安定した生産体制を確保する。	ハ	1	24	12	25	3	42,588	42,588	34,070				8,518				3	3	(7)	カ	
⑥	津堅島イモゾウムシ 等根絶対策事業	イモゾウムシの根絶対策を強化するため、イモづるやくザイモを粉砕する機械（チッパー）を整備し、安全・安心な農林水産物の安定供給を確保する。	ハ	1	24	12	25	3	1,300	1,300	1,040				260				3	3	(7)	ウ	
9	うるま市大学院大学 周辺整備推進プロ ジェクト	沖縄科学技術大学院大学のキャンパスタウンエリアという地理的特性を生かし、安心・安全な教育環境の整備として通勤通学路を整備するとともに、産業集積に向けた戦略調査を実施する。	ヲ	2	24	7	26	3	70,983	70,983	56,785				14,198				3	3	(5)	ア	
①	産業集積戦略構築調 査事業	東日本大震災以降、多くの企業がリスク分散のため、沖縄への進出について検討を進めている。沖縄科学技術大学院大学のリサーチパークと連携した、新たな産業集積地を整備するための基礎調査を実施し、産業振興を図る。	ヲ	2	24	7	26	3	12,182	12,182	9,745				2,437				3	3	(5)	ア	
②	沖縄アミークス周辺 環境整備事業	大学院大学関連事業の一環として、教職員や学生等の子弟が通学する沖縄アミークスインターナショナルが平成23年4月に開学した。通学路となっている市道の一部を改良し、安心・安全な通学・通勤環境の確保を図る。	ヲ	1	24	9	25	3	58,801	58,801	47,040				11,761				3	3	(5)	ア	
10	うるま市国際人材育 成プロジェクト	沖縄科学技術大学院大学、沖縄アミークスインターナショナルが近傍にある地理的優位性を活かし、国際性豊かな地域振興を図るため、小中学校において外国人英語助手を派遣し、英語教育を強化する。	ハ	10	24	8	34	3	10,320	10,320	8,255				2,065				3	5	(4)	ア	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費						振興計画該当箇所	備考					
					事業始期	事業終期	交付対象事業費					交付対象外経費							
							年	月	年	月	A				B	C	負担額		
																	D	E	F
章	節	項	目																
①	小学校外国人英語助手派遣事業	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、小学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	ハ	10	24	8	34	3	7,343	7,343	5,874		1,469			3	5	(4)	7
②	中学校外国人英語助手派遣事業	国際性豊かな地域振興に向け、国際的視野を持ち外国語によるコミュニケーション能力を備えた人材育成を図るため、中学校に外国人英語助手の派遣を実施する。	ハ	10	24	8	34	3	2,977	2,977	2,381		596			3	5	(4)	7
11	うるま市基礎学力向上対策プロジェクト	「生きる力」の基盤となる基礎学力の向上を図るため、小中学校における放課後学習のための支援員を配置する。	ハ	10	24	8	34	3	34,823	34,823	27,857		6,966			3	5	(3)	7
①	小学校学力向上対策推進事業	小学校児童に対して、基礎学力の向上を図るため、学習支援員を配置し学習支援を実施する。	ハ	10	24	9	34	3	17,578	17,578	14,062		3,516			3	5	(3)	7
②	中学校学力向上対策推進事業	中学校の生徒に対して、学習の基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着等を図るため、学習支援員を配置し、学習支援を実施する。	ハ	10	24	9	34	3	9,251	9,251	7,400		1,851			3	5	(3)	7
③	島しょ地域小学校基礎学力向上対策事業	平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し児童の学習支援を実施する。	ハ	5	24	8	29	3	3,919	3,919	3,135		784			3	3	(11)	イ
④	島しょ地域中学校基礎学力向上対策事業	平成24年度より島しょ地域の小規模校の小中学校が統合し、複式学級から単式学級での授業が可能になった。基礎・基本の確実な定着を図るため、非常勤講師を配置し生徒の学習支援を実施する。	ハ	5	24	8	29	3	4,075	4,075	3,260		815			3	3	(11)	イ
12	うるま市子ども健やか安心プロジェクト	親が安心して子どもを産み育てられる環境を構築するために、放課後における児童生徒の居場所である児童館の整備を推進するほか、保育所におけるきめ細かな育児支援などを実施し、子どもの健やかな発育を支援する。	ヌ	10	24	7	34	3	24,161	24,161	19,328		4,833			3	2	(2)	イ
①	児童館建設事業（実施設計業務等）	地域の中で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを目指すために、児童館未整備地区において教育活動施設整備のための実施設計等の業務を実施する。	ヌ	2	24	7	26	3	17,971	17,971	14,376		3,595			3	2	(2)	イ
②	気になる子巡回相談事業	公立・法人・認可外保育施設における「気になる子」への保育の充実ときめ細かい対応を図るため、臨床心理士・認定心理士・保健師等の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	ヌ	10	24	8	34	3	3,095	3,095	2,476		619			3	2	(2)	イ
③	放課後児童クラブ支援事業	放課後児童クラブ運営の適正化や指導員の資質向上を図るため、運営に関する専門員と保育に関する専門員を担当課に配置し、市学童連絡協議会や学校などと連携し、子育てネットワークの形成を図る。	ヌ	5	24	9	29	3	3,095	3,095	2,476		619			3	2	(2)	イ
13	うるま市児童生徒健全育成プロジェクト	不登校や問題を抱える児童生徒をサポートし、自ら希望を持って学校生活を送れるよう促すために、学習指導や職場体験を実施するほか、スクールソーシャルワーカーや相談員を配置し、青少年の健全育成を推進する。	ヌ	5	24	8	29	3	16,735	16,735	13,387		3,348			3	2	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費						振興計画 該当箇所	備考							
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費					交付対象外 経費									
							A	B	C	負担額											
					年	月				年	月	年			月	年	月	D	E	F	G
①	問題を抱える子ども達の自立支援員配置事業	問題を抱える児童生徒に対して未然防止、早期発見、早期対応に取り組み、学校復帰や立ち直りに向けた支援や指導を行う。また、学校の生徒指導係と連携し、校内でのいじめ、暴力行為、授業は受けず徘徊している生徒等への声かけや指導を行う。	×	5	24	8	29	3	1,284	1,284	1,027		257					3	2	(2)	ウ
②	中学校教育指導推進事業	教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた生徒に対し、当該生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決への対応を図っていく。	×	5	24	8	29	3	4,572	4,572	3,657		915					3	2	(2)	ウ
③	教育相談事業	教育相談室に嘱託員を配置し、市内の幼稚園及び小中学校の幼児児童生徒の不登校や教育上の問題や悩みの相談に対応する。	×	5	24	8	29	3	6,784	6,784	5,427		1,357					3	2	(2)	ウ
④	適応指導教室事業	うるま市立小・中学校に在籍する心理的・情緒的要因による不登校児童生徒に対して、個々の状態に応じた指導支援を行い、人間関係の改善を図るとともに、自立心を高め社会性を身につけさせ、学校適応を促進するため、適応指導教室を実施し支援する。	×	5	24	8	29	3	4,095	4,095	3,276		819					3	2	(2)	ウ
14	うるま市基地対策プロジェクト	米軍基地「ホワイトビーチ地区」は米軍原子力潜水艦寄港地であり、原子力災害に備えた防災活動資機材等を整備する。また、米軍航空機の騒音の実態を把握するために騒音測定を実施し、米軍基地から派生する諸課題を整理することにより、安全・安心な生活環境の確保をめざす。	ソ	1	24	8	25	3	56,107	56,107	44,885		11,222					3	2	(5)	7
①	原子力艦防災活動資機材等整備事業	ホワイトビーチ地区での事故等に備え、迅速な消防警戒区域の設定や避難指示、避難誘導等が実施され、市民および観光客の安全・安心の確保を図るとともに、円滑な救急救助活動を実施できるよう原子力艦防災活動資機材等を整備する。	ソ	1	24	8	25	3	33,614	33,614	26,891		6,723					3	2	(5)	7
②	米軍航空機騒音実態調査事業	環境基準の類型指定エリア外の地域において、航空機騒音を測定し、客観的なデータの集積を図ることにより航空機騒音の実態を把握し、市民の安全・安心な生活に寄与するため、航空機騒音測定に必要な機器等を整備する。	ソ	1	24	9	25	3	22,493	22,493	17,994		4,499					3	2	(5)	7
15	うるま市防災基盤強化推進プロジェクト	安心安全な市土形成及び観光地づくりを図るため、防災行政無線の子局増設、緊急避難道路の整備を実施し、防災基盤を強化する。	レ	4	24	8	28	3	53,638	53,638	42,909		10,729					3	2	(4)	イ
①	緊急情報伝達施設機能強化整備事業（中城湾港新港地区）	防災行政無線子局が設置されていない地区に、防災情報や緊急情報を伝達するための防災行政無線子局を整備し、迅速かつ円滑な避難活動ができる防災基盤を整備する。	レ	1	24	10	25	3	23,520	23,520	18,816		4,704					3	2	(4)	イ
②	防災避難通路整備事業	当市は沖縄本島内の市町村で最も長い海岸線を有しており、低地帯地域に居住する市民や企業等、また多くの観光客の安全・安心を確保するため、防災避難通路を整備し、きめ細かな防災基盤を構築する。	レ	4	24	12	28	3	12,996	12,996	10,396		2,600					3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費						振興計画 該当箇所	備考					
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費					交付対象外 経費							
							年	月	年	月	A				B	C	負担額		
					D	E						F					G		
③	桃原地区（市道与那城24号線）避難道路整備事業	当該道路は、桃原地区から高台へ避難する重要な道路であるが、道路が未舗装のため、高台からの雨水等で路面が侵食されていることから、舗装を行い、安全な避難経路を確保する。	レ	1	24	12	25	3	12,720	12,720	10,176		2,544			3	2	(4)	イ
④	うるま市災害時通信手段多重化整備事業	大規模自然災害等の発生時に孤立するおそれのある島しょ地域や津波災害時の低地帯における地域住民や観光客等の生命と身体、財産を守るため、発災後、初動の応急対策期（72時間（3日））に迅速・円滑な活動ができるような通信手段（戸別受信機の増設、衛星電話の整備）の多重化を図る。	レ	1	24	8	25	3	4,402	4,402	3,521		881			3	2	(4)	イ
16	① 沖縄戸籍等整備プロジェクト	沖縄戸籍の証明書等は、戦災で多くが消失しており住民の記憶を基に申請した書類の劣化が激しく今後の保存・活用に耐えられないため、沖縄関係戸籍（臨時戸籍）を電子データ化する。	ソ	1	24	12	25	3	28,665	28,665	22,932		5,733			3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	宮古島市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	1,150,000	1,150,000		1,150,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考				
					年	月		年	月	A	B				C	負担額		
																D	E	F
																		G
合 計							1,567,903	1,439,206	1,150,000		289,206		128,697					
1	災害に強い島づくり事業	災害に強い島づくりに向けて、災害時における市民の安全確保と被災後の生活を支援するため、緊急物資の備蓄や避難ルート周知、避難場所の整備等総合的な防災対策事業を実施する。	イ	4	24	10	28	3	34,753	34,753	27,802		6,951		3	2	(4)	イ
①	緊急物資備蓄事業	被災時の市民生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。	イ	4	24	10	28	3	3,268	3,268	2,614		654		3	2	(4)	イ
②	宮古島市防災マップ製作事業	災害時における市民の安全を確保するため、防災マップを作成し、災害時における避難ルートや避難場所等の周知を図る。	イ	1	24	10	25	3	8,190	8,190	6,552		1,638		3	2	(4)	イ
③	海拔表示委託事業	市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難できるよう、海拔表示を市内各地区に設置する。	イ	1	24	10	25	3	1,260	1,260	1,008		252		3	2	(4)	イ
④	与那覇地区防災センター整備事業	海沿いに面した海拔の低い与那覇地区に防災センターを整備し、地域住民の災害時における避難場所を確保する。	イ	2	24	10	26	3	15,000	15,000	12,000		3,000		3	2	(4)	イ
⑤	宮古島市標高分類マップ製作事業	災害時における市民の安全を確保するため、標高分類マップを作成し、推定される津波到達区域や避難ルート等を明らかにするとともに、市民への周知を図る。	イ	1	24	10	25	3	7,035	7,035	5,628		1,407		3	2	(4)	イ
2	観光飛躍的發展推進事業（観光拠点強化事業）	本市の観光振興に向けて、観光拠点となる施設の整備や観光地の環境整備等を行い、観光受け入れ体制を強化する。	イ	10	24	6	34	3	459,716	459,716	367,771		91,945		3	3	(2)	ウ
①	トゥリパー地区マリーナ整備事業	観光交流拠点としての機能拡充を図り、多様な交流を促進するため、平良港トゥリパー地区のマリーナを整備する。	イ	1	24	12	25	3	41,187	41,187	32,949		8,238		3	3	(2)	ウ
②	スポーツ観光交流拠点整備事業	年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する。	イ	2	24	11	26	3	33,375	33,375	26,700		6,675		3	3	(2)	ア
③	宮古島市公設市場青空市サンルーフ設置事業	公設市場の活性化と集客施設としての機能を高めるため、青空市にサンルーフを設置する。	イ	1	24	6	25	3	7,703	7,703	6,162		1,541		3	3	(2)	ウ
④	宮古島市公設市場屋外階段設置事業	公設市場の利便性を向上させ、集客施設としての機能を高めるため、屋外階段を設置する。	イ	1	24	8	25	3	3,945	3,945	3,156		789		3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項目
														D	E	F					
⑤	熱帯植物園再生事業	熱帯植物園の集客機能を向上させるため、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。	イ	1	24	12	25	3	2,847	2,847	2,277			570			3	3	(2)	ウ	
⑥	宮古島市伝統工芸館整備事業	国の無形伝統文化財に指定されている「宮古上布」の歴史が学べ、機（ハタ）を使つての織物体験ができる伝統工芸館を新たに整備する。	イ	2	24	9	26	3	220,000	220,000	176,000			44,000			3	1	(5)	イ	
⑦	観光施設改修事業	観光拠点施設である「ドイツ文化村」の改修工事を実施する。	イ	1	24	11	25	3	46,000	46,000	36,800			9,200			3	3	(2)	ウ	
⑧	伊良部島・下地島間入江整備事業	伊良部・下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水質調査と、既存観光施設の活用と合わせた水域一帯の整備に向けた基本計画を策定する。	イ	4	24	10	28	3	4,700	4,700	3,760			940			3	3	(2)	ウ	
⑨	伊良部大橋橋詰広場地域振興施設整備事業	現在整備が進んでいる宮古島・伊良部島間を結ぶ伊良部大橋の橋詰め広場に観光拠点となる地域振興施設を整備する。	イ	2	24	10	26	3	14,670	14,670	11,736			2,934			3	3	(2)	ウ	
⑩	伊良部地区観光地環境整備事業	観光地として多くの観光客が訪れている伊良部島・下地島間の入江周辺にトイレ施設を整備する。	イ	1	24	10	25	3	25,000	25,000	20,000			5,000			3	3	(2)	ウ	
⑪	渡口の浜観光地整備事業	観光地として多くの観光客が訪れている「渡口の浜」に観光バスやレンタカーに対応した駐車場を整備する。	イ	1	24	8	25	3	8,520	8,520	6,816			1,704			3	3	(2)	ウ	
⑫	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業	「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に伝説と民話に彩られたロマンあふれる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。	イ	5	24	10	29	3	38,000	38,000	30,400			7,600			3	3	(2)	ウ	
⑬	与那覇湾環境総合整備事業	ラムサール条約に登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。	イ	10	24	10	34	3	1,000	1,000	800			200			3	1	(1)	イ	
⑭	宮古島市スポーツマネジメントプラン策定事業	スポーツを柱とした観光振興を推進するため、スポーツコンベンションの推進、スポーツ関連ビジネスの創出、スポーツ産業に係る人材育成、既存ストック施設の有効活用及び整備計画について、調査・分析を行い、取り組むべき最適な施策とその手法を明らかにした総合的な整備計画を策定する。	イ	3	24	10	27	3	5,940	5,940	4,752			1,188			3	2	(1)	イ	
⑮	ハブクラゲネット設置事業	夏場のビーチ内で猛毒を持つハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があることから、ハブクラゲ防止ネットを設置し、海水浴客の安全を確保する。	イ	10	24	6	33	10	1,000	1,000	800			200			3	3	(2)	ウ	
⑯	オニヒトデ駆除事業	環境保全と観光客の安全性を確保するため、宮古島周辺に生息するオニヒトデ駆除を実施する。	イ	3	24	10	27	3	5,329	5,329	4,263			1,066			3	1	(1)	ア	
⑰	観光ガイド養成事業	今後、増加することが予想される外国人旅行者に対応して、観光ガイドを養成する。	イ	2	24	12	26	3	500	500	400			100			3	3	(2)	エ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項目
														D	E	F					
3	観光飛躍的發展推進事業（緑化美化景観向上事業）	本市の観光振興に向けて、観光アクセス道路や公園等の緑化及び環境美化を推進するとともに、不法投棄ごみの撤去や景観に配慮した取り組みを強化し、観光リゾート地としてふさわしい花と緑あふれる美しい島づくりを推進する。	イ	10	24	7	34	3	157,546	157,546	126,036					3	1	(6)			
①	観光地アクセス道路環境美化強化事業	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。	イ	10	24	10	34	3	37,770	37,770	30,216					3	1	(6)	イ		
②	観光地公園環境美化強化事業	美しい島づくりを推進するため、観光地として利用されている公園の環境美化を図る。	イ	10	24	7	34	3	4,870	4,870	3,896					3	1	(6)	イ		
③	大嶽城址公園環境整備事業	本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。	イ	5	24	9	29	3	4,000	4,000	3,200					3	1	(6)	イ		
④	花と緑のあふれる島づくり事業	花と緑あふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。	イ	10	24	11	34	3	1,000	1,000	800					3	1	(2)	イ		
⑤	ごみの不法投棄撤去事業	本市は、県内でも不法投棄されたごみの量が最も多く確認されており、美しい島づくりを推進するため、不法投棄ゴミの一斉撤去を行う。	イ	1	24	11	25	3	30,800	30,800	24,640					3	1	(6)	イ		
⑥	宮古島市墓地基本計画策定事業	墓地利用の適正化を図るとともに、墓地需要の動向を把握するなど墓地行政の総合的指針となる「宮古島市墓地基本計画」を策定する。	イ	1	24	9	25	3	4,536	4,536	3,628					3	1	(6)	イ		
⑦	伊良部地区景観向上事業	伊良部地区の玄関口である佐良浜港に隣接する宮古島市振興総合センターは、築34年が経過し、老朽化が著しく危険であり、観光地としての景観も損ねているため、施設の撤去等周辺整備を行い、周辺住民の安心・安全を確保するとともに、観光振興に資する跡地利用を進め、沖縄らしい美しい景観を形成し、観光リゾート地としてのまちづくりを推進する。	イ	3	24	10	27	3	74,570	74,570	59,656					3	1	(6)	イ		
4	観光飛躍的發展推進事業（誘客促進イベント強化事業）	本市の観光振興に向けて、観光入域客数の増加を図るため、誘客促進活動を強化する。	イ	10	24	6	34	3	172,165	74,855	59,882					3	3	(2)	イ		
①	誘客プロモーション事業（MTV）	効果的な誘客を促進するため、アジア最大級を目標とした新たな音楽イベントを開催するための取り組みに対し、補助金を交付する。	イ	1	24	11	25	3	91,350	23,730	18,984					3	3	(2)	イ		
②	誘客プロモーション事業（広告宣伝）	県内外へ観光地としての情報を積極的に発信し、観光入域客数50万人を達成するため、沖縄県内のモノレール及び県外の鉄道車輛等への広告宣伝活動を行う。	イ	2	24	11	26	3	25,721	25,721	20,576					3	3	(2)	イ		
③	誘客プロモーション事業（純と愛）	効果的な誘客を促進するため、連続テレビ小説「純と愛」を通して、宮古島市の魅力を広くPRするための取り組みに対し補助金を交付する。	イ	1	24	10	25	3	10,000	8,000	6,400					3	3	(2)	イ		
④	観光WEB戦略事業	効果的な誘客を促進するため、観光に特化したホームページを新たに作成し、観光情報発信力を強化する。	イ	1	24	11	25	3	5,000	5,000	4,000					3	3	(2)	イ		
⑤	観光振興事業補助金（観光協会）	観光協会の活動を支援し、観光振興を図るため、観光協会に対し補助金を交付する。	イ	1	24	7	25	3	9,550	5,541	4,432					3	2	(1)	イ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額			G		章	節	項	目
														沖縄県	市町村	その他						
⑥	南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会補助金	島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンドゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	イ	10	24	7	34	3	3,622	1,000	800			200		2,622	3	1	(2)	イ		
⑦	エコアイランド宮古島マラソン大会補助金	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	イ	10	24	7	34	3	12,597	3,000	2,400			600		9,597	3	2	(1)	イ		
⑧	サニツ浜カーニバル補助金	夏期シーズンのイベントとして定着している「サニツ浜カーニバル」の開催を支援するため、補助金を交付する。	イ	10	24	6	34	3	1,861	1,254	1,003			251		607	3	3	(2)	イ		
⑨	宮古島100kmワイドーマラソン大会補助金	島外から多くの参加者が訪れる「宮古島100kmワイドーマラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。	イ	10	24	11	34	3	12,464	1,609	1,287			322		10,855	3	2	(1)	イ		
5	エコアイランド宮古島形成事業	エコアイランド宮古島として、資源循環の仕組みと地域経済の発展とを両立する社会システムを構築するため、電気自動車等のエコカーの普及、利便性の向上を図るほか、島内のエコ関連施設について、観光資源としての充実を図る。また再生可能エネルギーを活用した植物工場による自立型産業モデルの構築を図りながら、宮古島の基幹作物であるサトウキビの総合利用に係る取り組みの事業化に向けた検証を進めるほか、再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、市民と連携した導入を行う。	タ	5	24	8	29	3	324,927	323,927	259,141			64,786		1,000	3	1	(3)	イ	7	
①	エコアイランド宮古島周遊エコツアー整備事業	本市のエコ関連施設において、観光客や市民等が設備を見学できるPR館の整備や島内の観光関連施設に電気自動車の充電設備を整備することにより、電気自動車の普及促進と観光振興を図る。	タ	2	24	12	26	3	29,400	29,400	23,520			5,880			3	1	(3)	イ	7	
②	電気自動車充電設備設置補助事業	本市の観光利用される施設に電気自動車の充電設備を設置する者に対し、設置に係る費用の一部を補助することで、電気自動車の普及促進と利用者の利便性の向上を図る。	タ	2	24	8	26	3	2,000	1,000	800			200		1,000	3	1	(3)	イ	7	
③	市民連携型太陽光発電整備事業	電氣的・敷地的に再生可能エネルギーの導入制約のある離島において、市民と連携して再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した一般住宅等への太陽光発電への持続可能な導入モデルを構築するとともに、県の「沖縄スマートエネルギーアイランド基盤構築事業」と連携して、来間島における再生可能エネルギー100%自活の地域づくりを目指す。	タ	2	24	10	26	3	218,150	218,150	174,520			43,630			3	1	(3)	イ	7	
④	運輸部門における低炭素推進事業	本市は、環境モデル都市として二酸化炭素の削減に向けた取り組みを推進しており、エコカーを率先して導入し、各種イベント等で活用することにより、二酸化炭素の削減を図り、低炭素社会の実現を目指す。	タ	1	24	12	25	3	21,000	21,000	16,800			4,200			3	1	(3)	イ	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項目
														D	E	F					
⑤	農業産業化プラットフォーム整備事業	再生可能エネルギーを活用した植物工場を構築し、安定・計画生産を実現することにより、生産、加工、流通、小売及びエコアイランドのブランド化までを一体とした新たな自立型産業モデルの構築を目指すとともに、人材育成や事業化支援を行うプラットフォームの構築に向けた各種調査等を実施する。	タ	3	24	11	27	3	10,000	10,000	8,000					3	1	(3)	7		
⑥	バイオエタノール高効率製造・流通事業	本市のバイオエタノール製造施設を有効活用し、県の事業と連携した以下の事業を実施することにより、基幹作物であるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築及び沖縄産バイオエタノールを活用した事業化を目指す。 ○バイオエタノールの高効率製造事業 ○バイオ燃料の流通安定化検証 ○付加価値の高いバイオエタノールの用途開発等	タ	5	24	11	29	3	44,377	44,377	35,501					3	1	(3)	1		
6	農林水産業活性化事業	本市の経済を支える農業基盤の安定のため、基幹作物であるさとうきびの安定生産を確保しながら、有機質肥料の生産拡大による資源循環型農業を推進するとともに、6次産業化に向けた取り組みなど、農産物の販路拡大に向けた取り組みを実施する。また、水産物の生産性の向上に向けた取り組みを実施する。	ハ	5	24	9	29	3	287,316	271,724	217,292			15,592		5	3	(4)	1		
	① ヤソ防除事業	さとうきびをヤソの被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。	ハ	5	24	9	29	3	22,300	22,300	17,840					5	3	(4)	1		
	② さとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業	さとうきび病害虫の被害を防止することを目的に、新たな農薬を用いた防除体系を確立し、生産性の向上を図るため、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。	ハ	2	24	11	26	3	77,962	62,370	49,896			15,592		5	3	(4)	1		
	③ 甘藷（イモ）を活用した6次産業化モデル事業	宮古島産甘藷（イモ）の生産体制を強化し、ブランド化を図り、雇用を生み出す農業として確立するため、芋の生産に係る機械設備を導入する。	ハ	5	24	11	29	3	33,705	33,705	26,964					5	3	(4)	1		
	④ 資源循環型農業推進事業	本市の資源リサイクルセンターでは、庭木や街路樹等の剪定後に出る枝葉等を利用して有機質肥料を製造しており、農地へ還元することにより、化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。年々剪定枝等、原料の搬入が増加しているが、現在の機械設備では処理能力が十分ではないため、処理能力のより高い機械設備を導入するとともに、雨天時対策として、雨よけ屋根を整備し、施設の機能強化を図る。	ハ	3	24	9	27	3	67,160	67,160	53,641					5	3	(4)	1		
	⑤ 農産物加工施設導入事業	本市で生産される農産物の規格外商品を島内で加工し、全国へ販売することで、販路拡大を図るとともに、「宮古島産農産物」を広くPRする。	ハ	2	24	11	25	3	65,189	65,189	52,151					5	3	(4)	1		
⑥ 宮古島市海業センター整備基本計画検討調査事業	宮古島地域の栽培漁業を行う海業センターの役割を再検討し、今後の栽培漁業の方向性や可能性を探ることを目的に、検討調査を実施する	ハ	1	24	11	25	3	21,000	21,000	16,800					5	3	(4)	1			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節		項目					
											年	月							年	月	D	E	F
7	雇用促進事業	本市の雇用促進に向けて、平成23年度に「地域雇用創造実現事業」にて開発された「島シャツ」の商品化に向けた取り組みを実施し、地域雇用の拡大を目指す。	ホ	2	24	12	26	3	19,796	19,796	15,836			3,960			3	3	(1)	ウ			
8	伝統工芸産業振興事業	本市の伝統工芸産業の振興に向けて、国の重要無形文化財に指定されている「宮古上布」の生産・保存・伝承を支援するため、織物事業協同組合に対し、補助金を交付する。	ニ	5	24	11	29	3	11,080	10,000	8,000			2,000			3	1	(5)	イ			
9	「結いの島」推進事業	地域の子ども達に健全な遊びを与え、健康増進と情操を豊かにすることを目的として児童館建設にかかる設計業務を委託する。	ヌ	1	24	11	25	3	10,571	10,571	8,456			2,115			3	2	(2)	イ			
10	人材育成強化事業	本市の活性化には優れた人材の育成が必要であることから、個々の児童生徒に応じた支援を強化するとともに、離島の負担を軽減し、児童生徒のスポーツ活動や学習機会の拡大に取り組む。また、児童生徒の豊かな感性を育むため、演劇を活用した人材育成に取り組む。	ハ	10	24	7	34	3	42,334	28,619	21,626			6,993			3	5	(2)	7			
①	スクールソーシャルワーカー活用事業	本市の児童生徒の個に応じた支援の充実に向け、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、対象となる児童生徒宅を訪問し、保護者との相談活動を通して、ニーズを把握し、学校、関係機関、地域の協力者と連携・協働しながら、児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。	ハ	10	24	8	34	3	4,677	4,677	3,741			936			3	5	(3)	イ			
②	問題行動等学習支援者事業	本市の不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導・支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。	ハ	10	24	8	34	3	3,035	3,035	2,428			607			3	5	(3)	イ			
③	選手派遣補助金交付事業	本市の児童生徒のスポーツ、文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。	ハ	10	24	9	34	3	28,296	14,581	11,318			3,263			3	5	(2)	7			
④	宮古島市子ども劇団設立事業	こども劇団を設立し、演劇を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し、宮古島を表現することで、地域アイデンティティを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。	ハ	10	24	7	34	3	6,326	6,326	4,139			2,187			3	5	(1)	7			
11	地下水保全事業	地下水を唯一の淡水資源とする本市では、水道水源の保全が社会の成立要件となっていることから、持続的な社会を構築するため、地下水を保全する取り組みを積極的に推進する。	リ	5	24	10	29	3	26,267	26,267	21,013			5,254			5	3	(4)	エ			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費									
							A	B	C		負担額								
											D			E	F				
年	月	年	月	沖縄県	市町村	その他	G	章	節	項	目								
①	水道水源水質改善事業	本市の水道水源流域である白川田・東添道・福里北・伊良部地下水流域内で農業を営む耕作者を対象に地下水保全に関する緩効性肥料の重要性について、専門家による啓発資料の作成と周知を図り、地下水の汚染につながる速効性肥料の使用を抑制し、緩効性肥料への転換を促すことで、地下水保全を推進する。	リ	5	24	10	29	3	2,000	2,000	1,600		400			5	3	(4)	エ
②	水道水源流域保全調査及び啓発事業	本市の水道水源流域のうち、最も重要な白川田・東添道地下水流域は、その北側において隣接する他の地下水流域との境界が不明瞭であるので、電気探査・ボーリング調査等を実施し、厳正な地下水保全を図るべき地域を明らかにする。また、これにより地下水の流域面積が明らかになり、そこでの地下水貯水量を正確に推定するため、降水の何%が地下水になるのかを明らかにするための蒸発散量調査も併せて行う。これらの流域保全調査が完了した後、水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。	リ	3	24	10	27	3	24,267	24,267	19,413		4,854			5	3	(4)	エ
12	文化振興事業	本市特有の文化を保全しながら、観光資源としての活用を図るため、博物館の機能を強化する。	リ	5	24	9	29	3	21,432	21,432	17,145		4,287			3	1	(4)	ウ
①	博物館図録作成事業	本市の博物館には、約8,000点に及ぶ資料が収蔵されており、資料の幅広い活用を図るため、収蔵資料を整理し、データベース化、デジタル化及び図録を作成する。	リ	5	24	9	29	3	3,582	3,582	2,865		717			3	1	(4)	ウ
②	博物館内設備改修事業	本市の歴史、文化、風習、自然等を映像コンテンツとしてデジタル化し、来館者に対し最新の情報を提供する。	リ	1	24	9	25	3	17,850	17,850	14,280		3,570			3	1	(4)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	南城市	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	790,000	790,000		790,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費 A	交付対象事業費 B				交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所				備考
					年	月	年	月		交付金交付額 C	負担額				章	節	項	目	
											沖縄県 D	市町村 E	その他 F						
合 計									1,050,158	1,047,694	790,000		257,694		2,464				
1	観光客等誘客促進・受入体制強化事業	本市の貴重な歴史文化遺産、長い歴史に育まれた独特な地域資源と豊かな自然環境・景観を生かした観光誘客及び受入体制整備を図るため、物産観光拠点の整備、色彩豊かな花の植栽等の緑化活動、外国語を用いた観光ガイドマップの作成、「斎場御嶽」周辺整備による観光振興、「なんじょうハートプロジェクト」のイベント開催、PRグッズの製作、電動自転車散策ツアー、多言語標記サイン看板の作成、久高島の観光拠点施設である宿泊交流館の機能強化等を実施する。	イ	3	24	7	27	3	576,473	576,473	420,173		156,300			3	3	(2)	
①	観光物産拠点整備強化事業	魅力的な観光地づくりを図るため、Webサイトや各種広報媒体等を活用した観光客への情報発信拠点及び観光案内所を含めた、地域観光物産館を整備する。	イ	1	24	7	25	3	294,201	294,201	194,493		99,708			3	3	(2)	ウ
②	市域景観形成強化事業	魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。	イ	3	24	7	27	3	10,000	10,000	8,000		2,000			3	3	(2)	ウ
③	“南城市の魅力発見”観光ガイドマップ作成事業	本市は世界遺産「斎場御嶽」など県を代表する観光施設を有し、年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れている。本市の魅力をもっとPRするため、日本語のみならず、外国語を用いた観光ガイドマップを作成する。	イ	1	24	7	25	3	2,415	2,415	1,932		483			3	3	(2)	イ
④	海外移住者子弟研修・国際交流推進事業	本市と移住国との国際交流を推進するため、本市出身の海外移住者子弟の研修生を受け入れ、本市の文化・伝統・各種技術等の研修や研修生と市内小中学校との交流授業等を行う。	カ	1	24	8	25	3	900	900	720		180			3	4	(1)	ア
⑤	久高島離島宿泊交流館施設整備事業	夏場の高温時においても、島民と観光客等が快適に交流できる環境を整備するため、久高島の観光拠点施設である宿泊交流館に空調設備を整備する。	イ	1	24	7	25	3	3,170	3,170	2,400		770			3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画 該当箇所				備考			
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費							G		
					交付金交付額			負担額													
					D			E	F	G											
⑥	世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業	魅力的な観光地づくりを図るため、世界遺産「斎場御嶽」周辺一帯の散策道、手摺り等の整備及び用地購入を行う。	イ	3	24	7	27	3	91,835	91,835	73,468		18,367				3	3	(2)	ウ	
⑦	南城ウェルネス機能拡張事業	観光客等の誘客促進を図るため、観光資源を活用した心身の再生（ウェルネス）を柱とした観光プログラムの実践及びNFCタグ等を活用した認証システム等を構築する。	イ	1	24	7	25	3	18,622	18,622	14,897		3,725				3	3	(2)	ア	
⑧	第1次コミュニティFM放送施設整備事業	観光情報、市内のイベント情報、緊急時には災害情報等を提供することを目的にコミュニティFM放送に必要な演奏所及び送信所の整備を行う。	イ	1	24	8	25	3	30,721	30,721	24,576		6,145				3	3	(2)	ウ	
⑨	準天頂衛星実証実験事業	新たな観光誘客に繋げるため、「準天頂衛星観測センター」の本市への誘致及び準天頂衛星の活用についての検証を行う。	イ	1	24	7	25	3	3,835	3,835	3,068		767				3	3	(2)	ウ	
⑩	デマンド交通導入検討業務	滞在型観光を推進するため、「デマンド交通システム」を活用した検討業務を行い、実用化に向けた検証を行う。	イ	1	24	7	25	3	6,915	6,915	5,532		1,383				3	3	(2)	ウ	
⑪	なんじょうハートプロジェクト推進事業	地域資源を生かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり・市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。	イ	1	24	8	25	3	10,000	10,000	8,000		2,000				3	3	(2)	イ	
⑫	なんじょう誘客対策事業	南城市滞在型の誘客を促進するため、本市の持つ豊富なコンテンツ力に魅力あるストーリーを加え、地元での宿泊（ホテル・民泊）をしながら「なぞ解きの」旅行スケジュールを企画する。	イ	1	24	7	25	3	6,000	6,000	4,800		1,200				3	3	(2)	イ	
⑬	お新下り（開得大君即位式等）再現事業	世界遺産「斎場御嶽」は沖縄観光のパワースポットとして多くの観光客に親しまれています。魅力的な観光地づくりを促進するため、「お新下り」開得大君の即位式の一部再現を行う。	イ	1	24	7	25	3	25,000	25,000	20,000		5,000				3	3	(2)	ア	
⑭	電動自転車による市内観光活用事業	本市は世界遺産「斎場御嶽」をはじめ、歴史文化遺産が多いことから観光入城客も年々増加している。観光地の環境負荷軽減など、自動車に頼らない観光地づくりを促進するため、レンタサイクル実証実験を行う。	イ	1	24	7	25	3	15,000	15,000	12,000		3,000				3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所				備考					
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費								G				
					交付金交付額			負担額																
					D			E				F												
15	南城市地域特産品開発及び販売促進計画策定事業	魅力ある観光特産品を提供するため、農水産品及び工芸品等を活用した魅力ある特産品の研究開発を行い、南城市特産品の需要及び販売ルート等の調査を行う。	イ	1	24	8	25	3	30,000	30,000	24,000				6,000					3	3	(9)	イ	
16	南城ツーリズム「元気を取り戻す旅」誘客モニター事業	本市の特徴を活かしたメンタルヘルス対応の社員研修のモニターツアーを行い、体験滞在交流型観光を推進する。	イ	2	24	10	26	3	7,000	7,000	5,600				1,400					3	3	(2)	ア	
17	尚巴志関連展開調査事業	観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。	イ	2	24	10	26	3	5,460	5,460	4,368				1,092					3	3	(2)	ア	
18	スポーツツーリズム推進事業	観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、競技場の天然芝の良質な状態を保持するための管理用機器を導入する。	イ	1	24	7	25	3	15,399	15,399	12,319				3,080					3	3	(2)	ア	
2	雇用促進・人材育成事業	企業誘致、雇用促進を図るため、求人・求職者を結ぶ雇用サポートセンターの設置、市内全域（久高島を除く）への超高速通信サービスの整備及び土地の有効利活用を促進し、定住条件を整備する。	ホ	1	24	7	25	3	227,078	227,078	181,417				45,661					3	3	(10)		
1	雇用サポートセンター就労支援事業	新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事業所等に人材情報を提供する。	ホ	1	24	7	25	3	782	782	625				157					3	3	(10)	ア	
2	企業誘致・定住促進環境整備事業	雇用創出を実現し、定住促進及び地域振興を図るため、企業立地区域の環境整備を実施する。	ホ	1	24	8	25	3	21,546	21,546	16,992				4,554					5	3	(3)	イ	
3	南城市超高速通信サービス整備事業	南部圏域における情報通信関連産業の振興にあたり、超高速通信サービス整備は必要不可欠である。企業誘致、雇用促進を図るため、市内全域（久高島を除く）に超高速通信サービスを整備する。	ホ	1	24	8	25	3	204,750	204,750	163,800				40,950					3	3	(3)	エ	
3	平和発信プロジェクト事業	第二次世界大戦で悲惨な地上戦の行われた南城市から平和を発信するため、平和や命の大切さを考える機会の創出に関する講演会やコンサート、他地域との交流などの取組を実施する。	ソ	5	24	7	29	3	981	981	758				223					3	4	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画 該当箇所				備考		
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費							G	
					交付金交付額			負担額												
					D			E	F	G										
①	平和発信プロジェクト事業	戦後65年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れていく中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会とするため、南城市独自の平和の日を制定し、講演会、コンサート等を実施する。	ソ	5	24	7	29	3	348	348	278			70			3	4	(2)	ウ
②	戦没者追悼慰霊祭事業	恒久平和の誓いを発信するため、本市では、合併前の旧町村単位で、慰霊祭が行われている。近年は参加する遺族の高齢化や月日の経過とともに小規模化しつつあるため、慰霊碑を1箇所整理・統合し、市一円の大規模な慰霊祭を実施する。	ソ	1	24	7	25	3	633	633	480			153			3	4	(2)	ウ
4	農水産業活性化プロジェクト事業	県都那覇に近い地理的条件を生かした野菜、花卉、果樹等の産地形成のための農道の機能強化等を図るとともに、空き施設を利用した野菜工場による生産性等の実証実験及び漁港の施設改修を行い水産業の振興を推進する。 また、施設栽培の推進による災害に負けない農産物の安定生産体制を構築する。	ハ	5	24	7	29	3	88,401	85,937	68,749			17,188			3	3	(7)	
①	さとうきび優良種苗安定確保事業	沖縄県の基幹作物であるさとうきびについては、平成6年度からの品質取引制度の導入に伴い多収性品種から高糖性品種への転換が推進されている。 安定した農家所得の向上、さとうきびの生産向上を図るため、優良品種作付けの普及を推進する。	ハ	5	24	8	29	3	3,750	3,750	3,000			750			3	3	(7)	ア
②	農業生産体制強化事業	農業生産物の生産体制の強化を図るうえで、作物の品質保持は欠かせない要素である。 作物の粉塵による生育不良や日照量低下の解消、大雨時の路盤の流出した後の凹凸による生産物の荷崩れを防止する為、既設の簡易農道にアスファルト舗装を実施する。	ハ	1	24	8	25	3	20,000	20,000	16,000			4,000			3	3	(7)	カ
③	蔬菜花卉園芸施設整備事業	農産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。	ハ	5	24	7	29	3	9,287	8,359	6,687			1,672			3	3	(7)	カ
④	沖縄型野菜工場実証試験事業	低コスト化、低炭素社会実現を推進し、農業振興を図るため、空き施設（公共施設）を利用して野菜工場を作り、生産性、継続性等の実証実験を行う。	ハ	2	24	7	26	3	40,000	40,000	32,000			8,000			3	3	(7)	キ
⑤	漁港巻上機・施設機能強化事業	水産業の振興を促進するため、巻き上げ機施設の機能強化事業を実施する。	ハ	1	24	7	25	3	15,364	13,828	11,062			2,766			3	3	(7)	カ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		事業終期	総事業費					振興計画 該当箇所	備考					
					年	月		年	月	A	交付対象事業費				G				
											B	C				負担額			
																D	E	F	
交付金交付額		沖縄県		市町村		その他													
5	防災安全基盤強化事業	災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、避難者の飲食品及び物資の備蓄や、防災関連備品の貸し出し、備蓄品の提供を行う。 また、住民や観光客への安心安全を確保するため、なんじょう情報マップの作成及び、台風や大雨時の課題となっている道路冠水や床上浸水を防止するため、災害対策調査を実施する。	レ	5	24	7	29	3	30,625	30,625	24,500		6,125			3	2	(4)	イ
①	地域防災対策強化事業	防災組織、地域防災リーダーの育成を図るため、地域住民による防災活動を実施する。 また、地域によって異なる災害を想定した避難訓練、防災知識の普及啓発、防災資機材の整備を行う。	レ	5	24	8	29	3	750	750	600		150			3	2	(4)	イ
②	災害に強いまちづくり推進事業	安心・安全の確保及び災害に強いまちづくりの実現を図るため、被災者の長期避難生活を想定した非常用食料品、日用雑貨、備品等の整備を実施する。	レ	1	24	7	25	3	1,500	1,500	1,200		300			3	2	(4)	イ
③	台風・大雨浸水被害対策事業	災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルートを確認し、適切な排水路整備を計画する。	レ	3	24	8	27	3	18,375	18,375	14,700		3,675			3	2	(4)	イ
④	人にやさしいなんじょう情報マップ事業	災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、なんじょう情報マップを作成する。	レ	1	24	7	25	3	10,000	10,000	8,000		2,000			3	2	(4)	イ
6	環境未来都市形成事業	地球温暖化対策に向けて環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、多くの市民や観光客等が利用する公共施設等へ電気自動車充電ステーションを設置する。 また、本市においては毎年台風襲来により、停電に見舞われる状況にあるため、太陽光を利用した照明システムや停電対応システムの構築及び鶏糞バイオマス発電等実証実験や風力発電と太陽光発電を組み合わせたシステムを導入する。 環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、水質改善装置を設置した豚舎等の悪臭対策実証実験や、生ごみ等を活用した循環型のエコリサイクル事業を実施する。	レ	3	24	7	27	3	110,702	110,702	81,789		28,913			3	1	(3)	
①	電気自動車充電ステーション設置事業	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、多くの市民や観光客等が利用する公共施設へ電気自動車充電ステーションを設置する。	レ	1	24	8	25	3	23,200	23,200	11,788		11,412			3	1	(3)	イ
②	太陽光採光システム普及事業（企業・一般家庭）	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、太陽光照明システムの一般家庭への普及を推進する。	レ	3	24	8	27	3	30,000	30,000	24,000		6,000			3	1	(3)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画 該当箇所				備考			
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外 経費										
					A			B			C			D	負担額		E	F		G		
					A			B			C				負担額						E	F
③	太陽光採光システム普及事業（公共施設）	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、沖縄の豊かな太陽光を利用した照明システムを公共施設へ導入する。	レ	1	24	8	25	3	25,000	25,000	20,000			5,000				3	1	(3)		
④	鶏糞バイオマス発電導入調査事業	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、鶏糞バイオマスを利用した発電を視野に入れ、更なる利用方法等の導入調査事業を実施する。	レ	1	24	8	25	3	6,300	6,300	5,040			1,260				3	1	(3)	イ	
⑤	風力・太陽光ハイブリッド発電導入調査事業	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、風力エネルギー及び太陽光エネルギーを組み合わせさせたシステムを普及させるための実証実験を実施する。	レ	1	24	8	25	3	10,000	10,000	8,000			2,000				3	1	(3)	イ	
⑥	畜産悪臭対策事業	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、市内3箇所の豚舎等で、水質改変装置を設置し、臭気濃度と臭気指数及び畜産業に関連する特定悪臭物質の成分現況調査・分析等のモニタリング調査を実施する。	レ	1	24	7	25	3	10,185	10,185	8,148			2,037				3	1	(1)	イ	
⑦	環境浄化エコリサイクル事業	環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、市内食品工場等から排出される生ごみを利用した腐葉土の生産及び販売に取り組む。	レ	1	24	8	25	3	6,017	6,017	4,813			1,204				3	1	(2)	ア	
7	心豊かな人材育成事業	学力の向上、学習環境の安全性・快適性の確保や、体験学習等による心豊かな人材の育成を図るため、英語コーディネーターの配置、省エネ型空調施設の整備及び稲作体験事業を実施する。	ハ	1	24	7	25	3	2,534	2,534	2,026			508				3	5	(3)		
①	英語コーディネーター配置事業	国際性豊かな人材を育成するため、外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施する。	ハ	1	24	8	25	3	1,158	1,158	926			232				3	5	(4)	ア	
②	小中学校学習教室空調設備整備事業	児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるように空調設備を整備する。	チ	1	24	8	25	3	581	581	464			117				3	5	(3)	ウ	
③	受水走水田園体験事業	将来を担う感受性豊かな児童の育成を図るため、沖縄の稲の発祥地とされる受水走水において、体験学習プログラムの一環として稲栽培を実施する。	ハ	1	24	7	25	3	795	795	636			159				3	5	(3)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費					振興計画 該当箇所	備考							
					年	月	年	月	A	交付対象事業費				G						
										B	C				負担額					
															D	E	F			
交付金交付額		負担額			交付対象外 経費	章	節	項	目											
8	地域文化の継承と生涯学習実践事業	<p>地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に伝統芸能公演、短期音楽スクール等を実施する。</p> <p>また、本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。</p> <p>これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。</p>	リ	5		24	7	29	3	13,364	13,364	10,588		2,776				3	1	(4)
①	文化のまちづくり実行委員会支援事業	<p>地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に芸能公演、夏休み短期音楽スクール、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。</p>	リ	1	24	7	25	3	5,129	5,129	4,000						3	1	(5)	7
②	なんじょう歴史文化保存継承事業	<p>本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。</p> <p>これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。</p>	リ	5	24	7	29	3	8,235	8,235	6,588						3	1	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	国頭村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	360,000	360,000		360,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費 A	交付対象事業費 B			交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所 章:節:項:目	備考		
					事業 始期	事業 終期		交付金交付額 C	負担額						
									沖縄県 D	市町村 E				その他 F	
					年	月		年	月	年				月	
合 計							453,156	450,013	360,000	90,013	3,143				
1	国頭村誘客プロモーション推進事業	国頭村における観光振興に向けて、県内外における情報発信を強化するとともに、地域内の観光資源を活かした観光メニューの開発、村民と観光客との交流等を推進し、国頭村のリピーターの増大を図る。	イ	5	24	9	29	3	23,376	23,376	18,700	4,676			
①	やんばる地域情報発信プロモーション委託事業	国頭村の自然も人も大好きなリピーターを増やし、観光の振興と地域の活性化を図るため、観光情報発信媒体の作成や全国情報誌によるPRを実施するとともに、地域内の観光資源を生かした観光メニュー開発及び発信を行う。	イ	1	24	9	25	3	22,376	22,376	17,900	4,476			
②	産業まつり誘客推進事業	産業まつりにおいて、観光客を含めた参加型のイベントを開催し、村民と県内外の観光客との交流の場を提供することにより、国頭村の魅力や認知度の向上を図り、リピーターの増大につなげる。	イ	5	24	11	29	3	1,000	1,000	800	200			
2	森林セラピー推進事業	森林セラピーに係るガイド育成システムの構築や民間団体の受入体制の強化、葉草風呂等の体験施設整備、癒し食メニューの商品化、セラピーロードの施設整備を実施し、一年を通して森林セラピープログラムが体験出来る環境を整備する。	イ	3	24	9	27	3	125,026	124,653	99,720	24,933	373		
①	森林セラピーガイド認定システム等構築事業	森林セラピー推進協議会との連携により、他地域の森林セラピーガイド認定システムを調査し、国頭村独自のガイドの認定・登録システムを構築する。	イ	2	24	9	26	3	1,673	1,673	1,338	335			
②	受入民間団体制強化事業	森林セラピーの受入体制を充実するため、観光客を受け入れる民間団体の組織化を図るとともに、ガイド研修などの人材育成を実施し、組織体制の強化を図る。	イ	3	24	9	27	3	3,868	3,868	3,094	774			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					事業 始期	事業 終期		A	B	C	負担額				G					
											交付金交付額	負担額								
												沖縄県				市町村	その他			
年	月	年	月	D	E	F	G	章	節	項	目									
③	薬草風呂等体験施設整備事業	「薬草の宝庫」と呼ばれるやんばるの森の資源を活かし、森林セラピーの体験メニューの充実を図る基盤整備の一つとして、雄大な自然を望みながら薬草風呂や薬草スチームを満喫できる体験施設を整備し、森林セラピーの誘客増加を図る。	イ	1	24	9	25	3	95,667	95,667	76,533		19,134				5	3	(1)	イ
④	癒し食メニュー開発及びモニターツアー実施事業	森林セラピーの充実を図るため、「健康・長寿おきなわ」の根源をなす地域食材と4つのセラピーロードの特徴を活かした癒し食メニューを開発するとともに、癒し食メニューを含んだモニターツアーを実施する。	イ	3	24	9	27	3	4,385	4,012	3,209		803		373		5	3	(1)	イ
⑤	セラピーロード付帯施設整備事業	山中で展開される森林セラピーツアー客の利便性向上を図るため、多言語の案内看板や説明版の設置や水源や電源の無い山中でも設置可能なエコトイレなどの付帯施設を整備する。	イ	2	24	9	26	3	19,433	19,433	15,546		3,887				5	3	(1)	イ
3	やんばる国頭村木材活用「木育」推進事業	やんばる国頭村木材を活用した玩具、勉強机、家具、内装材等を開発して、それらを活用した「木育」活動を推進することにより、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やし、「木づかいファン」増加による国頭村木材の利用促進を図る。	ハ	5	24	9	29	3	30,330	29,259	23,406		5,853		1,071		3	3	(7)	
①	「木育」インストラクター・「木育」マイスター養成講座事業	国頭村木材を活用した「木育」の推進に不可欠な「木育」インストラクターや、木育玩具を製作する「木育」マイスターを養成し、「木育」推進体制の構築を図る。	ハ	5	24	9	29	3	1,712	1,712	1,369		343				3	3	(7)	7
②	ウッドスタート推進事業	やんばる国頭村木材を活かした、玩具、家具、内装材などを開発し、それらを活用した「木育」活動（木に対する親しみや木の文化への理解を深めるために、木材の魅力やその利用の意義を学ぶ活動）を推進し、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やすことにより「木づかいファン」を増やし、国頭村木材の利用促進による林産業の活性化を促す。	ハ	5	24	9	29	3	5,442	5,098	4,078		1,020		344		3	3	(7)	7
③	「木育」イベント等出展PR事業	県内で開催される「木育」イベント等に参加し、国頭村木材おもちゃの普及を図るとともに、全国の木のおもちゃ職人が集結する「森の恵みの子供博」へ出展し、国頭村木材による木のおもちゃのPRや他地域の職人等と交流によるスキルアップを図る。	ハ	5	24	11	29	3	1,210	1,089	871		218		121		3	3	(7)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					始期	終期	A	B	C	交付対象事業費				G					
					年	月				年	月				負担額				
					交付金交付額					沖縄県	市町村				その他				
④	「森のおもちゃ広場」等整備事業	命薬の森と呼ばれる国頭村の森の中に「森のおもちゃ広場」を設置し、誰でも気軽に利用できるおもちゃの空間を演出し、国頭村の木育の拠点として整備する。また、都市部での「木育」おもちゃ広場の要望に応えられるよう、移動おもちゃ広場のキットを作成する。	ハ	5	24	10	29	3	21,966	21,360	17,088		4,272		606	3	3	(7)	7
4	国内外水族館「観賞魚」の供給体制構築事業	亜熱帯地域の「観賞魚」を県外の水族館等に供給できる体制づくりに取り組むとともに、国内外への市場開拓に向けて、魚種等のニーズ調査を行うことにより、村内水産業の新たなビジネス展開を目指す。 また、スムーズな物流供給体制を提供することで、ニーズに沿った対応が可能となるよう、物流システムの確立に取り組む。	ハ	2	24	8	26	3	714	714	571		143			3	3	(7)	4
5	自然を活かした観光の村づくり事業	国頭村の恵まれた自然環境と景観資源を保全し、自然と共存する観光地づくりを推進するため、観光地周辺や観光アクセス道路の景観美化に向けた取組や、河川敷などの空間の有効活用等を図る多自然川づくりを推進する。	イ	5	24	9	29	3	76,137	76,137	60,909		15,228			3	3	(2)	
①	多自然川づくり事業	中心市街地を流れる辺土名川を整備し、河川敷などの空間の有効活用、治水安全度の向上等、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生を図るとともに、辺土名地区のまちづくりとリンクさせ、人を呼び込む魅力ある観光スポットにすることで、地域の活性化を図る。	イ	5	24	9	29	3	18,992	18,992	15,193		3,799			3	1	(1)	ウ
②	魅力あるヤンバル路づくり事業	「魅力ある安心・安全な観光ルートづくり」に向けて、観光地へアクセスする村道の景観美化を集中的・重点的に実践する。	イ	5	24	12	29	3	45,400	45,400	36,320		9,080			3	3	(2)	ウ
③	緑の美ら島づくり環境整備事業	森林セラピーや森林ツーリズムなど、森林の癒しの効用や自然観察等を目的に訪れる観光客への満足度を高めるため、観光地周辺や林道等にある不法投棄、散乱ゴミの回収や雑草除去等を実施し、快適な観光地として整備し、リピーター増加を目指す。	イ	5	24	12	29	3	11,745	11,745	9,396		2,349			3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					事業始期	事業終期	A	B	C	負担額			G	章	節		項目			
										年	月							年	月	D
					交付金交付額															
6	国頭村文化財観光資源活用事業	「義本王の墓」は、昭和58年3月に国頭村指定文化財（建造物）に指定されたが、建造物の老朽化が進んでいる。このため、墓遺構の詳細な平面・立面・断面図を作成し、発掘調査を行い、重要な昔の技術の記録保存を行うとともに、必要な箇所について修復作業を行う。あわせて、「義本王の墓」周辺には多くの文化財が存在していることから、これらを国頭村の歴史・文化的観光コンテンツとして利用するための案内版等を設置し、住民や観光客等に周知を行う。	イ	4	24	9	28	3	24,476	24,476	19,580		4,896			3	1	(5)	7	
①	文化財観光資源化事業	国頭村指定文化財「義本王の墓」の観光資源化のためその周辺踏査・文献調査等を行い、観光活用の土台を作る。	イ	4	24	9	28	3	2,980	2,980	2,384		596			3	1	(5)	7	
②	文化財観光振興事業	国頭村指定文化財「義本王の墓」の記録・修復等を行い、そこから得られた情報をもって周知を図るとともに観光活用の土台を強化する。	イ	4	24	9	28	3	17,537	17,537	14,029		3,508			3	1	(5)	7	
③	文化財観光活用事業	文化財観光資源化事業及び文化財観光振興事業によって得られた成果を基に、文化財説明版や案内板の設置を行い国頭村観光コンテンツとして文化財を活用する。	イ	4	24	9	28	3	3,959	3,959	3,167		792			3	1	(5)	7	
7	観光地の安全・安心促進事業	県内有数の景勝地である比地大滝において、子供からお年寄りまで安心して散策できるように、遊歩道や吊り橋等の整備を行い、観光客等の快適性や利便性の向上及び安全・安心の確保を図ることで、集客増による地域の活性化を目指す。	イ	2	24	12	26	3	92,917	92,917	74,333		18,584			3	3	(2)	ウ	
①	比地大滝吊り橋点検改修事業	比地大滝の吊り橋は、森林内及び河川沿いに設置されており、木床板や金具等の腐食が年々拡大して危険な状況であることから、利用者の安全確保を図るため全面的な点検調査を実施し危険箇所の改修を行う。	イ	1	24	12	25	3	38,675	38,675	30,940		7,735			3	3	(2)	ウ	
②	比地大滝遊歩道改修事業	比地大滝遊歩道は起伏が激しく、階段歩道も多いため利用頻度が減少傾向にある。このため、起伏の激しい箇所については既存の階段歩道も残しながら迂回路を整備し、健常者以外の利用者でも気軽に散策できるように整備する。あわせて、管理用車両と特殊車両（運搬機）を購入し緊急時での対応と施設の安全管理の強化を図る。	イ	2	24	12	26	3	54,242	54,242	43,393		10,849			3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					始期	終期	A	B	C	負担額				G					
					年	月				年	月				D	E	F		
					交付金交付額	沖縄県				市町村	その他								
章 節 項 目																			
8	やんばる「森林業」創出プロジェクト事業	林産業の活力再生のため、林業関係者の若手従事者で組織する「国頭村林業研究会」を主体に、森の育む資源や機能を様々な面から活用する包括的な森林管理事業「森林業」の創出に向けた調査・研究及び試行施業を行い、日本国内で唯一の亜熱帯の森で展開する資源循環型林業の方向性を導き出し、村の林産業発展を目指す。	ハ	5	24	8	29	3	7,647	6,948	5,558		1,390		699	3	3	(7)	
①	「森林業」研修セミナー等実施事業	多種多様な森林資源を活用する「森林業」の可能性を調査・研究するため、専門の講師を招き、研修等を実施するとともに、林道の落葉を活用した腐葉土や製材残差として残るバークを混ぜた培養土開発を実施する。	ハ	3	24	8	27	3	3,072	2,765	2,212		553		307	3	3	(7)	7
②	有用樹木・有用植物調査及び苗木等開発事業	幹だけでなく葉や香りなどを活用できる樹木や、薬草、寄せ植え、食事の妻もの等に活用される植物などを調査し、苗木の栽培技術を確立する。	ハ	5	24	9	29	3	2,661	2,395	1,916		479		266	3	3	(7)	7
③	低炭素社会モデル推進調査事業	県外の山間部や林業地域で取り組まれている低炭素社会モデルの調査研究を行い、国頭の森における低炭素社会モデルの実現可能性を検証する。	ハ	5	24	10	29	3	1,914	1,788	1,430		358		126	3	1	(3)	
9	平張網掛施設整備事業	国頭村においては、露地栽培作物の柑橘類への有害鳥獣等による被害が多く発生しており、農家の生産意欲を低下させる要因となっている。このため、農家の園地平張網掛施設を整備し、ノグチゲラ、ヒヨドリ、コウモリ等からの被害を防除する。	ハ	5	24	9	29	3	6,100	5,500	4,400		1,100		600	3	3	(7)	7
10	ヤンバルクイナの郷づくり構想策定事業	ヤンバルクイナが生息する自然と共生する安田区及び東部地域の地域活性化を図るため、「ヤンバルクイナの郷づくり構想」を策定し、ヤンバルクイナモニュメント設置や自然散策路等の整備など、観光産業と地域活性化が連動する各種事業を展開することにより、「ヤンバルクイナの郷」としての地位確立を目指す。	イ	5	24	10	29	3	10,000	10,000	8,000		2,000			5	3	(1)	4
11	安全・安心で住みよいむらづくり	エコツーリズム等で訪れる観光客の安全性を確保するとともに、村民の生命を守るため、海拔マップ及び海拔表示板の作成、村全域の防災計画や集落毎の減災計画等の策定、避難場所・避難経路など防災・減災施設の整備を実施し、自然環境と共生しながら災害リスクを軽減する国頭村に適した減災地域社会の形成を目指す。	レ	5	24	11	29	3	18,668	18,668	14,933		3,735			3	2	(4)	4

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					始期	終期	A	B	C	交付対象事業費				G					
					年	月				年	月				交付金交付額	負担額			
					年	月				年	月					沖縄県	市町村	その他	
												章	節	項	目				
①	海拔マップ及び看板設置事業	津波に対する危険性を村民及び観光客に認知してもらい、防災意識の向上を図るため、海拔高度マップの作成及び海拔表示看板の設置を行う。	レ	1	24	11	25	3	3,192	3,192	2,553		639			3	2	(4)	イ
②	国頭村減災地域社会形成事業	地震・津波、風水害等の災害に対する村役場の災害対応力と地域全体の防災力の向上を図るため、地域防災計画や災害時初動対応マニュアルを策定するとともに、自助・共助支援のための観光地域防災訓練や防災学習を実施する。	レ	5	24	12	29	3	5,399	5,399	4,319		1,080			3	2	(4)	イ
③	集落別減災地域社会形成事業	各集落の減災社会の形成のために各集落と調整を行い、安全・安心な避難路や避難施設の整備を行う。	レ	5	24	12	29	3	10,077	10,077	8,061		2,016			3	2	(4)	イ
12	観光地の施設整備促進事業	自然資源を利用する観光客やビーチ利用者等へのサービス向上を図るため、観光地内の老朽化した施設（公衆トイレ・シャワー等）を整備し、施設利用者の利便性及び快適性の向上とリピーター確保を目指す。	イ	2	24	12	26	3	1,192	1,192	953		239			3	3	(2)	ウ
13	教育施設環境整備事業	亜熱帯気候である沖縄においては、1年のうち高温多湿の状況が長期的に及ぶことから、本村の幼稚園（1園）、小学校（7校）、中学校（1校）の夏場の暑さ対策として、空調設備の設置を実施し、教育環境の改善を図る。	チ	1	24	12	25	3	28,421	28,421	22,736		5,685			3	5	(3)	ウ
14	体験交流型観光受入体制促進事業	国頭村の84%を占め沖縄県の宝と言われる“やんばるの森”を活かしたエコ・ツーリズムと自然と深く結びついた地域の文化や暮らしを体験するニューツーリズムを展開するため、民泊受入体制の強化を図るとともに、地域の資源（自然、農林漁産物、文化、暮らし等）を継承しながら、それらを活かす活動拠点施設を整備することにより、様々な世代及びニーズを持つ都市部住民と交流できる機会を創出する。	イ	5	24	12	29	3	8,152	7,752	6,201		1,551	400		3	3	(2)	ウ
①	体験型民泊受入促進事業	旅行者・学校関係者・雑誌社へ国頭村民泊事業のPRのためのモニターツアーを企画・実施し、国頭村での民泊事業への誘客を図るとともに、民泊事業者等を対象に講習会や先進地域との交流視察研修等を実施し、民泊受入体制を強化する。	イ	3	24	12	27	3	3,994	3,594	2,875		719	400		3	3	(2)	ウ
②	地域資源継承・交流拠点地域整備事業	国頭村与那地区において、グリーンツーリズムやエコツーリズム、文化ツーリズム（海神祭や豊年祭、田舎の暮らし等）等による観光客との交流・体験活動を促進するマスタープランを策定するとともに、文化交流や体験活動の拠点となる施設を整備する。	イ	5	24	12	29	3	4,158	4,158	3,326		832			3	2	(7)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	大宜味村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	260,000	260,000		260,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期 年 月	事業終期 年 月	総事業費					振興計画 該当箇所 章 節 項 目	備考		
							A	交付対象事業費			G				
								B	C	負担額					
										D				E	F
交付金交付額		市町村		その他											
合 計							326,851	325,002	260,000		65,002	1,849			
1	大宜味村観光受入体制強化促進事業	北部への観光客が大宜味村まで足を運んでもらえるよう、観光周遊ルートの形成を図るとともに、地域特有の自然等を活かしたエコツーリズム・グリーンツーリズム等の観光プログラムの開発やガイド等の人材育成を行う。また、大宜味村らしい景観づくりや観光拠点施設の整備、効果的な情報発信等を実施することにより、交流人口の増大及び地域活性化につなげる。	イ	5	24 7	29 3	311,542	309,693	247,753		61,940	1,849	5 3 (1) 7		
①	大宜味村観光周遊ルート形成整備事業	大宜味村の特徴ある観光資源（自然・文化・歴史・祭・文化財等）を連携させる観光周遊ルートや特産品の販売促進施設を整備し、受入体制の強化による観光振興を図る。	イ	5	24 7	29 3	13,027	13,027	10,421		2,606		5 3 (1) 7		
②	「長寿と癒しの森」整備事業	大宜味村の三大重点プロジェクトに位置付けている「長寿と癒しの森」の整備に向けて、具体的な実施計画を作成し、沖縄北部やんばる地域特有の自然を生かした体験型観光が実施できるよう環境整備を行う。	イ	5	24 7	29 3	6,510	6,510	5,208		1,302		5 3 (1) 7		
③	大宜味村観光情報発信整備事業	村の観光資源などの情報をより効果的に広く発信するため、イメージキャラクターの作成、誘客イベントの開催、観光サイトやVTRによる情報発信等により大宜味村らしい観光情報発信を展開し、誘客を促進する。	イ	5	24 7	29 3	7,504	5,655	4,524		1,131	1,849	5 3 (1) 7		
④	エコツーリズム人材育成事業	村における人材（ガイド、指導者へ）の認定制度を設け、北部やんばる地域の世界遺産登録に寄与できる体制整備と大宜味（やんばる）らしいエコツーリズム実践のためのガイド育成を図る。	イ	5	24 7	29 3	3,954	3,954	3,163		791		5 3 (1) 7		
⑤	石灰岩の山資源調査・活用促進事業	大宜味村の中央部山地にある全国でも稀な石灰岩の山を観光資源として活用するため、鍾乳洞、湧水、滝、自然資源（生物・植物）等の調査を行う。あわせて、小水力発電等による自然エネルギー活用の可能性も含めた新たな活用方法について調査を行い、大宜味村の特性を活かした観光事業につなげる。	イ	5	24 7	29 3	9,555	9,555	7,644		1,911		5 3 (1) 7		
⑥	結の浜公園整備事業	産業振興と村の定住環境空間の拠点として位置付けられた公有水面埋立地「結の浜」を県民や観光客等が交流する拠点公園として整備することにより、観光振興の受入体制を強化する。	イ	5	24 7	29 3	262,510	262,510	210,008		52,502		5 3 (1) 7		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所	備考					
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G	振興計画該当箇所							
										B	C	負担額					章	節	項	目	
												D		E							F
交付金交付額		沖縄県	市町村	その他																	
⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業	大宜味村の地域性にあった景観づくりに向けて、景観法に基づく景観計画の方針を明らかにし、大宜味村の地域にあった魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。	イ	5	24	7	29	3	6,363	6,363	5,090		1,273				5	3	(1)	7	
⑧	芭蕉布会館機能高度化整備事業	国の重要無形文化財である芭蕉布の継承発展及び観光客への文化発信拠点として重要な施設である芭蕉布会館において、体験ブースの設置やバリアフリー化等の機能強化を実施し、体験受入事業による施設利用者の増加を図る。	イ	1	24	7	25	3	2,119	2,119	1,695		424				5	3	(1)	7	
2	仮戸籍申告書の電算化事業	沖縄県の戸籍の証明書等は、太平洋戦争下で多くが消失しており、昭和28年に琉球政府が設立した「戸籍整備法」に基づいた戸籍の再製作業において、住民の記憶を基に作製された書類となっており、作製から58年が経ち劣化が激しく、今後の保存活用に耐えられない。このため、仮戸籍申告書の電子データ化及び管理システムの構築を図る。	ソ	1	24	7	25	3	15,309	15,309	12,247		3,062				3	2	(5)	1	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	東 村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	230,000	230,000		230,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考			
					事業初期	事業終期		A	B	C	負担額					G		
											D	E					F	
					年	月		年	月	月						月		月
合 計							288,845	287,501	230,000		57,501	1,344						
1	東村観光客受入体制強化事業	本村の豊かな自然を生かした観光産業を振興するため、公園施設や道路景観の美化・保全に取り組むほか、観光関連施設の駐車場整備等の受入基盤強化や観光関連人材の育成、各種イベントの機能強化等、総合的な取組みにより、魅力的な観光地づくりを促進する。	イ	1	24	8	25	3	19,434	19,434	15,547		3,887		3	3	(2)	
①	東村ヒルギ公園等美化保全計画策定事業	観光地に相応しい公園施設の景観美化や長寿命化を図ることによる施設の保全の為、公園美化保全計画を策定する。	イ	1	24	9	25	2	12,075	12,075	9,660		2,415		3	3	(2)	ウ
②	東村特産品加工直売施設整備事業	観光客の増大に対応できるよう、東村特産品加工直売施設(サンライズひがし)の駐車場を拡張整備する。	イ	1	24	12	25	3	3,509	3,509	2,807		702		3	3	(2)	ウ
③	東村産業祭り強化事業	村外からの誘客を促進するため、東村産業祭りの充実を図り、パインアップルをはじめとする本村の特産品及び産業など村の魅力のPRを行う。	イ	1	24	8	25	3	1,000	1,000	800		200		3	3	(2)	イ
④	東村観光産業人材育成事業	村内の観光関連団体との連携のもと、新たな顧客を掴むための東村観光(主に農家民泊)の営業や、新たな体験メニューの創出等に必要ノウハウを実践的に身につけることにより、観光産業の振興に資するコーディネーターを育成する。	イ	1	24	9	25	3	2,850	2,850	2,280		570		3	3	(2)	エ
2	東村防災体制強化事業	避難所施設や主要観光施設へ発電機を整備し、台風等に伴う停電時における施設の利用改善を図る。また、小中学校や住宅地に近い高台に津波等の災害時に対応できる避難所及び避難経路を整備する。	レ	1	24	11	25	3	41,680	41,680	33,344		8,336		3	2	(4)	イ
①	東村災害に強い観光地づくり事業	避難所として利用している各地域の集会所(6地域)や村保健福祉センター、観光客が訪れる主要観光施設等に発電機を整備し、台風等の災害時における避難施設の利用改善を図る。	レ	1	24	11	25	3	1,680	1,680	1,344		336		3	2	(4)	イ
②	東村避難所公園整備事業	村立有銘小中学校は避難所として指定されているが、海抜3.7mに位置し、大きな津波発生時の避難所としては不十分であるため、背面高台周辺を大きな災害時でも対応できる避難所として整備する。	レ	1	24	12	25	3	40,000	40,000	32,000		8,000		3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期 年 月	事業終期 年 月	総事業費						振興計画 該当箇所 章: 節: 項: 目	備考			
							A	交付対象事業費			交付対象外 経費						
								B	C 交付金交付額	負担額					G		
										D 沖縄県	E 市町村	F その他					
3	東村農業生産基盤整備事業	村の主用作物であるパインアップルの鳥獣害対策や、マンゴー栽培施設の台風対策を強化する事により、農作物の生産振興を図る。	ハ	1	24 11	25 3	19,672	18,328	14,662		3,666		1,344	3	3	(7)	
①	東村鳥獣被害防止対策事業	収穫前のパインアップルは、カラスなどの鳥獣類による被害を受けやすいことから、平張りハウスに鳥獣被害対策ネットを整備し、被害の減少を図る。	ハ	1	24 11	25 3	6,238	6,238	4,990		1,248			3	3	(7)	ア
②	東村台風強い農業施設整備事業	本村の主要作物の一つであるマンゴーは、台風による被害を受けやすいことから、防風ネット等を整備し、被害の軽減を図る。	ハ	1	24 11	25 3	13,434	12,090	9,672		2,418		1,344	3	3	(7)	カ
4	東村クリーンエネルギー推進事業	本村の豊かな自然資源を利用したクリーンエネルギーの普及による環境に優しいエコな村づくりを推進するため、村内の公共施設に太陽光パネルを設置し太陽光発電を整備するとともに、浄水場の流水を利用し水力発電を整備する。	レ	2	24 12	26 3	208,059	208,059	166,447		41,612			3	1	(3)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	今帰仁村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	330,000	330,000		330,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考					
					年	月	年	月		A	B	C	負担額				G				
													交付金交付額					D	E	F	
													沖縄県	市町村							その他
合計											427,917	426,776	330,000	96,776	1,141						
1	① 今帰仁村健康長寿体験滞在型観光の促進事業	沖縄県第2の長寿村である今帰仁村は、「ヘルスツーリズム」を推進し、民泊事業等による観光の振興を図ることとしている。 本事業では、住民へのアンケートや会議を通し長寿の秘訣を探り、健康長寿基本システムを構築することで、体験滞在型観光を促進する。	イ	3	24	9	27	3	7,233	7,183	5,746				1,437		50	3	2	(1)	7
2	今帰仁村こども教育充実事業	教育立村を標榜する本村は、学力向上対策に力を注ぎ、行政・学校・家庭・地域が一丸となり取り組んでいる。 電子教科書等の整備、演奏活動支援、生徒の交流活動などを実施することにより教育環境づくりを推進する。	チ	10	24	8	34	3	43,236	42,864	34,290				8,574		372	3	5	(3)	7
	① 指導用情報機器購入事業	教職員指導用ノートパソコン、タッチパネル等を導入し電子教科書を活用した学習が可能となり児童・生徒の学習意欲の向上を図る。	チ	1	24	10	25	1	22,740	22,740	18,192				4,548			3	5	(3)	7
	② 学習指導要領に準拠した改訂版の副読本の作成事業	学習指導要領に準拠した副読本を作成することにより、小学校3・4年生の社会科の学習で郷土についての幅広い知識を身につけることができる。	チ	1	24	8	25	3	2,608	2,608	2,086				522			3	5	(1)	7
	③ 吹奏楽楽器購入事業	吹奏楽に必要な楽器を整備することにより、村内の祭りやスポーツイベント、式典などの多様な場面において、演奏活動を行うことが可能となり、今帰仁村の教育・文化・観光産業に寄与する。	チ	1	24	11	25	3	7,523	7,523	6,018				1,505			3	5	(1)	7
	④ 人材育成事業	小学生を対象に、山形県酒田市と将来の指導者育成の為、交流事業を行う。南国沖縄県にとって、本州の北に位置する東北地方はまさに「異文化」であり、異なる環境で生活している同年代との交流は子供達の視野の広がりや将来に向けて刺激を与えることができる。	チ	10	24	9	34	1	7,465	7,093	5,674				1,419		372	3	5	(3)	イ
	⑤ 東ティモールと本村児童の交流推進事業	東ティモールの児童を招聘し、本村4小学校との交流で国際感覚を育成し、今後村としても人道的支援や姉妹校締結を目指し、交流を通して本村児童の人間性の育成や国際貢献できる人材の育成を図る。	チ	10	24	11	34	3	1,400	1,400	1,120				280			3	5	(4)	7
	⑥ 芸術家招聘事業	本村の小学校校歌の作詞者親族であるソプラノ歌手(講師)を村内の各学校に招聘し、コンサートと東ティモール支援に係る講演会を実施する事によって、本村児童と東ティモールの児童との交流を図る。	チ	4	24	12	28	3	725	725	580				145			3	5	(1)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業				総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					事業開始年	事業開始月	事業終了年	事業終了月	A	交付対象事業費			交付対象外経費			G			
										B	C	負担額							
					D	E	F												
⑦	未来を担う人材育成事業	国公立大学進学に特化した大学進学講座を実施し、進学実績の向上と地域に根差した特色ある学校づくりの観点から地域教育資源を活用し学力向上と地域の活性化を目指す。	チ	10	24	11	34	3	775	775	620		155		3	5	(3)	ウ	
3	今帰仁村観光客受入強化事業	「体験滞在観光を促進する」「着地型・周遊観光を実践する」を基本方針として、観光振興を強化する。そのために、道路・駐車場の舗装や歩道の美化、拠点施設の機能強化を図り、また組踊などイベントを開催するほか、景観計画、ガイドブックなどを整備する。	イ	10	24	8	34	3	341,165	340,446	260,938		79,508		719	3	3	(2)	ウ
①	景観形成強化事業	村が管理する道路の舗装、粉塵防止、防護柵等を整備し、歩行者が安全で歩きやすい歩行空間を確保することで、集落の深部への観光客受入れ体制を整える。	イ	5	24	8	29	3	77,061	77,061	61,648		15,413		3	3	(2)	ウ	
②	環境保全美化推進事業	本村の観光拠点となっている今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化を実施し、観光客受入体制を整える。	イ	10	24	8	34	3	28,333	28,333	22,666		5,667		3	3	(2)	ウ	
③	風景づくり推進事業	今帰仁村らしい景観を保全・継承し、さらに発展させていく景観計画の策定、その実施に向けた推進体制を行政・住民・事業者で構築して、地域振興にも寄与する景観計画を策定する。	イ	1	24	8	25	3	3,850	3,850	3,080		770		3	1	(6)	ア	
④	観光力基盤強化事業	今帰仁村の観光地としての認知度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」などのイベントを実施する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。	イ	10	24	10	34	3	31,514	31,514	25,211		6,303		3	3	(2)	ア	
⑤	観光地安全強化事業	主要観光地である世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全の確保を図るため、イベント時に、車両の誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置する。	イ	10	24	12	34	1	5,543	5,543	4,434		1,109		3	3	(2)	ウ	
⑥	今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業	「スポーツ交流むら」は天然芝グラウンド、温水プール、クラブハウスなどが集積され、各種大会、合宿、キャンプ地として高い評価を受けている。しかしながら、夜間照明の改善による夜間トレーニングへの対応や、故障者のコンディショニングへの対応、駐車場等の整備などの課題を抱えており、課題解決のための機能強化を推進する。	イ	5	24	12	29	3	15,500	15,500	12,400		3,100		3	2	(1)	イ	
⑦	バンガロー機能強化整備事業	今帰仁村森林公園のバンガロー・キャンプ場宿泊施設の機能強化を図り、観光客・村民の観光拠点施設としての基盤強化を図る。	イ	2	24	8	26	3	5,013	4,294	3,435		859		719	3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業開始		事業終了		総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
										B	C					E			
											D	F					その他		
⑧	観光拠点整備強化事業	今年度建設予定のワルミ大橋活性化施設（仮称）の建築に伴う駐車場整備の用地取得と備品を購入し、太陽光システムを導入するとともに、観光案内板を設置し、北部観光資源を結ぶ周遊ルートの拠点化を図る。	イ	1	24	9	25	3	55,553	55,553	44,442		11,111			3	3	(2)	ウ
⑨	今帰仁城跡周辺環境整備事業	世界遺産今帰仁城跡をはじめ、国指定文化財及び県指定文化財を保有する重要な地域に位置する今泊港川の整備をすることにより、河川敷などの空間を有効活用、治水安全度の向上を図り、また、城跡さくら祭りのさくらを植栽し、緑化や美化を地域ぐるみで推進し、観光客受入体制を強化する。	イ	4	24	10	28	3	14,200	14,200	11,360		2,840			3	3	(2)	ウ
⑩	今帰仁の駅「そーれ」機能強化整備事業	今帰仁の駅「そーれ」は、村の特産物販売施設である。本部町の美ら海水族館や世界遺産の今帰仁城跡、古宇利島への本部半島周遊観光ルート上で今帰仁村の中心地に位置している。観光客増加に対応するためにトイレを新設整備し観光拠点施設として基盤強化を図る。	イ	1	24	12	25	3	20,000	20,000	16,000		4,000			3	3	(2)	ウ
⑪	古宇利ふれあい広場機能強化整備事業	平成17年2月古宇利大橋開通、平成22年12月ワルミ大橋開通により古宇利島への来島者が大幅に増加した。近年の観光客増加に対応するためにトイレを新設整備し観光拠点施設として基盤強化を図る。	イ	1	24	12	25	3	20,000	20,000	16,000		4,000			3	3	(2)	ウ
⑫	体験滞在観光促進事業	村営グラウンド及び、兼次小学校敷地内に照明施設、屋外トイレを新設整備し、体験提供施設として利用することで、郷土芸能であるエイサー等沖縄文化の発展・継承を促進しながら、民泊事業を促進する。	イ	1	24	10	25	3	27,273	27,273	21,818		5,455			3	3	(2)	ウ
⑬	観光ガイドブック作成事業	観光客等に村施設の情報提供を行うため、観光ガイドブックを作成し本村の魅力を発信する。	イ	1	24	11	25	3	2,000	2,000	1,600		400			3	3	(2)	イ
⑭	今帰仁城跡駐車場安全強化事業	世界遺産今帰仁城跡の駐車場をアスファルト舗装し、区画線及び安全対策をする事で利用者の安全性と快適性の向上を図る。	イ	1	24	12	25	3	25,725	25,725	9,164		16,561			3	3	(2)	ウ
⑮	民泊・体験型観光受け入れ基盤整備調査事業	民泊・体験型観光の運用体制構築・基盤整備のための基本調査を実施する。	イ	1	24	12	25	3	5,600	5,600	4,480		1,120			3	3	(2)	ウ
⑯	今帰仁城跡多言語リーフレット作成事業	世界遺産今帰仁城跡は年間を通じて国内外から多くの観光客が訪れている。そのため日本語のみならず多言語リーフレットを作成し城跡の魅力を発信する。	イ	1	25	1	25	3	4,000	4,000	3,200		800			3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所 章 節 項 目	備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G						
										B	交付金交付額			C			負担額		
											D	E					F		
4	今帰仁村定住条件充実事業	戦争で焼失した戸籍を再編した、いわゆる福岡戸籍を電算化し、公共サービスの改善を図る。また、防災計画を策定することにより、安全・安心な地域づくりを推進することにより、村の定住条件の充実を図る。	ソ	1	24	11	25	3	35,283	35,283			28,226		7,057				3
①	沖縄関係戸籍の電算化事業	沖縄関係戸籍は、現在でも戸籍訂正の基礎資料として重要な役割を果たしているが、紙媒体による保存であるため劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため沖縄関係戸籍を電算化する。	ソ	1	24	11	25	3	31,283	31,283	25,026		6,257			3	2	(5)	イ
②	地域防災計画策定事業	地域住民の安心・安全の確保のため地域防災計画の見直しを行う。	レ	1	24	12	25	3	4,000	4,000	3,200		800			3	2	(4)	イ
5	① 今帰仁村南米移住者子弟研修生受入事業	南米諸国の村出身の海外移住者子孫（2世・3世）を研修生として受け入れ、村の歴史・文化（伝統芸能・三味線・エイサー・ウチナー口）等の体験を通し国際交流の促進を図り、南米諸国との架け橋となる人材を育成する。	カ	10	24	10	34	3	1,000	1,000	800		200			3	4	(1)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	本部町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	410,000	410,000		410,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始	事業終了	総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					年	月			A	B	交付対象事業費		C			負担額			G		
											交付金交付額					沖縄県		D		E	F
											市町村	その他				市町村	その他				
合計												章	節	項	目						
1	本部町観光拠点形成事業	平成14年の美ら海水族館の開館を機に、多くの観光客が訪れる本部町。いま年間約350万人の来場者が海洋博記念公園に足を運んでいる。「太陽と海と緑・観光文化のまち」を掲げている本町として、観光資源を今一度見直し、また新たな観光の拠点となる資源を開発することで、着地型観光としての商品化を図り、多くのお客様に対して満足していただける観光のまちづくりを目指す。	イ	5	24	7	29	3	184,317	184,317	147,451	36,866	3	3	(2)	イ					
①	花いっぱい運動の推進事業	一年を通して花いっぱいのまちづくりを推進するために、町内の各種団体と連携して国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。また、「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会（仮称）」を設立し、花いっぱいのまちづくりを推進する。	イ	5	24	7	29	3	18,000	18,000	14,400	3,600	3	3	(2)	イ					
②	八重岳及び町有公園の美化推進事業	町有公園等の観光施設には多くの木々や花が植えられているが、亜熱帯気候地域に位置する沖縄（本部町）は、適切な管理を行わなければ雑草の繁茂が早く、花が見えなくなる現状である。魅力ある観光地づくりを推進し、観光施設の整備を図るためにも、景観美化等を実施する。	イ	5	24	10	29	3	12,474	12,474	9,977	2,497	3	3	(2)	イ					
③	観光アクセスロード整備事業	本町を訪れる観光客は散策を楽しむ傾向があるが、町内にある観光文化施設へのアクセスロードは老朽化が進み歩行者にとって危険な道路となっている箇所が多くあるため、観光客の安全や観光イメージを損なわないためにも、アクセスロードの整備を実施する。	イ	2	24	11	26	3	38,000	38,000	30,400	7,600	3	3	(2)	イ					
④	周遊観光実証調査事業	観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットを、観光コース化するとともに、観光ガイドや体験ツアー補助を行う人材を育成する。	イ	5	24	10	29	3	10,000	10,000	8,000	2,000	3	3	(2)	イ					
⑤	もとぶ港まち活性化事業	平成24年5月に整備された渡久地港プロムナードは、近くに町営市場や飲食店などが多数ある町中心地域であり、本スペースの有効的な活用と新たな観光スポットを形成するため、商工会や観光協会と連携し『もとぶ夜市』を開催し、観光客の誘客を図る。	イ	2	24	8	26	3	18,500	18,500	14,800	3,700	3	3	(2)	イ					

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					事業	事業	交付対象事業費			交付対象外経費										
					初期	終期	A	B	C		負担額									
					年月	年月					D			E	F	G				
⑥	外国人対応観光人材育成事業	近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。	イ	5	24	10	29	3	1,000	1,000	800		200		3	3	(2)	エ		
⑦	観光施設設備整備事業	高齢化社会を迎える中で、観光に訪れるお客様も、お年寄りの団体観光が増えてきており、高齢者に配慮した環境整備が急務である。町内における観光施設の公衆トイレの殆どが高齢者にとっては、利用しにくい和式となっている。町内にある観光施設の公衆トイレ等を和式から洋式へ整備し、高齢者にやさしいトイレ環境を整備する。	イ	2	24	9	26	3	18,200	18,200	14,560		3,640		3	3	(2)	ウ		
⑧	市場駐車場整備事業	町営市場の慢性的な駐車場不足の解消のため、市場駐車場を整備し、観光客等の利便性を向上させる。また、空き店舗への起業者斡旋を実施し、集客力の増大を図り、観光の振興につなげる。	イ	1	24	9	25	3	28,054	28,054	22,443		5,611		3	3	(2)	ウ		
⑨	本部分島ジオパーク推進事業	平成25年度に日本ジオパークに認定されることを目標に、本部分島のジオサイト（地球科学を中心とした自然・文化的みどころ）調査、住民理解の促進、ジオツアーの企画・実施、ホームページの作成、解説板の整備等を行う。	イ	5	24	7	29	3	8,400	8,400	6,720		1,680		3	3	(2)	7		
⑩	自然体験研修施設整備事業	旧健甕分校施設を有効活用するために、町内の海・山を利用した自然体験施設を整備し、本町の児童生徒をはじめ、修学旅行等で本町を訪れる児童生徒にも施設を活用して自然体験を提供し、児童生徒の情操の教育と、観光振興にも繋げる。	イ	3	24	11	27	3	4,500	4,500	3,600		900		3	3	(2)	ウ		
⑪	スポーツツーリズム環境整備事業	本部分町運動公園は、プロサッカーチームや実業団陸上部等の合宿施設及び競技会場として利用されているが、設備環境が不十分なこともあり、今後も安定した合宿や公認競技等の誘致のために、公認競技場の認定取得及びプロスポーツ等の練習施設としての環境整備を行い、スポーツツーリズムを通して観光振興に繋げる。	イ	1	24	7	25	3	27,189	27,189	21,751		5,438		3	3	(2)	7		
2	本部分町亜熱帯農業生産体制強化事業	農業生産の拡大を図るため、農業用機械を整備し、生産基盤の強化を図る。また、台風などの自然災害に強い農業生産施設の整備や鳥獣被害対策を図り営農活動の安定化を図る。 中山間部においては、バイオマス資源を豊富に有しており、総合的活用システムを確立する。 その他、農作物の集出荷体制を整備し、村内ホテルや飲食店等へ定期・定量出荷をすることにより「自産自消推進モデル」を構築する。	ハ	5	24	9	29	3	219,942	199,640	159,712		39,928		20,302		3	3	(7)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業	事業	交付対象事業費			交付対象外経費								
					始期	終期	A	B	C		負担額							
					年 月	年 月					D			E	F	G		
①	本部町キク拠点産地強化事業	本町の拠点産地である輪菊については、産地拡大の課題となっている収穫労働の省力化を図るため、花卉選別機の整備により産地基盤の強化を図る。	ハ	1	24	10	25	3	49,000	44,100	35,280		8,820	4,900	3	3	(7)	7
②	園芸農業防災施設整備事業	沖縄県は台風が多々発生し、農業に大きな被害を与えるため、台風などの自然災害に強い農業生産施設（ビニールハウス）の整備を図り、台風時の農業生産物被害の軽減や生産農家が年間を通して計画的な生産・販売を行える環境を整備する。	ハ	1	24	10	25	3	33,600	30,240	24,192		6,048	3,360	3	3	(7)	7
③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	近年、果樹類については、カラス・ヒヨドリ等による鳥獣被害が増大しており、生産農家の生産意欲が低下している。このため、鳥獣被害対策が非常に重要な課題となっており、その対策を実施する。	ハ	5	24	9	29	3	5,600	5,600	4,480		1,120		3	3	(7)	7
④	亜熱帯バイオマス有効活用事業	本町は、中山間部が多く、周年温暖であるため、草木・木材等の植物系および水産加工を主体とした動物系等バイオマス資源を豊富に有している。バイオマス資源のストックヤードの整備を図ることにより、現在焼却処分等に対応している植物系・動物系等各種バイオマス資源の総合的利活用システムを確立する。	ハ	1	24	10	25	3	119,692	108,000	86,400		21,600	11,692	3	1	(2)	7
⑤	水納島産業創出支援事業	本町の唯一の離島である水納島は、夏期は観光、冬期は農業が中心となっている。冬期に生産される野菜は高品質で消費者ニーズも非常に高い、水納島の農業振興により島民の農業所得を図るため、農業用機械の整備を推進する。	ハ	1	24	10	25	3	3,350	3,000	2,400		600	350	3	3	(7)	7
⑥	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	本町には観光客向けのホテルや飲食店等が多数立地しているが、町内にまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため町内産の食材はほとんど活用されておらず、観光振興及び農業振興上の大きな課題となっている。ゴーヤー・キャベツを始めとする、在来ネギ、島ラッキョウ、ハンドマ、在来紅いも等、本町特有の島ヤサイ等の集出荷体制を整備し、それらを地元で消費する「自産自消推進モデル」を構築する。年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせ、農業振興及び観光振興の相乗効果を図り、地域経済の活性化につなげる。	ハ	5	24	9	29	3	8,700	8,700	6,960		1,740		3	3	(7)	イ
3	① 本部町漁業生産体制強化事業	高齢化や後継者不足による漁業従事者の減少や自然環境の悪化などによる水産資源の減少等により、安定した漁家経営を行うことが難しくなっている現状を踏まえ、渡久地港北側岸壁の船揚場に漁船巻揚げ機を設置し、漁業作業の効率化を図る。	ハ	5	24	9	29	3	22,200	20,000	16,000		4,000	2,200	3	3	(7)	エ
4	① 本部町地域産業安定化事業	現在、未開拓のまま放置されている上本部飛行場跡地に、平成23年度に策定した「上本部飛行場跡地利用基本構想・基本計画」に基づき、6次産業化の実践、観光体験型農業の実践、農産物・農産加工品のブランド化など産業創出に係る企業を立地させるため用地取得を実施する。	ホ	1	24	8	25	3	79,157	79,157	63,286		15,871		3	3	(7)	キ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考					
					事業 初期	事業 末期		A	B	C	負担額					G				
											交付金交付額	負担額								
												沖縄県					市町村	その他		
年	月	年	月				D	E	F											
5	① 本部分文化拡充事業	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本部分を「地域一体型音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンル及び地域とのコラボレーションによる音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。 地域一体型音楽の中で、児童生徒を巻き込んで、芸能文化の継承を図る。音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。 また、これらの音楽イベントを観光客向けのコンサートとして定例化を図り、観光資源としても活用していく。	リ	1	24	10	25	3	2,500	2,000	1,600		400		500	3	1	(5)	7	
6	① 本部分自然環境保全事業	貴重な観光資源となる美しい海を保全するため、赤土流出が見られる流域の現地調査、地形調査、水文調査等を実施し、木材チップによるマルチングや、グリーンベルトおよびガラスリサイクル製品で製作したフィルターを設置し観測可能な、河川に繋がるほ場水路等の選定及び設置を行い実証事業を実施する。	レ	5	24	10	29	3	5,300	5,300	4,200						3	1	(1)	1
7	① 本部分防災体制強化事業	本部分は、美ら海水族館等の主要観光地を抱え、毎年多くの観光客が訪れる。情報が不足しがちな観光客の安全を確保するために、アクセス道路である国道、主要観光施設、宿泊施設等に海拔表示板等を整備し、防災体制の強化を図る。	レ	1	24	10	25	3	5,100	5,100	4,000						3	2	(4)	1
8	① 本部分仮戸籍等電子化事業	戦争で焼失した戸籍を再編する際の経緯に基因し、従前戸籍と実家戸籍との間で誤りが多く土地、相続手続き等で支障を及ぼす場合が多々あり、国、県、市町村等の事業を進める際に支障をきたしている。これらを電子化しサービスの改善を図る。	ソ	1	24	10	25	3	17,289	17,289	13,751						3	2	(5)	1

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	恩納村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	300,000	300,000		300,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画 該当箇所			備考				
					事業 初期	事業 終期		A	B	C						負担額			
					年	月						年	月	D		E	F		
																		G	
合 計							376,805	375,005	300,000	75,005	1,800								
1	恩納村観光促進・安心滞在型観光推進事業	本村の観光振興・観光客誘客促進を図るために、国指定文化財である「仲泊遺跡」や農水産物販売センターが隣接する仲泊内海周辺の遊歩道等を整備し、観光情報発信・郷土資料提供の場として「恩納村文化情報センター」を村観光拠点地域として整備する。また、スポーツコンベンション事業を促進するために村立赤間運動公園施設等を整備するほか、村内の景勝地等の沿道や海岸の景観保全と育成に努め観光客受入体制を整備する。その他、国内誘客プロモーション事業として本村伝統芸能や特産品などを県内外で紹介し観光誘客の促進を図る。	イ	5	24	7	29	3	376,805	375,005	300,000		75,005		1,800	3	3	(2)	ウ
①	仲泊内海周辺活性化施設整備事業	恩納村及び西海岸リゾート地域の入り口であり、仲泊貝塚、国頭方西海道などの国指定文化財や村立博物館、農水産物販売センターに隣接する仲泊内海周辺に、賑わい及び交流拠点としてプロムナードを整備し、魅力あふれる観光地として更なる誘客活動を実施する。	イ	5	24	7	29	3	152,067	152,067	121,653		30,414			3	3	(2)	ウ
②	文化・観光情報発信拠点整備事業	恩納村の歴史・文化並びに地域における各種イベント等の観光関連情報を観光客へ発信する拠点及び地域住民が郷土の歴史・文化等を学習する場とし、新しい観光資源を活用した文化交流型産業を担う人材の育成を図る拠点として、「恩納村文化情報センター」の整備を行う。	イ	4	24	8	28	3	42,525	42,525	34,020		8,505			3	3	(2)	ウ
③	赤間運動公園内貯水施設整備事業	村民の健康増進及び海外のプロ野球チームやナショナルサッカーチーム、また国内の大学野球チームのキャンプ地として活用されている赤間運動公園内の貯水施設等の整備を実施する。	イ	1	24	8	25	3	23,544	23,544	18,835		4,709			3	3	(2)	ウ
④	恩納村コミュニティーセンター広場照明施設取替工事	本広場は、観光事業として「うんなまつり」や「美しまオキナワセンチュリーラン」の主会場として使用しているが、その使用する照明施設が塩害、腐食、サビ等が発生しているため、落下、漏電等の危険性がある。その危険性を除去するため、照明施設の取替工事を実施する。	イ	1	24	8	25	3	31,861	31,861	25,488		6,373			3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考			
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額					G		
											交付金交付額	負担額						
												D					E	F
年	月	年	月				沖縄県	市町村	その他									
⑤	恩納地区観光環境整備事業（恩納多目的広場遊具等整備事業）	本村の恩納地区は、農山漁村の有する地域資源を活かした体験型観光が盛んであり、特に恩納漁港に隣接する恩納村海浜公園は誰でも気軽に海水浴ができるビーチとして観光客など毎年多く利用者が訪れ、都市と農山漁村の交流の場として大きな役割を果たしている。今回、恩納地区に児童遊具及び大人を対象とした健康器具を設置することにより、本村海浜公園を訪れる観光客等のアクティビティが充実し、更なる観光客の誘客活動を実施する。	イ	1	24	7	25	3	45,630	45,630	36,504		9,126		3	3	(2)	イ
⑥	瀬良垣地区観光環境整備事業（瀬良垣漁港便益施設整備事業）	本村の瀬良垣地区は、目の美しい海を活かしたマリレジャー関係事業が盛んであり、ダイビング等目的の観光客が多く訪れている。その拠点となる瀬良垣漁港は船揚場等基本的な施設は整備されているが、トイレ等が整備されていないため不便をきたしている。そこで、漁港内にトイレ等便益施設を整備する事により、観光客等の受入体制の充実を図り満足度を高め、更なる観光客の誘客活動を実施する。	イ	1	24	10	25	3	31,565	31,565	25,252		6,313		3	3	(2)	イ
⑦	恩納村「みどりの回廊」整備事業	魅力ある観光地づくりを行うため、国道58号線周辺の緑あふれる癒しの沿道景観づくりのほか、海浜における漂着ゴミ等の処理などを行い、観光客の誘客促進を図り地域活性化を実施する。	イ	5	24	9	29	3	11,004	11,004	8,803		2,201		3	3	(2)	イ
⑧	万座毛周辺活性化施設整備事業	年間110万人が訪れる景勝地「万座毛」は、トイレやおみやげ品店等の老朽化が激しく、また狭い駐車場は観光客と車両が混在する等の危険な状況である。そこで、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境整備を行うことにより安全で魅力ある観光地の形成を図るための基本計画を策定する。	イ	5	24	8	29	3	4,819	4,819	3,855		964		3	3	(2)	イ
⑨	県外観光客誘客促進事業（おんな村観光物産展事業）	東京池袋（サンシャインシティ）において、本村の観光、文化、特産品を紹介する観光物産展を開催する。エイサーの実演、特産品の販売等を行い、物産品の販路開拓、観光PRを実施する。	イ	3	24	6	26	7	4,333	4,333	3,466		867		3	3	(2)	イ
⑩	県内外観光客誘客促進事業（「春や春おんなWEEKでたのしまナイト！！」事業）	沖縄県内の若手芸能トップレベルの実力を持つ「沖縄琉球芸能専攻08会」のメンバーを中心に琉球芸能、組踊り、芝居、空手などの舞台公演を実施するとともに会場周辺での地元特産品販売等を実施する。	イ	5	25	2	29	2	8,800	7,000	5,600		1,400	1,800	3	3	(2)	イ
⑪	観光地防災対策強化事業	恩納村では平成23年度において、地域防災計画の見直し作業を行っており、その中で高齢者、障害者、外国人、観光客等様々な方に対応するマニュアルの作成や、避難経路の点検及びマップの作成などを村が実施すべき事項として掲げている。それらのことを推進していくため、災害時初動行動マニュアル及び災害時要援護者避難支援プランの作成、防災マップの見直し作業を実施する。それと併せて、海抜調査及び海抜表示板設置業務もを行い、住民のみならず全ての滞在者が避難の際の目安を確認できるよう環境整備を実施する。	イ	1	24	9	25	3	17,136	17,136	13,708		3,428		3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費							振興計画 該当箇所	備考			
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費	章	節	項			目		
					年	月	交付金交付額	負担額										
					年	月		沖縄県	市町村								その他	
A	B	C	D	E	F	G												
⑫	観光地危険生物駆除事業（ハブ駆除事業）	ハブ及び外来種のタイワンハブとタイワンスジオが観光地及び住宅地など村内で頻繁に捕獲及び発見されるようになり、快適な環境を脅かしている。両種とも繁殖力が強く、従来の小動物などを駆逐されることが懸念されるほか、今後、咬症患者の増加が予想される。また、観光施設周辺や国頭方西街道（歴史の道）などにおけるハブ出没が多く、観光地での周遊や歴史の道散策者などへの咬症事故増加が予想されるため、積極的な駆除を実施する。	イ	1	24	7	25	3	3,521	3,521	2,816		705		3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	宜野座村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	220,000	220,000		220,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考					
					年	月	年	月		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目				
													交付金交付額									沖縄県	市町村	その他	
													D	E											F
合 計									277,997	275,007	220,000		55,007		2,990										
1	観光振興プロジェクト事業	安心安全な観光客受入体制を確保するために、花の村づくり運動を村内全域で推進し、美化活動や海拔表示板の設置を行うほか、阪神タイガース春季キャンプの受入体制強化、かんなタラソ等観光資源の機能強化を図り、観光シーズンだけではなく、年間を通して誘客できる観光資源を構築する。	イ	10	24	7	34	3	188,218	187,820	150,253			37,567		398	3	3	(2)	ウ					
①	景観維持緑化振興事業	村内幹線道や観光、文化施設周辺の美化活動のために必要な車輛を導入し、花の村づくり運動を村内全域に推進することにより、観光客受入体制を強化する。	イ	10	24	7	34	3	4,171	4,171	3,336			835			3	3	(2)	ウ					
②	阪神タイガース春季キャンプ受入事業	阪神春季キャンプの受入体制の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源（タイガースタウン）として開拓していく。	イ	10	24	7	34	3	8,652	8,652	6,921			1,731			3	3	(2)	ウ					
③	海拔表示板設置事業	海岸付近にペンションや海洋療養施設、物産センター、ホテルなどが立地している為、海拔表示板を設置し、利用者へ注意喚起することにより「安心・安全な村」「何度も訪れたい魅力ある村」をアピールする。	イ	1	24	7	25	3	3,000	3,000	2,400			600			3	2	(4)	イ					
④	リバーパーク整備事業（パークゴルフ場）	パークゴルフ場を整備し、民泊事業と連携を図ることで、年間を通じた民泊需要を確保する。	イ	1	24	7	25	3	104,952	104,554	83,643			20,911		398	3	2	(7)	イ					
⑤	かんなタラソ沖縄活性化事業	村内にある「かんなタラソ沖縄」に身体測定システム導入など機能強化することにより、長期滞在型の観光モデル形成やスポーツ合宿、阪神タイガースキャンプと連携した誘客を図る。	イ	1	24	9	25	3	27,523	27,523	22,018			5,505			3	2	(1)	イ					
⑥	ビーチクリーンアップ事業	ビーチクリーナーを整備し、台風後の海岸美化活動を推進することにより、観光シーズンの観光客受入環境を強化する。	イ	1	24	9	25	3	14,213	14,213	11,370			2,843			3	1	(2)	イ					
⑦	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業	宜野座村文化センター「がらまんホール」を中心として、様々な芸術文化・伝統芸能公演を開催し、地域芸能のアピールと文化振興、交流事業を図り、村外や県外からの観光客を誘致する。	イ	5	24	7	29	3	25,707	25,707	20,565			5,142			3	1	(5)	7					

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所	備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G					
										B	C	負担額						
												D				E	F	
交付金交付額		交付対象外経費																
2	学力向上及び教育支援等事業	小中学校に学習支援員等を配置し、学習の基礎・基本的事項の確実な定着を図る。また、幼稚園の預かり保育を実施し、待機児童の解消を推進する。	チ	10	24	8	34	3	24,385	21,793	17,434		4,359	2,592	3	5	(3)	ア
①	小学校学力向上対策事業	小学校に学習支援員を配置し児童一人一人への確かな学力を身につかせさせる力を育成すると共に、TT（チームティーチング）による指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本的事項の確実な定着を図っていく。また、小学校にIT指導員を配置しタブレット端末などの操作技術、活用能力を取得し、情報化社会に対応できる人材を育成する。	チ	10	24	8	34	3	11,290	11,290	9,032		2,258		3	5	(3)	ア
②	中学校学力向上対策事業	中学校に学習支援員を配置し生徒一人一人への確かな学力を身につかせさせる力を育成すると共に、TT（チームティーチング）による指導で判断力、思考力、表現力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本的事項の確実な定着を図っていく。	チ	10	24	8	34	3	5,120	5,120	4,096		1,024		3	5	(3)	ア
③	幼稚園預かり保育事業	幼稚園において預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実させていく。	ヌ	10	24	8	34	3	7,975	5,383	4,306		1,077	2,592	3	2	(2)	イ
3	農林水産活性化プロジェクト事業	減農薬、減化学肥料による環境保全型農業を目指し「有機の里宜野座村」を確立、エコビレッジ構想を推進する。また、畜産農家と耕畜連携を強化するため、施肥資材を整備する。	ハ	1	24	7	25	3	29,123	29,123	23,297		5,826		3	3	(7)	ウ
①	有機の里宜野座村確立事業	エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施する。	ハ	1	24	7	25	3	6,872	6,872	5,497		1,375		3	3	(7)	ウ
②	堆肥センター（バキューム車購入）整備事業	畜産農家と耕畜連携を強化するため施肥資材を整備する。	ハ	1	24	7	25	3	22,251	22,251	17,800		4,451		3	3	(7)	ウ
4	仮戸籍申告書の電子化事業	劣化が激しく長期保存に耐えられない戸籍関係書類をデータ化し、管理システムを構築することにより、住民サービスの向上を図る。	ソ	1	24	8	25	3	10,467	10,467	8,373		2,094		3	2	(5)	イ
5	上水道遠隔監視設備設置事業	村の立入りが許可されない米軍演習場内にある水源水質等の遠隔監視を強化するため、水道施設8カ所の遠隔操作管理システムを機能強化する。	ソ	1	24	8	25	3	25,804	25,804	20,643		5,161		3	2	(6)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	金武町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	320,000	320,000		320,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費 A	交付対象事業費 B			交付金交付額 C			負担額 D			交付対象外経費 G	振興計画該当箇所			備考
					事業初期	事業中期	事業後期	事業終了		交付金交付額	負担額		交付対象外経費	章	節	項							
											年	月					年	月		沖縄県	市町村	その他	
														D	E	F	G	目					
合 計									419,972	419,972	320,000		99,972										
1	金武町観光振興プロジェクト	歓迎の塔の改修、観光案内板の設置、プロ野球キャンプの受入機能強化、バス停上屋の整備等を実施し、観光振興を推進する。	イ	2	24	10	26	3	301,998	301,998	225,622			76,376						3	3	(2)	ウ
①	金武町歓迎の塔改修事業	国道沿いに設置されているモニュメントを改修し、また、観光案内板の設置等を行うことにより、観光客受入態勢の強化を図る。	イ	1	24	10	25	3	23,000	23,000	18,400			4,600						3	3	(2)	ウ
②	金武町ベースボールスタジアム外構整備事業	金武町ベースボールスタジアムの観覧席屋根の設置、外野スタンド擁壁、周辺排水工事及び屋外トイレの設置工事を行い、施設の機能強化を図る。	イ	1	24	10	25	3	146,492	146,492	101,219			45,273						3	3	(2)	ウ
③	バス停上屋整備事業	快適な観光地やまちづくりを推進するため、沖縄の強烈な日差しや暴風を伴う雨天時において、それらを避け快適に公共交通機関を利用してもらうため、屋根、風よけ、ベンチ等の機能を備えたバス停上屋を整備する。	イ	1	24	10	25	3	41,171	41,171	32,936			8,235						3	3	(2)	ウ
④	民泊運営管理システム導入事業	年々増加している民泊受入件数の円滑な処理と管理体制を強化するため、予約・実施・収支管理を行うコンピュータシステムの導入を行う。	イ	1	24	12	25	3	7,000	7,000	5,600			1,400						3	3	(2)	ウ
⑤	新開地地区防犯灯LED電球設置事業	金武町キャンプ・ハンセン第1ゲート前付近の新開地地区内にLED防犯灯を機能強化整備し、観光客受入態勢を強化する。	イ	1	24	12	25	3	21,862	21,862	17,489			4,373						3	3	(2)	ウ
⑥	新開地地区緑化整備事業	新開地地区内の防犯灯にハンギングバスケットを設置し、既設植樹樹と併せ緑化することにより、観光客受入態勢を強化する。	イ	1	24	12	25	3	6,000	6,000	4,800			1,200						3	3	(2)	ウ
⑦	ウォーキングコース等整備事業	町営グラウンド周回道路及び金武地区公園遊歩道にゴム状のチップ舗装を整備し、陸上競技大会や、県外大学合宿の誘致を図る。	イ	2	24	12	26	3	56,473	56,473	45,178			11,295						3	2	(1)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額			G		章	節	項	目
														沖縄県	市町村	その他						
2	学力向上及び特別支援教育支援等事業	チームティーチング指導、電子黒板等による情報化教育などきめ細かな学習支援を実施することで、学力向上の推進を図る。また、特別支援員の配置や預かり保育を実施し、子育て環境の改善を図る。	チ	10	24	8	34	3	34,177	34,177	27,341		6,836			3	2	(2)	イ			
①	小中学校学習等支援事業	チームティーチング指導、電子黒板等による情報化教育、ALTを活用した英語教育、習熟度別によりきめ細かな学習支援を実施するための非常勤講師を配慮することで、学力向上の推進を図る。	チ	10	24	8	34	3	21,315	21,315	17,052		4,263			3	2	(2)	ウ			
②	特別支援教育支援事業	発達障害等を持つ幼児・園児・児童・生徒の教育については、ノーマライゼーションの理念に基づき、学習生活・学校生活等における困難を改善又は克服するために、適切な指導及び支援を行う。	チ	10	24	12	34	3	8,743	8,743	6,994		1,749			3	2	(2)	イ			
③	幼稚園預かり保育事業	子育て環境を改善するために、嘱託職員を配置し、預かり保育を実施する。	チ	10	24	8	34	3	4,119	4,119	3,295		824			3	2	(2)	イ			
3	① 仮戸籍申告書の電算化事業	戦争で多くが焼失した戸籍は仮戸籍として複製されているが、保存状態も悪く、また、不備も多く手続きに支障が出ている。そのため電算化することにより行政サービスの向上を図る。	ソ	1	24	7	25	3	11,314	11,314	9,051		2,263			3	2	(5)	イ			
4	国際化推進事業	平和や命の大切さを考える機会を継承するため芳魂の塔の改修整備を実施する。又、町と南米移住国等との友好親善関係及び人材育成を推進するために青年海外派遣事業を実施する。	カ	10	24	10	34	3	29,829	29,829	23,863		5,966			3	4	(1)	イ			
①	芳魂の塔改修整備事業	芳魂の塔を改修することで、平和や命の大切さを考える機会を継承し、アジア・太平洋地域へ強く発信する。	ソ	1	24	10	25	3	28,014	28,014	22,411		5,603			3	4	(2)	ウ			
②	金武町青年海外派遣事業	本町と南米移住国等との友好親善関係及び人材育成の推進に資することを目的に金武町の青年2人を南米に派遣する。	カ	10	25	1	34	3	1,815	1,815	1,452		363			3	4	(1)	イ			
5	① ギンバル訓練場跡地利用事業	平成23年7月に返還されたギンバル訓練場において田園と海と川を活かしたウェルネスの里をテーマに跡地利用の整備を進めている。それに関連し、シンボルとなるモニュメントなどを整備することにより、米軍基地跡地の計画的利用を推進し、沖縄振興に資する。	ヨ	1	24	10	25	3	42,654	42,654	34,123		8,531			3	3	(13)	イ			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	伊江村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	310,000	310,000	7,000	317,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考					
					年	月		年	月	A	B				C	負担額			
																D	E	F	
																			G
章 節 項 目																			
合 計							400,877	400,877	317,000		83,877								
1	① 村立診療所人工透析施設整備事業	人工透析患者の住民が、離島である本村で安心して暮らせるようにするとともに、本村に訪れる人工透析が必要な観光客に対し、安全・安心な観光を提供するため、人工透析施設を整備する。	ル	2	24	7	26	3	30,321	30,321	24,256		6,065		3	2	(3)	ウ	
2	① 伊江村立東保育所整備事業	幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる新しい耐震基準（平成12年改正建築基準法）を満たす保育所を整備する。併せて現在の多様化した保育ニーズに対応できる保育環境を確保することにより、保護者の子育てと就労が両立できる環境を促進する。	ヌ	1	24	7	25	3	282,713	282,713	225,670		57,043		3	2	(2)	イ	
3	① 沖縄関係戸籍の電算化事業	本村で戸籍事務の電算化が未整備である沖縄関係戸籍（いわゆる福岡戸籍等）は、現在でも戸籍訂正やつぶれ地補償事務において、極めて重要な役割を果たしているが、紙媒体で保存されているため、劣化が著しい。安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、紙媒体で保存されている沖縄関係戸籍を電算化する。	ソ	1	24	9	25	3	14,910	14,910	11,928		2,982		3	2	(5)	イ	
4	伊江村観光振興事業	主要観光施設やアクセス道路において、ハブ対策ネットの整備や、景勝地等案内板を設置する。また、花の島づくりに向け、プランターの設置や展示会などを実施し、観光客の受け入れ態勢を強化する。	イ	1	24	10	25	3	72,933	72,933	55,146		17,787		3	3	(2)		
	① フラワーロードプロジェクト推進業務	年間を通して休耕地や沿道等に四季を通じた植栽を行うとともに、名所・景勝地等案内板を設置する。	イ	1	24	11	25	3	7,945	7,945	6,276		1,669		3	3	(2)	ウ	
	② ハイビスカスプロジェクト推進業務	ハイビスカスを植栽し、花の島づくりを推進する。	イ	1	24	10	25	3	735	735	508		227		3	3	(2)	ウ	
	③ 村花・世界のゆり植栽推進業務	村花・世界のゆりを植栽し、花の島づくりを推進する。	イ	1	24	10	25	3	920	920	656		264		3	3	(2)	ウ	
	④ 名所・景勝地等案内板設置工事	花の名所・景勝地等に案内板を設置し、観光客受入態勢を強化する。	イ	1	24	10	25	3	17,286	17,286	13,028		4,258		3	3	(2)	ウ	
	⑤ 観光客誘客環境整備事業	ハブ対策ネットの整備により、安全で安心な観光客受入態勢を構築する。	イ	1	24	11	25	3	46,047	46,047	34,678		11,369		3	3	(2)	ウ	3/14変更 交付金700万 円を追加充当

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	読谷村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	750,000	750,000		750,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費 A	交付対象事業費 B				交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所 章:節:項:目	備考							
					事業 初期	事業 終期		交付金交付額 C	負担額												
					年	月			沖縄県 D	市町村 E	その他 F										
					年	月															
合 計								954,150	940,852	750,000		190,852		13,298							
1	読谷型観光の振興事業	読谷型観光の振興に向けて、読谷村の海洋資源を活かした体験型漁業に必要な施設の充実・強化、プロスポーツキャンプ施設の充実・強化によるさらなるキャンプ・合宿等の誘致、観光地読谷の情報発信等の強化を行う。	イ	10	24	7	34	3	831,569	818,271	654,546		163,725		13,298	3	3	(2)			
①	大型定置網漁船購入補助事業	観光業と連携した地域漁業活性化に向けて、観光客などを対象にした定置網体験漁業のために必要な大型定置網船の新造を支援する。	イ	1	24	8	25	3	120,750	108,675	86,940				21,735		12,075	3	3	(2)	ウ
②	ジンベイザメ生贖購入設置補助事業	観光業と連携した地域漁業活性化に向けて、ジンベイザメを観察しながら一緒に泳げる体験型観光漁業に必要な生贖設置を支援する。	イ	1	24	8	25	3	12,234	11,011	8,808				2,203		1,223	3	3	(2)	ウ
③	スポーツコンベンション誘致促進事業	スポーツコンベンションの誘致及び観光客の誘客や物産販売の促進のため、本村でキャンプをしているプロスポーツ団体の本拠地において、キャンプ受入体制のアピールと観光や特産物をPRするイベントを実施する。	イ	10	24	7	34	3	15,927	15,927	12,741		3,186				3	3	(2)	イ	
④	平和の森球場機能強化事業	良好なトレーニング環境の提供による更なるスポーツコンベンション誘致と良好なキャンプ見学環境を提供することによる観光客の誘客を図るため、平和の森球場の全面改修を実施する。	イ	1	24	9	25	3	367,777	367,777	294,155		73,622				3	3	(2)	ウ	
⑤	景観形成事業	地域性にあった景観づくりの実現に向けて、景観法に基づく景観計画のもとでの方針を明らかにし、読谷村の地域特性を活かした魅力ある優れた景観形成のための事業を実施する。	イ	1	24	9	25	3	2,814	2,814	2,251		563				3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項
														D	E	F					
⑥	読谷型観光情報発信事業	読谷村への観光客の誘客を促進するため、村ホームページを活用した国内外への観光資源情報の発信力を強化する。	イ	1	24	10	25	3	22,522	22,522	18,017					3	3	(2)	イ		
⑦	情報中継車整備事業	観光客や地域住民を対象にインターネットやFMラジオ等を活用した地域の情報発信を強化するため、村内イベントの現地取材・放送等を行うための情報中継車両を整備する。	イ	1	24	10	25	3	16,233	16,233	12,986					3	3	(2)	ウ		
⑧	多言語観光ビデオ制作事業	海外の潜在観光客をターゲットに沖縄にある読谷村の知名度やイメージの向上を図り訪問動機を高めるため、本村の自然や歴史、文化、地域特性等を広く紹介した「村づくり紹介映像」を多言語化する。	イ	1	24	10	25	3	14,238	14,238	11,390					3	3	(2)	イ		
⑨	スポーツコンベンション誘致促進事業(残波いこいの広場芝グラウンド機能強化工事)	地域振興及び経済活性化に向けて、スポーツコンベンション誘致の促進を図るため、残波岬公園運動広場芝グラウンドの機能を強化する。	イ	1	24	10	25	3	253,718	253,718	202,974					3	3	(2)	ウ		
⑩	読谷村残波岬いこいの広場施設機能強化事業	読谷村への観光客の誘客を促進するため、洋式トイレを整備するなど読谷村残波岬いこいの広場施設機能強化をする。	イ	1	24	10	25	3	5,356	5,356	4,284					3	3	(2)	ウ		
2	共に学び、共に育つ場づくり事業	共に学び、共に育つ場づくりに向けて、二重国籍や帰国児童などで日本語を習得していない子ども達への学習支援、基地による爆音被害のない学習環境づくり、ITを活用した島しょ県であるハンディの克服を行う。	チ	10	24	9	34	3	5,227	5,227	4,180					3	5				
①	小中学校情報教育支援員配置事業	島しょ県であるハンディを克服し、国際性豊かな人材育成と情報教育を活用した学力向上への環境を整えるため、読谷村内小中学校に情報教育支援員を配置する。	チ	10	24	11	34	3	1,722	1,722	1,377					3	5	(4)	フ		
②	日本語教育支援員配置事業	二重国籍や帰国児童などで日本語を習得していない子ども達への支援体制を強化するため、日本語支援員を配置する。	チ	10	24	9	34	3	2,411	2,411	1,928					3	5	(2)	フ		
③	騒音計の購入・騒音基礎調査事業	米軍の嘉手納弾薬庫において行われる不発弾処理及び弾薬処理作業時に発生している騒音が授業の妨げにならないようその対策を検討するため、騒音計を購入し、騒音基礎調査を行う。	チ	1	24	11	25	2	1,094	1,094	875					3	5	(2)	フ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考			
					事業 始期	事業 終期	A	交付対象事業費			G		章	節	項目				
								B	交付金交付額								負担額		
									C	沖縄県							市町村	その他	D
3	駐留軍用地跡地利用推進事業	駐留軍用地跡地は、行政が先導しなければ、住宅のスプロール化や土地の遊休化が懸念されることから、駐留軍用地跡地利用を推進するため、予備設計、環境基礎調査、駐留軍用地跡地を含めた道路網計画等の各種基本計画を策定する。	イ	1	24	8	25	3	92,752	92,752	71,595		21,157						
①	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」予備設計等支援委託業務	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、地区計画の予備設計を行う。	イ	1	24	8	25	3	14,169	14,169	11,335		2,834						
②	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」地区計画決定図書等作成支援委託業務	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の都市計画決定図書等の作成を行う。	イ	1	24	9	25	3	1,491	1,491	1,192		299						
③	読谷補助飛行場跡地民有地部分「北地区」環境基礎調査委託業務	平成23年度に作成した読谷補助飛行場民有地部分「北地区」跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の環境基礎調査を行う。	イ	1	24	8	25	3	3,150	3,150	2,520		630						
④	楚辺通信所跡地環境基礎調査委託業務	平成23年度に作成した楚辺通信所跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区の環境基礎調査を行う。	イ	1	24	8	25	3	4,725	4,725	3,780		945						
⑤	楚辺通信所跡地地区計画策定調査委託業務	平成23年度に作成した楚辺通信所跡地利用促進支援業務報告書に基づき、跡地利用の具体化を図るため、当該地区地区計画の都市計画決定に向けた調査委託業務を行う。	イ	1	24	9	25	3	6,426	6,426	5,140		1,286						
⑥	第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画策定委託業務	平成23年度に作成した読谷村村民センター南側地区等基本計画調査業務報告書に基づき、向こう10箇年を目途とし、改めて整備施設の規模・配置を明らかにし、村民センター地区全体の土地利用を確定するための基本計画を策定する。	イ	1	24	9	25	3	6,773	6,773	5,418		1,355						
⑦	読谷補助飛行場跡地第Ⅱ工区道路整備予備設計等支援委託業務	読谷補助飛行場の跡地利用の具体化を図るため、農地整備をⅠ期・Ⅱ期に分けて行っており、その第Ⅱ期工区の道路予備設計を行う。	イ	1	24	8	25	3	43,785	43,785	35,028		8,757						

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					事業 始期	事業 終期	A	交付対象事業費			G								
								B	C	負担額									
										D				E	F				
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月								
⑧	読谷村道路網計画及び道路整備プログラム策定事業	駐留軍用地跡地も含めた読谷村全体の読谷村道路網計画の見直しを行い、道路の交通機能のみならず空間機能の観点も含めた、望ましい道路の交通体系を目指す新しい「読谷村道路網計画（仮称）」の策定を行う。	ヨ	1	24	8	25	3	4,043	4,043	3,234		809			3	1	(19)	イ
⑨	読谷補助飛行場跡地赤犬子・展望広場及びロードパーク基本計画策定委託業務	平成22年度に作成した読谷補助飛行場赤犬子・展望広場基本構想に基づき、国道バイパスや区画整理地と密接に連携する赤犬子・展望広場、ロードパークについて基本計画を策定する。	ヨ	1	24	10	25	3	8,190	8,190	3,948		4,242			3	1	(19)	イ
4	地域文化の創造発展事業	沖縄独特な伝統文化、豊かな自然・歴史、文化資源の継承・共有・発信・保全・活用を図るため、地域資源の調査・整理、子ども達への伝統芸能の継承、戦災文化財の修復、三線の材料となるくるち（黒木）の植樹等を実施する。	リ	10	24	7	34	3	24,602	24,602	19,679		4,923			3	1	(4)	
①	地域文化振興事業	読谷村は、三線の祖とされている赤犬子の終焉の地とされ、三線・箏・琉球舞踊・茶道等の伝統文化・芸能の盛んな村である。この伝統を継承・伝授すべく外部講師を村内小中学校等へ派遣する。	リ	10	24	7	34	3	1,226	1,226	980		246			3	1	(4)	イ
②	ユンタンザフィールドミュージアム構築事業	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、読谷村の自然・歴史・文化資源等を調査・整理し、さらに集めた情報を共有・発信・活用できるように再整理する。	リ	5	24	7	29	3	4,881	4,881	3,904		977			3	1	(4)	7
③	読谷村戦災文化財修復事業	村民の文化的生活の向上や人材育成、地域活性化、観光振興に役立てるため、戦災で破壊を受け、かろうじて残った歴史的建造物である比謝瓦碑文、喜名観音堂、高倉を修復する。	リ	1	24	10	25	3	15,297	15,297	12,237		3,060			3	1	(4)	7
④	くるちの杜100年プロジェクト	沖縄固有の文化である三線文化の継承と、更なる発展を図るため、三線の材料となるくるち（黒木）の植樹、くるち（黒木）と三線に関する講座、コンサート等を開催するとともに、読谷村の魅力を国内外にアピールする。	リ	10	24	8	34	3	2,658	2,658	2,126		532			3	1	(4)	エ
⑤	読谷村移民・出稼ぎ調査編集事業	国内外へ読谷村をアピールし、海外からの観光客の誘客や国際交流を図るため、移民・出稼ぎについて調査・整理し、集めた情報を共有・発信・活用できるように多言語の小冊子にまとめるとともに、HPを活用して情報発信を行う。	リ	5	24	10	29	3	540	540	432		108			3	1	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	嘉手納町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	340,000	340,000		340,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始	事業終了	総事業費					振興計画該当箇所			備考			
					A	B			交付対象事業費			C	交付対象外経費							
									交付金交付額				負担額							
									D	E	F		G	H	I					
合計									442,100	442,100	340,000	102,100								
1	嘉手納町観光客誘客促進基盤整備事業	滞在型の観光への転換に向けた調査・分析、観光資源の活用のための計画の策定、利用者の誘客による文化観光振興と観光客の誘客を図るための文化観光拠点施設の設備拡充等、エコツアーの拠点施設整備を行う。 また、魅力ある観光地づくりを目指し、多言語案内板や史跡等への説明板の設置、多言語観光リーフレットの作成、景観創出事業を実施する。	イ	1	24	7	25	3	390,599	390,599	300,960		89,639				5	3	(2)	イ
①	(嘉手納町観光振興基本計画策定事業)	通過型の観光から滞在型の観光への転換を効率的かつ効果的に実施するため、嘉手納町の観光の現状、課題分析、ニーズ調査や地域資源調査を行い、本町の歴史・文化財、自然、人材、施設などの資源を活用した観光振興を中長期的に推進するための基本的な計画を策定する。	イ	1	24	12	25	3	10,391	10,391	7,500		2,891				5	3	(2)	イ
②	(嘉手納町かてな文化センター機能向上事業)	滞在型の観光振興の促進を図るため、既存アナログ設備を時代のニーズに適合した活用のできる設備へと機能を拡充するとともに、多くの方々から多くの改善の要望が寄せられている施設のバリアフリー化を図る。	イ	1	24	7	25	3	279,236	279,236	214,980		64,256				5	3	(2)	イ
③	(嘉手納町観光振興ちゅらまち景観創出事業)	観光資源へアクセスしやすい環境整備と景観美化の形成を行い、町内への誘客と魅力ある観光地づくりを推進するため、町内の主要箇所に多言語総合観光案内板及び道路名称看板、観光拠点施設内の多言語案内板を設置するとともに、ポケットパークを整備する。	イ	1	24	7	25	3	59,982	59,982	47,700		12,282				5	3	(2)	イ
④	(嘉手納町観光史跡等説明板整備事業)	地域資源・文化資源を活用した観光振興を図るため、観光基盤の強化に向けて、町内に点在する史跡・旧跡に説明板を設置する。	イ	1	24	12	25	3	13,240	13,240	9,930		3,310				5	3	(2)	イ
⑤	(嘉手納町観光リーフレット作成事業)	広く国内外へ道の駅かてな及び嘉手納町の観光情報を発信し観光客の誘客を図るため、日本語・外国語版の観光リーフレットを作成する。	イ	1	24	12	25	3	7,350	7,350	5,550		1,800				5	3	(2)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項
														D	E	F					
⑥	(嘉手納町比謝川緑地広場整備事業)	体験型・滞在型の観光振興の強化を図るため、現在、エコツアーを開催している比謝川において観光客や施設利用者の利便性を高める受入基盤の整備を行う。	イ	1	24	12	25	3	20,400	20,400	15,300		5,100				5	3	(2)	イ	
2	嘉手納町未来へ羽ばたく人材育成支援事業	学力を高め国際化・情報化に対応できる人材育成を目指す、児童生徒の授業に係る学習効果をより高めるための環境を整備するため、小中学校へ学習支援員、英会話指導員、パソコン指導員を配置する。 また、不登校児童生徒の減少を図るため、教職員を補佐する指導員を配置する。	チ	1	24	12	25	3	11,398	11,398	8,950		2,448				3	5			
①	(学習支援員配置事業)	基礎学力向上対策の上で課題となっている算数・数学、国語、英語の基礎学力定着のため、チームティーチング、習熟度別授業、長期休業中の個別指導及び放課後の補習授業に必要な学習支援員を小・中学校へ配置する。	チ	1	24	12	25	3	3,487	3,487	2,750		737				3	5	(3)	7	
②	(英会話指導員配置事業)	本町は平成22年度に教育課程特例校の認定を受け、英語教育に取り組んでいる。ネイティブスピーカーの講師が授業に参加することにより、日常的に英語に親しめる環境をつくるため、町立幼・小・中学校に英会話指導員を配置する。	チ	1	24	12	25	3	4,430	4,430	3,500		930				3	5	(4)	7	
③	(パソコン指導員配置事業)	教科学習や総合的な学習の時間、特別活動の時間において教科担任と連携しパソコン指導にあたり、ICTを活用した授業の促進と情報化時代に対応できる人材の育成を図るため、町立幼・小・中学校にパソコン指導員を配置する。	チ	1	24	12	25	3	2,360	2,360	1,850		510				3	5	(4)	7	
④	(不登校対策生徒指導支援員配置事業)	継続的な支援活動及び支援体制を構築することで教育環境を充実させ、生徒の自己存在感を育み、基礎学力等の向上を図るとともに、個別指導や相談等が必要とする不登校生徒に対応するため、教職員を補佐する支援員を配置する。	チ	1	24	12	25	3	1,121	1,121	850		271				3	5	(3)	イ	
3	① 法定外公共物・未買収道路現況調査事業	戦後米軍嘉手納飛行場の建設により町域の大部分を接収された混乱期に、道路等の基盤整備が計画的に行われないまま市街地が形成されたため本町のいたるところに筆数や面積を詳細に把握できていない法定外公共物や未買収道路が点在している。 今後の良好な市街地形成を図るため、法定外公共物及び未買収道路の筆数や面積を確定する調査を行う。	ソ	1	24	12	25	3	15,803	15,803	12,000		3,803				3	2	(5)	イ	
4	① 災害時避難場所表示灯整備事業	沖縄県は台風の常襲地域でもあり、自然災害を被りやすい地域であることから、災害により電力供給が停止し、夜間の防犯灯が災害時に不点になる恐れがある。 夜間の防災機能を強化し、災害避難時の町民及び観光客等の安心・安全を図るため、本町指定の避難場所の入口付近にソーラー照明灯を設置する。	レ	1	24	12	25	3	24,300	24,300	18,090		6,210				3	2	(4)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	北谷町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	530,000	530,000		530,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					年	月		年	月	A	B		C	負担額			G	章	節	項		
														D	E						F	
					合計																	
1	観光振興事業	本町の観光産業の更なる発展を目指し、西側全面が海に面している特徴を生かした魅力ある観光地形成に向けた施設等の充実強化、観光シーズンに時期を合わせたイベントの実施、国指定の史跡である「伊礼原遺跡」を新たな観光資源としての開発、観光情報発信のため観光情報センターの整備、国内外での観光プロモーション等を行う。	イ	7	24	7	31	3	721,195	721,195	488,317				232,878				3	3	(2)	
①	北谷町観光情報センター整備事業	観光客に観光情報を発信するとともに、物産振興と文化振興の推進、地域安全と環境浄化活動の拠点にもなりうる観光振興の拠点とするため、観光情報センターを整備する。	イ	1	24	10	25	3	50,000	50,000	40,000				10,000				3	3	(2)	ウ
②	少年少女野球キャンプ招聘事業	年間を通して様々なスポーツを行うことができるスポーツ・コンベンション・アイランドとして新たな着地型観光商品を創出するため、少年少女を対象にしたスポーツキャンプ事業を実施する。	イ	1	24	11	25	3	5,000	5,000	4,000				1,000				3	3	(2)	フ
③	花と緑のまちづくり事業	さらなる観光客の誘客を促すため、観光・ショッピング街に相応しい花と緑にあふれた景観を形成する事業を実施する。	イ	1	25	1	25	2	4,000	4,000	3,200				800				3	3	(2)	ウ
④	国際的観光地形成促進事業	本町の西海岸一帯を中心とした観光産業の振興に寄与する国際的観光地の形成に向けて、人脈の形成と今後のネットワーク構築の足がかりとするため、ハワイで開催される催し物に参加する。 併せて、新たな観光メニューを開発するため、気候や観光資源が類似するハワイの音楽やエンターテイメントのプロデューサーや観光施設等を視察する。	イ	1	24	8	24	9	3,600	3,600	2,880				720				3	3	(2)	イ
⑤	北谷町文化発信拠点整備事業	沖縄文化に触れられる観光を提供し、観光振興に寄与するため、約6,500年前からの集落跡として極めて重要とされ、国の史跡に指定された「伊礼原遺跡」を観光資源として活用するため、博物館を建設する。	イ	7	24	11	31	3	529,478	529,478	334,944				194,534				3	3	(2)	フ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考		
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節		項目	
											交付金交付額	負担額							
												D							E
年	月	年	月				沖縄県	市町村	その他										
⑥	北谷町観光物産プロモーション事業	本町の観光情報、地域特産品情報を広く告知し、観光客の誘客を推進するため、名古屋市にて行われる中日ドラゴンズ「沖縄ウィーク in ナゴヤドーム」及び、台湾で開催される「第20回 台北国際旅行博(ITF2012)」において観光物産ブースを出展する。	イ	1	24	8	25	3	7,089	7,089	5,671					3	3	(2)	イ
⑦	北谷町観光産業啓発広報促進事業	観光客へ観光イベントや地域情報等の充実した観光情報をタイムリーかつ多言語で発信するため、観光拠点地である美浜アメリカンビレッジ内に屋外大型ディスプレイを設置する。	イ	1	24	11	25	3	12,800	12,800	10,240					3	3	(2)	ウ
⑧	西海岸環境保全事業	観光客を引き付ける重要な観光資源となっているアラハビーチとサンセットビーチの環境を保全するため、ビーチクリーナーを設置する。	イ	1	24	11	25	3	19,228	19,228	15,382					3	3	(2)	ウ
⑨	西海岸歩行者ネットワーク整備事業	夕日や砂浜を見ながら海辺の散歩ができる憩いの空間を創設し観光地として魅力の増強を図るため、安良波公園からフィッシャリーナ地区までの地域を一体的に利用できるように遊歩道を整備する。	イ	1	24	11	25	3	44,000	44,000	35,200					3	3	(2)	ウ
⑩	宮城海岸マリンレジャーゾーン整備事業	居心地の良い空間を提供し観光客の満足度を高めマリン産業の振興を図るため、宮城海岸マリンレジャーゾーンとして海岸護岸の舗装及び休憩舎等の整備をする。	イ	1	24	11	25	2	46,000	46,000	36,800					3	3	(2)	ウ
2	人材育成事業	外国人観光客の増加により英語力やコミュニケーション能力等の国際感覚の向上が求められている。国際化に対応し産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を身につけた人材を育成するため、各小中学校への英語指導助手の派遣や、英国へ中学生を派遣する。	ハ	1	24	8	25	3	15,700	15,700	12,560					3	5	(4)	7
①	英語指導助手派遣事業(小学校)	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各小学校に1人の英語指導助手を派遣する。	ハ	1	24	8	25	3	6,800	6,800	5,440					3	5	(4)	7
②	英語指導助手派遣事業(中学校)	国際化に対応し、産業振興・観光振興に貢献できる資質・能力を持つ人材を育成するため、各中学校に1人の英語指導助手を派遣する。	ハ	1	24	8	25	3	6,500	6,500	5,200					3	5	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費							振興計画該当箇所	備考			
					事業始期	事業終期	交付対象事業費					交付対象外経費						
							A	B	C	負担額								
					年	月				年	月	交付金交付額	沖縄県			市町村	その他	G
章	節	項	目															
③	北谷の次代を担う人材育成事業	世界規模の産業振興、観光振興に貢献できるよう広い視野を持ち、異なる文化を持つ人々と協調して生きる資質や能力を身につけた人材を育成するため、英国へ中学生を派遣する。	へ	1	24	10	24	11	2,400	2,400	1,920		480		3	5	(4)	7
3	① 跡地利用推進事業	キャンプ桑江南側地区の有効かつ適切な跡地利用計画を策定するため、跡地利用推進調査事業において外国大学誘致検討委員会（仮称）の設置や外国大学誘致基本構想を策定する。	ヨ	1	24	9	25	3	8,823	8,823	7,058		1,765		3	3	(13)	7
4	① 仮戸籍等電子化事業	戸籍業務において、仮戸籍、福岡戸籍、臨時戸籍は特殊な照会事例において用いられている基礎資料である。経年劣化し腐食が進む紙資料の保存を図るため、紙資料を電子化する。	ソ	1	24	9	25	1	27,582	27,582	22,065		5,517		3	2	(5)	1

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	北中城村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	370,000	370,000	-4,120	365,880

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考			
					事業始期	事業終期		A	B	C						負担額		
					年	月						年	月	D		E	F	
					交付金交付額			合計額 (①+②)										
合 計								458,542	457,365	365,880		91,485	1,177					
1	ツーリズム「北中城」促進事業	北中城村型観光の振興に向けて、点在する歴史文化遺産等の整備や公共交通及び徒歩による散策などネットワーク化を実施する。 また、滞在型施設や東海岸地域における新たな観光拠点の整備及び村内イベントを充実強化し、観光地としての魅力を向上するための景観整備を実施する。 さらに姉妹都市との観光交流の促進と、外国人観光客受け入れに向けた人材育成のための研修を実施する。	イ	10	24	7	34	3	75,812	75,812	60,646		15,166		3	3	(2)	
①	あやかりの杜滞在型施設活用事業	長期滞在型の宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用し、野外活動するためのインストラクター養成等を実施する。	イ	5	24	12	29	3	2,000	2,000	1,600		400		3	3	(2)	ウ
②	歴史文化散策路ネットワーク整備構想・計画調査事業	誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するため、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備の計画を作成する。	リ	5	24	10	29	3	9,861	9,861	7,888		1,973		3	1	(5)	ア
③	北中城まつり活性化事業	県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。	イ	10	24	7	34	3	12,072	12,072	9,657		2,415		3	3	(2)	イ
④	音楽で村づくり支援事業	村内の各イベントや各自治会におけるまつり等と子供たちの音楽活動を融合させ、幅広い世代による地域活性化と魅力ある観光地形成を目指す。その初年度として子供たちがより充実した活動が行えるよう楽器等の機材を購入する。	イ	1	24	10	25	3	11,752	11,752	9,401		2,351		3	3	(2)	ウ
⑤	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業	平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備調査を実施する。	イ	5	24	10	29	3	6,489	6,489	5,191		1,298		3	3	(2)	ウ
⑥	東海岸まちづくり構想策定事業	特色ある観光地としての基盤整備を目指し、本村の東海岸域はアーサ（ヒトエグサ）の産地であることから、魅力ある「食」の観光資源としての活用を図るため、東海岸地域まちづくり構想を策定する。	ハ	1	24	7	25	3	11,504	11,504	9,203		2,301		3	3	(6)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費					振興計画該当箇所	備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G					
										B	C	負担額						
												D				E	F	
交付金交付額			交付対象外経費															
⑦	観光コミュニティバス導入検討事業	村内にある観光資源をターゲットとした観光コミュニティバス導入に向け、本村の観光特性・交通特性・課題を把握し、交流活性化の具体策とモデル事業への検討を行う。	イ	3	24	10	27	3	9,135	9,135	7,308		1,827		3	1	(7)	ウ
⑧	農道除草作業事業	魅力的な観光地を形成するため、日本一早い「ひまわりまつり」(1月～2月開催)会場周辺の除草作業を実施する。	イ	1	24	10	25	3	300	300	240		60		3	3	(2)	ウ
⑨	景観計画策定事業	本村における景観特性や目指すべき「将来像」及び「景観形成に関する方針」等を示し、良好な景観形成のための行為の制限等を定めることにより、実現性の高い景観形成を推進するため、景観計画を策定する。	ソ	1	24	10	25	3	4,577	4,577	3,661		916		3	1	(6)	ア
⑩	公営墓地整備基本計画策定事業	沖縄独特の墓地散在化の規制と、景観的な配慮をするため、公営墓地の形態、規模、運営方法、候補地選定の基本計画を策定する。	ソ	1	24	9	25	1	4,410	4,410	3,528		882		3	3	(6)	ア
⑪	南米3カ国青年研修・葛巻町青少年交流事業	友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多くいる南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)に研修生を派遣する。 また、北中城村の文化・伝統等の発信と将来を担う人材ネットワークの形成を図り、国内外の観光客の誘客強化のための人材育成を目指すため、姉妹町村である岩手県葛巻町の青少年交流事業を実施する。	チ	10	24	10	34	1	3,712	3,712	2,969		743		3	5	(4)	ア
2	駐留軍用地跡地等利活用事業	これからの本村の交流拠点となる軍用地跡地アワセゴルフ場地区の「まちびらき」に向けて、観光拠点づくり計画の策定、景観形成検討調査、歴史文化継承のための映像保存、全体計画の工程管理、新たな施設整備に向けた総合整備計画の修正、アワセゴルフ場跡地に隣接したサウスプラザ地区跡地の環境・測量調査を実施する。	ヨ	3	24	8	27	3	33,519	33,519	26,813		6,706		3	3	(13)	
①	アワセゴルフ場地区観光拠点づくり計画策定事業	観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりの推進と、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査を実施し、計画を策定する。	ヨ	1	24	8	25	3	10,622	10,622	8,497		2,125		3	3	(13)	ウ
②	アワセゴルフ場地区景観形成検討調査事業	アワセゴルフ場地区における魅力的で快適な観光拠点としてのまちづくりにたち、総合的な観点から無電柱化にむけた整備計画を策定する。	ヨ	1	24	9	25	3	4,568	4,568	3,654		914		3	3	(13)	イ
③	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業	戦後強制収容で消滅した比嘉集落の戦前の営みから返還合意・跡地の利用までを記録として残し歴史文化の継承を図るため、映像としてまとめる。	ヨ	5	24	8	29	3	940	940	752		188		3	1	(4)	ア
④	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業	プロジェクト管理能力のあるプロジェクトマネージャーの助言を得て跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、ステークホルダー(プロジェクトに関係しているあらゆる人々)との調整及び管理を実施する。	ヨ	3	24	9	27	3	2,682	2,682	2,145		537		3	3	(13)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所		備考					
					事業 初期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費									
							年	月	年		月				負担額				
					A	B				C		D	E		F	G			
⑤	サウスプラザ地区跡地 利用検討基礎調査事業	昭和49年に返還されたサウスプラザ地区（約3.0ha）は、アワセゴルフ場跡地に国道を挟んで隣接していることから、一体的に整備することが有効であり、未調査である環境調査・測量調査を行う。	ヨ	1	24	9	24	12	9,570	9,570	7,656		1,914		3	3	(13)	イ	
⑥	アワセゴルフ場地区 総合整備計画修正事業	平成22年度に作成した「アワセゴルフ場総合整備計画」は、大型商業施設と大型医療施設を核とした総合整備計画に基づくまちづくりに必要な要素を満たしてきているものの、「地域の歴史、文化」、「健康増進」、「スポーツ交流」などの分野が満たされておらず、それらを満たす必要な施設の配置等を検討するため見直しを行う。	ヨ	1	24	12	25	3	5,137	5,137	4,109		1,028		3	3	(13)	イ	
3	① 雇用サポートセンター事業	活力ある地域作りを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るとともに、退職期を迎えた「団塊の世代」の再就職希望に対応するため、雇用サポートセンターを設置する。	ホ	10	24	8	34	3	5,404	5,404	4,323		1,081		3	3	(10)	7	
4	平和祈念活動事業	戦争体験のない次世代へ悲惨な沖縄戦の実実を継承し、「平和」「命」の尊さを伝えるとともに、平和意識の高揚と平和を希求する心を育むことを目指し、平和を守る北中城村民の会の活動への支援強化と戦没者追悼事業等への活用を図るため村内戦没者のデータベース化を行う。 また、戦後67年を迎え、沖縄戦及び戦後直後の復興を伝える者も高齢化しており、戦後復興体験を後世に伝えるための聞き取り調査や当時の英文資料を翻訳し整理を行う。	ソ	5	24	6	29	3	16,032	16,032	12,825		3,207		3	5	(1)		
	② 沖縄戦戦後復興調査事業	戦後67年を迎え、聞き取り調査の対象者（当事者）が高齢化する中、沖縄戦・戦後の復興体験を後世に伝えるため、米兵が綴った日誌など未調査の英文資料（比嘉太郎・マーフィン資料）の翻訳を行うとともに、聞き取り調査等を行う。	ソ	5	24	6	29	3	12,032	12,032	9,625		2,407		3	4	(2)	ウ	
	③ 戦没者管理システム導入事業	自治体等で行われる戦没者追悼などの平和活動へ活用するため、沖縄戦における北中城村の戦没者約2,000名（当時の人口の約1/3）についてデータベース化を行う。	ソ	1	24	10	25	3	4,000	4,000	3,200		800		3	4	(2)	ウ	
5	農水産アクティビティ事業	北中城村の第1次産業・第2次産業・第3次産業の連携を図り、農水産業をはじめとする村内の産業振興を図るため、海洋特産品のアサ（ヒトエグサ）の加工施設やアンテナショップの整備、商工会を主体とした新ブランド商品開発及び特産品の販路拡大に向けた取り組み等を支援する。 また、農業者の生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を図るため、農業経営改善支援員を配置する。 循環農法の推進と焼却ゴミの減量化を図るため、再資源化ストックヤード等の整備及び伐採木等のチップ処理機械を導入する。	ニ	10	24	8	34	3	134,680	133,503	106,801		26,702		1,177	3	3	(9)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画該当箇所	備考					
					事業 初期	事業 終期	交付対象事業費					交付対象外 経費							
							年	月	年	月	A				B	C	負担額		
																	D	E	F
①	地域ブランド構築事業	産業振興、担い手育成を図ることを目指し、農水産物資源を活かし付加価値を高めるための北中城村独自のブランド化に向けた商品開発を行い、商品選定委員会で選定された特産品の販売拡大や県外物産フェアへの出店を行う。	ニ	10	24	9	34	3	36,329	35,152	28,121		7,031	1,177	3	3	(9)	イ	
②	農業経営改善支援事業	生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。	ハ	10	24	8	34	3	1,241	1,241	992		249		3	3	(7)	エ	
③	再資源化ストックヤード等整備事業	循環型農法の推進とともに、焼却回避によるゴミ減量化を目指し、青草、伐採木の堆肥化・再資源化を図るためのストックヤード整備、伐採木等のチップ処理機械を導入する。	レ	5	24	10	29	3	97,110	97,110	77,688		19,422		3	1	(2)	ア	
6	地域連携防災システム構築事業	災害に強いまちづくりを目指し、村民と観光客の安心・安全が確保できるよう、地域防災計画見直しと危険箇所の調査を行うとともに、大規模災害時等の長期避難生活に備えた食料品、生活必需品を備蓄するための環境整備、避難施設である小学校が災害時にその機能が発揮できるよう施設の改修を行う。 また、観光客を含む災害時要援護者の円滑な避難を図るため、避難支援計画の策定等を行う。 加えて、普天間飛行場からの騒音被害の検証のための自動測定装置を導入する。	レ	3	24	9	27	3	60,313	60,313	48,249		12,064		3	2	(4)		
①	地域防災・危険箇所調査等事業	災害の予防、災害発生予想箇所の調査、海拔表示板の設置、災害時応急対策、災害復旧対策に係る一連の防災活動を適切にかつ迅速に実施するため、新たな防災・減災計画を策定するとともに、防災体制ネットワークの強化を図るため、大規模災害時等の長期避難生活に備え、食料品、その他避難生活に必要な最低限の日用雑貨等を備蓄する環境整備を行う。	レ	3	24	9	27	3	7,757	7,757	6,205		1,552		3	2	(4)	イ	
②	災害時要援護者避難支援計画策定事業	本村ホームページにおける統合型GISシステムによる視覚的観光情報発信手段構築を視野に入れ、そのレイヤー構築の1つとして観光客が安心安全に滞在できるよう大規模災害時を想定した避難支援計画の策定を行う。	レ	3	24	9	27	3	3,790	3,790	3,032		758		3	2	(4)	イ	
③	航空機騒音自動測定機器導入事業	普天間飛行場から離発着する航空機等の騒音測定を目的に機器（3機）を購入する。	ソ	1	24	11	25	2	16,923	16,923	13,538		3,385		3	2	(5)	ア	
④	北中城小学校避難施設改修事業	災害時の避難施設として指定されている北中城小学校が、台風・塩害等により屋根葺き材（防水シート）の劣化が著しく、台風襲来のために近隣に危険を及ぼしている。避難施設として安全・安心にその機能の活用を図るため、施設の改修を行う。	レ	1	24	9	25	1	31,843	31,843	25,474		6,369		3	2	(4)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画 該当箇所	備考					
					事業 初期	事業 終期		A	B	C	負担額				G				
											交付金交付額								
											年	月				年	月	年	月
7	エコアクション推進事業	村全域を植物公苑と見立て、特徴的な自然の保全や観光拠点周辺及び住宅地内の緑化促進を行う。 また、北中城村新エネルギービジョンに掲げられた「クリーンエネルギーの導入」、「省エネルギー化」及び「リサイクルの促進」などの長期目標の達成に向けたCO2削減の取り組みの先駆けとして、公共施設への太陽光発電システムの設置、照明器具のLED化、エコカーの導入を行う。	レ	10	24	9	34	3	72,846	72,846	58,276		14,570			3	1	(3)	
①	全村植物公苑化推進事業	本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみため、観光拠点周辺の地域緑化を行う。	イ	10	24	9	34	3	6,054	6,054	4,843		1,211			3	1	(6)	イ
②	公共施設等エコアクション推進事業	北中城村全体でCO2削減に向けたエコアクションの先駆けとして、公共施設においてクリーンエネルギー（太陽光）の先行導入と照明機器等の省エネルギー化のためのLEDへの切り替え、電気自動車の導入を行う。	レ	5	25	1	29	3	66,792	66,792	53,433		13,359			3	1	(3)	7
8	国際化・ICT人材教育推進事業	国際化社会に対応できる人材の育成に向けて、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語による英会話指導を幼稚園・小中学校で行うとともに、子どもから大人までを対象に米国の教育機関の講座を受講できるWEBシステムを導入する。 また、情報社会に対応できる人材育成や情報モラル教育の推進に向けて、学校ICT機能の充実と操作指導を行う。	チ	10	24	7	34	3	24,330	24,330	19,463		4,867			3	5	(4)	
①	総合英会話指導支援事業	国際性豊かな人材育成を目指し、外国人や英会話能力の優れた講師による生きた英語に触れることにより「総合的な学習の時間」や「特別活動」などの時間において、国際理解教育の一環として、指導員による英会話指導を行う。	チ	10	24	7	34	3	4,320	4,320	3,456		864			3	5	(4)	7
②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業	国際化社会に対応できるよう、子どもから大人までを対象とした人材育成・教育方法を教育現場に活かすため、米国の教育機関とインターネット講座ができるWEBシステムを導入し、米国大学教員による集中講座を行う。	チ	10	24	9	34	3	4,286	4,286	3,428		858			3	5	(4)	7
③	学校ICT活用指導支援事業	コンピュータ操作指導やITに関する専門的な知識向上のために、指導員を配置するとともに、操作指導・インターネットモラルなどのIT教育の推進を図るため、学校ICT機器機能拡充を行う。	チ	10	24	7	34	3	15,724	15,724	12,579		3,145			3	5	(4)	7
9	歴史文化継承基盤整備事業	今後のまちづくりに向けて、世界遺産「中城城跡」を含む村内に点在する歴史的風致資産の調査を行うとともに、村内の文化財の紹介・情報発信や学校の歴史教育、歴史研究者・郷土史家の研究などに活用できるよう、データベース化を図る。	リ	1	24	9	25	2	18,218	18,218	14,574		3,644			3	1	(5)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所	備考					
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外経費	章	節			項	目			
									A	B	C								負担額		
																			D	E	F
交付金交付額			沖縄県	市町村	その他	G															
①	琉球歴史風致資産調査事業	琉球の歴史を踏まえたまちづくりに向けて、村内の歴史的建造物及び歴史伝統のある文化を後世に引き継ぐため、伝統的建造物のほか、文化財未指定ではあるが沖縄の特殊な歴史の産物として再評価できる文化財を悉皆調査する。	リ	5	24	9	29	2	16,748	16,748	13,398					3	1	(5)	ア		
②	文化財情報データベース作成事業	村内の文化財について、データベース化を図り、村ホームページにおいて、容易に検索できるシステムを構築し、魅力ある文化財の紹介・発信を行う。	リ	1	24	9	25	2	1,470	1,470	1,176					3	1	(4)	ア		
10	子育て環境充実サポート事業	より良い子育て環境づくりと幼児・児童の健全育成を目指し、子育て世代への就労支援や共働き世帯のサポート強化を図るため、一時預かり室の整備、幼稚園預かり保育給食の提供体制の整備、放課後児童クラブの環境整備を行う。	ホ	10	24	9	34	3	9,688	9,688	7,750					3	2	(2)	イ		
①	一時預かり室整備事業	本村の公立保育所2園のうち1園は、ニーズの高い一時預かり保育について、預かる環境が充分でないため、その対応のため保育室の増築工事を行う。	ホ	2	24	11	26	3	9,080	9,080	7,264					3	2	(2)	イ		
②	幼稚園預かり保育給食対応事業	幼稚園預かり保育（午後）において、小・中学校と同様の学校給食を提供するため、賃金調理員の配置を行う。	チ	10	24	9	34	3	608	608	486					3	2	(2)	イ		
11	① 臨時戸籍電子化事業	終戦直後に整備（約5,000枚）された紙資料の臨時戸籍の劣化が進み保存状態が悪いことから、保存のため電子化を行う。	ソ	1	24	9	25	3	7,700	7,700	6,160					3	2	(5)	イ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	中城村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	400,000	400,000		400,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間			総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月	年		月	A	B	C		負担額				G	章	節	項
														D	E	F					
合 計								518,859	510,594	400,000		110,594		8,265							
1	吉の浦周辺施設整備事業	中城村においては、吉の浦会館や吉の浦公園を含む周辺地域を豊かな暮らしサービス拠点（中央地区）として公共・公益施設の機能適正化を図り、村民生活の利便性を高め、村のタウンセンターとして拠点形成を進めている。 本事業においては、塩害や台風被害のため、雨漏り等が発生している吉の浦会館やキャンプ誘致等の課題となっている体育施設の充実・強化を図る。	イ	1	24	10	25	3	115,680	115,680	92,544		23,136		3	5	(2)	イ			
①	吉の浦会館施設機能強化事業	村民のスポーツや学習、サークル活動等の拠点となっており、利用者が増加している吉の浦会館について、塩害や台風被害による破損箇所を修繕するとともに太陽光発電システムを導入する等、機能強化を図る。	イ	1	24	10	25	3	102,135	102,135	81,708		20,427		3	5	(2)	イ			
②	吉の浦体育館施設機能強化事業	サッカーをはじめとするスポーツキャンプの誘致に資するとともに村民の健康づくりに活用するため、吉の浦体育館内にトレーニングジムを設置する。	イ	1	24	10	25	3	13,545	13,545	10,836		2,709		3	3	(2)	ウ			
2	護佐丸歴史資料図書館の整備事業	沖縄や中城村の歴史や文化、世界遺産等について村民等が学ぶ場所として、また、村内外に広く知らしめる情報発信拠点として、護佐丸歴史資料図書館の建設を行う。なお、当該施設は、災害時に地域住民等の身の安全を確保するため、「防災タワー」を兼ねた複合施設とする。	リ	4	24	9	28	3	116,227	116,227	92,981		23,246		3	1	(4)	ウ			
3	護佐丸島むん農業活性化事業	生産効率及び品質の向上、安定生産等に向けた各品目の課題解決を図るため、設備導入、施設整備、品種選抜などを実施する。	ハ	1	24	9	25	3	37,660	31,430	25,143		6,287		3	3	(7)	ア			
①	トマトの安定生産に向けた取組	トマトの品質向上及び作業効率の向上を図るため、栽培施設へ灌水設備及び防除機を導入する。	ハ	1	24	9	25	3	2,990	2,392	1,913		479		3	3	(7)	ア			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業			総事業費						振興計画該当箇所			備考		
					事業	事業	事業	交付対象事業費			交付対象外経費								
					年	月	年	月	年	月		年	負担額						
					A	B	C	D	E	F	G	章	節	項目					
②	島人参の安定生産に向けた取組	中城村ブランドである島人参の安定生産を目指し、収穫機械の導入、品種管理圃場及び平張り施設の整備、品種選抜の実施、土壌消毒器による土壌病害対策等を行う。	ハ	1	24	11	25	3	6,510	6,510	5,208		1,302			3	3	(7)	イ
③	キャベツの安定生産に向けた取組	キャベツの生育環境改善及び作業効率の向上を図るため、定植機、播種機、運搬機の導入を支援する。	ハ	1	24	9	25	3	7,160	5,728	4,582		1,146			3	3	(7)	イ
④	輪ギクの安定生産に向けた取組	輪ギクの作業効率向上および生産拡大を図るため、施肥作業と選別・調整作業の機械化を実施する。	ハ	1	24	9	25	3	21,000	16,800	13,440		3,360			3	3	(7)	イ
4	とよむ中城産業まつり事業	中城村内で生産、製造又は提供される産業製品を村内外に紹介し、販路拡大を図るため開催される「とよむ中城産業まつり」を支援する。	ニ	1	24	8	25	3	7,035	5,000	4,000		1,000			3	3	(7)	イ
5	護佐丸が村を守るグスク整備事業	村民の「安心・安全」な生活環境を確保するため、地域防災計画の全面改訂、ハザードマップの見直し等を行うとともに、災害時の避難路整備や緊急避難広場の整備を行う。 また、Jアラートの自動起動機導入のほか、土砂災害危険区域外の周辺地域においても防災無線の放送エリア拡充を行う。	レ	1	24	9	25	3	148,109	148,109	118,486		29,623			3	2	(4)	イ
①	中城防災行政無線の撤去及び増設工事	県事業の対象となる土砂災害危険区域以外の地域においても災害情報の伝達手段を確保するため、スピーカーや増強アンブ等を設置し、防災無線放送エリアを拡充する。	レ	1	24	11	25	2	11,877	11,877	9,501		2,376			3	2	(4)	イ
②	防災行政無線Jアラート整備工事	災害や有事の際、通信衛星から村に送信される緊急情報（Jアラート）を防災行政無線で村民等に瞬時に伝達するため、自動起動機を設置する。	レ	1	24	11	25	2	6,448	6,448	5,158		1,290			3	2	(4)	イ
③	地域防災計画策定	海岸線を有し、毎年、台風の影響を受ける本村において、住民等の避難誘導を図るため、地域防災計画の全面改訂及びハザードマップの見直しを行う。	レ	1	24	10	25	2	4,584	4,584	3,667		917			3	2	(4)	イ
④	災害対策避難路整備事業	海岸線に近い本村における台風や津波等の対策として、避難路を整備し、児童等の安全を確保する。	レ	1	24	9	25	3	25,200	25,200	20,160		5,040			3	2	(4)	イ
⑤	南上原地内緊急災害時避難広場整備事業	台風や大規模地震等の自然災害や有事の際に、地域住民や観光客の安全安心を確保するため、緊急避難広場を整備する。	レ	1	24	10	25	3	100,000	100,000	80,000		20,000			3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業			総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業始期	事業終期	A	交付対象事業費			G								
								B	C	負担額									
										D		E			F				
年	月	年	月	年	月	年	月	沖縄県	市町村	その他									
6	教育・子育て環境づくり整備事業	地域特性を活かした教育を推進するため、郷土の歴史・文化、伝統音楽、情報通信等の学習環境の整備を図るとともに、特別教育支援員及び英語指導補助員の配置等を実施する。また、子育て支援として相談体制の強化やボランティア育成に取り組む。	チ	10	24	10	34	3	66,172	66,172	44,466		21,706			3	5	(4)	
①	中城の歴史と文化を学ぶプロジェクト	「郷土の歴史・文化についての学習」を充実させるため、小中学校の教材等を編纂する。今年度は小学生向け教材の企画検討、執筆者編集委員会の設置等を行う。平成25年度末に小学生向け教材の納品を行い、平成26年度末に中学生向け教材の納品を行う予定である。	チ	3	24	10	27	3	1,983	1,983	1,586		397			3	5	(4)	イ
②	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	児童生徒が、コンピューター等の情報手段に慣れ親しみ適切に活用できるよう、情報支援員の配置やコンピューターの設置等により環境を整備する。	チ	10	24	11	34	3	24,734	24,734	11,842		12,892			3	5	(4)	フ
③	きめ細かな児童生徒支援事業	特別に支援を要する児童生徒や学習が遅れ気味の児童生徒について、個に応じたきめ細かな支援を行うため、特別教育支援員や学習支援員を各学校に配置する。 また、家庭の理由で不登校になる児童生徒が多いため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを配置し、児童生徒と保護者に対して、精神的にきめ細かく支援する体制を整備する。	チ	10	24	11	34	3	4,917	4,917	3,933		984			3	5	(3)	フ
④	国際理解人材育成事業	学校の外国語活動及び国際教育を充実させるために英語指導の補助員を配置する。	チ	10	24	11	34	3	1,336	1,336	1,068		268			3	5	(4)	フ
⑤	沖縄文化推進事業	児童生徒が沖縄の文化である歌や三味線をはじめ、様々な音楽を継承するために、楽器等を購入し、音楽の授業やクラブ活動等の環境を整備する。	チ	1	24	11	25	3	5,028	5,028	3,498		1,530			3	5	(4)	イ
⑥	学校施設窓ガラス遮熱対策事業	沖縄特有の強い日差しを遮断し児童等の学習環境を改善するため、学校の窓ガラスに加工を施す。	チ	1	24	10	25	3	19,404	19,404	15,523		3,881			3	5	(3)	ウ
⑦	児童館・子育て支援センター強化事業	子育ての不安を解消し、子供たちへの虐待を防ぐため、相談体制の強化を図るとともに、地域のボランティア育成を強化する。	ヘ	10	24	10	34	3	8,770	8,770	7,016		1,754			3	2	(2)	イ
7	戦災滅失した沖縄戸籍等の整備の基礎となった沖縄戸籍関係書類等沖縄戸籍関係書類システム化事業	戦災滅失した沖縄戸籍等の整備の基礎となった沖縄戸籍関係書類は、戸籍整備資料（仮戸籍・届書類等）、臨時戸籍、福岡仮戸籍・戸籍の附票があり、これらは約37,000枚の紙原本として保管されている。これらの書類をイメージ化し磁気データとして保存することにより紙原本劣化による散逸の危険性を防ぐ。	ソ	1	24	10	25	3	24,976	24,976	19,980		4,996			3	2	(5)	イ
8	ごさまるエネルギープロジェクト	中城村に建設中の吉の浦火力発電所は、沖縄で初めて導入されるLNG（液化天然ガス）を燃料として発電を行う。液化された天然ガスが気化する際に発生する廃熱を中城村の地域振興と地域エネルギーシステムの確立に利用するため琉球大学及び中城村商工会の産官学連携により共同研究を行う。	フ	2	24	11	26	3	3,000	3,000	2,400		600			3	3	(5)	フ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	西原町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	657,000	657,000		657,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費 A	交付対象事業費 B				交付対象外経費 G	振興計画 該当箇所				備考
					年	月	年	月		交付金交付額 C	負担額				章	節	項	目	
											沖縄県 D	市町村 E	その他 F						
合 計									828,661	828,661	657,000	171,661							
1	農水産業活性化事業	農畜産物の生産だけでなく流通・販売・加工などに 取り組む都市近郊農業の確立を図るため、農産物直売 施設建設に向けた商圈調査及び農地情報のシステム開 発等を実施する。	ハ	1	24	8	25	3	12,465	12,465	9,972	2,493							
①	農産物直売施設商圈 調査事業	本町の農作物を活用した6次産業化を進め、地産地 消の推進を図るため、農作物の加工・直売所施設建設 に向けた商圈調査を実施する。	ハ	1	24	8	24	11	2,500	2,500	2,000	500							イ
②	農業活性化支援シス テム開発事業	作物毎の収穫時期や生産量を的確に予想し、効率的 な農業経営及び営農指導等を実施するため、町内の農 地情報を一括管理するシステム開発を行う。	ハ	1	24	11	25	3	9,965	9,965	7,972	1,993							エ
2	観光客受入基盤強化 事業	西原町の観光振興を図る観点から、観光まちづくり を推進し観光客の受入基盤を整備するため、沖縄らし い景観の整備、モノレール新駅周辺のまちづくり調 査、防災体制の強化等を実施する。	イ	5	24	7	29	3	380,975	380,975	304,777	76,198							ウ
①	観光マップ作成事業	魅力的な観光スポットや文化財等を紹介した多言語 対応の観光マップを発刊し、まちの魅力を発信する。	イ	1	24	9	24	12	1,869	1,869	1,495	374							ウ
②	地域防災計画策定事 業	国指定史跡となった「内間御殿（うちまどう ん）」や沖縄本島東海岸の新たな観光地として賑わう 「西原マリパーク」等に多くの観光客を安心・安全 に迎えるため、本町における地域防災計画を策定す る。	イ	1	24	9	25	2	4,000	4,000	3,200	800							ウ
③	棚原の石畳道の石垣 整備事業	観光振興及び文化財保護の観点から、本町に古くか らある集落（棚原地区）の石畳道を保存整備する。	イ	1	24	8	24	9	1,720	1,720	1,376	344							ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額				G				
											交付金交付額	負担額							
												沖縄県				市町村	その他		
年	月	年	月				D	E	F										
④	走る広告塔事業	本町の地域振興・観光振興を図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識を作成・取付する。また、従来標識にはない「発光塗料」も併せて採用することで、交通安全の一助となるよう工夫する。	イ	1	24	9	25	2	3,225	3,225	2,580		645			3	3	(2)	ウ
⑤	沖縄都市モノレール新駅周辺まちづくり調査事業	観光振興及びパークアンドライドの推進を図るため、沖縄都市モノレール新駅周辺の土地利用及び沖縄自動車道との結節等について調査を実施する。	イ	1	24	7	25	1	12,390	12,390	9,912		2,478			3	3	(2)	ウ
⑥	災害に強い観光まちづくり推進事業	台風等の災害時に観光客等に必要な情報を迅速かつ確実に伝達するため防災行政無線システムを整備し、併せて海拔表示板設置及び防災マップの作成等を行う。	イ	1	24	11	25	2	275,498	275,498	220,396		55,102			3	3	(2)	ウ
⑦	災害・事故等避難所環境整備事業	台風等の災害時に観光客等の安全を確保するため、避難所である中央公民館の台風や塩害による破損箇所等を整備し、安全性向上と長寿命化を図る。	イ	1	24	10	24	12	65,113	65,113	52,090		13,023			3	3	(2)	ウ
⑧	沖縄らしい風景づくり推進事業	本町の地域特性を活かし、自然と文化、都市が調和した沖縄らしい風景・景観を保全するため、景観法に基づく景観計画を策定する。	イ	2	24	10	26	3	4,540	4,540	3,632		908			3	1	(6)	ア
⑨	公園樹木等環境整備事業	沖縄県は国内唯一の高温多湿の亜熱帯性気候という気象条件から、季節を問わず年中雑草等が繁茂し、植物の生育が早いという特徴がある。観光振興の観点から、沖縄らしい風景・景観等を保全するため、観光地形成促進地域内の公園樹木の環境整備を行う。	イ	5	24	8	29	3	12,620	12,620	10,096		2,524			3	3	(2)	ウ
3	次代を担う人材育成事業	西原町の次代を担う児童生徒の心豊かな人間性を育み、将来の沖縄振興を支える人材育成の観点から、教育環境の整備・充実を図る。心の問題をサポートするため教育相談員を設置するとともに、国際的視点や言語力を身に付けさせるため英語活動指導員の派遣を行う。また、安全で安心な教育施設環境を提供するため、施設の機能強化、整備等を行う。	チ	10	24	8	34	3	5,841	5,841	4,672		1,169			3	5	(3)	
①	小学校英語活動指導員派遣事業	幼い頃から英語に触れ、学ぶことは、将来国際性を身につける上でも大変貴重な体験となり、英語を学ぶことにより、国際的視点、感覚への足掛かりとなる。児童の国際感覚を育むため、町立小学校に英語活動指導員を派遣し、英語教育の充実を図る。	チ	10	24	8	34	3	1,122	1,122	897		225			3	5	(4)	ア
②	教育相談員配置事業	いじめや校内暴力、不登校等、問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、児童や保護者の相談窓口、学校及び教育委員会等のパイプ役として教育相談員を設置する。	チ	10	24	8	34	3	1,920	1,920	1,536		384			3	5	(3)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始年	事業開始月	事業終了年	事業終了月	総事業費					振興計画該当箇所			備考	
					A	交付対象事業費					B	C	負担額							G
						交付金交付額							負担額							
													D	E	F					
③	学校等公共施設改修事業	学校校舎や給食センター等について、建築から30年を超えたことによる老朽化や台風や塩害、直射日光による被害等により、教育施設として危険な箇所が多く散見される。児童生徒の教育環境を整備し食の安全を確保するため、施設の機能強化及び長寿命化を図る。	チ	1	24	8	25	3	2,799	2,799	2,239		560			3	5	(3)	ウ	
4	子育て世代ゆいまーる支援事業	乳幼児の感染症予防のため、空気清浄機(殺菌機能付)やインフルエンザ予防湿度計等を保育所(認可、認可外)、学童クラブ、児童館等へ設置する。	ヌ	1	24	10	25	2	19,170	19,170	15,336		3,834			3	2	(2)	イ	
5	スポーツ環境整備事業	西原町民陸上競技場は、芝管理の評価が高く、毎年、プロサッカーチームの試合や合宿等が行われている。今後、国内外トップチームの誘致をさらに進め、観光資源としても活用するため、スプリンクラーや芝面の排水設備、全天候ウレタン舗装の整備を行い、施設の機能強化を図る。	イ	2	24	12	25	9	401,100	401,100	314,955		86,145			3	3	(2)	ウ	
6	ICT技術を活用した観光振興・人材育成推進事業	ICTを活用した観光振興を図るため、ポータルサイトの構築や観光アプリ開発を行う。観光アプリについては、開発過程を研修対象とすることで若年者のITスキル向上を図る。また、町の情報発信と人材育成を兼ねて、若年者によるインターネット動画配信番組の制作に取り組む。	イ	4	24	11	28	3	9,110	9,110	7,288		1,822			3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	与那原町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	380,000	380,000		380,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間				総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考					
					年	月	年	月		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目				
													交付金交付額									沖縄県	市町村	その他	
													D	E											F
合 計									514,639	512,139	380,000		132,139		2,500										
1	与那原町観光振興事業	魅力的な観光地形成を図るため、多言語案内板・誘導板、モニュメント等を設置し、与那原大綱曳の継承発展、史跡、レジャー施設及び商店街イベントを組み合わせて新たな観光ルートをつくる。	イ	6	24	10	30	3	120,519	119,219	95,374		23,845		1,300	3	3	(2)							
①	歴史・文化を活かした観光振興事業	観光振興を図るべく、伝統行事である与那原大綱曳をPRするための大綱曳大看板設置や町内への多言語案内板の設置、山原船活用推進に向けた委託等を実施する。	イ	1	24	10	25	3	29,920	29,920	23,936		5,984			3	3	(2)	ウ						
②	伝統行事を活かした観光振興事業	伝統行事の大綱曳を引き継ぐ人材育成、技術の保全・継承、大綱曳を拡大発展させ観光資源として活用するため、大綱曳実施にかかる支援を行う。	イ	1	24	10	25	3	10,305	10,305	8,244		2,061			3	1	(4)	イ						
③	地域活性化イベント支援事業	商店街でのイベント開催に関連する経費を補助し、商工及び観光振興を図る。	イ	1	24	10	25	3	3,000	2,700	2,160		540		300	3	3	(8)	イ						
④	商工会青年部南北交流支援事業	若年交流を通して沖縄のPRを図るとともに、将来のリピーターを生み出すことで誘客と観光振興につなげることを目的として、本町商工会青年部と北海道浜中町商工会青年部が共同して行う「南北少年少女体験交流」へ支援を実施する。	イ	1	24	10	25	3	3,000	2,000	1,600		400		1,000	3	3	(2)	イ						
⑤	観光地美化・緑化きれいなまちづくり事業	本町の魅力的な観光地づくりの形成と観光振興を目的とし、観光地および観光地へのアクセス道路等を重点的に美化・緑化を行う。	イ	6	24	10	30	3	22,000	22,000	17,600		4,400			3	3	(2)	ウ						
⑥	間得大君「御新下り」と「与那原街道」復元・周辺整備事業	間得大君に所縁のある三津武嶽、御殿山、親川等史跡の復元と再現を行うための調査を実施し、史跡の復元・再現、「御新下り」のイメージパースナルコンテンツ作成を行う。また、史跡周辺の駐車場、案内所等の整備を行い観光客等の利便性と安全を確保する。	イ	1	24	10	25	3	16,180	16,180	12,944		3,236			3	1	(5)	7						
⑦	与那原の伝統・文化・言語(方言)を活かした紙芝居等作成事業	「与那原ことば」の普及を目指し、「与那原大綱曳の紙芝居」、「与那原の民話の絵本」、「与那原ことばテキスト・かるた」の作成を行う。また、「与那原ことば」を活かしたローカル色の強い「方言標識」の作成を行いより与那原の独自性をアピールする。	イ	1	24	10	25	3	11,412	11,412	9,129		2,283			3	1	(4)	7						

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業			総事業費					振興計画該当箇所	備考				
					事業開始年	事業開始月	事業終了年	事業終了月	交付対象事業費						交付対象外経費			
									A	B	C	負担額						
												D				E	F	G
⑧	歴史資料館（仮称）整備事業	与那原町史、歴史、伝統におけるアーカイブス機能の確立と、情報の発信拠点施設の整備を目的として、「綱曳」「民俗」「平和」を集約した「与那原町歴史資料館（仮称）」整備に向けた調査を実施する。	イ	1	24	10	25	3	6,064	6,064	4,851				3	1	(4)	ウ
⑨	東浜水路活用調査及び与那原町観光計画策定事業	近年の多様な観光ニーズに対応すべく、観光振興施策を作成する。また、新たな観光資源創出のため、既存市街地と埋立開発地との間の水路を活用した観光資源の可能性調査を実施する。	イ	1	24	11	25	3	18,638	18,638	14,910				3	3	(2)	7
2	与那原町観光交流施設等整備事業	本町で実施される各種イベント来訪者と町民の交流が実施できる交流施設を整備する。また、観光客が史跡巡りや街中観光で散策できるよう、駐車場を整備する。	イ	4	24	9	28	3	100,750	100,750	50,892				3	3	(2)	ウ
	① 交流施設駐車場整備事業	レンタカーを利用する観光客が本町を訪れ、自由に散策できるよう駐車場の整備を行い、観光客が史跡巡りや街中の散策がしやすい環境を整備する。また、同駐車場を災害時における観光客の一時避難場として、釜場や仮設テント及び仮設トイレの設置可能な駐車場として整備する。	イ	2	24	9	26	3	50,000	50,000	25,000				3	3	(2)	ウ
	② 来訪者と町民の交流施設整備事業	「パークゴルフ全国大会」や「大阪大正区との与那原大綱曳交流」、本町商工会青年部が行う「南北少女体験交流事業」など、新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備する。	イ	4	24	9	28	3	50,750	50,750	25,892				3	3	(2)	ウ
3	軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業	太平洋戦争で破壊された軽便鉄道の与那原駅跡の用地を購入し、軽便鉄道の歴史等を解説した説明版やモニュメントを設置し、与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。また、軽便鉄道の歴史を後世へ引き継ぎ、歴史風化を防ぐ。	イ	2	24	9	26	3	86,125	86,125	68,900				3	3	(2)	ウ
4	次代を担う人材育成事業	学力向上及び人材育成を図る観点から、教育相談員の配置や情報通信教育、英語教育、特別支援教育の為に学習支援員を配置する。その効果を更に促進する為に、デジタル教科書や電子黒板等といった学習支援機器等を整備する。	フ	6	24	10	30	3	31,568	31,568	25,254				3	5	(3)	
①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業	将来を担う児童生徒の学力向上及び人材育成を図る為、デジタル教科書の充実、ソフトを利用するデジタルテレビ、電子黒板等を整備する。また、各教職員や情報教育支援員が、ICTを活用した、きめ細かな教育が支援できるよう人員配置を行う。	フ	6	24	10	30	3	11,395	11,395	9,116				3	5	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額			G		章	節	項	目
														沖縄県	市町村	その他						
②	きめ細かな児童生徒支援事業	特別な支援を要する児童生徒をはじめ、学習の遅れ気味な児童生徒に対し、個に応じたきめ細かな支援を行う為に、学習支援員を各学校に配置する。	チ	5	24	11	29	3	5,753	5,753	4,602						3	5	(3)	7		
③	国際理解人材育成事業	沖縄振興の発展に重要な国際的感覚や視点を身に付ける人材育成の為に、英語指導員(ALT)の他に英語指導の補助員を配置し、外国語活動及び国際理解教育を充実させる。	チ	5	24	11	29	3	1,420	1,420	1,136						3	5	(4)	7		
④	沖縄文化推進事業	沖縄の特異文化である歌・三味線や、様々な音楽文化を継承し、地域イベントへの積極的な参加を支援する為に、三線や管楽器等の楽器整備を行う。	チ	5	24	11	29	3	13,000	13,000	10,400						3	5	(1)	7		
5	ほっとハート子育て応援事業	0歳児の待機児童対策を目的に、9人以上の0歳児保育を実施する為に看護師配置をする認可保育所へその経費の一部を助成する。	ヌ	10	24	8	34	3	2,000	2,000	1,600						3	2	(2)	1		
6	与那原三叉路情報発信大型ビジョン活用事業	与那原三叉路に大型ビジョンの屋外型デジタルサイネージを設置し、地域情報や地域イベントの映像を届け、新たな賑わいを創出し周辺への観光客誘客を図る。また、大型ビジョン活用による観光ビジネス創出によって商業活性化に繋げる。	イ	1	24	10	25	3	28,466	28,466	22,772						3	3	(2)	ウ		
7	与那原町観光発信・観光誘致事業	町道に電光掲示板を設置し、広く地元客や観光客に観光案内・観光発信を行い、観光誘致と観光振興強化を図る。また、台風時には、交通規制案内を行い、観光客等の安全安心を確保する。	イ	1	24	9	25	3	70,000	70,000	56,000						3	3	(2)	ウ		
8	与那原町景観形成強化事業	本町は、沖縄らしい風景を象徴する赤瓦の県内唯一の生産地であることから、赤瓦を利用した与那原町らしいまちづくりを形成し観光振興を図る為の景観計画を策定する。	イ	3	24	10	27	3	7,000	7,000	5,600						3	1	(6)	7		
9	与那原町商工業振興事業	本町の商工業活性化のため、地域の特性を活かした事業支援策として、地場産業である赤瓦などの窯業支援と、商店街活性化につながる街路灯整備に取り組み、地域産業の振興につなげていく。	ニ	1	24	10	25	3	49,500	49,500	39,600						3	3	(8)			
①	地場産業振興支援事業	県内唯一の赤瓦生産地として赤瓦の原料となる「クチャ」の埋蔵量調査を行い、需要と供給を予測して今後の地場産業(窯業)の振興と沖縄県全体の赤瓦街並み形成による観光振興に繋げていく。	ニ	1	24	10	25	3	31,500	31,500	25,200						3	3	(9)	7		
②	商工業振興支援事業	商店街に大綱曳等の与那原を象徴する造形物を乗せた街路灯設置により、きらめきのある光で魅力ある賑わいの場を演出し、商店街の景観イメージアップを図り商工観光振興につなげていく。	ニ	1	24	10	25	3	18,000	18,000	14,400						3	3	(8)	1		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所				備考		
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外経費									
					A		B		C		負担額			G							
											沖縄県	市町村	その他								
10	与那原町水産業振興事業	本町の特産品であるひじきの藻場を保全し、ひじき等の水産物を利用した商品のブランド化による6次産業化を推進する。	ハ	1	24	10	25	3	16,500	15,300	12,240			3,060		1,200	3	3	(7)	7	
①	人工的ひじき生息環境(ひじき畑)の整備事業	近年減少傾向にあるひじきの藻場の保全を図り、増殖技術の研究、人工的にひじきの生息環境を整えて収穫増量につなげていく取り組みの支援を行う。	ハ	1	24	10	25	3	12,000	10,800	8,640			2,160		1,200	3	3	(7)	7	
②	水産加工品ブランド定着化事業	特産品のひじきや、水揚の多いソデイカなどを活かした付加価値の高いブランド加工品開発により、漁獲・加工・販売の6次産業化の支援を行う。	ハ	1	24	10	25	3	4,500	4,500	3,600			900			3	3	(7)	1	
11	与那原町海拔及び津波避難ビル表示整備事業	発生が予想される地震・津波災害について東日本大震災の教訓を踏まえ、町民及び観光客の減災策として町内の電柱や施設等へ海拔表示板等を設置する。	レ	1	24	12	25	2	2,211	2,211	1,768			443			3	2	(4)	1	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	南風原町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	660,000	660,000		660,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考			
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章		節	項	
											年		月						年
													D	E	F				
合計								849,687	825,558	660,000		165,558		24,129					
1	南風原町人材育成事業	南風原町の児童生徒の学力向上及び人材育成のためには、地域社会全体での生活環境の改善も含めた取組が必要である。そのため、青少年の友好都市及び移民先(ハワイ)への派遣や、ICTの更なる推進、怠学等による不登校児童生徒へのきめ細かな対応など多角的な施策の展開を行う。	△	10	24	7	34	3	83,984	83,984	67,185		16,799		3	5	(1)		
①	青少年国際交流事業	国際的視野を広め、国際化時代に対応しうる青少年リーダーの育成を図ることを目的として、町内の青少年リーダーを海外へ派遣し、教育・文化・歴史産業などの視察研修、そして現地の学校への体験入学、ホームステイを実施する。	△	5	24	8	29	3	3,443	3,443	2,754		689		3	5	(4)	7	
②	小学校英語指導助手配置事業	小学生のうちから英会話に触れさせ、外国の言語や文化について興味を持たせ英語力を向上させる為に、外国語に精通した日本人を各小学校に配置する。	△	10	24	8	34	3	4,800	4,800	3,840		960		3	5	(4)	7	
③	学力調査等事業	学力が低い沖縄県において、本町を担う児童生徒の学力向上推進のために、学力調査等を専門業者に委託する。	チ	10	24	7	34	3	2,478	2,478	1,982		496		3	5	(3)	7	
④	学習支援員配置事業	沖縄の学力の低さは、基礎学力の不足が原因と言われている。そこで、基礎学力を定着させるため、授業に遅れがちな児童生徒に対するきめ細かな指導により基礎学力向上を図るため、学習支援員を配置する。	チ	10	24	9	34	3	8,523	8,523	6,818		1,705		3	5	(3)	7	
⑤	特別支援教育補助員配置事業	児童生徒の総合的な学力向上を目的として、教室内で授業中に全体の指導についていけない子ども(学習障害者や注意欠陥多動性障害者など学習や生活面の特別な教育的補助を必要とする児童生徒)の個別指導や授業外の補習、円滑に学習を行うためのサポート(介助や安全確保)などを教師と連携して行う補助員を配置する。	チ	10	24	12	34	3	16,586	16,586	13,268		3,318		3	5	(3)	7	
⑥	学校ICT推進事業	沖縄県は学力テスト結果が下位に位置し、低所得者も多いことから、学力向上を図る為に電子黒板やデジタル教科書を整備する。	チ	5	24	11	29	3	27,480	27,480	21,984		5,496		3	5	(3)	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考						
					事業	事業		A	B	C	負担額				G					
											初期	末期				D	E	F		
					年	月													年	月
⑦	児童健全育成事業	怠学や問題行動・暴力行為等の不登校生徒の居場所として自立支援教室を設置、専任の指導員を配置し、よりきめ細やかな対応、均等な学習指導を行う。また、怠学等の児童生徒の校外指導を行うため校外指導員を配置する。	チ	10	24	9	34	3	16,159	16,159	12,927		3,232			3	5	(3)	イ	
⑧	教育相談支援事業	不登校または不登校傾向にある児童生徒や、子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対する支援を充実させるため、教育相談支援員を小中学校に配置する。	チ	10	24	9	34	3	2,310	2,310	1,848		462			3	5	(1)	イ	
⑨	中学校外国人英語指導助手配置事業	中学校英語教育の充実と国際理解教育推進に資するため、外国人英語指導員を中学校へ派遣する。	ヘ	10	24	9	34	3	2,205	2,205	1,764		441			3	5	(4)	フ	
2	観光・産業振興事業	沖縄の特徴である美しい海が本町にはなく、これまで他市町村に劣っていた観光分野に力を入れ町全体の産業の活性化を図るため、既存の観光資源の保存・再生・活用に重点をおいた観光振興の取り組みを行う。各団体、企業、事業者をはじめ、基幹産業である農業も含めた産業振興を進める。同時に町内の求職者を雇用し町内の道路、公園等の美化を図り利用しやすい施設整備を進める。	イ	10	24	7	34	3	319,536	296,657	237,323		59,334		22,879		3	3	(2)	
①	地域観光まちづくり推進事業	県内外へ観光地としての知名度を上げていく方策として、平成24年1月から12月まで、県の緊急雇用創出事業基金を活用観光協会設立に向けた推進室を町商工会内に設置しており、引き続き、交付金を活用し事業を実施する。	イ	3	25	1	27	3	1,767	1,767	1,413		354			3	3	(2)	ウ	
②	南風原町観光景観美化整備事業	本県は亜熱帯性の固有な自然環境であり、年間を通して植物の繁茂がある。町内の観光ルートの環境美化を町内の求職者を雇用して実施する。また、専用の車両も購入する。	イ	10	24	7	34	3	6,600	6,600	5,280		1,320			3	1	(6)	フ	
③	観光による地域産業活性化事業	観光客を呼び込む新たな施策の展開を地域やNPO等と実施するため、琉球緋会館の改修や、耕生地区の環境美化活動、町のイメージキャラクター制作、ローカルヒーローの復活などを行う。	イ	10	24	9	34	3	88,693	88,693	70,954		17,739			3	3	(6)	フ	
④	地域資源利便性向上事業	地区の高度利用及び景観形成図るため、建物の高さを制限し都市計画で想定した市街地の形成を妨げている低い位置にある高圧線の鉄塔を嵩上げする。	ニ	1	24	12	25	3	110,000	92,500	74,000		18,500		17,500		3	1	(6)	フ
⑤	南風原町情報発信事業	町ホームページを観光による地域産業活性化事業ともタイアップし、町をピーアールする動画配信や音声案内を導入するなどリニューアルを行う。	イ	1	24	11	25	3	2,935	2,935	2,348		587			3	3	(2)	ウ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考					
					開始期	終了期		A	B	C	負担額				G				
											年	月				年	月	年	月
					交付金交付額	沖縄県													
⑥	物産と食開発プロジェクト	本町の特産品のへちま、ストレチア(極楽鳥花)、かぼちゃ、スターフルーツ、南風原豚等を活かした「南風原町らしいグルメ」の開発のため、物産展・グルメコンテストを行う。	イ	3	24	9	27	3	3,772	3,772	3,017		755			3	3	(9)	イ
⑦	食と観光全国へ発信！事業	沖縄独特の食材や加工品、町内で生産され又はよく食されている食材や伝統行事食の栄養価を分析し、「地域版栄養成分表」を作成する。その資料を基に観光客向けと町民向けのリーフレット作成する。	イ	1	24	10	25	3	12,143	12,143	9,714		2,429			3	3	(2)	オ
⑧	観光・文化等サイン整備事業	町内の歴史・文化・史跡・伝統工芸等の観光産業資源に係る関連施設の案内サインを整備する。	イ	1	24	10	25	3	53,000	53,000	42,400		10,600			3	3	(2)	ウ
⑨	南風原町地域農業活性化事業	本町では、へちまの栽培が盛んで、生産量は毎年県内の上位に位置している。しかし、本県特有の気象条件(台風、長雨、干ばつ等)病害虫、鳥獣等による被害が後を絶たず安定供給の妨げになっており、耐候性施設(強化型パイプハウス)を設置する経費に対し補助を行う。	ハ	1	24	11	25	3	26,898	21,519	17,215		4,304	5,379		3	3	(7)	ア
⑩	農業生産体制強化事業	農産物の未舗装道路の粉塵による生育不良や、道路の凸凹による生産物の荷崩れを防止するため、既設の未舗装道路にアスファルト舗装を行う。	ハ	1	24	10	25	1	10,000	10,000	8,000		2,000			3	3	(7)	カ
⑪	動く広告塔事業	本町のイメージアップを図るため、本町独自の絵柄を施した原動機付自転車標識を作成する。また、交通安全の推進を図るため、従来標識にはない「発光塗料」等も併せて採用する。	イ	1	24	11	25	3	3,728	3,728	2,982		746			3	3	(2)	ウ
3	環境にやさしいまちづくり事業	自然の景観に恵まれ、独特な伝統文化が育まれた沖縄には毎年多くの観光客が訪れている。豊かな自然環境を守ることは沖縄振興に欠かせないため、私たちが環境に配慮した生活をし、環境の保全に貢献する社会づくりに向けた取り組みが必要である。そのため焼却処分されていた食品廃棄物を資源として再利用する「循環の環」の構築、こども達を中心に環境教育を実施する。	レ	5	24	7	29	3	68,360	68,360	54,256		14,104			3	1	(2)	
①	はえばるリサイクルループ事業	町内での食品廃棄物の循環を構築するため、町内で発生する食品廃棄物(生ごみ、廃食用油含む)を分別回収し、それらで養豚用飼料や堆肥、バイオディーゼル燃料を生産する。	レ	5	24	7	29	3	12,596	12,596	10,076		2,520			3	1	(2)	ア
②	環境学習支援事業	児童館や学校、教育委員会等と連携し、小学4、5年生を対象に、専門家による「体験型」の環境教育・環境学習を実施する。	レ	5	24	7	29	3	630	630	504		126			3	1	(1)	オ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所				備考			
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外経費										
					A			B			C			負担額			G					
											D			E			F					
③	草木リサイクル事業	「循環のシステム」を構築するため、町内から出る草木を堆肥化し、農地で活用する。	レ	5	24	7	29	3	5,318	5,318	4,254			1,064				3	1	(2)	7	
④	沖縄の気候を活かした環境に配慮したクリーンエネルギー事業	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減する手段として消費電力を抑えるため、役場庁舎に断熱フィルムを設置する。また、汚水処理施設の電気料削減のため太陽光発電システム導入する。	レ	4	24	10	28	3	25,592	25,592	20,043			5,549				3	1	(3)	7	
⑤	省エネ施設推進事業	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減する手段として消費電力を抑えるため、小中学校、公立保育所等に断熱フィルムを設置する。また、小中学校の教室の扇風機を取り替える。	レ	1	24	10	25	3	24,224	24,224	19,379			4,845				3	1	(3)	7	
4	災害に強いまちづくり事業	地震や大雨などの自然災害、交通事故といった人的災害などに対する町独自の自主防災体制を強化するため、防災無線、携帯用無線機器の整備や避難所の機能強化により、災害時に住民や観光客への情報発信や被災地と災害対策本部との速やかな通信により、被害を最小限に抑えるような対策を講じる。	レ	10	24	7	34	3	220,673	219,423	175,537			43,886		1,250		3	2	(4)		
①	デジタルMC A携帯・無線電話装置等導入事業	台風等の自然災害による被害が多発しているため、災害時の際に、災害現場と災害対策本部との正確な情報交換を行い、災害対策本部からの適切な指示と迅速な行動がとれるよう携帯用無線機等を購入する。	レ	1	24	7	24	9	733	733	586			147				3	2	(4)	イ	
②	防災体制強化事業	沖縄県は島しょ県であるため、大災害が発生すると孤立する可能性がある。町独自の自主防災として防災行政無線の整備やハザードマップの整備、食料備蓄などを実施し、様々な災害に瞬時に対応できる体制を整える。	レ	5	24	10	29	3	157,323	157,323	125,858			31,465				3	2	(4)	イ	
③	不発弾避難支援システム整備事業	町が保有する図面と住民情報、要援護者台帳等を連携した避難支援システムを導入し、不発弾発見時や自然災害時に、避難対象区域内の住民情報及び要援護者情報を正確に把握し、避難支援を効率的に実施する。	レ	1	24	9	25	3	10,600	10,600	8,480			2,120				3	2	(5)	イ	
④	小中学校体育館屋根長寿命化事業	台風襲来の塩害により耐久性が悪くなっている体育館の屋根を改修し、災害時の避難場所としての施設強化を図る。	レ	1	24	11	25	3	40,000	40,000	32,000			8,000				3	2	(4)	イ	
⑤	災害時等避難施設改修事業	台風等の自然災害による被害が多発しているため、台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行う。	レ	10	24	12	34	3	6,250	5,000	4,000			1,000		1,250		3	2	(4)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節		項目				
											年	月							年	月	D	E
					交付金交付額	沖縄県		市町村	その他													
⑥	災害時等避難施設防災体制強化事業	沖縄県は島しょ県であり、大災害が発生すると孤立する可能性があるため、災害時の避難施設である地域公民館や集会施設に災害に備えた食料等を備蓄する。	レ	1	24	11	25	3	5,767	5,767	4,613				1,154				3	2	(4)	イ
5	子育て世代支援事業	本町は年少人口(0~14歳)の割合が19.6%、市町村別では全国7位となっている。又、ひとり親世帯数も本県は6.16%(全国2.84%)全国1位であり、子育て家庭に対する保育サービスの提供は、認可保育園の定員枠では補いきれていない。認可外保育園支援の充実のため、幼稚園教育の通常時間を延長し、それに伴い給食を提供するため施設整備を行う。また、預かり保育も実施する。	チ	10	24	8	34	3	42,607	42,607	34,084				8,523				3	5	(3)	
①	町立幼稚園給食受室設置事業	子育て支援策として、幼稚園教育の時間延長を行い給食提供を開始するため、幼稚園に給食受け室を増築するとともに給食配送車、牛乳保冷庫や食器用機など関連備品を購入する。	チ	1	24	11	25	3	36,876	36,876	29,500				7,376				3	5	(3)	イ
②	放課後児童の居場所づくり支援事業	学童クラブの経営安定化を図ることを目的に、町内の学童クラブ10園中、民間施設を借用し運営を行っているクラブに対して一月50,000円の上限で家賃補助を行う。	ヌ	10	24	8	34	3	1,548	1,548	1,238				310				3	2	(2)	イ
③	預かり保育事業	幼稚園の教育時間終了後も引き続き園児の健やかな成長を支えるため、預かり保育教諭を配置する。	チ	10	24	11	25	3	4,183	4,183	3,346				837				3	2	(3)	イ
6	南風原文化・歴史・伝統継承事業	戦争で失った町独自の文化・歴史・伝統を後世へ継承し町内外への発信と、他地域との交流を深めるため、交流施設の整備、沖縄戦の負の遺産である壕を平和と命を考える体験施設として保存管理する。また、貴重な歴史資料等のデータベース化、伝統芸能等を保存継承するための取り組みを行う。	リ	10	24	7	34	3	102,232	102,232	81,784				20,448				3	1	(4)	
①	南風原町の歴史をふまえた平和で豊かな暮らしの構築事業	南風原町独自の資源を活用した地域づくりを図るため、平和学習の拠点である沖縄陸軍病院南風原壕群の保存・活用を行う。また、失われつつある戦争の体験や記憶を整理してまとめ、公刊誌として発刊するとともに、南風原文化センターに收藏されている貴重な歴史資料をデータベース化して整理し、公開活用を行う。	リ	10	24	7	34	3	25,510	25,510	20,408				5,102				3	1	(4)	ウ
②	平和・文化交流で育む青少年育成事業	伝統芸能継承を推進するため、各町の伝統芸能の保存や継承への取組に対し助成を行う。また、青少年の地域文化や共同体への意識の高揚を促すため、町民劇場を実施する。歴史の継承を図るため、小学生を対象に戦争、平和などについて県外での交流を行う。	リ	10	24	7	34	3	8,861	8,861	7,088				1,773				3	1	(4)	ウ
③	戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業	沖縄戦において滅失した戸籍を再製するために作成された仮戸籍申告書、臨時戸籍及び福岡戸籍(沖縄関係書類等)並びに戸籍受附帳の紙情報をデータ化する。	ソ	1	24	7	25	3	26,040	26,040	20,832				5,208				3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額			G		章	節	項	目
														沖縄県	市町村	その他						
④	南風原町海外移住者子弟研修生交付金事業	文化交流を推進するため、南風原町出身の海外移住者子弟を南風原町に研修生として受け入れ、移民の歴史はもちろん、相互の文化を学習させる。	リ	10	24	9	34	3	1,500	1,500	1,200		300				3	4	(1)	7		
⑤	宮平獅子舞ハワイ公演事業	青年達の伝統芸能に対する意識の向上と、文化交流の推進を目的に、戦争で失われハワイから送られた伝統芸能の一つである獅子舞と、現在まで継承された技をハワイへのお礼公演実施する。	リ	1	24	8	24	11	2,565	2,565	2,052		513				3	4	(1)	7		
⑥	伝統文化交流施設活性化事業	文化活動・伝統芸能の継承や他の地域との文化・伝統交流等、総合的な文化事業を展開し地域活性化に繋げることを目的に、地域交流センターの施設設備を強化するため、付帯設備（音響・照明・スクリーン・舞台パトン・プロジェクター等）の整備を行う。	リ	1	24	10	25	2	37,756	37,756	30,204		7,552				3	1	(4)	ウ		
7	安心・安全な学校づくり事業	沖縄は離島県で規模も小さいことから産業廃棄物等における特殊物の処理が出来ないため、役場庁舎(地下倉庫)で保管している「蛍光灯安定器」と小学校で使用されていた低濃度(微量)PCB廃棄物の「高圧トランス」を県外で処理する。	レ	1	24	7	24	7	1,318	1,318	1,054		264				3	1	(2)	イ		
8	大災害時における電力供給及び避難拠点の整備事業	大規模災害時において、電力供給拠点及び一時避難場所として活用することを目的に、送電量を最大限確保する為、施設の全照明をLED化する。また、外部に送電する方法として、電気自動車を購入する。	レ	1	24	12	25	3	10,977	10,977	8,777		2,200				3	2	(4)	イ		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	渡嘉敷村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	230,000	230,000	-1,759	228,241

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所			備考		
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費						G	
					交付金交付額		負担額												
							D	E	F										
合 計									286,655	285,305	228,241		57,064		1,350				
1	渡嘉敷村観光推進事業	本村の観光振興を図るため、観光地等の美化や植栽、ターミナルの機能強化等の受入体制整備、各種媒体を活用した観光情報の発信、文化遺産を活用した新たな観光資源の創出等を実施する。	イ	10	24	7	34	3	109,759	109,759	87,805		21,954			3	3	(12)	7
①	渡嘉敷村美化清掃事業	観光地としてのイメージアップを図るため、本村の海岸、道路、公園など観光客等が利用する公共施設のトイレ・シャワー等の修繕及び美化、清掃や花木の植栽等を実施する。	イ	3	24	7	27	3	6,038	6,038	4,830		1,208			3	3	(2)	ウ
②	花と緑の美ら島景観整備事業	観光客が島の魅力を感じ、また来たいと思うような村づくりを推進し、年間通して四季折々の花の咲く美しい景観の島にするため、幹線道路及び散策道等に「ケラマツツジ」や「ハイビスカス」、「サクラ」の植栽及び緑地帯等の周辺整備を実施する。	イ	10	24	12	34	3	3,835	3,835	3,068		767			3	3	(2)	ウ
③	渡嘉敷港ターミナル機能強化事業	渡嘉敷港ターミナル利用者の利便性向上を図るため、ターミナルと待合ロビー及び旧ターミナルの間の通路や、旅客出入口に屋根を設置し、さらに洋式トイレへの取り替え等の機能強化を行う。	イ	1	24	11	25	3	66,541	66,541	53,232		13,309			3	3	(11)	ウ
④	渡嘉敷村ホスピタリティー向上及び多言語観光情報発信事業	外国人観光客への情報提供の充実やホスピタリティー向上を目指し、多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）にて、村内の観光スポットやお勧めの散策コースといった周辺情報が入手できるサービスを構築する。	イ	1	24	9	25	3	3,675	3,675	2,940		735			3	3	(2)	ウ
⑥	修学旅行等観光客誘致促進、渡嘉敷島PR促進事業	新たな観光客の掘り起こしを図るため、県外からの修学旅行生の受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等での島のPR活動、観光パンフレットや広告媒体を通じた観光情報の発信等を行う。	イ	3	24	7	27	3	7,103	7,103	5,682		1,421			3	3	(12)	7
⑦	戦争遺跡遊歩道設置事業	観光客誘致や平和学習の根拠地として活用するため、村内の戦争遺跡に遊歩道を設置するための調査を実施する。	イ	1	24	9	25	3	1,155	1,155	924		231			3	3	(12)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外経費										
					年	月	年	月	A		B			C	負担額					
															D	E	F	G		
⑧	「鬼慶良間伝説うふな一橋」展示及び村伝説歌「大谷辻歌碑」建立事業	本村で古くから語り継がれている民話に登場するうふな一橋（石橋）や古謡「大谷辻」を新たに観光資源として活用するため、石橋を復元展示及び歌碑を制作する。	イ	1	24	11	25	3	17,719	17,719	14,175		3,544			3	1	(4)	7	
⑨	村指定文化財「根元家の石垣」復元修復事業	琉球王朝時代に建設したといわれている石垣は、観光スポットとなっているが、第二次世界大戦において、一部破壊され崩壊箇所があることから、更なる観光地としての魅力向上を図るため、石垣の修復を行う。	イ	1	24	11	25	3	3,693	3,693	2,954		739			3	1	(4)	7	
2	渡嘉敷村災害に強い観光地づくり事業	安全安心に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するため、災害情報や避難伝達情報等の伝達体制を強化するための屋外子局の増設や、正確な情報を提供するため、村内全戸へ戸別受信機を設置する。また、海浜地域や村営旅客船の停泊する渡嘉敷港、及び漁港等の津波の避難確認のため村内2箇所のビーチと渡嘉敷港へ監視カメラを設置する。	イ	1	24	11	25	3	154,969	154,969	123,975		30,994			3	3	(2)	ウ	3月14日 監視カメラ設置の取り組みを追加
3	渡嘉敷村の活力ある農水産業を推進する事業	本村の農水産業の振興を図り、農家の生産意欲を向上させることにより地産地消を推進、地場産業の推進を図る。また、安定した水産物の供給確保のため、老朽化した漁業施設を整備し機能強化を図る。	ハ	10	24	8	34	3	18,167	16,817	13,453		3,364		1,350		3	3	(12)	イ
①	渡嘉敷村農地保全事業	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して安定的に農産物を生産させ、農業振興を図るため、箱罟等を設置してイノシシを捕獲駆除する。	ハ	10	24	8	34	3	4,664	4,664	3,731		933				3	3	(12)	イ
②	渡嘉敷村水産業振興事業	漁業の安定操業につなげ水産業の振興を図るため、製氷施設を整備する団体へ補助する。	ハ	1	24	8	25	3	13,503	12,153	9,722		2,431		1,350		3	3	(12)	イ
4	渡嘉敷村教育振興事業	離島へき地の子ども達の教育環境を改善し、教育の機会を平等に与え学力の向上を図る。また、住んでる地域の産業や歴史を学ぶため、地域の情報を掲載した副読本を作成する。	チ	1	24	9	25	3	3,760	3,760	3,008		752				3	3	(11)	イ
①	阿波連小学校学習支援員配置事業	本村では児童の減少により、複式学級となった学校の子どもの学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。	チ	1	24	9	25	3	1,260	1,260	1,008		252				3	3	(11)	イ
②	渡嘉敷村立小学校（3・4年）副読本製版事業	3・4年生の社会科副読本は、村内の特定の地区に偏ったものとなっているため、村内全域を網羅した資料収集と現状にあった内容を編纂し、村内の小学校が等しく利用出来る副読本を作成する。	チ	1	24	11	25	3	2,500	2,500	2,000		500				3	3	(11)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	座間味村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	350,000	350,000		350,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所	備考			
					年	月	年	月	交付対象事業費			交付対象外経費	負担額						
									A	B	C		G						
					交付金交付額			D				E	F	章 節 項 目					
合 計									440,474	437,506	350,000				87,506		2,968		
1	座間味村歴史文化の継承・教育振興事業	教育環境の改善を図るため、亜熱帯特有の気候対策として視聴覚室及び特別教室等へ空調設備を設置する。また、歴史・文化を保存・承継するため、本村の歴史的過程から生まれてきた古くから伝わる民話を1冊の本として編集・発刊を行う。	イ	1	24	8	25	3	14,784	14,784	11,827			2,957		3	3	(11)	イ
①	学校教育環境改善事業	学校教育施設において、空調設備が整っていない給食室、視聴覚室及び児童生徒交流センター等の特別教室等において、施設内環境を改善するため冷房機の取付を行う。	イ	1	24	8	25	3	9,895	9,895	7,916			1,979		3	3	(11)	イ
②	座間味村歴史文化継承事業	歴史・文化の周知や、次世代への継承を図るため、過去村内の長老や各家庭で聞取った民話や童話を取りまとめた原稿資料をもとに一冊の本として発刊するため編集作業等を実施する。	イ	1	24	8	25	3	4,889	4,889	3,911			978		3	1	(4)	ア
2	座間味村観光産業活性化事業	低迷する観光業活性化を図るため、県外でのPR活動、新たな陸域メニューの開発等を行い、船舶予約システム及び観光向けホームページにおけるコンテンツシステムの拡充強化等の構築を行う。	イ	10	24	7	34	3	85,773	85,773	68,618			17,155		3	3	(12)	ア
①	(がんばる観光支援事業)	既存イベントである座間味村祭り・ホエールウォッチングフェスタ等の開催内容の拡充を図り、観光誘客につなげるため、主催団体や村商工会へのイベント拡充等への支援と観光大使の派遣による県内外PR活動を実施する。	イ	10	24	7	34	3	14,800	14,800	11,840			2,960		3	3	(12)	ア
②	(ファンを育てる観光地ポータルサイト作成事業)	増加する外国人への多言語対応や観光案内を図るため、自動翻訳等のホームページの充実や、船舶予約におけるカード決済による利便性の向上、参加型の映像や画像等の投稿が可能となるホームページコンテンツ開発やシステム構築を行う。	イ	1	24	10	25	3	36,000	36,000	28,800			7,200		3	3	(12)	ア
③	(歴史文化・健康づくり拠点整備事業)	魅力ある観光陸域メニューの充実を図るため、既存港公園内へビーチバレーコート等の整備を実施。また、将来、更なる充実と利便性向上を図るため全体計画の構想策定を行う。	イ	4	24	10	28	3	17,274	17,274	13,819			3,455		3	3	(12)	ア
④	(観光受入推進(ハリアップ)事業)	多様化する観光客のニーズと需要に応じるため、陸域メニュープログラム開発と、外国人観光客の生活文化習慣の違いによる対応を可能とするため接遇や料理講演会・多言語講座・セミナー等を開催する。	イ	1	24	10	25	3	15,500	15,500	12,400			3,100		3	3	(12)	ア

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費										
					年	月	年	月	A		B			C	負担額					
										D					E	F	G			
⑤	(慶良間海域を活用するダイビング事業者の利用ルール策定事業)	観光と自然保護の両立を図るため、エコツーリズム推進法にて承認された本村と隣村の渡嘉敷村からなる慶良間諸島海域利用にあたり、海洋利用から海域保全・罰則等を含めたルールとなる要綱を策定する。	イ	1	24	11	25	3	2,199	2,199	1,759		440		3	3	(12)	7		
3	座間味村農林水産業振興事業	観光とリンクした水産物の流通と地産地消の促進を図るため、地元漁協組合と連携し鮮魚販売事業費の補助を行う。また、サンゴ保全再生を目的に、若手技術者育成を図るため、地元村漁協及びサンゴ研究施設と連携し活動実施に要した費用を補助する。	ハ	10	24	10	34	3	29,679	26,711	21,368		5,343		2,968	3	3	(12)	イ	
①	(座間味村鮮魚美食事業)	地元で採れる新鮮な水産物の食材を観光客や宿泊施設へ提供と流通を図るため、地元漁協協力のもと必要な各種冷凍機材・保冷庫及び移送用フォークリフト購入に係る事業費の補助を行う。	ハ	5	24	10	29	3	24,979	22,481	17,984		4,497		2,498	3	3	(12)	イ	
②	(サンゴ(海の森)育成・植付事業)	白化現象やオニヒトデの異常発生の影響により、失われたサンゴ礁海域の回復に向け、地元漁協及び海洋研究所とタイアップのもと、サンゴの種の養殖と育成及び海への植付に係る生育活動の人材支援活動を行うための補助を行う。	ハ	10	24	10	34	3	4,700	4,230	3,384		846		470	3	3	(12)	イ	
4	座間味村定住条件整備事業	離島の離島を有する本村では、その地理的要因から災害時における避難対処方法に特段の配慮が必要であり、住民はもとより観光で訪れる多くの観光客に対しても、常に安全な防災体制を確立するため、避難路の整備や備蓄食料・救助機材購入等の事業を実施する。	タ	1	24	9	25	3	133,343	133,343	106,673		26,670			3	2	(4)	イ	
①	阿佐地区避難路整備事業	地震・津波発生時において村内で孤立する集落及び観光客の安全を図るため、高台へ通じる避難路確保のための整備を行う。	タ	1	24	9	25	3	83,821	83,821	67,056		16,765			3	2	(4)	イ	
②	離島防災備蓄品設置対策事業	本村の高台避難場所は建物やトイレ等がなく長期避難が不可能なため、仮設テントや非常用トイレ等の設備設置を図る。また、救助活動資機材の確保と食糧・飲用水保管のため防災コンテナ設置する。	タ	1	24	12	25	3	45,722	45,722	36,577		9,145			3	2	(4)	イ	
③	離島防災計画等策定事業	1村3島からなる本村特有の地理的要因や観光地としての諸条件を考慮し、実情に見合った防災・減災への取り組みの指針となる離島防災計画書を策定する。	タ	1	24	12	25	3	3,800	3,800	3,040		760			3	2	(4)	イ	
5	① 座間味村環境保全整備事業	観光誘致と特定公園である本村の自然を生かした魅力ある観光地形成と集落内の景観促進のため、苗木や花の植え付けを行い、玄関口でのウェルカムフラワーを設置し、年間をとおして花と緑で観光客を迎え入れる。	イ	10	24	11	33	3	10,602	10,602	8,481		2,121			3	1	(6)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	粟国村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	250,000	250,000		250,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業時期		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					年	月		年	月	A	B		C	負担額			G	章	節	項	
														D	E						F
																			目		
合 計							322,462	322,462	250,000		72,462										
1	観光受入支援・整備事業	粟国村の自然や伝統文化を活かした交流型観光の推進並びに着地型観光を充実していくために情報発信の媒体の製作や観光産業に関わる人材育成を実施する。また、イベント等を開催し、県内外より観光客を誘致する。そして、充実した観光メニューを提供するために観光施設の整備や機能拡充を行う。	イ	5	24	7	29	3	142,674	142,674	114,138				3	3	(2)				
①	文化資源活用観光推進事業	粟国村発祥の雑踊り「むんじゅる節」を観光資源として広めていくためにむんじゅる節の映像化や関連商品開発を実施する。	イ	2	24	8	26	3	21,315	21,315	17,052				3	3	(2)	7			
②	粟国島パークゴルフ場機能拡充事業	粟国村の新たな観光資源として平成24年5月に開業した粟国島パークゴルフ場の機能を充実させるために貯水タンク及び散水栓等を整備し、機能向上を図る。	イ	2	24	8	26	3	50,925	50,925	40,740				3	3	(2)	ウ			
③	マハナ崎整備事業	観光客や住民の憩いの場である島1番の景勝地マハナ崎の快適性及び安全性の向上を目的に東屋及び安全柵を整備する。	イ	1	24	9	25	3	65,482	65,482	52,385				3	3	(2)	ウ			
④	環境美化促進事業	観光地の景観を維持していくために観光地及び観光地へのアクセス道路などの美化・緑化活動を重点的に実施する。	イ	5	24	7	29	3	4,952	4,952	3,961				3	3	(2)	ウ			
2	ものづくり振興支援事業	本村は、サトウキビ・モチキビ・玉葱等の栽培が盛んであるが、葉野菜の生産は乏しく村外から取り寄せている現状である。地産地消の推進及び雇用創出に向け、周年栽培が可能である葉野菜を中心とした植物工場の整備に向け、ビジネスモデル作成や先進地視察調査等を実施する。	ハ	1	24	10	25	3	7,420	7,420	5,936				3	3	(7)	キ			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考					
					年	月		年	月	A	B	C		負担額			G		章	節	項	目	
														交付金交付額	D	E							F
3	災害に強い観光地づくり推進事業	周辺が海に囲まれている本村は、豊かな自然に恵まれている反面、台風や地震・津波等の災害が発生した際に対応する施設整備が遅れている。村民や観光客の生命財産を守るための施設整備や防災・減災に向けた対策を実施し、災害に強い安心安全な観光地づくりに取り組む。	レ	2	24	8	26	3	172,368	172,368	129,926		42,442				3	2	(4)	イ			
①	多目的施設整備事業	災害時における村民・観光客等の生命・財産を確保するための避難施設、地域住民と観光客が交流できる複合施設を整備する。	タ	2	24	8	26	3	170,838	170,838	128,702		42,136				3	2	(4)	イ			
②	防災マップ作成事業	東日本大震災の影響を受け、本村でも防災・減災の意識向上が求められている。そこで、村民・行政・大学等との協働により、ワークショップ等を通じ、防災マップ（ハザードマップ）を作成する。	ソ	1	24	10	25	3	1,530	1,530	1,224		306				3	2	(4)	イ			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	渡名喜村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	270,000	270,000		270,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所			備考			
					年	月	年	月	交付対象事業費		交付対象外経費									
					A		B		C	負担額			G							
							D	E	F											
合計									345,570	345,570	270,000	75,570								
1	観光チュラシマづくり事業	魅力的な観光地づくりを推進するため、良好な景観むらづくりに関する景観条例制定や景観ガイドラインの作成、集落内・観光スポット周辺の環境保全・美化推進事業の実施、さらに集落景観に配慮した街路灯（フットライト等）の設置工事を実施する。	イ	10	24	7	34	3	115,797	115,797	86,183	29,614				3	3	(12)	7	
①	景観むらづくり推進事業	景観行政団体として良好な景観むらづくりを推進するため、景観条例の制定及び景観ガイドラインの作成を実施し、地域をあげて渡名喜らしい景観の保全・継承を目指す。	イ	1	24	7	25	3	2,499	2,499	1,999	500				3	1	(6)	7	
②	環境保全・美化推進事業	島の自然と人文の調和を基調とした魅力的な観光地づくりを推進するため、集落内や観光スポット周辺等の緑化及び美化活動を実施するとともに、外来植物（ギンネム等）の駆除及び在来植物の保全育成を図る。また、観光客も含めたごみ処理に対応するため、新たに小型焼却炉設備の設置を行う。	イ	10	24	7	34	3	39,727	39,727	25,328	14,399				3	3	(12)	7	
③	景観配慮型街路灯（フットライト等）設置事業	観光客を含む歩行者等の安全を確保しつつ、集落内からも美しい星空が見えるよう、集落内の主要交差点及び集落外周道路において、景観に配慮した街路灯（フットライト等）の設置を行う。	イ	1	24	7	25	3	73,571	73,571	58,856	14,715				3	3	(12)	7	
2	渡名喜村防災支援センター機能強化事業	津波や地震等の自然災害から住民及び観光客を守るため、既存の防災支援センターにて施設の補強や避難居室、物資保管庫の整備等の機能強化工事を実施し災害に強い観光地づくりを行う。	イ	1	24	11	25	3	25,652	25,652	20,521	5,131				3	3	(2)	イ	
3	多様な住み手・担い手の住宅確保事業	農漁業をはじめ多様な産業・業務の担い手のための住宅を確保し地域雇用の創出と定住人口の増加を図るため、集落内に集落景観に配慮した多用途住宅を整備する。	タ	1	24	11	25	3	204,121	204,121	163,296	40,825				3	3	(11)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	南大東村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	230,000	230,000		230,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始期	事業終了期	総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月				A	B	C	負担額			G	章	節		項目			
													交付金交付額								D	E	F
													沖縄県	市町村									
合 計									287,505	287,505	230,000		57,505										
1	南大東村定住促進事業	本村は、沖縄本島から400キロ遠隔に位置し、定住環境の整備が大きな課題となっていることから、沖縄本島からの健康診査機材の搬送事業や、医師訪問診療事業の実施、さらには地産地消を促進する施設の整備等を実施する。	タ	1	24	9	25	3	37,215	37,215	29,771		7,444			3	3	(11)					
①	健康診査用機材搬送事業	特定健診等の集団検診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料の負担軽減を図り、住民検診が安定的に実施できる環境整備を図ることにより定住促進を図る。	ル	1	24	10	25	3	1,267	1,267	1,013		254			3	2	(3)	ウ				
②	医師訪問診療事業	終末医療等で在宅療養されている家庭への訪問や移動困難な患者宅への訪問医療の安定的な実施を図ることを目的とし、医師等が島内で移動する為の車両を整備する。	ル	1	24	11	25	3	1,800	1,800	1,440		360			3	2	(3)	ウ				
③	自立促進雇用対策事業	島内での食料確保は大きな課題となっていることからビニールハウスを設置し、地元食材の確保による地産地消の推進や、花等の育苗による村内美化緑化の推進を図る。また移動式朝市を設置し村内活性化による自立促進の取組を行う。	タ	1	24	11	25	3	25,795	25,795	20,636		5,159			3	3	(12)	イ				
④	快適定住推進事業	島内は池沼が多く存在していることや、製糖工場から発生する副産物（パカス・ケーキ等）がはえ等の格好の産卵場所となり害虫の異常発生が起きている。そこで高性能煙霧器を導入し、害虫駆除による伝染病予防と快適な生活環境の造成を図る。	タ	1	24	11	25	3	1,574	1,574	1,259		315			3	3	(11)	イ				
⑤	地産・地消推進事業	地産地消を推進するために、地域の食糧自給率及び地域生産物、島外入荷物等を調査し生産者の拡充を図る。また、低価格な食料の需給を図るため地産・地消推進計画及び行動計画を策定する。	ハ	1	24	9	25	3	6,779	6,779	5,423		1,356			3	3	(12)	イ				
2	南大東村観光振興事業	観光客誘致等への活用を目的とし、食文化等の魅力発信としてカレンダーを作成する。また、観光情報発信のためのホームページの充実等を実施する。さらには、歴史の浅い島の文化資料を整理し学校教育や観光コンテンツとしての活用を図る。	イ	1	24	11	25	3	120,086	120,086	96,068		24,018			3	2	(2)					

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所			備考		
					年	月	年	月	A	B	C	交付対象事業費							G	
												交付金交付額								
												沖縄県	市町村	その他						
①	フェノロジーカレンダー作成事業	観光客誘致等を図るため、島の歴史、景観、動植物、食文化等の魅力発信として、南大東島における食の宝フェノロジーカレンダーを作成する。	イ	1	24	11	25	3	1,300	1,300	1,040			260			3	2	(1)	7
②	南大東島魅力発信事業	観光産業を今後の新たな産業の柱と位置づけ「島丸ごとミュージアム構想」を推進し、年間観光客数1万人を目指して、島の魅力をPRする観光コンテンツ映像を作成しホームページ等で島の魅力をアピールする。	イ	1	24	12	25	3	3,688	3,688	2,950			738			3	3	(2)	ウ
③	月見ちゅら島公園機能強化事業	本村の観光振興を図るためには、更なる体験型観光の環境整備が必要である。そこで、月見橋周辺を中心に美化緑化の推進や、月見池から大池までを結ぶ遊覧船等を整備し観光受け入れ態勢の強化を図る。	イ	1	24	12	25	3	41,000	41,000	32,800			8,200			3	3	(2)	ウ
④	大池地区水辺環境保全整備事業	本村には多くのカルスト湖が点在し、その中でも大池と呼ばれる池が最大規模となっている。現在の大池は水草が繁茂し景観を損なうとともに、生態系への影響や環境保全の点からも課題となっている。そこで水草除去、水路汚泥浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。	イ	1	24	12	25	3	74,098	74,098	59,278			14,820			3	3	(2)	ウ
3	南大東村防災体制促進事業	遠隔離島である本島は災害発生に陥った場合、救助・救援までに時間を要するため、基本的防災計画を柱に各種防災対策を講じ村民や観光客の安全安心等を確保する。	レ	1	24	11	25	3	52,711	52,711	42,168			10,543			3	2	(4)	
①	地域防災計画策定事業	東日本大震災後において、村域における防災対策全般について、地域の特性をふまえて、地域防災計画を見直し、村民や観光客の安全安心等を確保する。	レ	1	24	11	25	3	3,382	3,382	2,705			677			3	2	(4)	イ
②	防災サイン等整備事業	本村の地域特性をふまえて、地域防災対策を行う必要があることから、遠隔離島の不利性などを考慮し備蓄食糧と防災保管倉庫の確保を実施する。また避難場所のトイレ、防災道具保管庫等の整備を行うことにより観光客への利便性と安心安全の確保を目的とする。	レ	1	24	11	25	3	37,149	37,149	29,719			7,430			3	2	(4)	イ
③	安心安全強化対策事業	災害時の避難所に指定する南大東村高齢者福祉センターを災害時の指定避難所として位置づけ、避難時の食糧備蓄庫と非常食を整備し、施設の災害対応への機能強化を図る。	レ	1	24	11	25	3	12,180	12,180	9,744			2,436			3	2	(4)	イ
4	① やすらぎの空間環境整備事業	本村においては将来的にも広域化、法人等の霊園墓地整備は困難な状況下であり、公営霊園墓地の整備を行う実施調査設計を委託する。	ク	1	24	9	25	3	7,308	7,308	5,846			1,462			3	3	(11)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費						振興計画該当箇所			備考		
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			B	C					負担額	
										D	E	F			交付金交付額					
															G					
5	① 仮戸籍電算化事業	沖縄戦で滅失した戸籍等の公文書は、終戦後再生されたものの、用紙の劣化等により再び公文書の滅失する現状にあり、その対応として沖縄関係戸籍の電算化を実施する。	ソ	1	24	9	25	3	28,613	28,613	22,890			5,723			3	2	(5)	
6	① 南大東村人材育成事業	対外交流が乏しい村の柔道塾生（柔武館、小中学生15名）に対し身体と精神の鍛錬教育と交流を目的に、県内の柔道名門高校の合宿を誘致して鍛錬と交流を図ることによって人材育成を図る。	ハ	1	24	11	25	3	1,072	1,072	857			215			3	5	(3)	
7	① 廃棄物ストックヤード整備事業	本村では廃棄物処理施設が整備されておらず、島内で発生した廃棄物は一定期間保管し、定期船で沖縄本島へ搬送している。しかしながら保管施設の環境が充分ではないため、西港（主要港）近くにストックヤード（一部屋根）を整備する。	レ	1	24	11	25	3	30,000	30,000	24,000			6,000			3	3	(11)	
8	① ボロジノ島歴史文化保存事業	歴史を語る貴重な写真や文化資料及び現在の祭事・行事をデジタル保存、製本にして後世に伝えると共に教材や観光関係にも活用する。	リ	1	24	11	25	3	10,500	10,500	8,400			2,100			3	1	(4)	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	北大東村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	210,000	210,000		210,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		事業開始年	事業開始月	事業終了年	事業終了月	総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					A	B					C	交付対象事業費			G							
												D	負担額									
													E	F								
合計											262,501	262,501	210,000	-	52,501	-	-	-	-			
1	魅力的な観光地づくり促進事業	観光振興に向けた北大東島の魅力向上のため、観光に重要なアクセス道路や周回道路の修景及び美化の重点的な実施を行う。また、地域資源である伝統文化『八丈太鼓』の担い手を育成するとともに、伝統文化の交流発表を行い、観光誘客を促進する。	イ	10	24	7	34	3			34,947	34,947	27,957			6,990			3	3	(12)	
①	道路中央線・歩行者通路整備等事業	島の観光に重要なアクセス道路や周回道路等の修景及び美化の重点的な実施を行い、魅力的な観光地づくりを促進する。	イ	10	24	7	34	3			32,847	32,847	26,277			6,570			3	3	(12)	7
②	地域の観光文化資源の担い手育成事業	島の文化資源である『八丈太鼓』の担い手を育成するとともに、県外等での交流発表を開催し、観光誘客を促進する。	イ	10	24	7	34	3			2,100	2,100	1,680			420			3	3	(12)	エ
2	食の安心基盤構築事業	北大東村の定住化を支える農業振興と台風等の災害時の食料確保を支える基盤整備に向け、種苗等生産施設を整備し、村による地域の種苗供給等の農業基盤を構築する。	タ	1	24	7	25	3			146,000	146,000	116,800			29,200			3	3	(12)	イ
3	定住受入基盤構築事業	北大東村に若者を呼び戻し、島外や県外からの移住を促進するため、集合住宅（4世帯）を建設し定住者の受入基盤を整備する。なお、当該住宅の入居者選定に当たっては観光や農業等、島の産業高度化に寄与する人材を優先する。	タ	1	24	8	25	3			70,000	70,000	56,000			14,000			3	3	(11)	イ
4	定住条件特別対策事業	北大東島における子育て・教育環境を整備するため、預かり保育や特別支援教育の充実を図る。また、離島の不利性を克服するため、スポーツ大会や交流学習等における児童生徒の渡航費や島内で対応できない医療サービスを受ける妊婦等の渡航費の一部を助成する。	タ	10	24	7	34	3			11,554	11,554	9,243			2,311			3	3	(11)	イ
①	離島の定住促進に向けた子育て基盤構築事業	待機児童を解消するため、2歳児を含む未就学園児に対する幼稚園の預かり保育を強化する。また、特別支援教育を充実させるため、学習支援員を配置する。	タ	10	24	8	34	3			4,704	4,704	3,763			941			3	3	(11)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費						振興計画該当箇所		備考			
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費								
					年	月	年	月	A		B	C	負担額					
										D			E	F		G		
②	離島の児童の交流促進事業	離島の不利益を克服し、児童生徒の島外・県外交流を促進するため、スポーツや交流学习における渡航費の一部を負担する。	タ	10	24	7	34	3	3,000	3,000	2,400		600		3	3	(11)	イ
③	離島特別医療質確保推進事業	離島の不利性を克服し、妊婦等の健康を守るため、妊婦検診など島内で対応できない医療サービスを受ける際の渡航費の一部を助成する。	タ	10	24	7	34	3	3,850	3,850	3,080		770		3	3	(11)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	伊平屋村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	280,000	280,000		280,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考					
					年	月		年	月	A	B		C	負担額				G	章	節	項	目
														沖縄県	市町村	その他						
					D	E		F														
合 計							362,225	350,005	280,000		70,005		12,220									
1	伊平屋島観光商工業活性化事業	伊平屋島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、各観光地周辺の美化清掃や海岸漂着物の適正処理を行うための施設整備、海浜公園の景観性や安全性、快適性の向上に係る取り組みを実施する。また、観光資源の魅力を県内外に情報発信するため観光ポスターや観光パンフ、観光多言語DVDの製作等を実施する。更には、来島する観光客の利便性を高めるための那覇～運天港間のシャトルバスの運行と、それに伴う水需要の増大に対応するための施設整備を行う。これらにより、観光客の受入体制の整備及び誘客促進を図り、観光消費の拡大を目指す。	イ	10	24	6	34	3	131,542	128,189	102,550		25,639		3,353	3	3	(12)	7			
①	商工観光産業支援事業	観光客の受入れ体制整備の強化、誘客の促進を図ることを目的とし、商工観光事業者向けセミナーの開催、相談会の実施、異業種間の連携促進、旅行社による旅行プランの企画・プランニングの補助等を実施する。	イ	5	24	6	29	3	5,353	5,000	4,000		1,000		353	3	3	(12)	7			
②	観光地イメージアップ推進事業	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。	イ	10	24	6	34	3	15,650	15,650	12,520		3,130			3	3	(2)	ウ			
③	海岸漂着物処理対策事業	観光地としてのイメージアップを図り、伊平屋島の定住を支える重要な産業である観光を振興を推進するため、海岸漂着物の処理を行う小型焼却炉を導入する。	イ	1	24	8	25	3	15,000	15,000	12,000		3,000			3	3	(11)	イ			
④	海浜公園植栽等整備事業	沖縄らしい原風景の創出と安心、安全で利便性、快適性の高い観光地づくりを目指し、台風や塩害に強く、緑陰機能に優れた在来樹種への植栽転換を実施する。また、ハブ対策として防蛇網の整備を行う。	イ	5	24	12	29	3	25,839	25,839	20,671		5,168			3	3	(2)	ウ			
⑤	誘客イベント推進事業	本村の観光振興及び、年間を通じた安定的な集客を図ることを目的とし、各種観光イベントを強化して実施する。また、伊平屋まつり及び伊平屋マラソンを実施する団体への支援を行う。	イ	5	24	6	29	3	27,610	24,610	19,688		4,922		3,000	3	3	(12)	7			
⑥	観光情報発信強化事業	観光情報発信の強化により本村の観光振興を図ることを目的とし、観光ポスター、観光パンフレットの多言語化や、観光施設でのHPの開設を行い、観光情報発信の強化により、本村の観光振興を図る。	イ	1	24	7	25	3	4,800	4,800	3,840		960			3	3	(12)	7			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					事業	事業	交付対象事業費			交付対象外経費									
							開始	終了	A		B			C	負担額				
					年	月	年	月		D					E	F	G		
⑦	多言語観光DVD制作事業	多言語版DVDを制作し、デジタルコンテンツによる、海外の旅行者に本村の魅力を視覚的に訴え、インバウンド観光での観光客増加を目指し、海外に向けて、開かれた観光を目指す。	イ	1	24	12	25	3	4,111	4,111	3,288		823			3	3	(12)	ア
⑧	シャトルバス運行支援事業	空港から運天港までのシャトルバスを運行（需要の高い7～8月は毎日運行、それ以外は週末のみ）し観光客の伊平屋島へのアクセスを向上させることによって、本村の観光振興を図る。	イ	5	24	6	29	3	3,699	3,699	2,959		740			3	3	(2)	ウ
⑨	水道水安定供給対策事業	台風時やイベント時の許容範囲を超えた水需要に対応するため、水道施設の機能強化を行い、観光地としての受入れ体制を強化し、観光客の快適性、利便性等の向上を図る。	イ	1	24	7	25	3	29,480	29,480	23,584		5,896			3	3	(7)	
2	伊平屋島農林水産業振興事業	本村の農業振興を図ることを目的とし、土づくりから生産体制、加工から流通、販売に至る産業基盤の支援を実施する。また、森林の持つ公益機能性を十分に発揮させるため、間伐や保育を行うとともに、新たな産業として林産副産物（木炭・シイタケ等）の生産支援を行う。さらに、水産業振興を図ることを目的とし、台風時のモズク養殖用資材の保管倉庫や大型漁船の避難用施設として漁船の陸上巻き揚げ機と漁船用台車の整備を行う。	ハ	3	24	7	27	3	100,821	100,821	80,656		20,165			3	3	(7)	ア
①	堆肥利用促進事業	堆肥の利用促進による地力向上と減農薬化による農産物のブランド化を目指し、既存の堆肥生産施設の機能強化を実施する。	ハ	1	24	7	25	3	9,120	9,120	7,296		1,824			3	3	(7)	ウ
②	肥培管理及び塩害対策事業	台風等の影響による塩害を最小限に抑えさとうきびの安定収量の確保と農家所得の向上を目指し農業用水用のマリンタンクを設置する。	ハ	2	24	7	26	3	800	800	640		160			3	3	(7)	カ
③	病虫害防除事業	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病虫害の被害を防ぐため防除駆除を実施する。	ハ	3	24	7	27	3	5,000	5,000	4,000		1,000			3	3	(7)	ウ
④	黒糖関連商品の開発・販売支援事業	島の特産品である黒糖商品の需要喚起や販売拡大を目指し新たな特産品の開発と販売支援を行いブランドイメージの向上を目指す。	ハ	2	24	7	26	3	400	400	320		80			3	3	(7)	イ
⑤	干ばつ対策事業	夏場や作付け時期となる秋期・春期の水不足に対応するため、作業効率の高いマリンタンクの設置と送水ポンプを設置し、生産性の効率化と農家所得の向上を目指す。	ハ	3	24	7	27	3	9,200	9,200	7,360		1,840			3	3	(7)	カ
⑥	林産副産物生産支援事業	新たな産業として林産副産物（木炭・シイタケ等）の生産支援を行い雇用の創出と新規特産物の開発を目指す。	ハ	3	24	7	27	3	17,700	17,700	14,160		3,540			3	3	(7)	カ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画該当箇所	備考					
					事業開始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費									
							年	月	年		月	A			B	C	負担額		
					沖縄県	市町村				その他							D	E	F
⑦	モズク用資材保管倉庫整備事業	台風時におけるモズク用資材の保管倉庫を整備し、漁家経営の安定化と担い手支援を行う。	ハ	1	24	7	25	3	40,000	40,000	32,000		8,000			3	3	(7)	エ
⑧	漁船避難施設整備事業	台風や荒天時の漁船等の陸揚げ施設として巻き揚げ機を整備し、漁家経営のリスク軽減化や観光遊漁船の安全性を確保し漁業、マリンレジャー等の産業支援を行う。	ハ	1	24	7	25	3	13,000	13,000	10,400		2,600			3	3	(7)	カ
⑨	特産品等販路拡大推進事業	島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出展を支援する。	ハ	2	24	7	26	3	5,601	5,601	4,480		1,121			3	3	(7)	イ
3	伊平屋島人材育成強化事業	将来の伊平屋島の発展を担う人材の健全な育成を図るため、島外への進学を前提とした人材育成の一環として、家庭、学校、地域が協働で児童生徒を育成する環境やプログラムを構築するための専門員を1名配置する。また、学校環境の安全性を高めるため、水道高架タンクへの追塩装置を設置する。さらに、地域学習の一環として、古くから受け継がれてきた伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。	ハ	5	24	7	29	3	13,192	13,192	10,553		2,639			3	5	(1)	7
	① 島発ち教育推進事業	島に高校がないことから中学卒業後に島発ちすることを前提とした人材育成の一環として、家庭、学校、地域が協働で児童生徒を育成する環境やプログラムを構築するため、コーディネーター、アドバイザーとして専門員を1名配置する。	ハ	5	24	7	29	3	9,980	9,980	7,984		1,996			3	5	(1)	7
	② 伝統文化継承支援事業	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施する。	ハ	5	24	7	29	3	2,090	2,090	1,672		418			3	5	(1)	7
	③ 学校環境整備事業	学校環境の充実と児童・生徒の安全性を確保するため、夏場の直射日光の影響による水道水の残留塩素の希釈を改善する必要があり、高架タンクへの追塩装置を整備する。	チ	2	24	8	26	3	1,122	1,122	897		225			3	5	(3)	ウ
4	伊平屋島定住条件整備事業	離島という特殊事情に起因する沖縄本島との格差については、特に子育て環境、医療福祉、社会的弱者対策において脆弱性が高く、定住促進の妨げとなっていることから、これらの分野を重点的に支援し、あらゆる住民が協働参画し、課題の克服による離島振興を図ることとする。	タ	10	24	8	34	3	110,670	101,803	81,441		20,362		8,867	3	3	(1)	イ
	① 幼稚園預かり保育支援事業	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を配置する。	ヌ	5	24	8	29	3	1,700	1,700	1,360		340			3	2	(2)	イ
	② 妊婦健診渡航費助成事業	妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。	ル	10	24	7	34	3	4,200	3,000	2,400		600		1,200	3	3	(1)	イ
	③ 障がい者自立支援事業	障害者自立支援としてNPO法人等の育成のための地域生活支援について委託を行う。	ヌ	5	24	7	29	3	1,000	1,000	800		200			3	2	(3)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費							振興計画該当箇所				備考
					年	月	年	月	A	交付対象事業費			G	章	節	項目				
										B	C	負担額				(3)	7			
												D						E	F	
交付金交付額		負担額			交付対象外経費															
④	介護ヘルパー養成講座事業	介護体制強化として介護保険ヘルパー資格取得のための養成講座を行う。	ヌ	1	24	7	25	3	1,000	1,000	800		200			3	2	(3)	7	
⑤	高齢者福祉施設整備事業	島内に一カ所しかない高齢者福祉施設の需要増加によるデイサービス時のトイレや洗面等の待ち時間を解消するため既存施設の機能強化を行う。また、ショートステイや緊急避難時の在宅介護者の受入に対応するため、既存事務所や倉庫の増改築に係る設計業務を行う。	ヌ	2	24	11	26	3	49,167	49,167	39,333		9,834			3	2	(3)	7	
⑥	地域自立支援推進事業	行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出・解決策の検討、行動計画の策定を行う。	タ	3	24	7	27	3	8,000	8,000	6,400		1,600			3	2	(7)	7	
⑦	コミュニティビジネス支援事業	コミュニティビジネスの拠点施設としてさとうきび関連商品や野草、薬草等の加工、販売施設を整備する。	タ	2	24	7	26	3	24,603	24,603	19,682		4,921			3	2	(7)	イ	
⑧	自動車航送コスト負担軽減事業	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。	タ	10	24	11	34	3	21,000	13,333	10,666		2,667		7,667	3	3	(11)	7	
5	伊平屋島災害に強い村づくり推進事業	地域住民はもとより訪れる観光客等に安心・安全な地域環境を提供するため「災害に強い村づくり」の構築に向けた、防災マップ、避難マニュアル、非常食、備蓄倉庫等の整備を行う。	レ	2	24	7	26	3	6,000	6,000	4,800		1,200			3	2	(4)	イ	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	伊是名村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	300,000	300,000		300,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					年	月		年	月	A		B	C	負担額			G	章	節	項	
														D		E					F
					合計							437,176	395,968	300,000			95,968		41,208		
1	伊是名島観光振興事業	離島である本村の経済を牽引する先導的な産業として観光産業を位置づけ、平成15年5月に「観光立村」を宣言し平成17年には全国で初めて「環境協力税」を導入するなど、観光と環境美化を大切に観光振興を図っている。 観光客誘客の取り組みとしてトライアスロン大会の開催、更には漁業体験、農業体験などをおした民家体験宿泊を推進し「いげな島体験修学旅行」として県外からの修学旅行生が年々増加傾向にある。 そこで、観光客の受入体制の強化、観光客への災害時の情報伝達による安全面の確保、観光地周辺整備や観光地のイメージアップを目的とした緑化活動、資源を活かした魅力ある観光地に必要ルールづくりなどに取り組み、本村観光振興につなげる。	イ	10	24	7	34	3	364,733	364,733	275,016			89,717			3	3	(12)		
①	観光誘客生活基盤整備事業	観光客が増加傾向にある中、自然災害などにおける観光客の安全面を確保する上で情報通信システムが必要である。本事業では、災害時等に観光客や村民への確に情報提供するための防災行政無線設備を整備し、安全確保に努め安全安心な基盤整備を推進する。	イ	1	24	11	25	3	170,000	170,000	136,000			34,000			3	3	(12)	7	
②	伊是名村観光客受入体制づくり強化事業	伊是名ビーチは、「いげな88トライアスロン大会」の水泳競技の会場であり、5月の連休や夏休みには多くの観光客がキャンプを楽しんでいる。また、「いげな島体験修学旅行」として県外から訪れる修学旅行生の海水浴場として利用されている。しかしながら、当ビーチにはシャワートイレが一箇所しかなく不便な状況となっている。そこで、ビーチ利用者の利便性の向上を図るためシャワー室・トイレ等を一体的に整備し観光施設としての体制づくりを推進する。	イ	1	24	8	25	3	109,643	109,643	87,714			21,929			3	3	(12)	7	
③	観光地等クリーンアップ事業	本村には数多くの史跡や文化財があることから、各種イベントで使用する会場周辺や観光施設、観光ルートの清掃や花木の植栽など美化活動を強化し、島全体の観光地づくりを推進する。	イ	10	24	8	34	3	48,374	48,374	21,931			26,443			3	3	(12)	7	
④	沖縄らしい風景づくり推進事業	本村の魅力ある自然や文化・景観等を保全・活用による人と自然が共生する村づくりを推進するため、地域と一体となった魅力的な観光地となるために必要ルールづくりに取り組むため景観計画を策定する。	イ	1	24	10	25	3	4,728	4,728	3,782			946			3	1	(6)	7	
⑤	いげな尚円王まつり支援事業	いげな尚円王まつりにおいて各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し、PRマスコットキャラクター作成を行い観光客の誘致を図る。	イ	10	24	8	34	3	7,426	7,426	5,940			1,486			3	3	(12)	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間				総事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所				備考		
				事業始期		事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節	項		目	
				年	月	年	月				D	E								F
				交付対象事業費			交付金交付額													
⑥	「尚円王（金丸）生誕の村」整備事業	本村は琉球第二尚氏王朝の始祖、尚円王（金丸）の生誕地であり、平成27年度が尚円王生誕600年となっている。そこで「尚円王生誕600年祭」の開催に向けた尚円王生誕記念誌の発刊、史劇「尚円王・松金がゆく」舞台公演、尚円王歴史資料館の建設、伊是名城趾発掘調査及び復元及び伊是名城趾（グスク）周辺整備事業などを進めていく。 本年度は、尚円王生誕600年祭に向けた各種取組に係る基本計画を策定する。	イ	5	24	11	29	3	11,407	11,407	9,125		2,282			3	3	(11)	イ	
⑦	赤土等流出防止対策事業	本村は、赤土防止対策として数多くの沈砂池が整備されているが、他の地域よりも土の粒子が細かいなどの原因から沈砂池に多量の土砂が堆積し、機能が低下している状況にある。そこで海への赤土流出の防止を図る為、本年度は、沈砂池や排水路等の浸漬及び沈砂池土羽の保護のための張りコンクリート等の機能強化と沈砂池周辺の外来植物であるモクマオやギンネム等の雑木の除去を実施し、美しい自然環境の保全に努め更なる観光振興を図る。	イ	2	24	12	26	3	13,155	13,155	10,524		2,631			3	3	(7)	カ	
2	伊是名島定住条件整備促進事業	伊是名村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、移動の大きな支障となっていることから自動車航送運賃コスト負担の軽減及び妊婦健診や人工透析などの村内で対応できない医療受診のための通院等に要する本島移動費及び宿泊費を助成を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村伊是名村」の振興を図ることを目的として実施する。	ソ	10	24	7	34	3	58,327	17,119	13,694		3,425		41,208	3	3	(11)		
①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストの負担軽減を図る。	ソ	10	24	7	34	3	55,222	14,014	11,211		2,803		41,208	3	3	(11)	7	
②	妊婦健診渡航費助成事業	伊是名村は、専門の産婦人科がなく、本島の医療機関の利用を余儀なくされていることから、安心して出産ができるよう14回の妊婦健診の交通費及び宿泊費を支給する。また、36週以降の妊婦が沖縄県内の宿泊施設で出産待機のために滞在した場合の宿泊費について助成する。	ソ	10	24	9	34	3	1,469	1,469	1,175		294			3	3	(11)	イ	
③	人工透析医療受給者助成事業	伊是名村は、専門の医療施設がないことから、人工透析医療を受ける患者の通院医療の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。	ソ	10	24	9	34	3	1,636	1,636	1,308		328			3	3	(11)	イ	
3	尚円王の里人材育成事業	本村には高校がないため、島の子どもたちは中学校を卒業すると島を出なければならない。親元を離れ自立し日々変化する社会を柔軟に且つたくましく生き抜くために、「生きる力」を育むための教育が必要であり、さらに、教育の質を高めるための取り組みを充実させるため、コーディネータの配置、学習支援員の配置、幼稚園の預かり保育の強化、交流事業の充実、食育環境の充実、生まれ育った島のことを理解させるための学習内容の充実等、人材育成を推進する体制づくりの強化を図る。	ハ	10	24	8	34	3	7,920	7,920	6,334		1,586			3	5	(1)		
①	伊是名村人材育成推進事業	幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め、学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネーターを配置し、時代をこなす児童生徒の人材育成に寄与する。	ハ	10	24	8	34	3	1,200	1,200	960		240			3	5	(3)	7	
②	人材育成事業（日高小との交流事業）	北海道日高小学校と伊是名小学校の児童が、お互いに交流を図ることにより気候や文化の違いを学習することにより、生まれ育った島の良さや誇りを醸成し、人材育成につなげる。	ハ	10	25	2	34	3	1,960	1,960	1,568		392			3	5	(3)	イ	
③	児童生徒島外諸教育活動支援事業	離島である本村の児童生徒の島外での諸教育活動への派遣費を支援し、本村から本島への移動をスムーズに行えるよう実施する。	ハ	10	24	8	34	3	2,236	2,236	1,788		448			3	5	(2)	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期				総事業費					振興計画該当箇所				備考		
					事業始期		事業終期		交付対象事業費			交付対象外経費	振興計画該当箇所							
					年	月	年	月	A	B	C						G			
					交付金交付額			負担額												
D			E			F														
④	小学校社会科副読本編纂事業	離島である本村の未来を担う児童が島の自然や産業について深く学習するための社会科副読本を編纂し学習支援を実施することによって人材育成を図る。	ハ	1	24	8	25	3	2,050	2,050	1,640		410			3	5	(1)	7	
⑤	学習支援配員置事業	本村の未来を担う児童の人材の育成を図る観点から、小学校における教育活動の支援及び学習に遅れのある児童生徒への学習支援を実施する。	ハ	10	24	12	34	3	246	246	196		50			3	5	(3)	7	
⑥	幼稚園預かり支援事業	離島である本村では、学童保育所がないため保護者が安心して仕事ができる環境整備として教育課程に係る教育時間終了後に幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を配置する。	ハ	10	24	12	34	3	228	228	182		46			3	5			
4	①伊是名村土づくり支援事業	村内畜産農家の減少に伴う堆肥原料の不足を補うため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び海上輸送費用を助成し、安定した有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。	ハ	10	24	12	34	3	6,196	6,196	4,956		1,240			3	3	(7)	7	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	久米島町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	390,000	390,000		390,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考					
					年	月		年	月	A	B		C	負担額			G	章	節	項	
														D	E						F
													沖縄県				市町村			その他	
合計								492,875	487,516	390,000		97,516	5,359								
1	久米島農林水産業活性化推進事業	本町の第一次産業を活性化させ、地域の持続的な経済振興を図るため、養殖車エビの新たな出荷体制に向けた施設整備や、モズクの加工ライン整備強化、水産物の島外輸送時の鮮度を保つために必要な冷凍施設の整備等による出荷体制の整備を支援する。 また、島の海洋資源である海洋深層水の冷熱を利用した夏場の野菜栽培技術の実用化を目的とした実証実験を行う。	ハ	3	24	10	27	3	33,725	31,192	24,952		6,240	2,533	3	3	(12)				
①	海洋深層水冷熱利用野菜栽培実証事業	久米島の地域資源である海洋深層水の冷熱利用により、既に確立された夏場の野菜栽培技術の商用化に向けた実証実験を行うため、冷熱利用野菜栽培ハウスの整備を行う。	ハ	3	24	11	27	3	8,400	8,400	6,720		1,680		3	3	(7)	キ			
②	瞬間凍結冷凍庫及び真空包装機整備事業	本町水産業の主要品目である養殖車エビの出荷体制の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、市場での需要が伸びている「活締め（超鮮度凍結）」での出荷を行える施設の整備を実施する団体へ支援する。	ハ	1	24	10	25	3	5,407	4,866	3,892		974	541	3	3	(12)	イ			
③	モズク加工場機能強化事業	本町水産業の主要品目であるモズクの加工施設の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、既存加工施設加工ラインの強化に必要な圧送真空ポンプや梱包機等の整備を行う団体へ支援する。	ハ	1	24	10	25	3	15,918	14,326	11,460		2,866	1,592	3	3	(12)	イ			
④	高温高湿冷凍庫冷凍機整備事業	水産業の出荷体制の強化を図り、水産業の安定経営に繋げるため、水揚げされたマグロ等の輸送時の鮮度を保つために必要な冷凍施設の整備を行う団体へ支援する。	ハ	1	24	10	25	3	4,000	3,600	2,880		720	400	3	3	(12)	イ			
2	久米島特産品開発・販路開拓事業	本町の特産品である久米島紬や海洋深層水等の付加価値を高めるとともに、販売促進及び販路拡大を図るため、県内外でのPRや販売にかかる人材育成、新しい特産品の開発等を実施する。	ニ	10	24	7	34	3	14,511	13,685	10,947		2,738	826	3	3	(12)				
①	久米島紬販売促進事業	久米島紬の付加価値を高め販路拡大を図るため、消費者ニーズに即した商品開発や新商品の展示会やファッションショーの開催、問屋呉服店への販卸訪問等を支援する。	ニ	10	24	7	34	3	2,675	2,407	1,925		482	268	3	3	(12)	ウ			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節		項目					
											年	月							年	月	D	E	F
②	若手後継者育成事業及び販路開拓事業	特産品の販路開拓及び将来の若手事業者の育成を図るため、本町にある高等学校と商工業者が連携した商品開発を行い、さらにパッケージデザインの開発を行うとともに本土地域との物産販売交流の開催や各種商談会・物産展への参加等、開発から販路開拓に関する経費の一部を助成する。	=	10	24	7	34	3	2,511	2,225	1,780		445	286	3	3	(12)	エ					
③	海洋深層水全国展開事業	海洋深層水関連商品の新商品の開発や販路拡大を図るため、首都圏において展示会等を開催し、深層水の有用性などについて効果的なPRイベントを実施する。	=	3	24	7	27	3	2,260	2,260	1,808		452		3	3	(12)	ウ					
④	久米島コーディネーターセンター構築事業	久米島町の特産品を効果的に販売するため、沖縄本島と久米島町に特産品販売に係るコーディネーターを配置し、販売促進の活動を支援する。	=	3	24	7	27	3	2,715	2,443	1,954		489	272	3	3	(12)	ウ					
⑤	東西交流推進事業	海洋深層水関連商品の諸外国への販路開拓を見据え、計画的な貿易に関する研修会等を実施するため、交流候補地であるハワイ州及び中国福州の現地基礎調査及び国際化人材育成計画書（仮称）の策定を行う。	ハ	3	24	8	27	3	4,350	4,350	3,480		870		3	3	(12)	エ					
3	久米島観光誘客促進事業	本町の観光産業を活性化させ持続的な経済振興を図るため、旅行業者と連携した旅行商品の企画、効果的な誘客に繋がるシュガーライド久米島（サイクルイベント）、ハワイアンフェスティバルや桜まつりの開催など観光誘客に繋がる事業を支援する。	イ	10	24	7	34	3	12,620	11,358	9,085		2,273	1,262	3	3	(12)	7					
①	観光誘客促進事業	離島である久米島を知ってもらい、旅行社視点からの本町の魅力をフィードバックさせた旅行商品の企画を行うため、県内外旅行社の企画担当者を招聘する団体へ支援する。	イ	10	24	7	34	3	1,000	900	720		180	100	3	3	(2)	イ					
②	期間限定キャンペーン	久米島観光の付加価値を高め観光誘客の促進を図るため、観光入城客の最小値となる月を絞り込み、期間限定でクーポン券を発行を実施する団体へ支援する。	イ	10	24	7	34	3	3,100	2,790	2,232		558	310	3	3	(12)	7					
③	久米島観光広報推進事業	本町の魅力を積極的に県外、国外へ紹介し、観光誘客の促進を図るため、観光大使や「久米島観光の日」関連イベント等を活用した広報活動を実施する。	イ	10	24	7	34	3	2,300	2,070	1,656		414	230	3	3	(12)	7					
④	久米島シュガーライド開催事業	本町の観光誘客の促進を図るため、本町の魅力的な自然環境を活かした全国規模のサイクルイベントを実施する。	イ	10	24	9	34	3	3,640	3,276	2,620		656	364	3	3	(12)	7					
⑤	ハワイアンフェスティバル開催事業	本町の観光誘客の促進を図るため、国内に50万人を有するフラ愛好家に向けてハワイアンフェスティバルを開催し、南国情緒豊かな久米島をPRする。	イ	10	24	7	34	3	1,100	990	792		198	110	3	2	(12)	7					

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考					
					事業	事業	A	交付対象事業費			G							
					始期	終期		B	C	負担額								
					年 月	年 月				交付金交付額				沖縄県	市町村	その他		
年	月	年	月	D	E	F												
⑥	久米島桜まつり開催事業	本町の観光誘客の促進を図るため、日本一早い桜まつりを開催し自然豊かな南国久米島をPRする。	イ	10	24	10	34	3	1,480	1,332	1,065		267	148	3	3	(12)	7
4	久米島観光客受入体制整備事業	本町の観光ブランドを向上させ持続的な経済振興を図るため、空港内へきめ細かな対応ができる観光案内所の設置、プロ・アマチュア・学生野球キャンプ受入拠点施設の機能強化を図るための整備、観光拠点施設を効果的に結ぶ交通網の整備など観光客の受入体制の整備を実施する。	イ	3	24	7	27	3	241,309	240,571	192,455		48,116	738	3	3	(12)	7
①	観光受入強化事業	観光客受入体制の強化を図るため、本町の玄関口である空港へ島の観光に関するきめ細かな情報の発信が行える案内所の常設や、体験プログラムの開発及び実施等を行う。	イ	1	24	7	25	3	7,387	6,649	5,319		1,330	738	3	3	(12)	7
②	デジタルサイネージによる観光情報提供システム整備事業	観光案内機能を充実させ観光客受入体制の強化を図るため、デジタルサイネージを利用した観光情報提供システムを導入する。	イ	1	24	8	25	3	13,174	13,174	10,539		2,635		3	3	(12)	7
③	地域発信力強化促進事業	新たな久米島の魅力等を効果的に発信する地域の情報発信力の強化を図るため、島内各集落に古くから伝わる芸能及び諸行事のコンテンツ制作及び地域FM放送局を活用した情報発信システムの整備を行う。	イ	3	24	11	27	3	13,500	13,500	10,800		2,700		3	3	(12)	7
④	バーデハウス久米島健康増進システム整備事業	本町を訪れる観光客に対し魅力あるウェルネスリゾートを提供し観光誘客の促進を図るため、水中マッサーや水中運動等の健康増進プログラムを提供しているバーデハウス久米島の健康管理システムの整備を実施する。	イ	1	24	8	25	3	21,426	21,426	17,140		4,286		5	3	(3)	イ
⑤	スポーツコンベンション施設機能強化事業	プロスポーツ等のキャンプ誘致を促進し観光産業の振興を図るため、現在、受入施設として使用している、久米島野球場及び仲里野球場関連施設（屋内運動場の改修、駐車場、食堂上屋、スロアボードの改修）の整備を実施する。	イ	1	24	10	25	3	126,900	126,900	101,520		25,380		3	2	(1)	イ
⑥	観光関連施設循環促進事業	本町を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、点在する島内観光関連施設を連結循環するコミュニティバスを導入する。	イ	1	24	9	25	3	6,000	6,000	4,800		1,200		3	3	(12)	7
⑦	防災まちづくり事業	安全で安心な観光地の形成を図るため、台風襲来等の災害時の避難経路や避難所等を表示した防災マップの作成、避難所に必要な毛布等及び自主防災の活動に必要な資機材を配備する。	イ	1	24	12	25	3	47,922	47,922	38,337		9,585		3	2	(4)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考							
					事業 初期	事業 末期	A	交付対象事業費			B		C	負担額			G	章	節	項	目		
								年	月	年				月	D							E	F
⑧	ヤジヤーガマ整備事業	本町唯一の鍾乳洞であるヤジヤーガマを観光施設としての利活用を促進するため、自然環境や生息する動植物に配慮した自然体験施設として整備する。	イ	2	24	12	26	3	5,000	5,000	4,000					3	3	(12)	7				
5	久米島環境保全・美化推進事業	本町の観光資源である自然環境を保全し持続的な地域経済の振興を図るため、赤土流出対策、防犯灯のLED化によるCO2排出抑制、島在来植物に特化した公園整備を行う。	レ	10	24	7	34	3	151,271	151,271	121,012					3	1	(3)					
①	赤土等流出防止対策事業	農地保全是もとより観光資源である海岸の保全を図るため、裸地状態の畑へグリーンベルト（ベチパー）の植栽や増殖を行うとともに、排水路に堆積した赤土のしゅんせつ等を実施する。	レ	10	24	7	34	3	3,389	3,389	2,711					3	1	(1)	1				
②	球美の島エコアイランド推進事業	低炭素島しょ社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため、町内に設置されている水銀街灯のLED化事業等を実施する。	レ	5	24	11	29	3	79,829	79,829	63,859					3	1	(3)	7				
③	球美の島緑化推進事業	久米島に自生している花や花木（クメノサクラ、ツツジ、椿、ショウキズイセン等）の保全を図るために、島の在来花木を年中楽しむことができる公園整備を実施する。	レ	3	24	8	27	3	68,053	68,053	54,442					3	1	(1)	1				
6	久米島地域資源発掘・活用促進事業	本町の有する豊かな自然や歴史・文化等の地域資源を効果的に活用するため、赤瓦の古民家の保存など魅力的な景観の創出、芸能・文化等の保存継承等を行う。また、若い世代の地域づくりへの積極的な参画を図るため、現代版組踊りの制作等を実施する。	リ	10	24	7	34	3	30,706	30,706	24,563					3	1	(4)					
①	沖縄らしい風景づくり推進事業	本町の優れた景観を次世代に受け継ぐため、準景観地区景観形成基準策定のための調査を行う。	リ	1	24	9	25	3	2,901	2,901	2,320					3	1	(6)	7				
②	古民家活用事業	本町に数多く点在する伝統的な赤瓦の古民家を保全活用し美しい景観の創出を図るため、本町の偉人である仲原善忠生家の保全整備の他、町内にある古民家空家の整備改修のための調査を実施する。	リ	5	24	11	29	3	5,000	5,000	4,000					3	1	(6)	7				

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業 始期	事業 終期	A	交付対象事業費			G							
								B	C	負担額								
										D				E	F			
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月							
③	個性豊かな文化の振興事業	伝統芸能の保存及び後継者育成を推進し地域伝統文化の振興を図るため、文化振興の活動を行なっている団体の行う保存継承イベント開催を支援する。	リ	5	24	7	29	3	4,255	4,255	3,404		851		3	1	(4)	1
④	文化遺産保存活用事業	指定文化財及び天然記念物である樹木や久米島博物館の蔵書・資料等を保全しこれら文化遺産の有効活用を図るため、台風等の自然災害対策及び樹勢回復処置の実施や久米島博物館へ収蔵されている蔵書・資料等の整備を実施する。	リ	10	24	8	34	3	2,587	2,587	2,069		518		3	1	(4)	7
⑤	音楽で元気な島づくりサポート事業	学校での部活動のみならず町内で開催される各種イベント等において活躍している生徒を、地域活性化を推進する各種イベントへの積極的な参画を促進するため、活動に必要な楽器を購入する。	リ	1	24	12	25	3	13,875	13,875	11,100		2,775		3	1	(4)	1
⑥	久米島現代版組踊り創作事業	若い世代の地域づくりへの積極的な参画を促進し魅力ある観光地形成を図るため、久米島の歴史的遺産にスポットをあてた現代版組踊り創作の脚本を制作する。	リ	3	24	12	27	3	2,088	2,088	1,670		418		3	1	(5)	7
7	久米島教育環境の充実・整備事業	本町の児童生徒が離島である地理的要因等に左右されない教育環境を享受できるよう、外国語指導員の配置及び教育情報通信環境の整備を行う。	チ	10	24	8	34	3	8,733	8,733	6,986		1,747		3	5	(4)	7
①	英語指導員配置事業	小学校における外国語活動及び国際理解教育を充実させるために英語指導員を配置する。	チ	10	24	8	34	3	1,483	1,483	1,186		297		3	5	(4)	7
②	学校ICT環境整備事業	児童・生徒の情報リテラシーの向上や離島における公平な教育機会を確保するために、HP更新環境の整備や特別支援学級へのタブレットPCの導入等を実施する。	チ	1	24	10	25	3	7,250	7,250	5,800		1,450		3	5	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	八重瀬町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	560,000	560,000	-676	559,324

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費				交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考				
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額							
					年	月					年				月	D	E	F
					交付金交付額													
合 計								710,499	699,159	559,324	139,835	11,340						
1	八重瀬町人材育成事業	本町では、外国語指導強化、パソコン指導強化などを早期教育で実施し、伝統芸能や文化等の特色を絡めながら重点的に行うことで、学力向上はもちろん、郷土愛溢れる豊かな人材を育成する。さらに、中学生を外国へ派遣する国際交流事業でも、早期教育で国際力に強いリーダーの育成を図る。	イ	10	24	6	34	3	115,947	115,947	92,757	23,190		3	5	(4)		
①	八重瀬町外国語指導強化事業	小学校・幼稚園において国際化に柔軟に対応できる力を養うため、通常の授業とは別に、夏休みや冬休みを利用した特別英語教室を開催し、通年で英語に興味を持たす。	イ	10	24	7	34	3	12,864	12,864	10,291	2,573		3	5	(4)	7	
②	八重瀬町パソコン指導強化事業	迅速に進むIT社会へのニーズに伴うべく、パソコン操作の能力向上を、義務教育で強化する。ITに特化した指導員を町内の小中学校に配置し、指導、推進していく。	イ	10	24	7	34	3	4,875	4,875	3,900	975		3	5	(4)	7	
③	八重瀬町伝統芸能文化の継承事業	中学校2校において、伝統芸能の特別授業を行い八重瀬町の伝統文化の継承を図るため、組踊、三線、エイサー等の講演会を開催する。	イ	10	24	6	34	3	1,208	1,208	966	242		3	5	(1)	7	
④	八重瀬町国際交流人材育成事業	国際性に富んだ創造性豊かな人材育成を図るため、中学校2校から2、3年生男女1名ずつ計8名を国外へ派遣し青少年国際交流を行う。	イ	10	24	7	34	3	7,000	7,000	5,600	1,400		3	5	(4)	7	
⑤	八重瀬町IT学習環境強化事業	IT社会へのニーズに対応すべく、早期教育でパソコン操作等の学習を強化するためにも、学校のIT学習環境を整える。	イ	1	24	9	25	3	90,000	90,000	72,000	18,000		3	5	(4)	7	
2	八重瀬町観光資源活性化事業	沖縄県の観光客が増加するなか本町においては観光資源が乏しく通過地点でしかない。そのため、歴史文化遺産(港川フィッシャーや富盛の石彫大獅子等)の資源の活用や運動公園施設等の整備を行いスポーツツーリズムの推進を図る。観光情報の収集・発信でPRの強化を図り、イベント開催等を行うことで農産物や特産物の販売促進に結び付く観光拠点づくりに取り組む。 また、観光客が安心して観光ができるよう、災害時の非常食を備蓄して災害に備えた観光地を目指す。	イ	10	24	6	34	3	468,587	468,587	374,868	93,719		3	3	(2)		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考						
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外経費									
					年	月	年	月	A		B			C	負担額				
					年	月	年	月							沖縄県	市町村	その他		
年	月	年	月	A	B	C	D	E	F	G									
①	八重瀬町イベント事業	観光客誘客を図るため、町特有の地域資源を活用したイベントを行い、国内外へ情報を発信することで観光地の集客を図り、地域特産物等のPR等を実施する。	イ	10	24	6	34	3	1,735	1,735	1,388		347			3	3	(2)	イ
②	八重瀬町観光地美化作業事業	観光地としての魅力向上を図るため、町内の観光客が訪れる観光地や施設、観光地アクセス道路等の美化清掃を行う。	イ	10	24	6	34	3	24,959	24,959	19,967		4,992			3	3	(2)	ウ
③	八重瀬町景観計画策定事業	本町の街並み、風景、歴史遺産等を観光資源として活用するため八重瀬町景観計画を策定する。	イ	1	24	6	25	3	5,250	5,250	4,200		1,050			3	1	(6)	7
④	災害に強い観光地づくり事業	町防災計画により町人口の5%の3日間分の食糧確保が必要であるが、その計画では想定されていない観光客に対応する分の非常食の購入を行う。	イ	1	24	6	25	3	1,744	1,744	1,395		349			3	3	(2)	ウ
⑤	港川フィッシャー整備事業	港川人発見場所の港川フィッシャーを新たな観光資源として活用するため、八重瀬町港川にある港川人発見場所である港川フィッシャーを整備し観光資源に活用する。	イ	5	24	6	29	3	115,118	115,118	92,094		23,024			3	3	(2)	ウ
⑥	八重瀬町水産観光資源事業	八重瀬町の港川漁業協同組合と協働で、水産業を活かした資源を観光につなげるために、追込み漁等の伝統漁業の体験や、浮漁礁での沖釣り体験などを行えるよう安全に漁船へ乗り込める梯子を設置する。	イ	1	24	6	25	3	450	450	360		90			3	3	(2)	ウ
⑦	富盛石彫大獅子周辺整備事業	本町にある沖縄県最古で最大である石彫の大獅子を観光資源として活用するために、駐車場等の周辺整備を行う。	イ	1	24	6	25	3	5,001	5,001	4,000		1,001			3	3	(2)	ウ
⑧	資料館観光活用事業	化石人骨「港川人」を中心に展示が行われている本町立資料館を観光地として活用し充実を図るため、不足している展示ケースの購入を行い、貴重な資料等の展示公開を行う。	イ	1	24	6	25	3	1,260	1,260	1,008		252			3	3	(2)	ウ
⑨	ぐしちゃん朝市日除け設置事業	朝市開催場所に日除けを設置し、地元で生産された農水産物・加工品の展示販売を行うことで、地産地消を推進し、農家や高齢者、女性等の活躍の場になり地域の活性化に繋がるとともに、当該展示販売を南部観光の主要通過道路である国道沿いで開催する事により、観光客への地元特産物PRにつながる。	イ	1	24	9	25	3	6,865	6,865	5,492		1,373			3	3	(7)	イ
⑩	破名城の郷整備事業	破名城の浜を整備することにより、観光施設の充実を図り、町のイベントや浜での自然体験等を行うことにより観光振興につなげるため、アクセス道路や遊歩道及び海浜公園等の整備を行う。	イ	5	24	9	29	3	52,940	52,940	42,352		10,588			3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画 該当箇所			備考			
					始期	終期	交付対象事業費			交付対象外 経費									
					年	月	年	月	A		B	C	負担額				G		
					年	月	年	月		沖縄県 D			市町村 E	その他 F					
①	運動公園施設等整備事業	プロチーム・大学のキャンプでも利用されるサッカー場・野球場・ソフトボール場等の施設を整備しハイレベルな練習環境を整え、スポーツツーリズムの振興を図る。	イ	5	24	9	29	3	253,265	253,265	202,612		50,653			3	2	(1)	イ
3	八重瀬町ブランド創造事業	本町に数多くある地域資源を観光ブランドとして定着させるため、地域資源の掘り起こしや商品開発、物産展の開催等を実施する。	イ	10	24	7	34	3	28,557	28,557	22,845		5,712			3	3	(9)	
①	八重瀬観光資源構築に関する事業	八重瀬のブランドを構築するために、八重瀬ブランドのデザイン（ロゴ・パッケージ等）の製作及び効果的に情報発信するためPRキャラクターの創出を図る。また、それらを活用して県内外へPRを行う。	イ	2	24	7	26	3	5,757	5,757	4,605		1,152			3	3	(9)	イ
②	八重瀬町観光資源ブランド開発に関する事業	本町の地域資源を魅力ある観光資源として提供するために、地域資源の掘り起こし、そして魅力を伝えるための観光資源のプログラム化、さらに安全管理等を含めた人材育成を実施する。	イ	10	24	7	34	3	10,000	10,000	8,000		2,000			3	3	(9)	イ
③	八重瀬カラベジブランド構築に関する事業	地域ブランドとして「八重瀬カラフルベジタブルプロジェクト」が定着しつつあり、今後、販路拡大を図り生産者の所得向上及び地域活性化を図るため、カラベジ製品の開発や物産展の開催によるPR等を実施する。	イ	10	24	7	34	3	10,500	10,500	8,400		2,100			3	3	(9)	イ
④	八重瀬観光資源ブランド情報発信に関する事業	八重瀬の魅力ある観光資源の情報を観光客の視点から余すところ無く必要な情報を与えるため、八重瀬町観光資源マップ及びパンフレットを作成する。	イ	1	24	7	25	3	2,300	2,300	1,840		460			3	3	(2)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費								
							年	月	年		月			A	B	C	負担額	
					沖縄県	市町村				その他							D	E
4	八重瀬町農業振興事業	本町の基幹作物である、さとうきびの安定生産を図り、生ゴミ再資源化の取り組みを促進することにより循環型農業を促進する。	ハ	2	24	6	26	3	58,260	46,920	37,536		9,384	11,340	3	3	(7)	
①	農業機械整備事業	さとうきびを中心とした農業振興を図るため、共同利用機械（バックフォー等）を整備する。	ハ	1	24	7	25	3	56,700	45,360	36,288		9,072	11,340	3	3	(7)	カ
②	八重瀬町循環型環境保全事業	生ゴミをゴミとして焼却するのではなく、肥料として活用しゴミの減量化を行うことで循環型農業の取り組みを行う。	ハ	2	24	6	26	3	1,560	1,560	1,248		312		3	1	(2)	7
5	① 沖縄特殊戸籍システム電算化事業	本町で保管している戦災滅失した戸籍を再製するために作成された臨時戸籍及び福岡戸籍等をデータ化することで、原本の劣化、滅失防止を図る。	ソ	1	24	7	25	3	38,555	38,555	30,844		7,711		3	2	(5)	イ
6	① 慰霊顕彰碑管理事業	本町の具志頭城址に設置されている具志頭戦没者芳名板へ戦没者名を追加・修復し毎年開催されている町主催の慰霊祭において戦没者の御霊を慰め小・中学生への平和学習の場として活用する。	ソ	1	24	7	25	3	593	593	474		119		3	4	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	多良間村	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	270,000	270,000		270,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期		事業終期		総事業費					振興計画該当箇所	備考			
					年	月	年	月	交付対象事業費		交付対象外経費							
									A	B	C	負担額						
					D	E	F	G										
合 計									346,500	346,500	270,000		76,500					
1	多良間村災害に強い観光まちづくり推進事業	多良間島・水納島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、災害時における観光客等への安全安心を確保するための避難場所や住民と観光客の交流拠点、離島の人材育成拠点として活用できる総合施設を整備する。 また、海拔が非常に低い水納島に住民や観光客の安全安心を確保するための津波避難施設を整備することで、災害に強い観光地として本村のブランド力向上を図る。	イ	1	24	10	25	3	346,500	346,500	270,000		76,500		3	3	(2)	ウ
①	多良間多目的拠点施設整備事業	島の定住を支える重要な産業である観光振興を図る為、災害時における観光客等への安全安心を確保するための避難場所や住民と観光客の交流拠点、離島の人材育成拠点として活用できる複合施設を整備する。	イ	1	24	11	25	3	314,000	314,000	244,000		70,000		3	3	(2)	ウ
②	水納島津波避難施設整備事業	海拔が非常に低い水納島に、住民や観光客の安全安心を確保するための津波避難施設を整備することで、災害に強い観光地として本村のブランド力向上を図る。	イ	1	24	10	25	3	32,500	32,500	26,000		6,500		3	3	(2)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	竹富町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	500,000	500,000		500,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考			
					年	月	年	月	A	交付対象事業費				G		
										B	交付金交付額				C	
											D					E
合計							640,037	640,037	500,000	140,037						
1	島じまの資源を活かす観光環境整備プロジェクト	本町が有する自然・文化資源等の地域資源を活用した観光振興を図るため、駐車場やピーチトイレ等の観光施設の受入体制整備や、新たな地域資源の調査や計画策定、誘致対策や関連する施設整備等を実施する。	イ	2	24	8	26	3	409,003	409,003	327,187	81,816	3	3	(12)	7
①	波照間観光関連施設整備	観光スポットとしての利便性向上、施設環境整備の促進を行い観光客受入体制整備を図るため、波照間島のニシノ浜トイレ・シャワー施設の機能強化を行う。また、観光スポットとなっている「最南端の碑」に駐車場を整備する。	イ	1	24	9	25	3	7,000	7,000	5,600	1,400	3	3	(12)	7
②	旧太陽の村危険廃屋解体撤去及び公園等整備事業	廃屋となっている旧太陽の村は優れた自然景観を有する地域にあり、その自然環境及び景観を損なわせるような状態にある。本町の魅力ある大自然の景観保全を図り観光客受入環境整備を図るため、危険建物を撤去し、展望台や公園等の整備を行う。	イ	2	24	9	26	3	50,883	50,883	40,706	10,177	3	3	(12)	7
③	小浜島観光関連事業	島内で唯一のマングローブ林が形成され観光地となっている小浜島のカトレ地区の観光受入環境整備を行うため、進入道路及び駐車場を整備する。	イ	2	24	9	26	3	7,750	7,750	6,200	1,550	3	3	(12)	7
④	西表浦内観光関連事業	浦内川のカヌー体験やジャングルクルーズ等により観光客が増加している西表島浦内の観光客受入環境整備のため、駐車場を整備する。	イ	1	24	9	25	3	57,264	57,264	45,811	11,453	3	3	(12)	7
⑤	仲御神島周辺海域資源有効活用調査等事業	国の天然記念物に指定されている仲御神島の自然資源の有効活用と今後の安定した観光産業の振興を図るため、同島の自然保護に関する調査研究を実施し、さらに新たな観光資源の発掘調査を実施する。	イ	1	24	9	25	3	105,020	105,020	84,016	21,004	3	3	(12)	7
⑥	竹富町観光振興基本計画策定事業	竹富町の観光振興基本計画を策定し、観光を中心とした各島の拠点形成を図る上で必要なルールの策定、関連施設の整備や開発計画の適正な誘導配置に取り組み、自然環境に配慮した通年型・滞在型観光を育成することを目的に観光振興の方針を定める。	イ	1	24	9	25	3	6,423	6,423	5,138	1,285	3	3	(12)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考						
					事業始期	事業終期		A	B	C	負担額			G	章	節		項目					
											年	月							年	月	D	E	F
⑦	観光客誘致対策事業	竹富町・石垣市・与那国町と連携し、八重山・竹富町への観光客誘致を目的に、県内外で、街頭キャラバンや大商談会、マスコットキャラクターを活用したキャンペーン等、観光客誘致プロモーションを実施する。	イ	1	24	8	25	3	15,955	15,955	12,764				3	3	(12)	7					
⑧	由布島駐車場整備事業	島間海域を水牛車で渡る人気の高い観光地である由布島の観光客受入環境整備のため、駐車場の舗装整備を実施する。	イ	1	24	9	25	3	16,900	16,900	13,520				3	3	(12)	7					
⑨	竹富町観光振興動画ナビ整備事業	本町の多様性に富んだ優れた自然環境、多様な民俗芸能を県内外に発信し知名度を向上させ観光客につなげるため、観光PR用の映像を制作する。	イ	1	24	8	25	3	6,849	6,849	5,479				3	3	(12)	7					
⑩	種子取祭会場整備事業	国の重要無形民俗芸能文化財に指定されている種子取祭の奉納芸能の会場で使用する、世持御嶽神前舞台を見学者の安全や景観保全を図り機能強化するため、固定式鉄骨組から移動式骨組へ変更する。	イ	1	24	11	25	3	9,156	9,156	7,324				3	3	(12)	7					
⑪	子午線ふれあい館再生プロジェクト事業	東経123度45分6789秒下にある「子午線ふれあい館」施設での地域特産品販売促進等や観光施設としての機能強化を図るため、太陽光パネルや駐車場等の整備、地域特産品の販売促進、観光客との文化交流体制づくり等の地域支援を実施する。	イ	1	24	11	25	3	48,000	48,000	38,400				3	3	(12)	7					
⑫	竹富町地域総合ポータルゲートウェイ事業	竹富町内における周遊観光の推進と特産品の販路拡大に向けた環境整備を図るため、地域における生活情報や観光情報を地元住民が参画して情報発信できるシステムの構築と、各島々の情報を地域住民が互いに共有するとともに、地域住民と観光事業者がホスト役として連携し、島々の魅力を発信できるサイトの構築を行う。	イ	1	24	10	25	3	64,288	64,288	51,430				3	3	(12)	7					
⑬	仲本海岸アプローチ整備事業	黒島の仲本海岸は多くの観光客が訪れる場所であり砂浜へは急勾配の岩場を通り抜けて砂浜を利用している状況である。安心・安全な観光地の整備を行うため、砂浜へのアプローチを整備する。	イ	1	24	10	25	3	3,499	3,499	2,799				3	3	(12)	7					
⑭	登録有形文化財伊古棧橋整備事業	国の登録有形文化財である伊古棧橋は台風時の波等によって崩壊が進んでおり、その保全と見学者の安全を確保するため、伊古棧橋の保全整備を実施する。	イ	1	24	10	25	3	10,016	10,016	8,000				3	3	(12)	7					
2	島じまの資源を活かす景観保全プロジェクト	本町が有する沖縄特有のまちなみや景観保全、沖縄らしさや質の高い観光地を形成するため、観光地や道路、文化財等の観光関連施設等の美化や整備、景観計画策定等を実施する。	イ	10	24	6	34	3	56,388	56,388	45,108				3	1	(6)						

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考																
					事業始期	事業終期	A	交付対象事業費			G																		
								年	月	年				月	C	負担額													
					年	月										年	月	D	E	F									
①	風景づくり推進事業	近年の観光産業の急速な進展により、良好な景観を占有したような状態で建物及び宿泊施設等が建設されている状況があり、魅力ある竹富町本来の景観を維持・継承・発展を図るため、竹富町景観計画の策定、景観条例を制定する。	イ	1	24	8	25	3	5,413	5,413	4,330		1,083																
②	観光景観地指定文化財美化保全事業	沖縄らしさや、魅力ある観光地づくりを推進し、観光振興を図るため、観光スポット・拠点となっている、本町が有する国・県・町指定文化財の美化・保存を実施する。	イ	10	24	8	34	3	3,250	3,250	2,600		650																
③	黒島地区主要路線ギ木化事業	黒島の主な産業は肉用牛生産と観光産業となっており、島内には各所で遊牧のため有刺鉄線が張り巡らされている。観光地に適した景観を形成するため、牧柵を有刺鉄線からギ木化する。	イ	10	24	10	34	3	34,484	34,484	27,587		6,897																
④	観光道路美化推進事業	島々に残された沖縄特有のまちなみや自然景観にマッチした観光道路を創出し、島内観光の質の向上を図るため、主要観光アクセス道路を美化推進する。	イ	10	24	10	34	3	4,696	4,696	3,756		940																
⑤	竹富町デイゴヒメコバチ防除事業	沖縄特有のまちなみや自然景観を保存し、観光地としての景観形成を図るため、県花であるデイゴ木へのデイゴヒメコバチ防除のための薬剤樹幹注入を行う。	ソ	1	24	12	25	3	2,541	2,541	2,032		509																
⑥	竹富町（西表島）ペット適正化飼養推進事業	西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅の恐れがあるイリオモテヤマネコを保全するため、西表におけるペットの適正飼養を推進する。西表ペット適正飼養推進会議の開催や、イエネコ持込制限に関する調査、収容したペットの飼育ボランティア制度の確立等を実施する。	レ	1	24	6	25	3	6,004	6,004	4,803		1,201																
3	島じまの産業を守るプロジェクト	収益性のある計画的な母牛の導入や口蹄疫防除、糖施設の近代化による畜産・さとうきびの基幹産業の生産・経営安定化を図るため、優良雌牛の導入助成や口蹄疫防除対策、製糖施設の整備を実施する。	ハ	10	24	9	34	3	104,764	104,764	71,802		32,962																
①	竹富町和牛生産推進事業	本町の和牛生産を推進するため、口蹄疫侵入防止対策として、各離島港湾に消毒専用マットを設置し、消毒薬散布等を実施する。また、優良母牛購入費用の一部を助成する。	ハ	10	24	9	34	3	9,463	9,463	7,570		1,893																
②	含みつ糖製糖施設近代化事業	製糖事業者の安定操業を確保し、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」の振興を図り、製糖事業者の経営体質強化につなげるため、製糖事業者が取り組む製造コストの低減、品質向上及び衛生管理の徹底等に資する施設整備等を支援する。	ハ	1	24	9	25	3	95,301	95,301	64,232		31,069																

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。

2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。

3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所	備考					
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費								
							A	B	C		負担額							
											D			E	F	G		
4	島人の安心・安全福祉プロジェクト	離島・へき地における定住促進や地域の活性化による本町・本県の振興を図るため、妊婦検診や出産費用の経済的負担への助成や子育て支援等を実施する。	ス	1	24	8	25	3	2,891	2,891	2,312		579		3	2	(2)	
①	竹富町妊婦支援事業	本町には産婦人科の医療機関がなく、妊婦は町外の出産施設へ待機宿泊をする必要があり経済的負担となっている。そのため、妊娠出産にかかる経済的負担の軽減を図り定住環境の充実を図るため、妊婦の渡航費並びに県内での宿泊費を助成する。	ス	1	24	8	25	3	2,374	2,374	1,899		475		3	2	(2)	ア
②	子育て支援環境整備事業	離島・へき地において、地域の中で安心安全に育児・子育てができる環境を整備するため、育児サポーター育成や相互援助活動支援等を実施する。	ス	1	24	9	25	3	517	517	413		104		3	2	(2)	イ
5	島人の安心・安全教育プロジェクト	離島・へき地における地域人材や将来を担う人材の育成を図るため、教育環境・設備の充実、強化や派遣費の助成を実施する。	チ	1	24	8	25	3	12,700	12,700	10,159		2,541		3	5	(2)	
①	読書支援事業	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の地域住民への生涯教育支援として、学校図書室を地域へ開放すると共に、図書事務員を配置する。	チ	1	24	10	25	3	1,666	1,666	1,332		334		3	5	(2)	ア
②	竹富町内小学校社会3、4年生副読本製版	琉球大学教育学部と連携して作成・編集してきた、竹富町内の自然・文化・産業を網羅した小学校3、4年生の社会で使用される副読本を製本し、町内各小学校に配布し、社会科学習の充実を図る。	チ	1	24	11	25	2	2,500	2,500	2,000		500		3	5	(1)	ア
③	ライフジャケット設置事業	竹富町内全幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒及び全職員に地震・津波・洪水等に備えるための災害用救命胴衣を配布する。	レ	1	24	10	25	3	5,884	5,884	4,707		1,177		3	5	(3)	ウ
④	竹富町児童・生徒の心と体を育む支援事業	竹富町内の児童生徒が、町外へスポーツ大会や各種コンクール等の受賞者として派遣される際の、派遣費用を補助する。	チ	1	24	8	25	3	2,650	2,650	2,120		530		3	5	(2)	ア
6	簡易水道施設遠方監視装置整備事業	島嶼における安定的な給水体制や観光客受入体制及び離島での観光産業をはじめとする地域産業を確立するため、簡易水道施設の遠方監視装置のシステム及び設備整備を実施する。	タ	1	24	9	25	3	49,690	49,690	39,752		9,938		3	3	(11)	イ
7	福岡戸籍電子化整備事業	戦災で焼失し、戦後、調製された仮戸籍（福岡戸籍）を電子データ化する。	ソ	1	24	10	25	3	4,601	4,601	3,680		921		3	2	(5)	イ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	与那国町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,280,175	270,000	270,000		270,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期	事業終期	総事業費						振興計画該当箇所	備考						
							交付対象事業費					交付対象外経費			章	節	項	目		
							A	B	C	負担額									G	
										D	E									F
合計							337,557	337,557	270,000		67,557									
1	観光客等誘致促進・受入体制強化事業	日本最西端の与那国島を魅力あふれる観光地にするため、豊富な自然資源・景観・伝統文化・芸能に触れ、体験できる「場」の充実や、「日本最西端与那国島国際カジ釣り大会」等のイベントと連携した他のイベントの開催による観光誘客の促進、Webサイトや旅行事業者等と連携した各種広報媒体等を活用した「情報発信」体制の構築、海水浴場に公衆トイレや水場の受入体制整備等を実施する。	イ	5	24	7	29	3	96,114	96,114	76,848		19,266		3	3	(12)	7		
①	地域振興対策事業	観光客等の誘客と滞在時間の長期化を促進するため、「日本最西端与那国島国際カジ釣り大会」等の既存の観光イベントにゲスト等の招待やギネス世界記録挑戦イベントなど新たなイベントの開催、本町の観光メニューのPR及び情報発信等を行う。	イ	5	24	6	29	3	8,700	8,700	6,960		1,740		3	3	(12)	7		
②	海水浴施設整備事業	本町には、美しい砂浜が広がる海水浴場が存在しているが、これら海水浴場には公衆用トイレや水場などの施設がなく、利用者に不便をきたしており、利便性や地域の景観の向上を図るため、景観に配慮した公衆トイレ及び水場を整備する。	イ	1	24	7	25	3	20,259	20,259	16,207		4,052		3	3	(12)	7		
③	観光景観維持事業	観光客等利用者の利便性向上と安全性確保のため、西崎展望台「日本最西端」及び東崎の転落防止柵（擬木）を石積柵に更新する。	イ	1	24	8	25	3	4,000	4,000	3,200		800		3	3	(12)	7		
④	与那国町観光振興計画事業	産業が乏しい本町において、観光は経済の底上げが期待できる数少ない分野である。観光振興から他産業への波及効果を図っていくためにも、滞在型観光の推進や、地域固有の伝統文化を観光資源として活用するなど、計画的な観光振興が必要である。そのため、観光産業を主体として地域全体の活性化につながる「与那国町観光振興計画」を策定する。	イ	1	24	7	25	3	8,662	8,662	6,888		1,774		3	3	(12)	7		
⑤	サンニヌ台景勝地整備事業	利便性と安全性が確保された景勝地を提供し観光客が安心して利用できる環境を整備するため、崖の崩落および塩害により危険な状態のサンニヌ台の展望台と遊歩道の整備を実施する。	イ	1	24	9	25	3	26,437	26,437	21,149		5,288		3	3	(12)	7		

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画 該当箇所	備考						
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費									
					年	月	年	月	A		B			C	負担額				
															D	E	F	G	
⑥	久部良バリエ観光地駐車場整備事業	県指定の観光名所のある久部良バリエにおいて、観光客等の利便性向上を図るため、アクセス道路及び駐車場の整備を行う。	イ	1	24	9	25	3	28,056	28,056	22,444		5,612			3	3	(12)	7
2	農水産業活性化事業	安定した農業生産基盤を構築するため、農業用水用のため池及びかんがい排水施設の整備を実施する。また、生産効率を向上させる近代生産施設の導入や、輸送時の品質低下を防ぐための簡易農道（石粉道路）の表層舗装及び町道・農道の雑木伐採等を実施する。	ハ	5	24	7	29	3	20,000	20,000	16,000		4,000			3	3	(7)	カ
3	教育環境充実事業	「国境」の「孤島」である与那国島に安心して住み続けるために必要な教育環境の格差是正と、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供することにより、町の将来を担う人材を育成すると共に島外との交流・交易を推進し、将来の人口の増加と地域の活性化を図る。	チ	5	24	7	29	3	21,688	21,688	17,350		4,338			3	3	(11)	イ
①	家庭学習支援モデル事業	小中学生を対象とする家庭学習支援のため、既存の複合型公共施設に設置されているWeb会議システムを用いたオンライン双方向授業を行い「町営学習塾」を開設する。	チ	5	24	7	29	3	11,508	11,508	9,206		2,302			3	3	(11)	イ
②	教育諸活動助成事業	与那国に住む子供たちが持つ多様な能力・才能を発揮する機会を提供するため、児童生徒の各種大会派遣費（航空運賃等）を助成する。	チ	5	24	7	29	3	6,140	6,140	4,912		1,228			3	3	(11)	イ
③	地域国際交流事業	本町の姉妹都市である台湾・花蓮市への小学生のホームステイを行い、島の次世代を担う青少年に異文化交流と体験学習を深めることにより、国際的な広い視野と高い語学力を持つ人材を育成を図る。	チ	5	24	8	29	3	2,980	2,980	2,384		596			3	3	(12)	オ
④	与那国町ジュニア海外語学研修派遣事業	町内の中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への語学研修（短期ホームステイ）の支援を行い、海外での生活体験を通して外国語への学習意欲を喚起する。また、国際交流を通して地域文化を見つめ直す機会を提供する。	チ	5	24	8	29	3	1,060	1,060	848		212			3	3	(12)	オ
4	地域文化の継承と生涯学習支援事業	「国境」の「孤島」である与那国島固有の伝統文化を次世代に伝承すると共に、地域組織の活性化と青少年指導者の育成及び生涯学習環境づくりの推進、与那国島固有の言語・伝統・文化の継承を通じた世代間の交流と次世代の人材の育成を図る。	リ	5	24	7	29	3	2,310	2,310	1,848		462			3	1	(4)	7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以上としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画該当箇所			備考			
					事業始期	事業終期	交付対象事業費			交付対象外経費	章	節	項目						
							A	B	C					負担額					
					年	月								年	月		D	E	F
5	安心・安全のまちづくり事業	世代を超えて住み続けるために必要不可欠な定住条件を整備することを目的として実施する。	×	1	24	8	25	3	132,898	132,898	106,318		26,580			3	3	(11)	イ
①	子育て支援事業	働きながら子供を育てることができる環境の整備を行い子育て支援の充実を図るため、老朽化した祖納保育所を新たに整備する。	×	1	24	8	25	3	96,098	96,098	76,878		19,220			3	2	(2)	イ
②	介護支援事業	本町唯一の居宅介護支援事業所が平成24年3月末で閉鎖し、利用者に十分な介護サービスの提供が行えない状況にある。今後安定したサービスを提供するため居宅介護支援センターの整備を図る。	×	1	24	8	25	3	36,800	36,800	29,440		7,360			3	2	(3)	イ
6	地域医療充実支援事業	本町における地域医療体制の維持・充実に図り、周囲を海に隔たれた「孤島」の与那国町においても、安心して子供を産み・育て、世代を超えて住み続けるために必要不可欠な定住条件を整えることにより、少子化対策及び定住化の促進を図る。	ℓ	5	24	7	29	3	36,233	36,233	28,986		7,247			3	3	(11)	イ
①	診療所運営支援事業	本町における唯一の医療施設である「与那国町診療所」の老朽化・旧式化した施設を更新・拡充し、本町の医療体制を維持・充実に図る。	ℓ	5	24	8	29	3	35,000	35,000	28,000		7,000			3	3	(11)	イ
②	少子高齢化対策事業	本町唯一の医療機関である与那国町診療所には、各専門医がいないため、出産または専門医療を受けるためには、海で隔たれた石垣島の病院へ通院する必要がある。そのため妊娠から出産までに必要となる渡航費等及び、子どもや高齢者（保護者及び介護者を含む）が専門医による島外診療を受けるために必要となる渡航費等の費用について補助を行う。	ℓ	5	24	7	29	3	1,233	1,233	986		247			3	3	(11)	イ
7	離島定住条件基盤整備事業	本事業では、住民が定住し続けるために必要な社会生活基盤の維持・充実、誇りの持てる地域づくり・魅力的な観光地づくり及び地域をベースとした新たな産業・雇用の創出の支援を図り、若者や子育て世代を中心とした島外への人口流出を防ぎ、島の活力の維持・創出に繋げていくため実施する。	タ	5	24	7	29	3	15,376	15,376	12,300		3,076			3	3	(11)	
①	公共交通路線支援事業	生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するために必要な条件整備及び来島者の利便性向上を図るため、地方バス運営に必要な費用を支援する。	タ	5	24	9	29	3	1,750	1,750	1,400		350			3	3	(11)	ウ

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費						振興計画 該当箇所			備考		
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費								
					年	月	年	月	A		B	C	負担額					
													D	E	F		G	
②	風景づくり推進事業	本町の自然と古くからの伝統を活かした魅力的なまちづくりを行うため「与那国町景観計画」を策定する。また、伝統的建築物や未利用施設を有効活用するため、「与那国町 古民家再生事業計画」を策定する。	タ	1	24	7	25	3	9,723	9,723	7,778				3	3	(12)	7
③	ドゥナン・ファンド設置推進事業	島に残る貴重かつ有望な資源を活用した起業や、地域活動の維持・活性化のために必要な支援を提供する「ドゥナン・ファンド」設置に必要な検討を行う。設置する「ドゥナン・ファンド」は、地域をベースとした「新たな産業・雇用の場の創出」に繋がり、人口流出を防ぐと共に、島の活力の維持に貢献する。	タ	5	24	8	29	3	3,903	3,903	3,122				3	3	(12)	7
8	防災安全基盤強化事業	「孤島」である本町では、地震・津波による大規模災害発生時には、島外からの救援・支援に長時間を要し、避難生活も長期間に亘ることが想定される。よって、住民・観光客等の被災者の長期避難生活を想定した非常食用食料・日用雑貨・備品・救助装備品等の整備、及び備蓄庫を併せて整備する。これら整備によって、地理的な不安要因がある本町の災害発生時における安全・安心の確保を図る。	レ	1	24	7	25	3	7,434	7,434	5,947				3	2	(2)	1
9	沖縄関係戸籍の電算化事業	本町における沖縄関係戸籍（いわゆる福岡戸籍等）は、現在も戸籍訂正やつぶれ地補償事務を行う上で極めて重要な役割を果たしている。しかし、これらの戸籍に関しては、戸籍事務の電算化が未整備であり、紙媒体で保存されているため劣化が著しい状況にある。本事業は、安定的かつ継続的な沖縄関係戸籍に係る住民サービスを確保するため、紙媒体で保存されている沖縄関係戸籍を電算化する。	ソ	1	24	9	25	3	5,504	5,504	4,403				3	2	(5)	1

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入している。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内としている。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入している。